

# 臨床心理学部

(臨床心理学科)

## シラバス

*Syllabus 2026*



あなたの学びを あなたのカタチに

九州医療科学大学

Kyushu University of Medical Science

科目名	英語	授業コード	110026B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(1年)	ナンバリング	9CC121B01	AL 科目	○	
担当者	上田 留理(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	Students will be able to improve their reading, writing, listening, speaking by comprehending English materials regarding to various subjects. Students will be expected to be involved actively in all class activities and tasks.					
学修目標	1) Students will be able to improve reading skill by comprehending grammar/structure of English. 2) Students will be able to comprehend basic writing skill through translation practices. 3) Students will be able to improve English communication skill through class activities. 4) Students will be able to comprehend listening skill through dictation practices. 5) Students will be confident expressing their ideas and opinions in English.					
実務経験のある 教員による教育	This class is designed and conducted based on the experiences of the instructor who had worked as an interpreter and a translator. The instructor was also educated and trained to teach active learning based on the CALA method which had been created for students of ESL.					
評価及びフィード バックの方法	・学習への取り組み姿勢(課題の提出—30%、質問・発言など授業への積極的参加—40%)及び学期末の単位認定試験—30% によって行う。評価の詳細な基準に関しては、授業開始日、及び必要に応じて説明を行う。 ・提出課題についての講評は、原則返却時に行い、個々の評価について提出課題に記述されるものとする。					
準備学習・ 履修上の注意等	Bring English/Japanese and Japanese/English dictionaries. Read assigned English materials to prepare for the classes.					
オフィスアワー	After classes					
授業計画						
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容			授 業 方 法	担 当
1	1) 2)3)4)	Introduction of the Class			講義・演習	上 田
2	3)5)	Intercultural Communication (Group Activity)			講義・演習	上 田
3	1)2) 3)4)	Cell Phone – Mobile Phone Addict & Reduce Amount of Time to Use			講義・演習	上 田
4	1)2) 3)4)	Cell Phone – Mobile Phone Addict & Reduce Amount of Time of Use			講義・演習	上 田
5	1)2) 3)5)	Process of Learning English (Practical Activity)			講義・演習	上 田
6	1)2) 3)5)	Process of Learning English (Practical Activity)			講義・演習	上 田
7	1)2) 3)	Eight Steps Towards a More Satisfying Life			講義・演習	上 田
8	1)2) 3)	Eight Steps Towards a More Satisfying Life			講義・演習	上 田
9	3)4) 5)	Listening and Understanding English on DVD Material			講義・演習	上 田
10	3)4) 5)	Listening and Understanding English on DVD Material			講義・演習	上 田
11	1)2) 3)4) 5)	Discussion regarding the contents on the DVD Material			講義・演習	上 田
12	2)3) 5)	How to Develop Communication Skills Necessary for Personals in Clinical Psychology Fields			講義・演習	上 田
13	2)3) 5)	How to Develop Communication Skills Necessary for Personals in Clinical Psychology Fields			講義・演習	上 田
14	1)2)3) 4)5)	Open Subject related to Clinical Psychology (the subject chosen by students and necessary materials prepared by the instructor)			講義・演習	上 田
15	1)2) 3)4) 5)	Review for the course			講義・演習	上 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。				
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。				

科目名	英語コミュニケーション		授業コード	110031B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科 1・2 年		ナンバリング	9CC122B01	AL 科目	○	
担当者	上田 留理(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソンNo.	Students will improve their English communication ability by using their knowledge, experiences and information regarding to various fields.						
学修目標	1) Students will improve their English comprehension skill through class lectures. 2) Students will improve their English communication skills through class activities. 3) Students will improve their five English skills such as listening, speaking, reading, writing and thinking.						
実務経験のある 教員による教育	This class is designed and conducted based on the experiences of the instructor who had worked as an interpreter and translator. This instructor was also educated and trained to teach active learning based on CALA method which had been created for ESL students.						
評価及びフィード バックの方法	・学習への取り組み姿勢(課題の提出—30%、質問・発言など授業への積極的参加—40%)及び学期末の単位認定試験—30% によって行う。評価の詳細な基準に関しては、 授業開始日、及び必要に応じて説明を行う。 ・提出課題についての講評は、原則返却時に行い、個々の評価について提出課題に記述されるものとする。						
準備学習・ 履修上の注意等	Bring English/Japanese and Japanese/English dictionaries. Read assigned English material to prepare for the classes						
オフィスアワー	After classes.						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1-3)	Introduction of the Class				講義・演習	上 田
2	1-3)	How to write logical reports in English				講義・演習	上 田
3	1-3)	How to prepare for a presentation (1)				講義・演習	上 田
4	1-3)	How to prepare for a presentation (2) understanding an audio and visual material as an example.				講義・演習	上 田
5	1-3)	How to prepare for a presentation (3): Choose a theme for a presentation (group activity)				講義・演習	上 田
6	1-3)	Preparation to give a presentation in a class (group activity) ①				講義・演習	上 田
7	1-3)	Preparation to give a presentation in a class (group activity) ②				講義・演習	上 田
8	1-3)	Giving a presentation in a class ①				講義・演習	上 田
9	1-3)	Giving a presentation in a class ②				講義・演習	上 田
10	1-3)	Review and discuss regarding presentations given in a class				講義・演習	上 田
11	1-3)	Learning about English activities for different age groups				講義・演習	上 田
12	1-3)	Making English activities for different age groups ①				講義・演習	上 田
13	1-3)	Making English activities for different age groups ②				講義・演習	上 田
14	1-3)	Presenting English activities created by students				講義・演習	上 田
15	1-3)	Review for the course				講義・演習	上 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名	情報処理入門			授業コード	120593A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1年)・臨床心理学科(1年)・動物生命薬科学科(1年)			ナンバリング	9CC111B01	AL 科目	○
担当者	山内 利秋(薬・生)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	大学生が講義や演習で様々な課題を作成出来るようになるための基礎的な作業や知識を習得していくプロセスを通じて、現代社会における ICT(Information and Communication Technology)の意義について理解し、情報を収集・分類・活用していくための能力を獲得していく事を目的とします。特に excel の関数を最低限使いこなせるようになってもらう事を目指します。						
学修目標	1)ICT とは何かについて基本的に理解し、説明出来る。 2)PC 上での文章の記述について理解し、実践出来る。 3)統計情報のような数値情報の分析方法を行える。 4)ファイル・データの管理を行い、情報の分類について理解出来る。 5)インターネットにおけるコミュニケーションを理解し、運用出来る。 6)視覚表現について理解する。 7)プレゼンテーションを理解し、実施出来る。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価及びフィード バックの方法	課題制作(評価は 30%)及び試験(評価は 70%)。 フィードバックは gmail 等にて実施。						
準備学習・ 履修上の注意等	ICT に関わるリテラシーを習得しようとする真摯な態度が要求されます。高校の情報科の授業以外 PC にほとんど触れていないという人が多いのですが、特にコロナ禍以降では「スマホしか使わない」では仕事になりません。極端な事を言えば、PC の操作は自動車の運転どころか日常的なインフラ設備の操作(明るさに応じて電気をつける・水道の蛇口をひねって水量を調整する・ガスの元栓をあげたり風呂の温度を調整するなど)にも近くなっており、「できない」事は仕事の選択の幅を極端に狭くしたり、日常生活にさえ大きく影響します。 従って、テキスト及び課題に関わる予復習を十分に行うのみならず、日頃から PC を使う事を強く意識して下さい。これをやらないと毎回の授業についてこれないばかりでなく、特に学年があがるにつれ他の授業でもできる／できないの差が生じるといった状況を招きます。授業ではなるべく個人々がスキルを獲得できるように指導しますが、あまりにも「おくれ」が大きいと、全体の授業進行に大きく影響してしまいます。授業初回からアカウントを記載した用紙を無くすなどは論外です。 1 コマ当たり最低でも4時間を目安に予習・復習を行って下さい。 ※googleclassroom を使用します。第 1 回目の授業で説明しますが、googlemeet へは classroom からログインするようになりますので、注意して下さい。						
オフィスアワー	水曜日 5 限、その他講義時間以外の在席時。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	アカウントの確認、基本的なメールの使い方、teams、googleform 等の使い方について確認する。				講義・演習	山内
2	1)4)	「情報とは何か」を基本的なテーマとしながら、情報通信技術と情報化が進行した今日の社会、さらにデータを扱う事の意義について考えていく。そしてフォルダ・ファイルの種類や階層性を認識する事で、コンピュータにおける情報の分類について理解する。				講義・演習	山内
3	1)2)3) 5)6)	Microsoft office と Google Workspace(そのうちドキュメント・スプレッドシート・スライド)の基本操作に関する課題をやってみる。基本的操作について確認するとともに、ファイル変換や互換性、ファイルの保存について理解する。				講義・演習	山内
4	5)	メールのリテラシーを通じて、情報コミュニケーションの有効性・危険性について理解する。				講義・演習	山内
5	2)	word を通じて文章の形式や論理的構成、デザインを理解する。その 1				講義・演習	山内
6	2)	word を通じて文章の形式や論理的構成、デザインを理解する。その 1				講義・演習	山内
7	3)	Excel を使って表計算やグラフ作成を行い、数値情報の分析について理解する。その 1				講義・演習	山内
8	3)	Excel を使って表計算やグラフ作成を行い、数値情報の分析について理解する。その 2				講義・演習	山内
9	3)	Excel を使って表計算やグラフ作成を行い、数値情報の分析について理解する。その 3				講義・演習	山内
10	3)	Excel を使って表計算やグラフ作成を行い、数値情報の分析について理解する。その 4				講義・演習	山内
11	3)	Excel を使って表計算やグラフ作成を行い、数値情報の分析について理解する。その 5				講義・演習	山内
12	7)	Powerpoint を使ってプレゼンテーション・発表の方法についての論理的方法を理解する。その 1				講 義	山内
13	7)	Powerpoint を使ってプレゼンテーション・発表の方法についての論理的方法を理解する。その 2				講義・演習	山内
14	1)	情報とセキュリティについて理解する。				講義・演習	山内
15	1)	知的財産権について理解する。				演 習	山内
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	『学生のための OFFICE スキル活用&情報モラル 改訂版』noa 出版 【ISBN:978-4-911200-02-5】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	特になし。						

科目名	情報処理入門			授業コード	110084B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1年)・臨床心理学科(1年)・動物生命薬科学科(1年)			ナンバリング	9CC111B01	AL 科目	○
担当者	山内 利秋(薬・生)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	大学生が講義や演習で様々な課題を作成出来るようになるための基礎的な作業や知識を習得していくプロセスを通じて、現代社会における ICT(Information and Communication Technology)の意義について理解し、情報を収集・分類・活用していくための能力を獲得していく事を目的とします。特に excel の関数を最低限使いこなせるようになってもらう事を目指します。						
学修目標	1)ICT とは何かについて基本的に理解し、説明出来る。 2)PC 上での文章の記述について理解し、実践出来る。 3)統計情報のような数値情報の分析方法を行える。 4)ファイル・データの管理を行い、情報の分類について理解出来る。 5)インターネットにおけるコミュニケーションを理解し、運用出来る。 6)視覚表現について理解する。 7)プレゼンテーションを理解し、実施出来る。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価及びフィード バックの方法	課題制作(評価は 30%)及び試験(評価は 70%)。 フィードバックは gmail 等から行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	ICT に関わるリテラシーを習得しようとする真摯な態度が要求されます。高校の情報科の授業以外 PC にほとんど触れていないという人が多いのですが、特にコロナ禍以降では「スマホしか使わない」では仕事になりません。極端な事を言えば、PC の操作は自動車の運転どころか日常的なインフラ設備の操作(明るさに応じて電気をつける・水道の蛇口をひねって水量を調整する・ガスの元栓をあげたり風呂の温度を調整するなど)にも近くなっており、「できない」事は仕事の選択の幅を極端に狭くしたり、日常生活にさえ大きく影響します。 従って、テキスト及び課題に関わる予復習を十分に行うのみならず、日頃から PC を使う事を強く意識して下さい。これをやらないと毎回の授業についてこれないばかりでなく、特に学年があがるにつれ他の授業でもくできる/できないの差が生じるといった状況を招きます。授業ではなるべく個人々がスキルを獲得できるように指導しますが、あまりにも「おくれ」が大きいと、全体の授業進行に大きく影響してしまいます。授業初回からアカウントを記載した用紙を無くすなどは論外です。 1 コマ当たり最低でも4時間を目安に予習・復習を行って下さい。 ※googleclassroom を使用します。第 1 回目の授業で説明しますが、googlemeet へは classroom からログインするようになりますので、注意して下さい。						
オフィスアワー	水曜日 5 限、その他講義時間以外の在席時。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	アカウントの確認、基本的なメールの使い方、teams や googleform の使用方法を確認し、使えるようにする。				講義・演習	山 内
2	1)4)	「情報とは何か」を基本的なテーマとしながら、情報通信技術と情報化が進行した今日の社会、さらにデータを扱う事の意義について考えていく。そしてフォルダ・ファイルの種類や階層性を認識する事で、コンピュータにおける情報の分類について理解する。				講義・演習	山 内
3	1)2)3) 5)6)	Microsoft office と Google Workspace(そのうちドキュメント・スプレッドシート・スライド)の基本操作に関する課題をやってみる。基本的操作について確認するとともに、ファイル変換や互換性、ファイルの保存について理解する。				講義・演習	山 内
4	5)	メールのリテラシーを通じて、情報コミュニケーションの有効性・危険性について理解する。				講義・演習	山 内
5	2)	word を通じて文章の形式や論理的構成、デザインを理解する。その 1				講義・演習	山 内
6	2)	word を通じて文章の形式や論理的構成、デザインを理解する。その 1				講義・演習	山 内
7	3)	Excel を使って表計算やグラフ作成を行い、数値情報の分析について理解する。その 1				講義・演習	山 内
8	3)	Excel を使って表計算やグラフ作成を行い、数値情報の分析について理解する。その 2				講義・演習	山 内
9	3)	Excel を使って表計算やグラフ作成を行い、数値情報の分析について理解する。その 3				講義・演習	山 内
10	3)	Excel を使って表計算やグラフ作成を行い、数値情報の分析について理解する。その 4				講義・演習	山 内
11	3)	Excel を使って表計算やグラフ作成を行い、数値情報の分析について理解する。その 5				講義・演習	山 内
12	7)	Powerpoint を使ってプレゼンテーション・発表の方法についての論理的方法を理解する。その 1				講 義	山 内
13	7)	Powerpoint を使ってプレゼンテーション・発表の方法についての論理的方法を理解する。その 2				講義・演習	山 内
14	1)	情報とセキュリティについて理解する。				講義・演習	山 内
15	1)	知的財産権について理解する。				演 習	山 内
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	『学生のための OFFICE スキル活用&情報モラル 改訂版』noa 出版 【ISBN:978-4-911200-02-5】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	特になし。						

科目名	データサイエンス I		授業コード	110198A402	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部・臨床心理学部・動物生命薬科学科(各学部学科 1 年次)		ナンバリング	9CC122B02	AL 科目	○
担当者	池脇信直(生命医科学科)・井藤英俊(スポーツ健康福祉学科)・内藤健一(臨床心理学科)・三宮基裕(臨床福祉学科)・中村真理子(臨床心理学科)・山内利秋(動物生命薬科学科)	開講学期	2026 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態 講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソンNo.	今日の ICT 技術の進展によって、従来までは経験や勤に頼らなければならなかった様々な活動が、客観的なデータに基づいてより分析的に実践できるようになった。誰にでも情報機器が扱えるようになり、ビッグデータと呼ばれる膨大な量の数値情報が収集されやすくなった事によって、以前は一部の分野の専門的な研究者にしか行えなかった様々な分析が、より多様に、かつ幅広い人々の手でも出来るようになりつつある。 本科目では、医療・福祉分野はもちろん、様々な産業や社会の中で扱われつつあるデータサイエンスについて学び、科学的な分析の手法を理解できるようになる事を目的とする。					
学修目標	1)データサイエンスが何かを理解し、説明できる。 2)データサイエンス・AIを活用する事の意義を理解する。 3)客観的なデータの重要性和基本的な役割を理解し、さらに適切なデータ分析・解釈ができる。 4)現代社会の様々な分野におけるデータ分析を基とした実践的活動について理解できる。 5)医療福祉分野におけるデータサイエンスについて理解し、説明できる。					
実務経験のある 教員による教育	特になし					
評価及びフィード バックの方法	小テスト(複数回)を課し、総合的に評価する。					
準備学習・ 履修上の注意等	オンデマンドと対面授業を合わせた形で実施します。多様な分野から構成されており、一見自分の専門からは離れている内容に思えるものもあるかもしれませんが、現代社会に生きる我々にとっては欠かす事ができないものでもあるので、じっくりと学修して下さい。試験は授業の終わりに google forms から実施する小テストを予定しています。 なお、この授業ではテキストの代わりにオンデマンドコンテンツ「AI データサイエンス基礎講座(リテラシーレベル)」を活用しますので、受講には登録料として料金が必要となります。登録する事によってコンテンツを 1 年間いつでもどこでも視聴でき、授業では取り扱わない項目も含めての自学自習が可能です。このコンテンツは国の政策でもある Society 5.0(仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会)の構築や、データサイエンティストをはじめ様々な分野で必要とされているデジタル人材の育成を目指すのに適した内容となっています。					
オフィスアワー	教員の在室時間(各教員により異なる)。					
授業計画						
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容			授業 方法	担当
1	1)	データサイエンスとは。			講 義	山内(オンデマンド)
2	1)2)	社会で起きている変化:日本企業の国際競争力低下市場の変化、デジタル技術の発展、デジタル社会について理解する。			講 義	三宮(オンデマンド)
3	1)2)	社会で活用されているデータ:統計データ、ログデータ(人の行動・機械の稼働)、データの分類、オープンデータについて理解する。			講 義	三宮(オンデマンド)
4	2)3)	データ・AI の活用領域:AI の定義、歴史、活用領域(製造業、小売業、物流業、医療・介護)、人間に近く AI について理解する。			講 義	井藤(オンデマンド)
5	2)3)	データ・AI 利活用のための技術:データ認識技術(画像、文字、音声、顔)、AI 技術(機械学習、ディープラーニングなど)、AI の難問(フレーム問題など)、強い AI と弱い AI、AI の得意・不得意について理解する。			講 義	内藤(オンデマンド)
6	2)3)	データ活用とは:データの定義、データ活用のモデル、データ分析のアプローチ(妥当性、信頼性など)について理解する。			講 義	中村(オンデマンド)
7	2)3)4)	データ・AI 利活用の現場:製造業(IoT)、小売業(販売時点情報管理(POS)に加えて会員情報、センサー)、サービス業(顧客に合った資産運用モデルの作成など)、公共・インフラ業(スマートメーター、MaaS など)、新しいビジネス領域(シェアリングエコノミー、Direct to Consumer、スマートシティなど)について理解する。			講 義	三宮(オンデマンド)
8	3)	データを読む(1) データの種類、代表値やばらつき、分析前のデータのチェックについて理解する。			講 義	内藤(オンデマンド)
9	3)	データを読む(2) 相関と因果、母集団と抽出、統計情報の正しい理解について学修する。			講 義	内藤(オンデマンド)
10	3)5)	QOL 評価とデータ分析: QOL を統計学的手法を用いて評価してみる。			講義・演習	池 脇
11	3)5)	医療分野におけるデータの活用: 医療データの分析方法について。			講義・演習	中 村
12	3)5)	学校体育におけるデータの活用: データを使って、横断的研究と縦断的研究の分析をしてみる。			講義・演習	井 藤
13	3)5)	心理実験における反応時間データ: データの分布・取り扱い・分析について。			講義・演習	内 藤
14	1)2)4)	データ・AI を扱う上での留意事項(1):ELSI(倫理的・法的・社会的な課題)、不正行為(ねつ造、改ざん、盗用)、個人情報の保護について理解する。			講 義	山内(オンデマンド)
15	1)2)4)	データ・AI を扱う上での留意事項(2):バイアス(モデル構築時、データ収集時、データバイアスとアルゴリズムバイアス)、AI の正しい活用に向けて理解する。 データを守る上での留意事項とまとめ:情報セキュリティや情報漏えいについて理解する。			講 義	山内(オンデマンド)
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		なし。				
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし。				



科目名	データサイエンスⅡ		授業コード	110199A402	単位数 (時間数)	1 単位 (30)	
配当学科(学年)	社会福祉学部(2 年次) 臨床心理学部(2 年次) 動物生命薬科学科(2 年次)		ナンバリング	9CC122B03	AL 科目	○	
担当者	山内 利秋(薬・生)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ ルンNo.	社会の様々な課題を知り、さらにそれを解決する手段として情報メディアを使いこなす事はもはや必須となった。身近な問題が、地域社会さらには世界全体の問題とどのように関係しているのかを理解しつつ、それを解決するための一歩として、データサイエンスに関わる様々な分析・活用方法を学習し、自らが社会において主体的な行動を取れるようになる事を目指す。						
学修目標	1)社会で起こっている様々な課題と自らの生活空間・身近な社会における問題の関係性を理解し、説明出来る。 2)地域社会におけるコミュニケーションとメディアのあり方について理解し、具体的に説明出来る。 3)社会の課題を抽出し、それを理解するための調査方法を習得する。 4)データを活用した統計解析の考え方を理解し、それを分析する方法を習得する。 5)抽出した情報を分析し、説明する事が出来る。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価及びフィード バックの方法	毎回の演習課題について 100%の割合で評価する。 フィードバックは gmail 等から行います。						
準備学習・ 履修上の注意等	1.Office、特に Excel の最低限・基本的な操作が出来ないと授業に全くついていけないので、できれば情報処理入門を受講後に履修してほしい。2.情報通信技術を自らの手で工夫して社会に対応出来るようにしようとする意欲を持っている事。グループまたは個人で考えながら作業を行なう部分が多く、コツコツと積み重ねる事が要求される。これらを意識して演習に活用出来る素材を予復習として集めてくる。						
オフィスアワー	木曜日 4 限、その他講義時間以外の在席時。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	グローカリゼーションと地域社会、身近な生活空間といったそれぞれのコミュニティにおける課題の存在を知り、これを理解・解決していく上での様々な情報の重要性について理解する。				講 義	山 内
2	2)3)	自分の身の回りで発生している様々な課題を現象として捉えていく方法を、航空写真や GIS 上にある情報から理解していく。				演 習	山 内
3	3)4)	統計学の最も基本的な部分について確認してみる。				演 習	山 内
4	3)	データの要約について考えてみる。				演 習	山 内
5	3)	身近な課題をとりあげ、それを解決するために、出来事のパターン化を行なう。				演 習	山 内
6	4)	質的変数の分析についてやってみる。				演 習	山 内
7	4)	量的変数を代表値で要約してみる。				演 習	山 内
8	4)	量的変数をばらつきで要約してみる。				演 習	山 内
9	4)	平均と標準偏差を活用してみる。				演 習	山 内
10	3)4)	2 つの平均値を比較してみる。				演 習	山 内
11	3)4)	平均値の比較をアイデア評価に応用してみる。				演 習	山 内
12	3)4)	散布図を活用して関係性を分析してみる。				演 習	山 内
13	3)4)	回帰分析を活用して関係性を分析してみる。				演 習	山 内
14	3)4)5)	関係性の分析で改善点を見つけてみる。				演 習	山 内
15	3)4)5)	時系列データを分析してみる。				演 習	山 内
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	特になし。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	『学生のためのデータリテラシー』(豊田裕貴)【978-4-86510-446-2】 『エクセルで学習するデータサイエンスの基礎 統計学演習 15 講』(岡田朋子)【978-4-76490-681-5】						

科目名	キャリア教育	授業コード	110005B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)	ナンバリング	9CC221B01	AL 科目	○	
担当者	横山 裕(心・心)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	本講義の目標は、「豊かな人間性、高いコミュニケーション能力、高度な臨床的知識を備えた言語聴覚士または公認心理師」になるために(DP1,2,4)、社会人としての基礎を身につけながら、並行して専門職を目指す者としての基礎を身につけることにある(CP1,2)。					
学修目標	1)自分の特徴(いわゆる長所・短所)を客観視する。 2)自分と社会との接点に気付く。 3)言語聴覚士及び公認心理師の仕事の社会的側面について知る。 4)自己キャリアデザインに必要なスキルについて知る。 5)人生100年時代を生きる意味と社会構造の変化へ対応する意味を理解する。					
実務経験のある 教員による教育	キャリアカウンセラーとして5年以上の実務経験を有する。					
評価及びフィード バックの方法	授業毎の小テストやレポート課題により形式的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、小テスト、授業の参加態度など)の評価を50%、学期末の総括レポートを50%として単位認定を行う。 オフィスアワーなどを活用して個別にフィードバックを行う。					
準備学習・ 履修上の注意等	医療や福祉のみならず、政治・経済など各自のキャリアデザインに関する最新の動向について関心を持つように心がけること。また、自分の長所・短所を知り、長所は伸ばす、短所は改善することが人生100年時代の新しい生き方を身につけるために重要である。					
オフィスアワー	教員のオフィスアワーに準ずる。					
授業計画						
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容			授業 方法	担当
1	1),2)	キャリアとは何か理解する。			講 義	横 山
2	1),2)	キャリア教育の意味について考える。			講義・SGD	横 山
3	1),2)	自己のキャリアを考える視点を理解する。			講 義	横 山
4	1),2)	自己のキャリアを形成する方法について学ぶ。			講 義	横 山
5	3)	キャリアデザインにおける資格について考える。			講 義	横 山
6	1),2),3)	自己のキャリアプランを立ててみる。			講 義	横 山
7	1),2),3)	他者のキャリアを理解する。			講義・SGD	横 山
8	3),4)	医療、保健領域を取り巻く状況を理解する。			講 義	横 山
9	3),4)	人生100年時代を取り巻く社会状況を理解する。			講 義	横 山
10	3),4)	キャリアデザインに必要なスキルを理解する(1)社会構造			講 義	横 山
11	3),4)	キャリアデザインに必要なスキルを理解する(2)産業構造			講 義	横 山
12	3),4)	キャリアデザインに必要なスキルを理解する(3)経済社会			講 義	横 山
13	3),4)	キャリアデザインに必要なスキルを理解する(4)個性と多様性			講 義	横 山
14	1)~5)	人生100年時代に必要なキャリアを理解する。			講義・SGD	横 山
15	1)~5)	総括			講 義	横 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	特にありませんが、教員より参考書等文献の指示があります。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	教員の指示に従ってください。					

科目名	コミュニケーション論			授業コード	110007B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	9CC122B04	AL 科目	○
担当者	伊藤 さゆり(臨・臨)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	演習・講義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	専門職としての豊かな人間性と倫理観を身につけ、社会や他者に対して責任ある行動をとるために必要なコミュニケーション能力を修得する。 本講義では、様々な課題を抱えた人々や地域、多職種との関わりにおいて、適切なコミュニケーション方法を理解し、説明できるようになる。(DP1,2)						
学修目標	1) コミュニケーションの基本的な概念と構造を説明できる 2) 言語・非言語を含むコミュニケーションの特徴を説明できる 3) 難聴、失語症、認知症などにおけるコミュニケーション障害の特徴を説明できる 4) 各障害に応じたコミュニケーション上の配慮や工夫を説明できる 5) 医療・福祉・社会場面におけるコミュニケーションの役割を説明できる 6) 臨床場面を想定し、適切なコミュニケーション方法を選択し説明できる						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(伊藤)は、病院等臨床現場における言語聴覚士として、あらゆる患者とのコミュニケーション経験を活かし、症例や具体的事例を用いて講義を行う。 また、当事者との関わりを通してコミュニケーションの実際を理解するために、コミュニケーション障害を有する当事者を外部講師として招き、臨床における実践的なコミュニケーション能力の基礎を養う。						
評価及びフィード バックの方法	授業内および Google Classroom 等を通して実施する小レポートおよび課題(40%)、学期末の単位認定試験(60%)により評価する。 小レポートおよび課題では、授業内容の理解度および、それに基づく考察の論理性・具体性を評価する。 なお、課題の形式は授業内容に応じて、オンライン(Google Classroom)または紙媒体で実施する。 フィードバックは、提出物へのコメントおよび授業内での解説を通して適宜行い、必要に応じて個別にフィードバックを行う						
準備学習・ 履修上の注意等	各回の授業内容に関連する資料や教科書の該当箇所を事前に確認しておくこと(予習 30 分程度)。 授業後は、配布資料やスライドをもとに内容を整理し、小レポートや課題の内容を見直すこと(復習 30 分程度)。						
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準じる。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	コミュニケーションとは何か				講 義	伊 藤
2	1)2)	コミュニケーション障害とは何か				講義・演習	伊 藤
3	3)	コミュニケーション障害: 難聴				講義・演習	伊 藤
4	3)	コミュニケーション障害: 構音障害				講義・演習	伊 藤
5	3)	コミュニケーション障害: 失語症				講義・演習	伊 藤
6	3)	コミュニケーション障害: 高次脳機能障害				講義・演習	伊 藤
7	3)	コミュニケーション障害: 認知症				講義・演習	伊 藤
8	3)	コミュニケーション障害: 言語発達障害				講義・演習	伊 藤
9	4)	臨床で役立つコミュニケーションの技法①				講義・演習	伊 藤
10	4)	臨床で役立つコミュニケーションの技法②				講義・演習	伊 藤
11	5)6)	言語聴覚障害児とのコミュニケーションを考えよう				講義・演習	伊 藤
12	5)6)	言語聴覚障害者とのコミュニケーションを考えよう				講義・演習	伊 藤
13	5)6)	コミュニケーションの種類・方法・実施①(失語症者支援演習)				講義・演習	伊藤 崇
14	5)6)	コミュニケーションの種類・方法・実施②(失語症者支援演習)				講義・演習	伊藤 崇
15	1)2)3) 4)5)6)	まとめ				講義・演習	伊 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	言語聴覚障害学概論 第2版 藤田 郁代 / 北 義子 / 阿部 晶子(編集) 医学書院【978-4-260-03816-4】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	PT・OT・ST のためのコミュニケーション実践ガイド 第3版 山口美和 医学書院【978-4260053518】 やさしいコミュニケーション障害学—基礎からわかる言語聴覚療法の実践— 八王子言語聴覚士ネットワーク (編集)三輪書店【978-4895905572】						

科目名	QOLと人間の尊厳		授業コード	110181B401	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・薬学科・動物生命薬科学科・生命医科学科・臨床心理学科(1 年生)		ナンバリング	9CC111B02	AL 科目	『○』	
担当者	池脇 信直(生命医科)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソンNo.	<p>QOL と人間の尊厳では、他の人と共存して生きる人間のよりよい人生とは何かを、「QOL」と「人間の尊厳」の二つの観点から学ぶ。病気や障がいを持ちながら人生を全うすることの意味を知ることが、社会人としての基本的な態度を形成する上で重要である。</p> <p>「QOL」では、健康・疾病・障がいの関連をもとに「より良い人生」とは何かを理解するために、言葉の持つ意味を中心に人生や生活における quality(質)を科学的・構造的に考えるための基礎知識を修得する(スポーツ:DP1,2,3,4 薬学科:DP1,2,4,5 動物生命:DP1,2,3,4,5 生命医科:DP1,2,3,4,5,6,7,8,9 臨床心理:DP1,2,3,4,5,6)。</p> <p>「人間の尊厳」とは、どのような概念であろうか。例えば、「尊厳死」とは本人の人生観に基づいて延命治療を行わないことである。この事例のように、医療・福祉に携わる私たちは、本人の人生観を自分の基準とは異なるものとして否定しないこと(人間の尊厳)が特に求められる。「人間の尊厳」では、人間の尊厳を守ることができる人となるために、他人の価値観を否定せず容認する考え方を修得する(スポーツ:DP1,2,3,4 薬学科:DP1,2,4,5 動物生命:DP1,2,3,4,5 生命医科:DP1,2,3,4,5,6,7,8,9 臨床心理:DP1,2,3,4,5,6)。</p> <p>授業は QOL と人間の尊厳に関するトピック(話題)をスモールグループディスカッション(SGD)方式で進める。また、本授業に関連したミニデモンストレーションを取り入れたアクティブラーニング(AL)を行う(スポーツ:CP2-1 薬学科:CP1-2,3 CP2-1 動物生命:CP2-1,2-4 生命医科:CP2-1 臨床心理:CP2-1)。</p>						
学修目標	<p>1)教育や学びから人生や生活における「質」と「人間の尊厳」を理解し説明できる。</p> <p>2)QOL の言葉の意味を理解し説明できる。</p> <p>3)QOL と健康・疾病・障がいとの関連性を理解し説明できる。</p> <p>4)QOL と公衆衛生活動・QOL 評価を説明できる。</p> <p>5)人間の尊厳と社会との関連性を理解し説明できる。</p> <p>6)人間の尊厳と自分の轍(わだち)・キャリア・人生・希望との関連性を理解し説明できる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者である池脇信直は大学病院等で 10 年以上の実務経験に基づき、最新の情報と資料を提供しながら授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	<p>迅速かつ建設的な評価及びフィードバックを行う。具体的な方法は下記の通りである(全学科:CP3-1)。</p> <p>1) 提出された試験、レポート、課題等を採点し、コメントをつけて返却する。</p> <p>2) 次回の授業日で授業の中の特徴的な見解について解説する。</p> <p>3) 学生の良くできた答案やレポートを紹介する。</p> <p>4) 授業終了後、全体的な講評、模範解答等をメール配信あるいは印刷配付する。</p> <p>5) 授業アンケートのコメントをフィードバックする。</p> <p>6) ルーブリックを採用し、レポート評価(8 点 × 5 回 = 40 点)、定期試験(60 点)</p>						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>授業は主に「QOL と人間の尊厳」に関わる課題を提供すると共に、その課題を SGD 及び AL 型(プレゼンテーション)授業を通して解決する形で進める。予習としては、提供される課題に対して、参考書等を用いて前もって調べる、いわゆる「反転授業」を行うことが大切である。復習としては、毎回の単元で獲得した情報を講義ノート、講義プリント・資料を丹念に読み返し、理解を深めることが重要である。毎回の授業の前後、週末および長期休暇期間を使って、計 29 時間の自己学習を行うこと。すなわち、1 回の授業につき 4 時間以上を目安に予習と復習を行うこと。 授業内容の順番は入れ替わることがある。また、教材が変更されることもあるので注意すること。</p>						
オフィスアワー	毎週月曜～金曜日:12:20～13:00 副学長室						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容			授業 方法	担当	
1	1)	人間の尊厳と教育を考える ～建学の理念からの考察～(専務理事講和)			講義・SGD	池 脇	
2	2)	QOL の意味について考える①			講義・SGD	池 脇	
3	2)	QOL の意味について考える②			講義・SGD	池 脇	
4	3)	年を取ることから QOL を考える			講義・SGD	池 脇	
5	3)	ストレスから QOL を考える			講義・SGD	池 脇	
6	3)	健康・疾病・障がいから QOL を考える			講義・SGD	池 脇	
7	4)	QOL と公衆衛生活動を考える			講義・SGD	池 脇	
8	4)	QOL の評価を考える			講義・SGD	池 脇	
9	5)	人間の尊厳と社会の仕組みを考える			講義・SGD	池 脇	
10	5)	人間の尊厳と社会が求めていることを考える			講義・SGD	池 脇	
11	6)	人間の尊厳と自分の轍(わだち)を考える			講義・SGD	池 脇	
12	6)	人間の尊厳と人生を考える			講義・SGD	池 脇	
13	6)	人間の尊厳と AI 時代を考える			講義・SGD	池 脇	
14	6)	人間の尊厳と希望を考える			講義・SGD	池 脇	

15	1)2)3) 4)5)6)	まとめ	講義・SGD	池 脇
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しません。		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		資料(プリント)を配付します。 参考書と参考文献を紹介します。		

科目名	日向国地域論			授業コード	110125B401	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・薬学科・動物生命薬科学科・生命医科学科・臨床心理学科(1年)			ナンバリング	9CC121B05	AL 科目	
担当者	横山 裕(心・心)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	九州医療科学大学はその設立より延岡市を始めとして宮崎県北部地域に密着した大学として発展してきた。本講義を通してこの発展をさらに良きものとし学生が地域とより深く交流するため(DP4、CP7)の推進力を身につけることを目標とする。						
学修目標	1)地域の歴史や文化について説明できる。 2)地域に期待される大学像を知る。 3)地域における男女の生き方について説明できる。 4)地域の災害の歴史と現在の危機管理について説明できる。 5)地域における一次産業とその文化について説明できる。 6)地域の産業とまちづくりについて説明できる。 7)地域の医療・保健と健康政策について説明できる。 8)地域の暮らしと福祉の歩みについて知る。 9)地域の観光と娯楽の変遷について知る。						
実務経験のある 教員による教育	行政、観光、まちづくりなど多方面にわたって地域における実務経験を有する講師を招聘している。						
評価及びフィード バックの方法	毎講義後に提出物(小レポート)を課し、その評価(100%)によって行う。 オフィスアワーなどを活用して個別にフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	外部講師にご講義いただくので礼を失することのない受講態度で臨むこと。						
オフィスアワー	月水金 12:30~13:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)~8)	これまでの講義概要を理解し、地域について知ることの意義を理解する。				講 義	横 山
2	1)	宮崎県北地域の文化財及びその保護活動について理解し、歴史と文化との関係性を理解する。				講 義	横山・外部講師
3	2)	県北地域に芸術活動の現状を理解し、地域と世界の芸術交流の未来のあり方を理解する。				講 義	横山・外部講師
4	4)	県北地区の一次産業の歴史と現状を知り、それが育んできた豊かさを理解する。				講 義	横山・外部講師
5	5)	県北地域の第三次産業の現状を理解し、商業と街づくり・人づくりの関係について理解する。				講 義	横山・外部講師
6	6)	県北の自然の魅力を知り、自然を生かしたまちづくりの現状を理解する。				講 義	横山・外部講師
7	7)	県北地域の税金をとりまく現状を理解し、これからの正しい納税者のあり方を身に着ける。				講 義	横山・外部講師
8	7)	県北地域が経験した災害とそれに対処してきた歴史を知り、蓄積された先人の知恵と現在の対応を知る。				講 義	横山・外部講師
9	1)6)	県北地域の行政の現状を知り、様々な問題に対してどのような取り組みがなされているのか理解する。				講 義	横山・外部講師
10	1)	県北地域の教育について知り、地域の人材育成がどのように実践されているのかを理解する。				講 義	横山・外部講師
11	8)	県北地域における観光資源の発掘、観光地環境整備、地元プロモーション活動の現状を知り、県北地区の観光の可能性について理解する。				講 義	横山・外部講師
12	1)	宮崎県北地域に伝わる神話や今日にいたる様々な歴史について理解する。				講 義	横山・外部講師
13	3)	県北地域の自然環境と暮らしとの関係を知り、これからの環境保護活動について理解する。				講 義	横山・外部講師
14	1)	県北地域で行われている薪能について知り、それが市民共同運動へと発展して行った経緯について理解する。				講 義	横山・外部講師
15	1)~8)	講義を通じて学んだことをふりかえり各自が地域について考えたことをまとめる。				講 義	横 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて別途指示する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて別途指示する。					

科目名	日向国地域体験学習			授業コード	110200A401	単位数 (時間数)	1 単位 (30)	
配当学科(学年)	動物生命薬学科、薬学科、生命医科学科、臨床心理学科、スポーツ健康福祉学科、(1年)			ナンバリング	9CC123B01	AL 科目	○	
担当者	二反田 隆夫(生命・生命)大倉 正道(薬・薬)宮内 亜宜(薬・動物) 中村 真理子(臨心・臨心)藤 原 幸子(社福・スポーツ)	開講学期	2026 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習及び活動	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リナーNo.	<p>農業やアウトドア体験を通して、食をはじめ地域の自然や魅力を体感するとともに農泊や住民との交流によって地域の暮らしや 伝統文化、そこで暮らす人々の想いに触れるという主体的かつ対話的な学びを通して心の豊かさの形成や学びに向かう力・人 間性等を滋養することを目的とする。</p> <p>(動物生命:DP1,2,3,4,5 薬学科:DP1,2,4,5 生命医科:DP1,2,3,4,5,6,7,8,9 臨床心理:DP1,2,3,4,5,6 スポーツ: DP1,2,3,4) (動物生命:CP1,2,3,4,5 薬学科:CP1,2,3 生命医科:CP1,2,3,4 臨床心理:CP1,2,3,4,5,6 スポーツ:CP1,2,3,4,5,6,7)</p>							
学修目標	<p>1)地域の歴史や文化について説明できる 2)地域の産業とまちづくりについて説明できる 3)地域の観光の変遷について説明できる 4)地域における一次産業について説明できる 5)受け入れ先の農家あるいはアウトドア施設の社会的役割や多世代の価値観を理解することができる 6)社会的マナーを理解し、約束を守ることができる 7)農業やアウトドア体験で得た学びを他者と共有することを通して学習を深化させることができる 8)報告書の意義を理解し、適切にわかりやすく正確に書くことができる 9)個々の体験から得たものを言語化し、報告会で発表することができる 10)フィールドワーク(体験、地域住民との交流)を通して感じたことや地域の課題をまとめ、これからどうすべきか、どうしなけれ ばならないかを自ら考え、提言することができる</p>							
実務経験のある 教員による教育	教員に実務経験はないが、各フィールドワークにおける案内人はアウトドア体験や地域観光の専門家である。							
評価及びフィード バックの方法	<p>演習及び学習への取り組み姿勢(活動参加状況やレポート等の提出状況)の評価 30% 課題発表及び報告書の評価 70% 評価の基準は授業開始時に説明する</p>							
準備学習・ 履修上の注意等	<p>最初の2コマはカリキュラムの概要説明、フィールドワーク(体験、地域住民との交流)を行ううえでの心得や社会的マナーなど の指導、中山間地域の現状と課題などについて事前学習として座学で学ぶ。その後10~11月中旬に1泊2日の予定で農泊、ア ウトドア体験を行う。事後研修としてフィールドワーク(体験、地域住民との交流)を通して感じたことや地域の課題とその解決策 についてまとめ、報告書・提言書として提出する。小人数のグループ単位で発表する。</p> <p>以下、注意点です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お金の負担が発生します。過去実績で1人当たり5,000円程度になる予定です。できるだけ1人あたりの負担金額がこれ以上 にならないように努めます。最終的な金額については、授業内でアナウンスします。</li> <li>・履修時は、後期の授業に割り振られています。事前(7月頃)に体験プログラムの希望調査を行います。したがって、後期の 履修修正期間での履修登録は例外処置となりますので、履修を希望する方は前期の間に履修登録をお願いします。</li> </ul>							
オフィスアワー	時間割が確定後、各教員の研究室等に掲示する							
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授 業 方 法	担 当
1	1)2)3) 4)5)	<p>8月:事前学習① オリエンテーション ①授業目標、意義、年間授業計画について理解する ②活動方法、手続きについて理解する ③授業評価、単位認定方法について理解する</p>					講 義	担当教員
2	1)2)3) 4)5)	<p>10月:事前学習② 事前講義 ①参加するフィールドワークの種類・内容・そのフィールドワークで触れる課題について理解する ②フィールドワークに出発するまえの活動方法、手続きについて理解する ③フィールドワークのルールとマナーについて理解する</p>					講 義	担当教員
3-10	5)6)7)	10~11月 フィールドワーク実践(10~11月中旬に1泊2日でフィールドワークを実践する) 紹介するフィールドワークのなかから個々の興味・関心や専門分野に関連するフィールドワークに参加する					実 践	総括・指導
11-12	8)9)10)	<p>活動報告と評価 活動報告① フィールドワークを通じて学んだことについて振り返る ①フィールドワークの自己評価を行う ②フィールドワークから感じたことならびにそこから見えた地域の課題についてレポートを書く ③少人数のグループ単位でフィールドワークについて感じたことや課題等についてまとめる ④少人数のグループ単位でフィールドワークから見えた地域の課題についてまとめ、発表の準備を行う</p>					演 習	担当教員
13-14	8)9)10)	<p>活動報告と評価 活動報告② フィールドワークを通じて学んだことについて振り返る ①少人数のグループ単位でフィールドワークについて感じたことや課題等についてまとめる ②少人数のグループ単位でフィールドワークから見えた地域の課題についてまとめ、発表の準備を行う</p>					演 習	担当教員
15	8)9)10)	<p>活動報告と評価 活動報告③ グループ単位で作成したプレゼンテーション・ポスター等を用いて発表を行う</p>					演 習	総括・指導



科目名	医療・福祉連携講座			授業コード	110201A401	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・薬学科・動物生命薬科学科・生命医科学科・臨床心理学科(1年)			ナンバリング	9CC123B02	AL 科目	○
担当者	正野(福・ス)他	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	<p>本学の学則第1条には「本学は(中略)国際化社会にに向けて、介護・福祉、医療、薬学に関する理論及び社会の問題を教育研究し、応用能力を持つ人格を陶冶することを目的とする」とある。医療・福祉を標榜する学部学科の教育理念に資するために大学共通科目として本科目が設定されている。</p> <p>本講では、学部・学科の教員がそれぞれの専門分野の視点から、医療・福祉・薬学などの専門領域の課題について学生の皆さんと考え、学生同士が意見・考えを共有しながら、それぞれの課題に取り組む姿勢を醸成することを目的とする(大学 DP1, 3:大学 CP[教育課程の編成 1, 3])。</p>						
学修目標	<p>1)医療・福祉の定義を説明できる。</p> <p>2)社会福祉学部、薬学部、生命医科学部、臨床心理学部のそれぞれの視点から国内外の保健と福祉の関係を説明することができる。</p> <p>3)医療・福祉を必要とする対象者に係わる専門職の連携(チームケア)の重要性を説明できる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	医療機関や研究機関等での実務経験に基づき、医療・福祉等専門職者としての新しい知見や解釈も取り入れた取り組みを行う。						
評価及びフィード バックの方法	各講義において、小テストやレポートを課します。						
準備学習・ 履修上の注意等	一部を集中にて演習を実施することがあります。スケジュールを確認してください。						
オフィスアワー	各授業の前後						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)2) 3)	ソーシャルワーカーの役割と連携のあり方を理解する 福祉				講 義	藤 原
2	1)2) 3)	東洋医学の考え方を基盤とした鍼灸治療と福祉との連携について 鍼灸				講 義	渡 邊
3	1)2) 3)	スポーツ・レクリエーション、救急救命士と医療・福祉とのかかわり スポ・救急救命				講 義	正野・西園
4	1)2) 3)	公認心理師の役割と連携のあり方を理解する 心理				講 義	松 山
5	1)2) 3)	言語聴覚士の役割と連携のあり方を理解する 言語				講 義	倉 澤
6	1)2) 3)	尿検査と医療・福祉				講 義	山 本
7	1)2) 3)	医動物と医療・福祉				講 義	西 森
8	1)2) 3)	白血病の診断と医療・福祉				講 義	宮 本
9	1)2) 3)	がん検診(がんの診断)と医療・福祉				講 義	二反田
10	1)2) 3)	医療・福祉における機器の役割				講 義	福 元
11	1)2) 3)	薬剤師の仕事(概要)				講義・演習	緒 方
12	1)2) 3)	薬剤師と考える緩和ケア「最後までその人らしく」支える薬とチームの力				講義・演習	櫻 間
13	1)2) 3)	薬剤師と向き合う認知症ケア「治す医療」から「支える生活」多職種で繋ぐ薬のバトン				講義・演習	櫻 間
14	1)2) 3)	薬剤師による一般用医薬品の選択				講 義	緒 方
15	1)2) 3)	「動物福祉について」 1.愛玩動物と動物福祉について考えよう 2.動物実験と動物福祉について考えよう				講 義	紺野・橋本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。必要に応じて資料を提供する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	ボランティア活動		授業コード	110151A401	単位数 (時間数)	1 単位 (30)	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・薬学科・動物生命薬科学科・生命医科学科・臨床心理学科(1年)		ナンバリング	9CC123B03	AL 科目	○	
担当者	藤原幸子(福・ス)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するボ リナーNo.	<p>ボランティア活動は活動は、私たち一人ひとりが身近なことから社会的問題を考えて主体的に取り組み社会参加活動である。ボランティア活動をとおして、地域社会に貢献する心を育み、身近な生活の課題や地域社会問題の理解と社会の参加を目指す。</p> <p>(スポーツ:DP1,2,3,4 臨床福祉:DP1,2,3 薬学科:DP1,2,4,5 動物生命:DP1,2,3,4,5 生命医科:DP1,2,3,4,5,6,7,8,9 臨床心理:DP1,2,3,4,5,6) (スポーツ:CP1,2,3,4,5,6,7 臨床福祉:CP1,2,3 薬学科:CP1,2,3 動物生命:CP1,2,3,4,5 生命医科:CP1,2,3,4 臨床心理:CP1,2,3,4,5,6 )</p>						
学修目標	<p>1)ボランティア活動の意義と意味について理解し、説明することができる。 2)社会的マナーを理解し、契約を守ることができる。 3)ボランティア体験を他者と共有するため演習等へ積極的に参加し、他者の意見に耳を傾け、自分の思いを言語化することができる。 4)報告書の意義を理解し、適切にわかりやすく、正確に書くことができる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	活動内容及び報告書(50%)、ファイル管理(10%)、レポート試験(40%)						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>前期最初の3回はオリエンテーション、ボランティア活動を行うための心得や社会的マナーなどの指導、ボランティアコーディネーター実践者からの講話、記録についてなどを事前学習として、座学で学ぶ。その後5月から翌年1月末までの間で10回程度のボランティアを実践し報告書を作成する。ボランティアを実施する場合は大学が認定したものに限る。後期は、活動実践の報告・振り返りの授業、到達目標に関するレポート試験の授業を2回実施する。受講者はボランティア保険に加入すること。</p>						
オフィスアワー	研究室前に掲示する。						

授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当
1	1) 2)3)4)	<p>【事前学習①】</p> <p>1.オリエンテーション</p> <p>①授業目標、意義、年間授業計画について理解する。 ②活動方法、手続きについて理解する。 ③授業評価、単位認定方法について理解する。 ④ボランティア活動のルールとマナーについて理解する。 ・窓口、ボランティア掲示板、学生連絡先の確認、自己紹介書の提出について</p> <p>2.講義 「今日におけるボランティアの意義」について理解する。</p>	講義 演習	担当教員
2	1) 2)3)4)	<p>【事前学習②】</p> <p>1.講義と演習</p> <p>①ボランティア活動とボランティア保険についてについて理解し、加入する。 ②年間ボランティア活動計画の策定について理解し、作成する。 ③活動報告書の意義と書き方について理解し、書くことができる。 ④ボランティア活動実践に向けての心得について理解する。</p>	講義・演習	担当教員
3	1) 2)3)4)	<p>【事前学習③】</p> <p>講義 ボランティア活動の実践事例を通して、ボランティアの内容を具体的に理解する。</p>	講 義	担当教員
4	1) 2)3)4)	<p>【ボランティア活動実践】</p> <p>ー5月から12月までに、10回のボランティア活動を実践する。 掲示板に紹介するボランティアから、個々の興味・関心や専門分野に関連するボランティア活動に参加し、活動報告書に記録を書く。活動報告書は教員の添削を受ける。</p>	実 践	担当教員
5	1) 2)3)4)	<p>【学習】</p> <p>1.演習 グループ内で活動参加状況の共有を図る。 今後の活動に向けての決意、抱負</p> <p>2.講義・演習 ボランティア活動報告書の共有 グループ内で活動報告書を回し読みする。 他者の報告書を読んで気づいたことを発表する。</p>	講義・演習	担当教員
6	1) 2)3)4)	【ボランティア活動実践】	実 践	担当教員
7	1) 2)3)4)	【ボランティア活動実践】	実 践	担当教員
8	1) 2)3)4)	【ボランティア活動実践】	実 践	担当教員
9	1) 2)3)4)	【ボランティア活動実践】	実 践	担当教員
10	1) 2)3)4)	【ボランティア活動実践】	実 践	担当教員

11	1) 2)3)4)	【ボランティア活動実践】	実 践	担当教員
12	1) 2)3)4)	【ボランティア活動実践】	実 践	担当教員
13	1) 2)3)4)	【ボランティア活動実践】	実 践	担当教員
14	1) 2)3)4)	【ボランティア活動実践】	実 践	担当教員
15	1) 2)3)4)	【活動報告と評価】 実践について振り返る。 ボランティア活動から得たものは何かレポートを書く。	講 義	担当教員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		

科目名	インターンシップ		授業コード	110202A401	単位数 (時間数)	1 単位 (30)	
配当学科(学年)	社会福祉学部・薬学部・生命医科学部・臨床心理学部(1年)		ナンバリング	9CC123B04	AL 科目	○	
担当者	山本(生命医科学部)、三苫(生命医科学部)、竹ノ内(生命医科学部)、二反田(生命医科学部)、興柁(薬学部)、日高(薬学部)徳永(薬学部)、園田(薬学部)、前田(臨床心理学部)、戸高(臨床心理学部)、稲田(社会福祉学部)、清水(社会福祉学部)、渡邊(社会福祉学部)、中野(社会福祉学部)、正野(社会福祉学部)、神田(社会福祉学部)	開講学期	2026 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・実習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	<p>本学の学則第1条には「本学は(中略)国際化社会にに向けて、介護・福祉、医療、薬学に関する理論及び社会の問題を教育研究し、応用能力を持つ人格を陶冶することを目的とする」とある。医療・福祉を標榜する学部学科の教育理念に資するために大学共通科目として本科目が設定されている。</p> <p>本講義では、医療・福祉・薬学などの専門領域の課題・チーム医療について考え、学生同士が意見・考えを共有しながら、課題に取り組む姿勢を醸成することを目的とする。</p>						
学修目標	<p>1) 医療・福祉の定義を説明できる。</p> <p>2) 社会福祉学部、薬学部、生命医科学部、臨床心理学部のそれぞれの視点から保健と福祉の関係を説明することができる。</p> <p>3) 医療・福祉を必要とする対象者に係わる専門職の連携(チームケア)の重要性を説明できる。</p> <p>4) 医療・福祉を必要とする対象者に係わる専門職の果たすべき役割について説明できる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	医療機関や研究機関等での5年以上の実務経験に基づき、医療・福祉等専門職者としての新しい知見や解釈も取り入れた取り組みを行う。						
評価及びフィード バックの方法	<p>本講義は、社会福祉＋心理、薬学、生命医科学の3つのパートからなる。それぞれのパートでレポートを課し、理解度合いをチェックする。</p> <p>学習への取り組み姿勢(レポートの質、総合討論への参加、発表時の質問など)を20%、レポート80%で単位認定を行う。</p>						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>社会福祉＋心理(講義演習5コマ)</p> <p>薬学科(講義演習5コマ): 薬剤師の業務から考えるチーム医療とは</p> <p>生命医科学科(集中5コマ): 臨床検査技師の業務の一部を体験する。</p>						
オフィスアワー	授業開始前開始後 担当教員が質問を受け付けます。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容			授業 方法	担当	
1	1)2) 3)4)	社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士の福祉専門職の役割と連携のあり方を理解する 福祉			講 義	稲田・清水	
2	1)2) 3)4)	東洋医学の考え方を基盤とした鍼灸治療と福祉との連携について 鍼灸			講 義	渡邊・中野	
3	1)2) 3)4)	スポーツ・レクリエーションと医療・福祉とのかかわり スポ			講 義	正野・神田	
4	1)2) 3)4)	公認心理師の役割と連携のあり方を理解する 心理			講 義	前 田	
5	1)2) 3)4)	言語聴覚士の役割と連携のあり方を理解する 言語			講 義	戸 高	
6	2)~4)	直前学習: 薬剤師の仕事学ぶ 薬剤師の仕事体験(1): 処方監査			講義・実習	興 柁	
7	2)~4)	薬剤師の仕事体験(2): 液剤の調剤			講義・実習	日 高	
8	2)~4)	薬剤師の仕事体験(3): バイタルサインの確認			講義・実習	徳永・園田	
9	2)~4)	総合討論(1): 体験をふり返り、チーム医療における薬剤師の役割を理解する			S G D	日 高	
10	2)~4)	総合討論(2): 体験をふり返り、チーム医療における薬剤師の役割を理解する			SGD・総合討論	日 高	
11~15	1)2) 3)4)	<p>1. 臨床検査とは何かを理解し、経験する。</p> <p>1) 一次救命を経験する。</p> <p>2) 心電図検査を経験する。</p> <p>3) 肺機能検査を経験する。</p> <p>4) 超音波検査を経験する。</p> <p>5) ヒトの血液細胞を顕微鏡で観察する。</p> <p>6) 各組織のがん細胞顕微鏡で観察する。</p>			演習・総合討論	三田・田村	
教科書(著者名)出版社名[ISBN]		使用しない。					

参考書(著者名)出版社名【ISBN】

使用しない。

科目名	哲学			授業コード	110120B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ(1年)、心理(1年)、動物生命(2年)			ナンバリング	5CC122B05	AL 科目	○
担当者	横山裕(臨床心理)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	どのような職業に就くにせよ、物事を分析的に理解し、論理的に判断を下すことは重要である。また、社会生活を営むに当たっては他者の存在を尊重し、その価値を理解できる感性も不可欠である。そのためには一人一人が物事を論理的、分析的に理解できる問題解決型の思考の技術を身につけておく必要がある(DP1,CP1)。本講義では物事を論理的に考えるためには具体的にどのように考えればいいのか、どのような手続き、手順を踏めばいいのかという哲学的思考法の基本を習得する。						
学修目標	1)哲学の定義、役割、歴史について概略的に説明できる。 2)哲学の社会的背景について説明できる。 3)日本人の意識構造について説明できる。 4)哲学の形式について説明できる。 5)哲学的思考法の基本形式について説明できる。 6)哲学的思考を実践的に運用展開できる。						
実務経験のある 教員による教育	非該当						
評価及びフィード バックの方法	15回目に講義内確認テストを行い評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	事前学習として毎回「検討課題」を提示するので、1 時間をかけ必要な情報をリサーチし、それに基づき自分なりの考察を準備して次回の授業に臨む。 【重要】講義の仕方について第1回目の講義で説明するので、履修者は必ず第1回目の講義から出席すること。						
オフィスアワー	時間割確定後、通知する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	哲学という言葉の由来(西洋と日本)を理解する。				講 義	横 山
2	1)	哲学の隣接領域である倫理学、論理学、美学の意味を理解する。				講 義	横 山
3	2)	哲学が生まれる社会的背景(社会構造)の意味を理解する(1)				講 義	横 山
4	2)	哲学が生まれる人間存在の意味を理解する				講 義	横 山
5	2)3)	哲学を生んだ西洋的思考を理解し、日本人の思考様式との差異を理解する。				講 義	横 山
6	1)2)3)	日本人の思考様式を支える日本語の歴史的特質について理解する。				講 義	横 山
7	4)	哲学が発生した初期ギリシャ哲学について理解する。				講 義	横 山
8	5)	古代ギリシャ哲学が衰退し、新たな哲学様式が発生した歴史的背景を理解する。				講 義	横 山
9	5)	近代哲学の枠組みを知る(1)大陸合理論				講 義	横 山
10	5)	近代哲学の枠組みを知る(2)イギリス経験論				講 義	横 山
11	5)	近代哲学の枠組みを知る(3)ドイツ観念論				講 義	横 山
12	4)5)6)	現代の哲学(1)実存主義を理解する				講 義	横 山
13	4)5)6)	現代の哲学(2)構造主義を理解する				演 習	横 山
14	4)5)6)	現代の哲学(3)ポストモダンを理解する				演 習	横 山
15	1)2)3) 4)5)6)	講義の要点を整理し、学習内容を総括的に理解する。				講 義	横 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義の中で適宜、助言する。					

科目名	倫理学			授業コード	110147B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2年)			ナンバリング	5CC222B02	AL 科目	○
担当者	横山裕(臨床心理)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	現在、各種職能団体にはそれぞれ独自の遵守すべき「倫理綱領」が設けられている。業務を介して他者の権利や自由を侵害することが厳しく禁じられているからである。侵害した場合、法的に罰せられることもある。そもそも、人間の行為の善悪はどのような基準で評価されるのか。「正しい行い」とはどのような行いのことなのか。倫理学はその「正しさ」の根拠を検証する学問である。本講義では倫理学の基本的内容を習得する。(DP1.3.CP1)						
学修目標	1)倫理学と自分の関係が説明できる。 2)倫理という言葉の意味(定義)と歴史が説明できる。 3)倫理学の三領域の構成について説明できる。 4)倫理が生じる仕組みを理解する。 5)倫理学の思考法を実践的に応用できる。						
実務経験のある 教員による教育	非該当						
評価及びフィード バックの方法	筆記試験 オフィスアワーなどを活用して個別にフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	【要注意】講義筆記ノートの作り方を第1回目の授業で説明するので、履修者は必ず第1回目から出席すること。						
オフィスアワー	時間割確定後に研究室ドアに掲示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	倫理学という馴染みのない学問が実は自分の個人的問題とどのように関係するのかを理解する。				講 義	横 山
2	2)	倫理という言葉の意味(定義)と歴史を理解する。				講 義	横 山
3	3)	倫理学という学問の三領域(メタ倫理学・規範倫理学・応用倫理学)の構成について理解する。				講 義	横 山
4	1)	日本における倫理学について理解する				講 義	横 山
5	1)	言語と倫理の関係について理解する				講 義	横 山
6	4)	倫理と宗教の関係について理解する				講 義	横 山
7	5)	倫理学の淵源を理解する(1)				講 義	横 山
8	4)	倫理学の淵源を理解する(2)				講 義	横 山
9	4)	倫理学の淵源を理解する(3)				講 義	横 山
10	5)	倫理が変化する要因について理解する(1)				講 義	横 山
11	2)5)	倫理が変化する要因について理解する(2)				講 義	横 山
12	4)5)	現代倫理の仕組みを理解する(1)				講 義	横 山
13	4)5)	現代倫理の仕組みを理解する(2)				講 義	横 山
14	1)2)3) 4)5)	今日の倫理実践問題を理解し、考えてみる				講 義	横 山
15	1)2)3) 4)5)	講義で学んだことの要点を確認し、知識を整理する。				講 義	横 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて別途指示する。					

科目名	社会学		授業コード	110075B401	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・動物生命薬科学科・臨床心理学科(1年)		ナンバリング	5CC121B05	AL 科目	○	
担当者	山本 順之(福・ス)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態 講 義	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リデーNo.	社会福祉分野で職業活動に従事し、福祉社会の創造的な担い手となるうえで必要となる、社会および人びとの社会生活を理解し、これらの事象を洞察する能力を習得する。また、社会学の基本的な考え方と主要な理論を学び、私たちが生きる現代社会の構造や問題を多角的に理解する力を養う。家族、教育、メディア、スポーツ、格差など身近なテーマを題材に、社会の仕組みや人間の行動がどのように形成されるのかを考察する。講義だけでなく、ディスカッションや事例分析を通して、社会を批判的に捉える視点を身につけることを目的とする。DP①②③④CP1①②⑦2①						
学修目標	1)人びとの生活営為を社会のありように結びつけて説明できる。 2)個人と社会の関係を説明できる。 3)社会集団と組織の構造と機能のについて説明できる。 4)家族を社会事象として説明できる。 5)社会問題や逸脱問題を分析し、説明できる。 6)社会学における主な社会理論を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価及びフィード バックの方法	学期末試験および授業への取り組み姿勢を総合的に評価する。 定期試験(60%) 課題(レポート)(20%) 講義内における総合的姿勢(20%)						
準備学習・ 履修上の注意等	毎回の授業終了後に、授業時に配布する課題を3時間(授業全体で45時間)以上熟読し、復習すること。						
オフィスアワー	月曜日2限、火曜日2限						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	社会システムの概念及び社会と文化を理解する。				講 義	山 本
2	1)	社会階級と社会階層の概念及び現代社会の階層構造を理解する。				講 義	山 本
3	1)	社会変動の概念及び近代化、産業化、都市化、情報化について理解する。				講 義	山 本
4	1)	現代社会の人口構造及び少子高齢化の現状その他の人口問題を理解する。				講 義	山 本
5	1)	地域、コミュニティの概念及び都市化と現代の地域社会の諸問題を理解する。				講 義	山 本
6	2)	社会的行為と社会的相互行為について理解する。				講 義	山 本
7	2)	社会的地位と役割の概念を理解する。				講 義	山 本
8	3)	社会集団の概念及び社会集団の諸類型を理解する①。				講 義	山 本
9	3)	社会集団の概念及び社会集団の諸類型を理解する②。				講 義	山 本
10	3)	組織と官僚制について理解する。				講 義	山 本
11	4)	家族の概念及び家族の類型と形態、機能等について理解する。				講 義	山 本
12	5)	社会病理と逸脱について理解する。				講 義	山 本
13	5)	社会的逸脱に関する諸理論について理解する。				講 義	山 本
14	6)	A.コント、H.スペンサー、M.ウェーバー、K.マルクス等の社会理論を理解する。				講 義	山 本
15	6)	E.デュルケム、G.ジンメル、テニース等の社会理論を理解する。				講 義	山 本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		第1回目の授業の際に指定する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		授業で参考文献等を提示する。					

科目名	心理学概論		授業コード	121537B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(1年)、スポーツ健康福祉学科(1年)		ナンバリング	5CC111B01	AL 科目		
担当者	内藤 健一(臨・臨)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	講義科目	授業形態	
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	健常児(者)の基本的な心理学的知見を身につけた心理や福祉などの専門家となるために(スポーツ健康福祉学科:DP(3):専門的知識・技能の活用力、臨床心理学科:DP(3):実践力)、感覚と知覚、学習、記憶、性格、概念、対人行動、情動についての基本事項を修得する(スポーツ健康福祉学科:CP1(2):福祉・医療共通科目、臨床心理学科:CP1(1):基礎共通科目)。						
学修目標	1) 感覚、知覚に関する基本的な現象と理論を説明できる。 2) 学習に関する基本的な現象と理論を説明できる。 3) 記憶に関する基本的な現象と理論を説明できる。 4) 性格に関する理論を説明できる。 5) 概念に関する理論を説明できる。 6) 対人行動に関する基本的な現象と理論を説明できる。 7) 情動に関する理論を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし。						
評価及びフィード バックの方法	学期末の単位認定試験 100%。						
準備学習・ 履修上の注意等	1コマ当たり4時間を目安に予習(次の回のレジュメを読むこと)・復習(その日習ったレジュメの内容を復習すること)をおこなうこと。						
オフィスアワー	毎週火～金曜日 12:15～13:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	感覚、知覚(1):感覚の種類とその性質, 形の知覚, 錯視				講 義	内 藤
2	1)	感覚、知覚(2)感覚の種類とその性質, 形の知覚, 錯視				講 義	内 藤
3	2)	学習(1):学習とは, 古典的条件づけ, オペラント条件づけ, 技能学習				講 義	内 藤
4	2)	学習(2):学習とは, 古典的条件づけ, オペラント条件づけ, 技能学習				講 義	内 藤
5	3)	記憶(1):記憶の3過程, 記憶の区分, 記憶術				講 義	内 藤
6	3)	記憶(2):記憶の3過程, 記憶の区分, 記憶術				講 義	内 藤
7	3)	記憶(3)::記憶の3過程, 記憶の区分, 記憶術				講 義	内 藤
8	4)	性格(1):性格とは, 性格類型論と性格特性論				講 義	内 藤
9	4)	性格(2):性格とは, 性格類型論と性格特性論				講 義	内 藤
10	5)	概念(1):概念, 概念の型, 概念形成, 概念的表象				講 義	内 藤
11	5)	概念(2):概念, 概念の型, 概念形成, 概念的表象				講 義	内 藤
12	6)	対人行動(1):対人距離, パーソナル・スペース				講 義	内 藤
13	6)	対人行動(2):対人距離, パーソナル・スペース				講 義	内 藤
14	7)	情動(1):情動とその分類, 怒りと, そのコントロール				講 義	内 藤
15	7)	情動(2):情動とその分類, 怒りと, そのコントロール				講 義	内 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。講義レジュメを配布する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜紹介する。					

科目名	日本国憲法			授業コード	110127B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(2年)			ナンバリング	5CC221B02	AL 科目		
担当者	山崎 知佳(非常勤講師)	開講学期	2026年度前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義	
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	1947年に施行され、70年以上も存在した憲法が、2014年7月の安倍内閣による閣議決定で憲法解釈が変更された。そして、国民投票法も改正され、憲法改正が問われる今日に主体的に生きるために、日本社会法秩序の基礎法である憲法の本質、国の統治構造について理解を深める。また、憲法は国家に関することのみを定めた法ではない。人はみなかけがえのない大切な存在であること、実社会では話し合いで民主的に決められていくこと、多数決でも奪ってはならない大切なものがあるといった人間社会の根本にあるものを定める法でもある。個人の尊厳を大切にしながら社会で生きるために、人権の種類や意味を理解し、現実に起きた事件を紐解きながら、憲法がもつ法的思考を修得する。							
学修目標	1)憲法の意味、体系的位置づけについて理解を深め、日本国憲法の基本原則について説明できる。 2)前文及び11章103カ条からなる日本国憲法の体系について理解し、個々の条文の意味を簡潔に説明できる。 3)日本国憲法の制定過程について理解を深め、天皇の地位、9条等明治憲法との相違を説明できる。 4)条文が示す人権の意味について理解を深め、考えられる。 5)人権をめぐる諸問題について理解を深め、人権にどのような制約・衝突が生じ、問題が起こるのかについて思考できる。 6)三権分立による我が国の統治機構について三権それぞれの権能について簡潔に説明できる。 7)憲法保障及び憲法改正手続について理解を深め、そのしくみについて説明できる。 8)判例を理解し、具体的事例に当てはめ、法的思考を養うことができる。							
実務経験のある 教員による教育	特になし							
評価及びフィード バックの方法	毎回の授業中の振り返りと授業中のSGDにより形成的評価を行う。毎回の学習態度(態度・提出物等)を総合的に勘案し(50%)、学期末の単位認定試験(50%)にて、総括的評価を行う。 授業中に課題を出し回答をさて次回の授業でフィードバックする。							
準備学習・ 履修上の注意等	授業の範囲の部分についての法律条文については、必ず読んでおくこと。授業の出席を前提とし、必ず復習し自分の思考を整理しておくこと。憲法の条文については、毎授業持参すること。 大学固有の自己思考を作る機会として、積極的に自らの知識・情報を生かし、また吸収していく場としているかの自らの授業態度も重要である。 SGDでは、間違ってもよいので、自分の考えを述べることを。疑問があればSGD間にグループ単位での質問を推奨する。 また、授業に関する疑問は、直接質問し解消することを推奨する。							
オフィスアワー	講義前後の可能な時間							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	憲法とは何か …法体系、法の支配、近代立憲政治の原理					講 義	山 崎
2	1)3)	日本国憲法の制定過程 …日本国憲法の構成原理・明治憲法との相違					講 義	山 崎
3	1)2)4)	前文・戦争の放棄、天皇の地位と権能 …背景にある思想とその問題点、第9条の諸解釈とその問題点					講 義	山 崎
4	2)4)5) 8)	国民の権利及び義務(1) …人権を支える基本原理、人権の限界					講 義	山 崎
5	2)4)5) 8)	国民の権利及び義務(2) …精神的自由					講 義	山 崎
6	2)4)5) 8)	国民の権利及び義務(3) …精神的自由権					講 義	山 崎
7	2)4)5) 8)	国民の権利及び義務(4) …経済的自由、人身の自由					講 義	山 崎
8	2)4)5) 8)	国民の権利及び義務(5) …参政権、義務					講義・SGD	山 崎
9	2)4)5) 8)	基本的人権の制約原理、教育に係る権利、義務					講義・SGD	山 崎
10	2)6)	選挙権、被選挙権 国会 …権力分立の意味及び国会の権能					講 義	山 崎
11	2)6)	統治 …行政権の概念・議院内閣制・内閣の権能、地方自治					講 義	山 崎
12	2)6)	司 法 …司法権の意義と裁判所の権能					講義・SGD	山 崎
13	2)4)5) 8)	国民の権利及び義務(6) …社会権、受益権					講義・SGD	山 崎
14	2)4)5) 8)	今日の人権 …新しい人権と包括的基本権					講義・SGD	山 崎
15	2)7)	これからの憲法の在り方 …憲法保障・憲法改正手続					講義・SGD	山 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。※随時プリントを配布						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		憲法 第八版(芦部 信喜・高橋 和之 補訂) 岩波書店 有斐閣双書 憲法入門 第四版 補訂版(伊藤 正巳) 有斐閣 いちばんやさしい憲法入門[第七版] 有斐閣アルマ Interest(初宿 正典(著)、高橋 正俊(著)、米沢 広一(著)) 有斐閣						

科目名	経済学			授業コード	110059B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2年)			ナンバリング	5CC221B03	AL 科目	○
担当者	金谷 義弘(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソンNo.	<p>この世の中で人は生きています。この世の中とは人間社会です。福祉に携わろうと、スポーツ振興に関わろうと、臨床心理を活かして多様な人々の自己実現の支援にかかわろうと、私たちの社会的活動には「企業・組織の運営」と「経済的基盤」があるのです。あなたの社会活動に資源配分が必要だという自明のことは、(1)実社会での活動は全て「経済的基盤」を持っているということです。(2)この経済基盤は、静止状態にあるのではなく、時々の技術革新によって常に変動・刷新されています。あなたも近々その「担い手」になる社会経済は、それぞれの社会領域の下で、この技術基盤の絶えざる変動と社会経済の展開にさらされて変異し続けているのです。したがって、(3)その変異の影響を受ける中、就職したあなたの専門性をこの変異にたいして如何に活かし高めるかという課題、これが強いられていきます。</p> <p>そこで本授業「経済学」の任務は、以下の四点です。</p> <p>(1)専門性だけで生きていけないものではありません。あなたの専門性を活かすためには、社会経済現象の眼前の変化を理解する「実践的な眼」を育てること、</p> <p>(2)現代だけに眼を奪われるのではなく、歴史的な経過の中において「今！」を捉える感覚、そこから「これからど～なるッ！」と把握する「歴史的で現代的な位置感覚」を養うこと、</p> <p>(3)特に、2026 年の今、ウクライナとロシアの戦争、アメリカのトランプ政権の民主主義や法の支配を無視した乱暴な政治や軍事、僕のかつての卒業生からも「これからどうなるのか?！」という切実な疑問が寄せられています。彼らからは「もう一度、大学に戻って学びたい。在学中は不十分で、後になったこんな貴重な時間を大事にしてこなかったと思う」などの声も聞こえてきます。おそらく、皆さんも国内外の事実を知れば知るほど、そうした疑問が湧くでしょう。</p> <p>(4)経済・経営、法と制度、行政などが、あなたの専門の医療や福祉などあらゆる社会領域に影響してきます。あなたを苛むことすらあると把握し、社会の様々な弊害から身を守りながら自立・自律する課題があること、などを理解することです。</p> <p>本講義は、そうした四つの観点に立って授業を行います。そのために、皆さんが活動する福祉やスポーツなどを包み込む、現代経済の仕組みを数学抜きで、どちらかというと物語的に「大きく太く」捉えて分かりやすく進めます。</p> <p>僕の息子の一人は、この大学を出て頑張っています。心理学を学び、埼玉・名古屋の大学院に進み、今はなんと日本自動車メーカーでなんと「開発」の仕事をしています。これは自動車は工学エンジニアだけが作るものではないということを意味しています。多数の安全システムや自動運転が装備される中、自動車の在り方が新に問われていることを意味します。息子を育てて下さった大学に僕は感謝していて、手を抜くことなく頑張って授業を行います。15 回休まず受講して下さい。どうか宜しく!</p> <p>このように広く社会経済というものをとらえると、時代を生きる「大局観」があなたの中に生まれること、それが本講義の目標です。ゆっくりと、しかし着実に学んでいきましょう。</p>						
学修目標	<p>★本講義の目的★</p> <p>資格というもの、それを持つものだけに「一定の活動」を独占させるものです。だから資格は重要です。しかし、資格だけで生きていけないものではありません。資格は資格を「活用できる幅広い視野に支えられ」てこそ生きるものです。この「能力の幅というものを教えるという理想」を、大学は持っているのです。そのためには社会を見渡す社会経済的な視野が不可欠なのです。そこで、本講義の到達目標は以下の諸点です。</p> <p>1)経済現象を理解できる見方・感覚を身につける。時代の変化に「敏感」になること(社会人になっても新聞を読み続けることもここに入ります。SNS だけでは真実の情報は手に入りません)、</p> <p>2)経済現象を歴史的な変化・発展から理解できること、</p> <p>3)技術革新と経済発展の観点から、現実を見ることができると、</p> <p>4)医療や福祉などの経済が、自動車や情報通信などの産業諸分野とどのような特性を持つかを、この授業を越えて大学生活全体で体得・把握できること、</p> <p>5)もって、社会で仕事や課題(それは日々皆さんの専門性を越えた総合力を要求することになります)を分析し、仲間と力を合わせて戦略立てるとい目標が存在しており、聴講生の各自がこの目標を自らに「ビルトイン」すること、</p> <p>6)最後に、これからも変化・発展する日本における社会・経済・政策と制度変化に「警戒心」を持ち、これに合わせて、応じて新に必要な専門的情報を探し出せること。</p> <p>★目標達成の方略—Chat を併用した遠隔授業の環境で何ができるか?—★</p> <p>この目標達成のために、</p> <p>1)[講義]あなたのこれまでを回顧し未来を展望するために、多数の具体例を挙げつつ経済の原理・歴史・現状を口述する。</p> <p>2)[毎回の 500 字レポート]自分自身の専門性の関心を取り入れて書いてもらい、アップした「ChatWork」を通じて、サツとでも良いから、必ず他の受講生の発言からも学んで下さい。</p> <p>3)金谷はこれに対して、高等数学など使わず、分かりやすいコメントを行なう。これを必ず読んで、次のレポートや最終レポートに活かして行って下さい。授業が終わる頃には、あなたは一定の表現力と更なる改良のヒントをつかむでしょう。</p> <p>4)あなたが、他の受講生や僕に見て貰いたい Web 記事があれば、Chat に「URL」を貼り付けて、簡単なコメントを書き込んで下さい。</p> <p>5)「レポートを出さなければ、僕のコメントを読む時間はない!」にしないで、忙しいだろうが、質問や、他の受講生のレポートへのコメントなどをすれば、重要な加点要素として取り扱う。</p> <p>6)十分、皆さんの顔も僕の顔も見えません。発問について恥ずかしいと思わないで素朴な疑問(だいたい素朴は疑問はとても皆のために役立ちます!)を出す、ちょっと前向きな気持ちを最後まで持って下さい。</p>						
実務経験のある 教員による教育	<p>僕の現在のテーマは「生成 AI や AI エージェントの社会実装」という極めて今日的なものです。簡単にですが、AI の原理やその限界、2022 年 11 月の ChatGPT 登場以降の劇的な技術革新(☞ 皆さんの将来の仕事にも波及しますよ!)についても、またトランプ政権・イラン・イスラエルなどの戦闘の背後にある、エネルギー問題も取り上げます。全ては簡潔にあなたの専門性を活かす知識のためにです。そうしたことを考えている僕は、...</p> <p>道具を使って加工を行う手工業の生産から、機械による生産への移行を、金谷が僕は生まれた京都の伝統産業の一つ「京扇子」のメーカの一員として8年間に担った(金谷竹材工芸)。内容的には、</p> <p>(1)機械の設計・開発、</p> <p>(2)旋盤・電気溶接による部品製造、</p> <p>(3)やがて工場レイアウトの見直しや従業員の安全・衛生管理を行ったり、</p> <p>(4)経理と資金繰りである。</p>						

当時、僕は高校生であるため、父親の名前であったが、設計・開発で工場内で有効だった新技術(扇子の要[かなめ]における「カシメ」工程の機械化で、既製品のカシメ機の弱点を克服して「扇骨の塗料を傷めずに、座金とシャフトとこれをかしめるインパクト」の形状と動作の制御に関わる開発)で二件特許を取得した。

その後、南九州で大学教員として働いた時期にも、家業の新しい機械化の開発などで討論・協議を行った。

この経験は、1998～1999年のベルリンでの在外研究や、その後の渡欧に伴う欧州製造業(自動車・自動車部品・二輪車・半導体・電気機械など)の調査研究に役立つ興味関心や取材先の状況への着眼点を作ってくれました。

これらは本講義での、英・米・独・仏などの19世紀における産業革命における技術革新から、現代の物のインターネット、AI・AIエージェント・フィジカル AI など、新しい諸現象につながって行きます。

**評価及びフィードバックの方法**

A 本授業は遠隔授業の集中講義です。

B 資料配付に基づいて授業をライブで行います。受講生の皆さんの反応を把握しにくいので Chat を併用します。Chat には、電子掲示板のようなもので、あなたに時間ができた時なら 24 時間いつでも閲覧・書き込みができます。ここに毎回の簡潔なレポートをアップして貰います。

C Chat にアップされたレポートは、受講生全員が閲覧できます。本授業では、★受講生のこの点への了解を前提に受講を認めます★。

D 授業担当者の金谷は、時間がある範囲内ではありますが、Chat 上で提出されたそれ

**準備学習・履修上の注意等**

(1) 経済学を学ぶことは、数学を学ぶこと、統計学を学ぶこととは同じではありません。本授業では数学を使わず、むしろ現代社会に将来起こることを予見し、自分自身をどのように育むかを構想することに効果があるように授業を行います。皆さんの専門教育と異なり、「自分の技能を現代社会の中に位置づける力」を涵養することが大事なのです。

(2) 生まれてから今まで皆さんの親はいくらくらいお金を使ったか、就活にいくらお金が要るか、結婚や子育てにいくらくらいかかるのか、これも経済学の対象です。その延長上に、皆さんの職場の現況を感知する理解力・広い視野の獲得が問題になるのです。

(3) 資料は、十分読むに値するように書かれていますので、Chat にアップロードされたら予習し、授業後のレポート作成時に復習に使って下さい。

(4) 第一回目は、大学に入るまでにどれだけのお金をご両親が使ったか？これから就職や結婚、住宅取得などどんなライフイベントがあって、どんなお金が要るかなど学びます。第二回目では、今、世界を震撼しているアメリカ・イラン・イスラエルなどの戦争の、その背景をなす「エネルギー問題」を取り上げます。

(5) 適切な時期に、最終レポートの問題を複数選択できるように「事前公開」します。

(6) 毎回配布の資料は、溜まって行って「膨大になる」ので、毎回きっちりファイリングして見直し、「授業全体を見通した」復習をされたい。

★経済という社会の「威力」はすべての日本人・世界の人々の行動に深く影響をしてくるものです。

→ ◆「ついでにやる教養科目」などと思わず、実社会に出て生き、働く上での大事な知見だとの目的意識を持って臨んで下さい！◆

(1) 遠隔授業・集中講義という二つの制約がありますが、ICT の有効利用で、AL の実施に務めます。

(2) 毎回レポートでは、500 字標準(多くの場合は AL 的性格によって字数制限を越えたことが毎年起こっています)の短いものにします。

(3) その受講生にしか書けないような「質問を提出」してもらいます。ですから AI のコンテンツなんて使わないでね。だって、僕は AI に関する論文を今でも書き続け、中央大学、大阪大学、岡山大学などで報告する専門家です。すぐに「これは AI のコンテンツだ！」と見抜いてしまいます。

(4) この質問は、初回に指示する期限内に、受講生全員が読める「Chat」にアップしてもらいます。Chat に入れる手続きも指示します。

(5) 非常勤講師の金谷は、オフィスアワーがありません。でも受講生と私の一対一の「ダイレクトチャット」などでど～ぞ！

(6) 質問を出す「500 字レポート」でも質問を「言語化する」のが難しいと感じる場合がありますが、

→ 受講生の皆さん、だんだん上手くなってくれたら良いと思います。

→ 金谷のコメントを受けて、再質問は「OK！」です。これは内容が良ければ、加点要素になります。

(6) こうした「応答的環境」を提供していくと、一方的な遠隔授業ではなく、意外に良い深さができます。

→ 私は 70 才ですが、もう既に 38 年ロードバイク(ドロップハンドルの長距離競争自転車)に乗っています。宮崎大学では自転車部の自分もガンガン走る「顧問」でした。

→ また、13 才から 58 年フルード吹き続けています。Berlin ではストリートミュージシャンやってみました。

→ こうしたことも経済の話題につながります。休憩室と称して、経済に関係なさそうに見えるものも、金谷の側でアップする場合があります。遊んでいるのではなく、その意図を予測して下さいね。

**オフィスアワー**

非常勤なので、

(1) 事前に皆さんと準備をして、第 1 回の授業で運用を始める Chat(ChatWork)を使って問い合わせされたい。じいさんなので、多様な人生相談にも応じます。留学やドイツ人研究者との共同研究でベルリンに居た頃は、クラシック系も OK で、ストリートミュージシャンもやっていました。1時間1ギグ 10,000 円以上になりました(笑)。なので、何故、ウィーナーワルツがウィーン(オーストリア首都)で盛んになったかの社会経済背景など、オーストリア産業革命との関係で話すなどなんでもします(笑)。Ado が

授業計画				
回数	学修目標 No.	授業内容	授業方法	担当
1	6), 1)	【第 1 回「生活費の経済学 - 大学入学まででいくらかかった？これからは？ -】 ・親が支払った大学入学前の費用総額、大学在学中、就活費用、結婚・出産、住宅購入、保険(生損保医療)、教育費、相続、介護等々。聞いてびっくり、知ってびっくり。 ・そしてだんだんと親への経済的な依存の重さを知り、就職と社会的自立について深く考えるようになれる。	講義(Zoom)	金谷
2	1), 5), 6)	【第 2 回 昔ながらの Google 検索とここ 3 年普及した「ChatGPT」などの生成 AI を如何に活用するか - 本当の情報はどこにある？それを Web からどう取り出すか -】 A.これは◆就活などに直結するノウハウ講座◆です。当面は、本授業に、でも特定の業界や社会経済の情報収集は、就活や就職先での勤務での活用こそ力を発揮します。 B.この授業を終えると、よほど例外的でない限り、これまでの皆さんの検索能力は、極めて「偶然的で Google や ChatGPT が使いこなせていない！」という事が判明するはず！	講義(Zoom)	金谷
3	1), 2), 3), 6)	【第 3 回「経済学への入り口: 貨幣と ICT・Web 化の経済学 - プリペイド・デビット・クレジットカードから -】 A.まずは市場経済の基本をなすお金(貨幣)の話から始めますが、千円札と Waon や nanaco、クレジットカード、デビットカードなど、身近な現金とキャッシュレスの話から。 ・授業の準備: 千円札、あれば 5 千円札、1 万円札と、あればルーペを用意して下さい。	講義(Zoom)	金谷

		B.ポイント付与を使って、こちらでは nanaco, こちらは Waon, こちらは Suica と、各社囲い込みの競争を展開している。その仕組み		
4	1), 2), 3), 6)	【第4回「商品と貨幣の経済学 - その1.商品とは何か? -】 ・最初に「商品とは何か?」商品の使用価値と、日々変動する価格の中心にある価値とがどのようなものか? ・「需要と供給」で商品の価格が決まると高校では教えられる。でも、皆さん!店頭で「値切った」ことありますか?値引き交渉、やったこと無い人、大変度胸が要りますよ! ・次に「貨幣とは何か?」その諸機能。第二回目はこの辺で時間切れです。		金 谷
5	1), 2), 3), 6),	【第5回「商品と貨幣の経済学 - その2. 古今の貨幣, そして何故、歴史的に貨幣が生まれたか? -】 ・欧州の Euro 以前の各国の紙幣とコインを中心に、各国の「お金」を見ましょう。 ・日本銀行券という世界的な優れものの紙幣の「偽造防止システム」を「発見」しましょう。 ・貨幣の機能には、価値尺度、流通手段、支払手段、蓄蔵貨幣、世界貨幣などの諸機能があり、その複合体として貨幣を把握してね!		金 谷
6	3), 1), 2), 6)	【第6回「産業革命と資本主義経済確立の経済学 - その1. イギリスの産業革命 -】 ・「道具」と「機械」はどう違う? ! ・19世紀イギリスでの機械化の技術革新と「綿紡績・綿織物産業」。 ・人力・畜力・風力を越えた「動力革命」としての蒸気機関、その燃料としての「石炭」。 ・綿紡績と綿織物という軽工業をコアにしたイギリスの産業革命。 ・資本家が生まれてきて、アイルランドなどから来た人々も含めて多数の労働者を雇う。 ・動力革命は、工場で蒸気機関を使って、船にのっけて蒸気船、レールの上の車にのっけて蒸気機関		金 谷
7	2), 3), 1), 4), 6)	【第7回「産業革命と資本主義経済確立の経済学 - その2. イギリスから世界へ広がる産業革命 -】 ・イギリスに対抗して、産業革命は19世紀に欧州・アメリカ・日本に広がる! ・生み出されたのは、機械制大工業になった帝国と、それ以外が彼らの植民地だ。 ・この経済発展の影響を受けて、経済以外の様々な国民生活が変化したよ。巨大都市の形成、婦人の勤労者の増加、植民地のモノカルチャ化、国境・大陸を越える移民、鉄道・定期航路・運河・電信(=通信)のネットワークが世界を覆う! → 生み出されたのは自力で活動する資本		金 谷
8	2), 3), 1), 4), 6)	【第8回「20世紀大量生産の時代と産業循環の経済学 - アメリカ1920年代と大恐慌への転変 -】 ・産業革命は19世紀を通じて、イギリスから大陸欧州へ、アメリカへ、世界へ。そして「植民地アメリカ」は「先進資本主義国アメリカ」に変貌して20世紀を迎えた! ・H.フォードとT.エジソンの時代、道路建設、水より安いガソリン、電化、そして住宅建設。 ・「投資が投資を呼ぶ」経済発展と大量生産・大衆消費社会・バブル経済の時代。 ・そして、1920年代アメリカの経済発展の反動としての大恐慌。		金 谷
9	2), 1), 3), 4), 6)	【第9回「流通業の経済学 - 20世紀初頭の Sears と現代の Amazon の対比 -】 ・カタログ通販によって流通革命を起こした Sears, 工業デザイナーを自ら育成して定期的にカタログ販売し、郵便で注文し、発送工場から送付する。 → 何故、シアーズさんは成功したか? ・対して、現代のeコマースの Amazon。更に、AWS(Amazon Web Service)の Amazon。 ・両者を対比して、何が変わった?何が変わらない?!		金 谷
10	1), 2), 3), 4), 5), 6)	【第10回「どのようにして利潤が生まれるのか!の理論経済学】 ・「投資」-「生産」-「投資+利潤」のサイクルから成り立つ資本主義経済。 ・賃金は、衣食住・修養・次世代育成の諸経費からなる。 ・賃金労働者を雇って、機械設備や原材料を与え生産させる経済システム、これが利潤を生む。それが資本主義経済だ。		金 谷
11	3), 1), 2), 6)	【第11回「市場における優位を巡る競争の理論経済学】 ・同じ商品を作っても、各企業毎の生産性やかかる費用は異なる。そこに競争優位を巡る企業の利潤追求の競争が成立する。 ・資本主義経済では、何故、企業が常に技術革新に駆り立てられるのか? ! → 市場の競争を越えて、機械や工場、輸送手段などがどんどんの巨大化する理由を考える。産業革命などの理由が、何故今 AI 化や自動車の EV 化・自動運転化などが大騒ぎになるのかの理由が見えるようになります。 ・それが年々歳歳繰り返される! 企業はどんどん大きくなる。経済全体では		金 谷
12	1), 2), 3), 4), 6)	【第12回「ChatGPTを生み出した OpenAI とそこに資金を提供した Microsoft は何を意図しているのか?! - インターネット革命に次ぐ大変動! 生成 AI が如何に社会を変えるのか?! -】 ・ニューラルネットワークとは何か? AI とは何か? ・もう使った人はいますか? OpenAI 社の「ChatGPT」か? Microsoft 社の「Copilot」か? Google の「Gemini」か? → 日本語や英語で AI に聞くと、信じられないほど綺麗な日本語や英語で(自然言語で)瞬時に答えが返ってくる! → 日本語		金 谷
13	1), 2), 3), 4), 6)	【第13回「経済発展により経営学が生まれる経済学 - 何故、20世紀初頭に「アメリカ経営学」は生まれたか? -】 ・機械制大工業の工場は巨大化する。 ・指揮命令は誰がする? 経営者が親方に任せる時代は限界を迎える。 ・その中でどんな経営=マネジメントが生まれたか? 限定してアメリカ経営学の初期を追跡する。		金 谷
14	1), 2), 3), 4), 5), 6)	【第14回「『道の駅』の経済学 - 地域のサプライチェーンの補強と経済浮揚 -】 ・「道の駅」は農産物販売所とどう違うの? 何か基準があるの? 誰が運営しているの? ・特産物が並べられて売ればいいね。でも、やばい物産が並んだりしない? ・地域にどのくらいの効果があるの? ※ この回の500字レポートは、受講生自身の出身地やなじみのある「道の駅」の紹介レポートになります。		金 谷
15	4), 1), 2), 3), 4), 5), 6)	【第15回「医療の経済学 - 医療保険・薬価・アクセス -】 ・医療機関の基本的特徴=専門家集団、非営利、...。 ・国民皆保険とは何か? ・技術革新、ICT・AI 化の波は、非営利の医療(や福祉、更にはスポーツにも及ぶ!)。 ・そうした変化の中で専門家集団を支える「資格」は如何に変化するか?		金 谷

※ この回などは、授業開講期間における大きな社会経済上の出来事などに対応して、ものづくりの経済学、プラットフォームの経済学などに変更する場合があります。

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	(1) 特になし。 (2) Window に開かれたファイルは、なかなかインパクトが弱く、500 字レポート執筆のために授業時間中にひらめいた「メモ」は、レジユメから切り離されてしまいますね。 (3) 配布資料を印刷して授業にのぞみ、書き込みをするようにしてほしい。
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	参考文献や Web サイトについては、逐次、授業中に配布資料にて指摘して行く。 配布資料は毎回「読み返せる資料」として多数配布するので、毎回、ファイリングを確りしないと、最終試験に当たる「最終レポート」執筆時に混乱します。ご注意！ 参考書とは言いにくいけれども、読んで欲しいのは、以下の三つかな？！ (1)新聞、 (2)経済系週刊誌(普及して今はコンビニにも置いてある場合がある『週刊 東洋経済』、『週刊 ダイヤモンド』、『週刊 エコノミスト』)。 → 毎週、これらには「特集」が組まれているので、見つけたら立ち

科目名	生物学	授業コード	110101B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)		
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(1年)		ナンバリング	5CC122B06	AL 科目		
担当者	坂本 博(生命医科学)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	スポーツ健康福祉分野や臨床心理学分野においては、人間を含めた生物に関する基礎的・専門的知識の習得やそれを活用した問題発見・解決能力がきわめて重要である。生物学とは生命体の構造と働き、連続性、反応と調節、環境との関わりを理解しようとする学問分野である。本授業では生命体について理解を深め、生物学的なものの考え方を身につけることを目標とする。						
学修目標	1)生命体の構造と働きを説明できる。 2)生命体の連続性を説明できる。 3)生命体の反応と調節を説明できる。 4)生命体と環境の関わりを説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	・学習への取り組み姿勢(課題の提出、質問など授業への参加)を 20%及び学期末試験を 80%として評価を行う。 ・提出課題についての講評・解説については、原則として次回授業時に行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	高校の生物学で学習したことを復習しておいてください。 講義後の復習を重点的に行い、疑問があれば質問してください。						
オフィスアワー	月曜日、水曜日、金曜日 12:30 ~ 13:00 1 号棟 B-323						

#### 授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当
1	1)	細胞の構造と生命誕生	講 義	坂 本
2	1)	生命体を構成する物質	講 義	坂 本
3	1)	遺伝子の構造と機能 1	講 義	坂 本
4	1)	遺伝子の構造と機能 2	講 義	坂 本
5	1)	生体とエネルギー	講 義	坂 本
6	1)	光合成と窒素同化	講 義	坂 本
7	2)	細胞の分裂・情報伝達・がん化	講 義	坂 本
8	2)	生命体の受精と成長	講 義	坂 本
9	3)	多細胞生物の自己維持機能 1	講 義	坂 本
10	3)	多細胞生物の自己維持機能 2	講 義	坂 本
11	3)	遺伝の仕組みと遺伝病	講 義	坂 本
12	4)	生物と環境がつくる生態系	講 義	坂 本
13	4)	生物の進化と多様性	講 義	坂 本
14	4)	生命科学技術と社会	講 義	坂 本
15	1)-4)	総まとめ	講 義	坂 本

教科書(著者名)出版社名【ISBN】 やさしい基礎生物学(南雲保 編著) 羊土社 ISBN: 978-4-7581-2184-2

参考書(著者名)出版社名【ISBN】 特に指定しない。

科目名	健康科学論		授業コード	110063B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(2年)・生命医科学科(1年)		ナンバリング	5CC122B07	AL 科目	○	
担当者	松田 智香子(福・ス)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	健康について様々な観点から学び、現在の健康のみならず、生涯にわたって健康でより良い生活を送るために必要な基礎的知識の修得を目指す。DP(2)(3)(4)、CP1(1)3(1)						
学修目標	1)「健康」捉え方について理解し、健康の概念について説明できる。 2)現代社会における健康問題について列挙し、健康づくり施策の変遷を説明できる。 3)食生活について正しい知識を説明できる。 4)過剰な栄養摂取から起こる生活習慣病について、その発生機序を説明できる。 5)メタボリックシンドロームについて正しい理解をし、その診断基準を列挙できる。 6)生活習慣病の知識を身に付け、予防するための生活習慣を説明できる。 7)運動不足がもたらす問題点と身体活動の必要性について説明できる。 8)健康生活と睡眠について説明できる。 9)嗜好品の身体に及ぼす影響と健康との関係について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価及びフィード バックの方法	学習内容の確認テストを随時行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(確認テストや課題の提出、質問・発言、SGD 等の授業への参加状況)を(5%)、期末試験(95%)とする。原則、再試験は行わない。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業時に配布した資料やノートをまとめ事後学習を行う。また毎授業後に次回授業内容を提示するので事前準備を行うなど1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。遅刻・早退、途中退出、講義中のスマートフォンの使用、私語等厳禁。						
オフィスアワー	時間割が決定次第、掲示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容			授業 方法	担当	
1	1)	「健康」の概念			講義、SGD	松 田	
2	2)	健康づくり施策の変遷			講義、SGD	松 田	
3	3)	栄養摂取の基礎知識			講義、SGD	松 田	
4	3)	健康の保持増進のための食生活①			講義、SGD	松 田	
5	3)	健康の保持増進のため食生活②			講義、SGD	松 田	
6	3)4)	健康と食の嗜好品			講義、SGD	松 田	
7	5)	生活習慣病とメタボリックシンドロームの基礎知識			講義、SGD	松 田	
8	6)	生活習慣病の予防と改善①(動脈硬化、高血圧症)			講義、SGD	松 田	
9	6)	生活習慣病の予防と改善②(Ⅱ型糖尿病)			講義、SGD	松 田	
10	6)	生活習慣病の予防と改善③(心疾患、脳血管疾患)			講義、SGD	松 田	
11	7)	運動不足がもたらす問題点			講義、SGD	松 田	
12	7)	生活習慣病の予防のための身体活動			講義、SGD	松 田	
13	8)	健康と睡眠			講義、SGD	松 田	
14	9)	健康生活と嗜好品①(タバコ)			講義、SGD	松 田	
15	9)	健康生活と嗜好品②(アルコール)			講義、SGD	松 田	
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	生涯スポーツ実習 I			授業コード	110097A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(1 年)			ナンバリング	5CC121B07	AL 科目	○
担当者	山本 順之(福・ス)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リラーNo.	<p>生涯スポーツ実習では、下記の 5 項目の習得および実践を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運動・スポーツにおける基礎的知識・技術を習得する。</li> <li>2. 運動・スポーツ場面や日常生活場面で役立つ健康維持および体力向上に関する実践力を習得する。</li> <li>3. 運動・スポーツを通して、自己理解と他者理解を深め、多様な価値観を理解する。</li> <li>4. 運動・スポーツを通じた課題や他者との意見交換に際し、積極的に参加する。</li> <li>5. 安全に留意して、公正、協力、責任、参画に対する意欲を持ち運動・スポーツを実践する。</li> </ol> <p>DP①②CP1①②</p>						
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個人競技(バドミントン)における基礎的知識・技術を習得できる。</li> <li>2. 団体競技(バレー・バスケット・ソフトボール)における基礎的知識・技術を習得できる。</li> <li>3. 個人競技(バドミントン)において、他者へ配慮をしつつ、安全で公正な態度でゲームに参加できる。</li> <li>4. 団体競技(バレー・バスケット・ソフトボール)において、チームの課題解決に対して積極的に意見を交換し、安全で公正な態度でゲームに参加できる。</li> <li>5. 積極的に、道具の準備を行い、審判などの役割をはたすことができる。</li> </ol>						
実務経験のある 教員による教育	<p>運動・スポーツを合理的に実践する能力は、大学生活だけでなく、生涯にわたって健康で豊かな生活を送るために必要な能力である。また、運動・スポーツ場面は、コミュニケーション能力の向上や公正、協力、責任など様々な態度や意欲の育成にもつながる。科目担当者の実践経験に基づいた授業を展開する。</p>						
評価及びフィード バックの方法	<p>授業への取り組みを客観的に評価する。 具体的には、スポーツ技術が高く、協調性をもって積極的に参加している場合には高い評価となる。高いスポーツ技術があっても、消極的な授業参加の場合は評価が低くなる。</p>						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>※体育館シューズ、グラウンドシューズの二足を必ず用意すること 運動着(ジャージ)で受講すること、アクセサリ(金具)は身につけないで受講すること スポーツの実践を中心とした授業を展開するため、普段から身体を動かすことを意識し、健康管理に努めること。</p>						
オフィスアワー	月曜日から水曜日 12:30～13:00 研究室						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1回	2)4)5)	オリエンテーション からだほぐし運動				実 習	山 本
2回	2)4)5)	ソフトボール				実 習	山 本
3回	2)4)5)	ソフトボール				実 習	山 本
4回	2)4)5)	バレーボール				実 習	山 本
5回	2)4)5)	バレーボール				実 習	山 本
6回	2)4)5)	バレーボール				実 習	山 本
7回	1)3)5)	バドミントン				実 習	山 本
8回	1)3)5)	バドミントン				実 習	山 本
9回	1)3)5)	バドミントン				実 習	山 本
10回	2)4)5)	バスケットボール				実 習	山 本
11回	2)4)5)	バスケットボール				実 習	山 本
12回	2)4)5)	バスケットボール				実 習	山 本
13回	2)4)5)	ソフトボール				実 習	山 本
14回	2)4)5)	ソフトボール				実 習	山 本
15回	1)3)5)	健康づくりを目的としたスポーツ(ウォーキング・ジョギング)				実 習	山 本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名	生涯スポーツ実習Ⅱ			授業コード	110098A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(1年)			ナンバリング	5CC122B08	AL 科目	○
担当者	山本 順之(福・ス)	開講学期	2026 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リデーNo.	生涯スポーツ実習では、下記の5項目の習得および実践を目指す。 1. 運動・スポーツにおける基礎的知識・技術を習得する。 2. 運動・スポーツ場面や日常生活場面で役立つ健康維持および体力向上に関する実践力を習得する。 3. 運動・スポーツを通して、自己理解と他者理解を深め、多様な価値観を理解する。 4. 運動・スポーツを通じた課題や他者との意見交換に際し、積極的に参加する。 5. 安全に留意して、公正、協力、責任、参画に対する意欲を持ち運動・スポーツを実践する。 DP①②CP1①②						
学修目標	1. 個人競技(バドミントン)における基礎的知識・技術を習得できる。 2. 団体競技(バレー・バスケット・ソフトボール)における基礎的知識・技術を習得できる。 3. 個人競技(バドミントン)において、他者へ配慮しつつ、安全で公正な態度でゲームに参加できる。 4. 団体競技(バレー・バスケット・ソフトボール)において、チームの課題解決に対して積極的に意見を交換し、安全で公正な態度でゲームに参加できる。 5. 積極的に、道具の準備を行い、審判などの役割をはたすことができる。						
実務経験のある 教員による教育	運動・スポーツを合理的に実践する能力は、大学生活だけでなく、生涯にわたって健康で豊かな生活を送るために必要な能力である。また、運動・スポーツ場面は、コミュニケーション能力の向上や公正、協力、責任など様々な態度や意欲の育成にもつながる。科目担当者の実践経験に基づいた授業を展開する。						
評価及びフィード バックの方法	授業への取り組みを客観的に評価する。 具体的には、スポーツ技術が高く、協調性をもって積極的に参加している場合には高い評価となる。高いスポーツ技術があっても、消極的な授業参加の場合は評価が低くなる。						
準備学習・ 履修上の注意等	※体育館シューズ、グラウンドシューズの二足を必ず用意すること 運動着(ジャージ)で受講すること、アクセサリ(金具)は身につけないで受講すること スポーツの実践を中心とした授業を展開するため、普段から身体を動かすことを意識し、健康管理に努めること。						
オフィスアワー	月曜日から水曜日:12:30~13:00 研究室						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	2)4)5)	からだほぐし運動 ドッチボール				実 習	山 本
2	2)4)5)	ソフトバレーボール				実 習	山 本
3	2)4)5)	ソフトバレーボール				実 習	山 本
4	1)3)5)	バドミントン				実 習	山 本
5	1)3)5)	バドミントン				実 習	山 本
6	1)3)5)	バドミントン				実 習	山 本
7	2)4)5)	バスケットボール				実 習	山 本
8	2)4)5)	バスケットボール				実 習	山 本
9	2)4)5)	バスケットボール				実 習	山 本
10	1)3)5)	ウォーキング&ジョギング				実 習	山 本
11	2)4)5)	バレーボール				実 習	山 本
12	2)4)5)	バレーボール				実 習	山 本
13	2)4)5)	バレーボール				実 習	山 本
14	2)4)5)	ニュー・スポーツ インディアカ				実 習	山 本
15	1)~5)	総括:スポーツを継続して実践する				実 習	山 本
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	基礎演習 I			授業コード	110049A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(1年)			ナンバリング	5CC111B01	AL 科目	○
担当者	臨床心理学科全教員	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リラーNo.	専門職としての基本的態度を涵養するために(DP(1))、ノートの取り方、テキストの読み方、レポートの書き方、資料の探し方、発表の仕方、Word、Excel、PowerPoint の基礎、コラムの要約の仕方を習得する(CP(7))。						
学修目標	1) 高校までの学習と大学での学びの違いを理解し、自律的な学生生活を送ることができる。 2) 高校の授業と大学講義との違いを認識し、講義ノートを作成することができる。 3) 文章の展開と組み立てを捉えることができ、文章の内容を自分なりに解釈できる。 4) 文章作成の基本的なルールを認識し、文章作成に応用できる。 5) 図書館の機能やインターネットで得られる情報を理解し、適切な資料検索ができる。 6) 発表資料を作成し、分かりやすく報告できる。 7) Word でレポートを作成できる。 8) Excel で表やグラフを作成できる。 9) PowerPoint で発表資料を作成できる。 10) コラムの内容を 200 字以内で要約できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし。						
評価及びフィード バックの方法	第 1 回のチューター時間を 5 点、各回 10 点満点×13 回(第 15 回を含む)=130 点満点、その回の取り組み状況 5 点×13 回(第 15 回を含む)=65 点の、計 200 点満点を 100 点に換算する。						
準備学習・ 履修上の注意等	1 回の授業につき 1 時間を目安に予習・復習をおこなうこと。						
オフィスアワー	各担当者の個人研究室の扉を参照。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1 4/8	1)	チューター時間				個別指導	チューター
2 4/15	1)10)	はじめての大学生活				講義・演習	倉 澤
3 4/22	2)10)	ノートのとり方				講義・演習	加 藤
4 5/13	3)10)	テキストの読み方①、②				講義・演習	伊 藤
5 5/20	—	GPS-Academic の実施				—	藤 枝 亜 由
6 5/27	4)10)	レポートの書き方①				講義・演習	黒 須
7 6/3	4)10)	レポートの書き方②				講義・演習	染 矢
8 6/10	5)10)	資料の探し方				講義・演習	戸 高
9 6/17	5)10)	大学図書館の使い方				講義・演習	内 藤
10 6/24	6)10)	発表の仕方①				講義・演習	吉 武
11 7/1	6)10)	発表の仕方②				講義・演習	前 田
12 7/8	7)10)	Word の使い方				講義・演習	松 山
13 7/15	8)10)	Excel の使い方				講義・演習	横 山
14 7/22	9)10)	PowerPoint の使い方				講義・演習	中 村
15 7/29	1)10)	チューター時間				個別指導	チューター
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	大学生 学びのハンドブック[6 訂版](世界思想社編集部(編)) 世界思想社【9784790717911】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	適宜紹介する。						

科目名	基礎演習Ⅱ			授業コード	110050A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(1年)			ナンバリング	5CC112B01	AL 科目	○
担当者	臨床心理学科全教員	開講学期	2026 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	専門職としての基本的態度を涵養するために(DP(1))、前期の「基礎演習Ⅰ」で学んだ内容についての演習を行う(CP(7))。						
学修目標	1) 高校までの学習と大学での学びの違いを理解し、自律的な学生生活が送れる。 2) 文章の展開と組み立てを捉えることができ、文章の内容を自分なりに解釈できる。 3) 文章作成の基本的なルールを認識し、文章作成に応用できる。 4) 図書館の機能やインターネットで得られる情報を理解し、適切な資料検索ができる。 5) 発表資料を作成し、分かりやすく報告できる。 6) Word でレポートを作成できる。 7) Excel で表やグラフを作成できる。 8) PowerPoint で発表資料を作成できる。 9) コラムの内容を 200 字以内で要約できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし。						
評価及びフィード バックの方法	各回 10 点満点×13 回=130 点満点、その回の取り組み状況 5 点×13 回=65 点、第 1 回と第 15 回のチューター時間を総合して 5 点満点の、計 200 点満点を 100 点に換算する。						
準備学習・ 履修上の注意等	1 回の授業につき 1 時間を目安に予習・復習をおこなうこと。						
オフィスアワー	各担当者の個人研究室の扉を参照。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1 9/30	1)	チューター時間				個別指導	チューター
2 10/7	2)~8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	伊 藤
3 10/14	2)~8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	加 藤
4 10/21	2)~8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	倉 澤
5 10/28	2)~8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	黒 須
6 11/4	2)~8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	黒 須
7 11/11	2)~8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	染 矢
8 11/18	2)~8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	戸 高
9 11/25	2)~8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	内 藤
10 12/2	2)~8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	中 村
11 12/9	2)~8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	前 田
12 12/16	2)~8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	松 山
13 12/23	2)~8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	横 山
14 1/6	2)~8) 9)	資料を探す、テキストを読む、レポートを書く、発表する				演 習	吉 武
15 1/13	1)	チューター時間				個別指導	チューター
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	大学生 学びのハンドブック[6 訂版](世界思想社編集部(編)) 世界思想社【9784790717911】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	適宜紹介する。						

科目名	臨床心理学概論			授業コード	121538B101	単位数 (時間数)	2単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(1年)			ナンバリング	51C122P01	AL科目		
担当者	前田直樹(心・心)	開講学期	2026年度後期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソ-No.	急激な社会の変化にともなって、人々の心の健康に様々な問題が生じている。臨床心理学は心理的問題の解決や援助に携わる理論的研究と実践に関する心理学の応用分野である。この講義では臨床心理学の基礎的な理論と実践について幅広く学習する。 (DP1) (DP4) (CP1) (CP2) (CP3)							
学修目標	1)臨床心理学が様々な心理の考え方で成り立っていることを理解する。 2)臨床心理学と臨床心理士について理解する。 3)臨床心理学におけるアセスメントについて理解できる。 4)各種心理療法を理解できる。 5)神経症、心身症、精神病の違いを理解できる。							
実務経験のある 教員による教育	該当なし							
評価及びフィード バックの方法	小テストおよび確認テスト							
準備学習・ 履修上の注意等	臨床心理学を自ら積極的に学習しようとする姿勢。							
オフィスアワー	毎週月曜 18:00-18:30							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	(臨床心理学とは) ・臨床心理学の定義、理論、歴史などを理解する。					講 義	前 田
2	2)	(臨床心理学と臨床心理士) ・心理臨床の現場で働く臨床心理士の援助活動について理解する。					講 義	前 田
3	1)4)	(臨床心理学の考え方①) ・精神力動的立場の理論・技法を理解する。					講 義	前 田
4	1)4)	(臨床心理学の考え方②) ・人間性心理学の立場の理論・技法を理解する。					講 義	前 田
5	1)	(臨床心理学の考え方③) ・行動理論の立場の理論・技法を理解する。					講 義	前 田
6	1)4)	(臨床心理学の考え方④) ・近年台頭している認知療法的立場の理論・技法を理解する。					講 義	前 田
7	3)	(臨床心理アセスメント①) ・アセスメントの基礎、アセスメント面接について理解する。					講 義	前 田
8	3)	(臨床心理アセスメント②) ・アセスメントにおける質問紙法について理解する。					講 義	前 田
9	3)	(臨床心理アセスメント③) ・アセスメントにおける投影法について理解する。					講 義	前 田
10	3)	(臨床心理アセスメント④) ・各種知能検査について理解する。					講 義	前 田
11	3)	(臨床心理アセスメント⑤) ・機能アセスメントについて理解する。					講 義	前 田
12	5)	(臨床心理学と心の健康①) ・神経症に対する臨床心理的援助について理解する。					講 義	前 田
13	5)	(臨床心理学と心の健康②) ・心身症に対する臨床心理的援助について理解する。					講 義	前 田
14	5)	(臨床心理学と心の健康③) ・様々な精神疾患に対する臨床心理的支援について理解する。					講 義	前 田
15	1)2)3) 4)5)	(総括) ・これまで学習したことを総括し、臨床心理学の基礎的知識を身につける。					講 義	前 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない						

科目名	心理学研究法	授業コード	120606B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(1年)	ナンバリング	51C122P01	AL 科目	○
担当者	内藤 健一(臨・臨)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソンNo.	心理学の基礎を学んだ心理、福祉の専門職となるために(DP(1))、心理学の研究で用いられる方法とその特徴などを修得する(CP(2))。				
学修目標	1)心理学研究の流れを説明できる。 2)質問紙調査法に関する専門用語を説明できる。 3)実験法に関する専門用語を説明できる。 4)観察法に関する専門用語を説明できる。 5)面接法に関する専門用語を説明できる。				
実務経験のある 教員による教育	該当なし。				
評価及びフィード バックの方法	およそ 2 回に 1 回程度おこなう小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。この小テストを 30%、学期末の単位認定試験を 70%として、単位認定を行う。				
準備学習・ 履修上の注意等	1コマ当たり 4 時間を目安に予習(次の回のレジュメを読むこと)・復習(その日習ったレジュメの内容を復習すること)をおこなうこと。				
オフィスアワー	毎週火～金曜日 12:15～13:00				

#### 授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方 法	担 当
1	1)	心理学研究法:心理学の研究とは何か、心理学研究の流れ	講 義	内 藤
2	2)	質問紙調査法①	講義、演習	内 藤
3	2)	質問紙調査法②	講義、演習	内 藤
4	2)	質問紙調査法③	講 義	内 藤
5	2)	質問紙調査法④	講 義	内 藤
6	3)	実験法①	講義、演習	内 藤
7	3)	実験法②	講義、演習	内 藤
8	3)	実験法③	講 義	内 藤
9	3)	実験法④	講 義	内 藤
10	4)	観察法①	講義、演習	内 藤
11	4)	観察法②	講義、演習	内 藤
12	4)	観察法③	講 義	内 藤
13	5)	面接法①	講義、演習	内 藤
14	5)	面接法②	講 義	内 藤
15	1)~5)	(小テスト実施時間)	小テスト	内 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	使用しない。講義レジュメを配布する。			
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	第 1 回に紹介する。			

科目名	心理学統計法			授業コード	121539B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(1年)			ナンバリング	51C121P01	AL 科目	
担当者	畑田惣一郎(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	オンライン
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	この科目の目的は、学生が統計学の基礎と実務的な知識を習得することにある。学生は将来の進路(心理関連の仕事など)に役立つ実践的な統計の知識を得ることが期待される。データについての基礎知識、集団の特徴を表す統計量、標準得点、さらには関連性・相関係数について学ぶ。						
学修目標	1) 心理学統計法とは何かを理解することができる。 2) 4つの尺度水準について理解することができる。 3) 統計学的検定について理解できる。 4) 心理学統計法を利用した研究の結果を解釈できる。 5) 研究目的によって、適切な心理統計を具体的に述べるすることができる。 6) 統計解析ソフトを適切に使用することができる。						
実務経験のある 教員による教育	公認心理師・臨床心理士・社会福祉士の資格を持つ担当教員が、臨床での活用方法の情報提供を行うことがある。						
評価及びフィード バックの方法	毎講義後のリアクションペーパーと受講態度(40%)、中間テスト(20%)、最終レポート(40%) 前回の講義に関するフィードバックをリアクションペーパーの内容を通して行う。質問がある場合もリアクションペーパーを活用することができる。 また、中間テストの回答を解説し復習する機会とする。						
準備学習・ 履修上の注意等	心理学統計法は毎回の授業の積み重ねであるので、毎回の授業に対して復習をすること。						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間において行う。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	心理学統計法とは何か				講 義	畑 田
2	1)3)	「研究の目的と仮説」「独立変数と従属変数」について理解する				講 義	畑 田
3	2)	質的データと量的データについて理解する				講 義	畑 田
4	2)3)	質問紙のデータ入力方法と記述統計について理解する				講 義	畑 田
5	2)3)4)	代表値と標準偏差、正規分布について理解する				講 義	畑 田
6	3)4)	帰無仮説と対立仮説、有意水準について理解する				講 義	畑 田
7	3)4)5) 6)	相関について理解する				講義 演習	畑 田
8	3)4)5) 6)	t 検定について理解する				講義 演習	畑 田
9	3)4)5) 6)	1 要因の分散分析について理解する				講義 演習	畑 田
10	3)4)5) 6)	2 要因の分散分析について理解する				講義 演習	畑 田
11	3)4)5) 6)	$\chi^2$ 検定について理解する				講義 演習	畑 田
12	3)4)5) 6)	重回帰分析について理解する				講義 演習	畑 田
13	3)4)5) 6)	尺度作成(因子分析、信頼性・妥当性)について理解する				講義 演習	畑 田
14	4)	実際の論文を読み、解釈できるようになる				講 義	畑 田
15	1)2)3) 4)5)6)	総括				講 義	畑 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		小塩真司 SPSS と Amos による心理・調査データ解析 因子分析・共分散構造分析まで 東京図書					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし					

科目名	人体の構造と機能及び疾病			授業コード	121483B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(1年)			ナンバリング	51C122P03	AL 科目	
担当者	池ノ上 克(社・ス)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リデーNo.	<p>スポーツ健康福祉学や臨床心理学は人を対象としています。そのため、人体の構造や機能及び疾病について学ぶことは必須です。専門職に必要な基礎知識を修得します。</p> <p>各学科の関連 DP は以下のとおり。</p> <p>スポーツ健康福祉学科: (DP3) 専門的知識・技能の活用力</p> <p>臨床心理学科: (DP3) 実践力</p>						
学修目標	<p>1) ライフステージにおける心身の変化と健康課題: 人の成長・発達と加齢、老化について説明できる。</p> <p>2) 人体の各器官の構造と機能について説明できる。</p> <p>3) 疾病の概要について説明できる。</p> <p>4) 障害の概要について説明できる。</p> <p>5) リハビリテーションの概要について説明できる。</p> <p>6) 国際機能分類の基本的考え方と概要について説明できる。</p> <p>7) 健康の捉え方について説明できる。健康の概念と疾病の概念について説明できる。</p> <p>8) 公衆衛生の概要について説明できる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、医師としての実務経験に基づき、専門職として必要な知識・技術の修得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	<p>授業への参加態度(20%)及び最終のレポート試験(80%)において総合的に評価する。</p> <p>詳細な評価基準は、授業開始日に説明する。</p> <p>なお、授業全体の進捗及び総評として、中間などに適宜フィードバックを予定する。</p>						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>社会福祉士・精神保健福祉士・救急救命士・公認心理師を目指す学生は必修である。</p> <p>プリント配布は最小限であり、必要時(解剖図等)は、パワーポイントで表示し説明する。マイノート作成もしくは、テキストに書き込むこと。</p> <p>授業後は、講義内容(テキスト)を振り返り、復習しておくこと。次回の授業内容のテキストを読み予習しておくこと。</p> <p>テキストを主に使用するので必ず購入しておくこと。</p>						
オフィスアワー	授業前後の時間帯に対応します。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	ライフステージにおける心身の変化と健康課題				講 義	池ノ上
2	2)	健康および疾病の捉え方				講 義	池ノ上
3	2)	身体構造と心身機能				講 義	池ノ上
4	3)	疾病と障害の成り立ちおよび回復過程				講 義	池ノ上
5	3)	リハビリテーションの概要と範囲				講 義	池ノ上
6	3)	疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション				講 義	池ノ上
7	3)	感染症、神経疾患、認知症、高次脳機能障害、脳血管障害				講 義	池ノ上
8	3)	心疾患、内分泌・代謝疾患、呼吸器疾患				講 義	池ノ上
9	4)	血液・アレルギー疾患、眼科疾患				講 義	池ノ上
10	4)	耳鼻咽喉科疾患、口腔疾患				講 義	池ノ上
11	4)	婦人科・産科、精神疾患				講 義	池ノ上
12	4)	小児科疾患、高齢者に多い疾患				講 義	池ノ上
13	4)	生活習慣病、内部障害				講 義	池ノ上
14	5)6)	性腫瘍と緩和ケア				講 義	池ノ上
15	7)8)	公衆衛生				講 義	池ノ上
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		医学概論(日本ソーシャルワーク教育学校連盟)中央法規					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		人体の構造と機能及び疾病(中央法規) 必要時プリントを配布する。					

科目名	発達心理学			授業コード	120866B601	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科、臨床心理学科(1年)			ナンバリング	51C121P02	AL科目	○
担当者	春山恵里(非常勤講師)	開講学期	2026年度前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	公認心理師のみならず、人を支援する専門職においては、支援の対象となる年齢層は子どもから高齢者まで多岐にわたります。年齢が異なれば、心の働きにも違いがあり、支援の方向も異なることがあります。また、発達心理学の重要な観点は、誕生から死に至るまで「生涯発達の」とらえる」という点にあります。発達とは「受精してから死に至るまでの心身の変化の過程」であり、何かを獲得してだけでなく、失っていく過程も含まれます。とはいえ、すべての能力が失われるわけではなく、経験を通して知識が熟達化され英知となったり、高齢になるに従い生活をより充実したものにとらえる傾向が増すこともあります。発達心理学は、皆さんのような大学生はもちろんのこと、生まれる前の胎児から高齢者に至るまで命ある人すべてに関わる学問領域であり、生きていくうえで拠り所となる知識を授けてくれます。資格取得のみならず、本講義を通して、心のしくみや動きを生涯発達の視点でとらえる心理学の面白さと奥深さを味わい、人の発達に対する理解を深めていくことを本講義の目的とします。 【DP3,6,CP3】						
学修目標	1)発達とは何か説明できる。 2)感覚・運動・愛着・認知・社会性・感情・自己・遊び・対人関係・言葉・思考・親子関係・仲間関係・きょうだい関係・神経発達症群・それぞれの発達段階の特徴を説明できる。 3)各発達段階の課題を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	児童相談所の心理職として長年勤務し、乳幼児から思春期までの子どもの発達や障害、問題行動、さらに家族や地域医療・社会資源などと関わってきた。幅広い視野から人の発達を捉えていく。						
評価及びフィード バックの方法	授業に取り組む姿勢、課されたレポートと講義内試験の点数で総合的に評価する。 ・評価については、レポート(10%)、小テスト(10%)、講義内試験(80%)とする。 ・確認テストや提出課題についての講評・解説については、原則、次回授業時に行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	・事前の予習を十分行うこと。 ・小テストを行うことがあるので、毎回復習を行うこと。						
オフィスアワー	講義後の空き時間						

#### 授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当
1	1)	【なぜ発達心理学を学ぶ必要があるのか1】 ・臨床と発達心理学 ・発達心理学とその理論	講 義	春山恵里
2	1)	【なぜ発達心理学を学ぶ必要があるのか2】 ・発達を調べるために ・発達心理学の隣接領域	講 義	春山恵里
3	1)	【発達心理学の基礎】 ・発達の生物学的基礎 ・発達をもたらす要因は何か ・行動遺伝学と発達 ・エピジェネティクス ・心の発達と進化	講 義	春山恵里
4	1)~3)	【感覚と運動の発達】 ・生まれる前の発達 ・新生児期の発達 ・乳児期の発達	講 義	春山恵里
5	1)~3)	【アタッチメントの発達】 ・人生の始まりと土台としての乳児期 ・アタッチメントの発達 ・アタッチメントの個人差に絡むさまざまな要因	講 義	春山恵里
6	1)~3)	【認知の発達】 ・認知発達のグランド・セオリー ・ピアジェ理論の再構築:情報処理離村に基づくアプローチ ・グランド・セオリーを超えて:子どもの認知の有能性	講 義	春山恵里
7	1)~3)	【社会性の発達】 ・社会性とその内容 ・社会的認知の発達 ・社会的行動の発達	講 義	春山恵里
8	1)~3)	【感情と自己の発達】 ・感情の発達 ・自己の発達 ・感情と自己 ・社会との関係からみた感情と自己	講 義	春山恵里
9	1)~3)	【遊びと対人関係の発達】 ・遊びと対人関係の意義 ・遊びの発達 ・対人関係の発達 ・現代の子どもの遊びと対人関係における課題	講 義	春山恵里
10	1)~3)	【言葉と思考をめぐる発達】 ・身体発達と運動能力の発達 ・言葉の発達 ・思考の発達	講 義	春山恵里

11	1)~3)	<b>【青年期の発達】</b> ・青年期の心身の発達 ・アイデンティティ発達の時期としての青年期 ・青年期の性と異性関係 ・青年期の遷延化	講義	春山恵里
12	1)~3)	<b>【成人期の発達】</b> ・成人期の心身の発達 ・生き方の選択とキャリアの発達 ・働くということ: 職業意識と生き甲斐 ・家族形成: 夫婦関係と子育て ・多重役割とワーク・ライフ・バランス	講義	春山恵里
13	1)~3)	<b>【老年期の発達】</b> ・老年期の心身の発達 ・老年期の心理社会的課題 ・老年期の臨床的問題の理解と支援	講義	春山恵里
14	1)~3)	<b>【定型発達と非定型発達】</b> ・神経発達症群/神経発達障害群 ・その他の発達上の問題 ・発達につまずきを抱える人への支援の視点	講義	春山恵里
15	1)~3)	<b>【まとめ】</b> ・これまでのふり返りと総括	講義内試験	春山恵里
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		公認心理師スタンダードテキストシリーズ 12 「発達心理学」(下山晴彦・佐藤隆夫・本郷一夫監修 林創編著) ミネルヴァ書房 ISBN978-4-623-08622-1 C3311		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義内にて適宜紹介する。		

科目名	知覚・認知心理学			授業コード	121559B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51C221P01	AL 科目	
担当者	内藤 健一(臨・臨)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソンNo.	心理学の基礎を学んだ心理の専門職となるために(DP(1))、人の感覚・知覚・認知とその特徴などを修得する(CP(3))。						
学修目標	1) 感覚の種類とその内容、視覚情報の優位性、錐体と桿体を説明できる。 2) 色彩知覚、奥行き知覚、形の知覚、運動知覚に関する基礎事項を説明できる。 3) 記憶の過程、区分、記銘方略、忘却に関する主要な理論を説明できる。 4) 一般的知識の表象についてのモデル、スキーマとその特徴を説明できる。 5) 問題解決の理論、問題解決に影響を及ぼす要因、推理について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし。						
評価及びフィード バックの方法	2 回に 1 回おこなう小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。この小テストを 30%、学期末の単位認定試験を 70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	1 コマ当たり 1 時間を目安に予習(次の回のレジュメを読むこと)・復習(小テストに備えてその日習ったレジュメの内容を復習すること)をおこなうこと。/「心理学概論 2025」の講義レジュメも、授業内容によっては使用するもので、忘れずに持参すること。						
オフィスアワー	毎週火～金曜日 12:15～13:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	感覚(1): 感覚の種類とその内容(「心理学概論 2025」講義レジュメ 3, 4 ページ「感覚・知覚」)				講 義	内 藤
2	1)	感覚(2): 感覚間の錯覚、網膜における 2 つの視細胞の働き				講 義	内 藤
3	2)	知覚(1-1): 色彩知覚、知覚の恒常性、奥行き知覚の手がかり				講 義	内 藤
4	2)	知覚(1-2): 色彩知覚、知覚の恒常性、奥行き知覚の手がかり				講 義	内 藤
5	2)	知覚(2): 形の知覚と群化の要因、運動知覚(「心理学概論 2025」講義レジュメ 5 ページ「形の知覚」)				講 義	内 藤
6	3)	記憶(1): 記憶の 3 過程(覚える・覚えておく・思い出す)、記憶の時間による区分とその内容(「心理学概論 2025」講義レジュメ 11 ページ「記憶の 3 過程」、12 ページ「記憶の区分」)				講 義	内 藤
7	3)	記憶(2): Craik と Lockhart の処理水準モデル、記銘方略(「心理学概論 2025」講義レジュメ 13 ページ「記憶術」)				講 義	内 藤
8	3)	記憶(3): 顕在記憶と潜在記憶の違い、長期記憶との対応関係				講 義	内 藤
9	3)	記憶(4): Ebbinghaus の再学習法、節約率、忘却曲線				講 義	内 藤
10	3)	記憶(5): 忘却に関する様々な説(不使用による減衰説、干渉説、検索失敗説、抑圧説)				講 義	内 藤
11	4)	知識と表象(1): 一般的知識の表象についてのモデル(階層的ネットワーク、活性化拡散)(「心理学概論 2025」講義レジュメ 18 ページ「概念的表象」)				講 義	内 藤
12	4)	知識と表象(2): スキーマとその特徴				講 義	内 藤
13	5)	問題解決と推理(1): 問題解決の理論(情報処理論的アプローチ)				講 義	内 藤
14	5)	問題解決と推理(2): 問題解決に影響を及ぼす要因				講 義	内 藤
15	5)	問題解決と推理(3): 類推、帰納的推理、演繹的推理				講 義	内 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。講義レジュメを配布する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		第 1 回に紹介する。					

科目名	学習・言語心理学		授業コード	121560B601	単位数 (時間数)	2単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)		ナンバリング	51C221P02	AL科目		
担当者	前田直樹(心・心)	開講学期	2026年度前期	必修・選択	選 択	授業形態 講 義	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	本講義の目的は学習心理学の基礎知識を習得することである。講義の中では、学習心理学の臨床的な応用領域に焦点を当てながら、古典的条件付け、オペラント条件付けといった学習理論の基盤的な要素に加え、社会的学習に代表されるさまざまな学習心理学の領域について講義を行う。 (DP1) (DP4) (CP1) (CP2) (CP3)						
学修目標	1) レスポンド条件付けを理解する。 2) オペラント条件付けを理解する。 3) 社会的学習を理解できる。 4) 言語獲得の基本的な理論を理解できる。 5) 学習理論に基づく心理療法を理解する。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	小テストおよび確認テスト。						
準備学習・ 履修上の注意等	予習・復習を行い講義に臨むこと。						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1回	1)2)	【学習とは】 学習心理学の歴史をたどり、学習の生物学的基礎を踏まえながら現代の学習について理解する。				講 義	前 田
	1)	【レスポンドづけ①】 パブロフの条件反射の実験を学び、古典的条件づけの原理を理解する。				講 義	前 田
	1)	【レスポンド条件づけ②】 より高度なレスポンド条件付について理解する。				講 義	前 田
	1)	【レスポンド条件づけ③】 ワトソンの実験を理解し、行動療法への応用などを理解する。				講 義	前 田
	2)	【オペラント条件づけ①】 ソーンダイクの試行錯誤学習実験とスキナーのオペラント学習の実験を学び、オペラント条件づけの原理を理解する。				講 義	前 田
	2)	【オペラント条件づけ②】 強化の原理を理解する。				講 義	前 田
	2)	【オペラント条件づけ③】 行動の消去および弱化的メカニズムについて理解する。				講 義	前 田
	2)	【オペラント条件づけ④】 強化スケジュールについて理解する。				講 義	前 田
	3)	【社会的学習①】 バンデューラのモデリング学習について理解する。				講 義	前 田
	3)	【社会的学習②】 社会的学習理論について理解する。				講 義	前 田
	2)3)4)	【言語と学習①】 人間の言語の獲得のについて理解する。				講 義	前 田
	2)3)4)	【言語と学習②】 人間の言語獲得における諸理論について理解する。				講 義	前 田
	1)2)5)	【学習理論の臨床的応用①】 行動療法・行動分析について理解する。				講 義	前 田
	1)2)3) 5)	【学習理論の臨床的応用②】 認知行動療法、さらにACTについて理解する。				講 義	前 田
	1)2)3) 4)5)	総括				講 義	前 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	使用しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	行動と学習の心理学 -日常生活を理解する-(伊藤正人)【ISBN:9784812204320】昭和堂						

科目名	心理測定法演習			授業コード	121237A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51C321P01	AL 科目	
担当者	内藤 健一(臨・臨)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	心理学の基礎を学んだ言語聴覚、心理、福祉の専門職となるために(DP(1))、ヒトを対象としてデータを採取するときの様々な基本的技法と、それらの長所と短所を修得する(CP(2))。						
学修目標	1)心理学と心理測定の関係を説明できる。 2)データの尺度水準の種類、及びそれらの特徴を説明できる。 3)データの分布とその表現方法、データの分布の要約統計量の種類及び算出方法を説明できる。 4)感覚・知覚心理学研究において用いられる測定法、測度を説明できる。 5)発達・教育心理学研究における測定法である検査法、検査の信頼性と妥当性を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし。						
評価及びフィード バックの方法	2 回に 1 回おこなう小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。この小テストを 30%、学期末の単位認定試験を 70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	1コマ当たり1時間を目安に予習(次の回のレジュメを読むこと)・復習(小テストに備えてその日習ったレジュメの内容を復習すること)をおこなうこと。						
オフィスアワー	毎週火～金曜日 12:15～13:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	心理測定とは何か				講 義	内 藤
2	2)	データの尺度水準				講 義	内 藤
3	3)	データの分布と要約統計量(1)				講 義	内 藤
4	3)	データの分布と要約統計量(2)				講 義	内 藤
5	4)	感覚・知覚心理学研究における測定(1)				講 義	内 藤
6	4)	感覚・知覚心理学研究における測定(2)				講 義	内 藤
7	4)	感覚・知覚心理学研究における測定(3)				講 義	内 藤
8	4)	感覚・知覚心理学研究における測定(4)				講 義	内 藤
9	4)	感覚・知覚心理学研究における測定(5)				講 義	内 藤
10	5)	発達・教育心理学研究における測定(1)				講 義	内 藤
11	5)	発達・教育心理学研究における測定(2)				講 義	内 藤
12	5)	発達・教育心理学研究における測定(3)				講 義	内 藤
13	5)	発達・教育心理学研究における測定(4)				講 義	内 藤
14	5)	発達・教育心理学研究における測定(5)				講 義	内 藤
15	5)	発達・教育心理学研究における測定(6)				講 義	内 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。講義レジュメを配布する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		第 1 回に紹介する。					

科目名	基礎統計学演習		授業コード	121880A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)		ナンバリング	51C221P01	AL 科目	○	
担当者	松山 光生(臨心)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	卒業研究やデータ処理に、必要な統計学の知識を習得することを目的として、データの意味とその収集方法について知識・技能の獲得を図る(DP3)。						
学修目標	1)エビデンスとしてのデータの役割を理解する。 2)図表からデータをよみとることができる。 3)データやデータ処理に関連する基本事項が説明できる。 4)データ収集の方法が説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(松山)は、臨床発達心理士、公認心理師としての実務経験に基づき、実践を意識した授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	平常点 10%と期末試験 90%の点数で総合的に評価する。 小テスト全ては模範解答を提示する。						
準備学習・ 履修上の注意等	次のように、1回授業につき 240 分を目安に予習、復習を行うこと。 授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。 返却された小テストを再び、自分で解き完全に答えられるようにしておくこと。						
オフィスアワー	毎週木曜日 18:15~19:15						

授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方 法	担 当	
1	1)	データとは何か説明できる	講 義	松 山	
2	1)	測定と尺度の関係が説明できる	講 義	松 山	
3	1)	尺度の4つの水準が解説できる	講 義	松 山	
4	1)2)	研究目的に応じた尺度の設定ができる	演 習	松 山	
5	1)2)	データをグラフにすることができる	演 習	松 山	
6	3)	代表値のいくつかを挙げることができる	講 義	松 山	
7	3)	データの標準化が理解できる	講 義	松 山	
8	3)	相関や相関係数の意味を解説できる	講 義	松 山	
9	3)	帰無仮説の棄却域と採択域の設定と判断ができる	講 義	松 山	
10	3)	検定を決めるポイントを解説できる	講 義	松 山	
11	3)4)	量的データによる2つの変数の差の検定ができる	講 義	松 山	
12	3)4)	カテゴリーによる差の検定ができる	講 義	松 山	
13	3)4)	量的データによる3つの変数の差の検定ができる	講 義	松 山	
14	3)4)	標本と母集団の関係を説明できる	講 義	松 山	
15	3)4)	推測統計が説明できる	講 義	松 山	
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	その都度、資料を配付する				
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	データの処理と解析(岩淵 千明) 福村出版【4-571-20058-7】				

科目名	精神保健福祉の原理 I			授業コード	121664B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(1年) 臨床心理学科(1年)			ナンバリング	51C122P03	AL 科目	○
担当者	黒須依子(心・心)	開講学期	2026 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソ-No.	<p>本科目は「精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための必修科目」に該当する。</p> <p>日本の精神保健福祉の歴史によって創られた精神障害者やその家族の生活実態、先進諸外国と比較した日本の精神保健福祉の特徴と課題を学び、日本社会に潜む精神障害者に対する根深い偏見や差別の要因を理解する(CP 2)。その上で、精神障害者等に対する権利擁護、リハビリ支援、社会参加支援に能動的に貢献する姿勢等の精神保健福祉士の基盤となる援助の必要性を理解する。さらに、日本の精神障害者が生活のしづらさを抱える要因を障害当事者の立場に立って考え、日本の精神保健福祉の課題解消に向け求められる事項、精神保健福祉士の役割を考える力を身に着けること(DP 1)を目的とする。</p>						
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)日本の精神障害者に対する地域住民の差別・偏見の現状を理解し説明できる。</li> <li>2)ICF による障害概念の意義と ICDH の障害概念との相違点を理解し説明できる。</li> <li>3)障害者基本法、障害者総合支援法による障害者、精神保健福祉法による精神障害者の法的定義を説明できる。</li> <li>4)日本の優性思想と社会防衛思想が精神障害者の地域生活に及ぼした影響を理解し説明できる。</li> <li>5)OECD 諸外国と比較した日本の精神保健福祉の特徴を理解し説明できる。</li> <li>6)精神障害者監護法の特徴を理解し説明できる。</li> <li>7)精神病院法制定後の日本の精神保健の特徴を理解し説明できる。</li> <li>8)精神衛生法、改正精神衛生法制定後の日本の精神保健の推移と特徴を理解し説明できる。</li> <li>9)精神保健法制定後の日本の精神保健の推移と特徴を理解し説明できる。</li> <li>10)精神保健福祉法制定過程と制定の意義を理解し説明できる。</li> <li>11)精神科病院の入院中心医療システムが精神障害者の生活に及ぼした影響を理解し説明できる。</li> <li>12)地域住民の偏見等を要因とする精神障害者やその家族が抱える生活のしづらさと精神保健福祉の課題を理解し説明できる。</li> <li>13)障害者福祉の基本的な人権尊重の意義を理解し説明できる。</li> <li>14)精神障害者の自立と社会参加、消費者としての権利を保障する意義を理解し説明できる。</li> </ol>						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	<p>定期試験結果を全体の 70%、学習への取り組み姿勢(レポート課題の提出と内容、隔週毎を基本に実施する小テスト結果、SGD への参加・発言状況等)を全体の 30%として単位認定を行う。詳細な評価の基準は授業開始時に説明する。隔週実施の小テスト結果は各学生に返却後、解答解説を行う。その結果から学生の理解状況を把握するとともに、解答解説を通じ試験内容を振り返り、ポイントを再確認し授業内容に対する受講生の理解を深める。</p>						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>授業時の配布資料はファイルに綴じ、指定テキストと共に毎授業時に持参すること。なお、受講生は 1 回の授業につき 2 時間以上/週、当授業に関する自主学習時間を設け予習復習を行い、講義時間内実施の小テストを受験すること。また、提出期限厳守で課題レポートを作成・提出し、講義時に指定した事例やテキスト指定内容を購読した上で授業に臨むこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計 30 時間以上の自主学習を行うこと。その他、各講義内容での不明点は、授業時や授業後のオフィスアワーを利用し学生各自で主体的に質問すること。</p>						
オフィスアワー	時間割決定後、研究室前に提示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	オリエンテーション 「精神障害者に対する地域社会の偏見が精神障害者の地域生活に及ぼす影響(1)」				講 義 S G D	黒 須
2	1)	「精神障害者に対する地域社会の偏見が精神障害者の地域生活に及ぼす影響(2)」				講 義	黒 須
3	2)	障害の捉え方 (1) 「ICFの障害概念①」				講 義	黒 須
4	2)	障害の捉え方 (2) 「ICFの障害概念②(ICFの概念で障害を捉える意義)」				講 義 S G D	黒 須
5	3)	障害の定義 「日本の制度に基づく障害者・精神障害者の定義」				講 義	黒 須
6	4)13)	社会防衛思想と優生思想が精神障害に及ぼした影響(日本)				講 義 S G D	黒 須
7	4)13)	社会防衛思想と優生思想が精神障害者に及ぼした影響(ドイツ)				講 義	黒 須
8	5)6)	日本の精神保健福祉の特徴 日本の精神保健福祉歴史① 「精神障害者監護法の特徴」				講 義	黒 須
9	7)	日本の精神保健福祉の歴史② 「精神病院法制定の経緯と特徴」				講 義	黒 須
10	8)	日本の精神保健福祉の歴史③ 「精神衛生法制定の経緯と特徴」				講 義	黒 須
11	8)	日本の精神保健福祉の歴史④ 「改正精神衛生法制定の経緯と特徴」				講 義	黒 須
12	10)11)	日本の精神保健福祉の歴史⑤ 「精神保健福祉法制定の経緯と特徴」				講 義	黒 須
13	10)	日本の精神保健福祉の歴史⑥ 「精神保健福祉法制定の意義」				講 義	黒 須
14	11)12) 13)	日本の精神保健福祉歴史が精神障害者の家族や地域住民の地域生活に及ぼした負の影響				講 義 S G D	黒 須

15	13)14)	日本の精神保健福祉の歴史が精神障害当事者の地域移行・地域生活を促進した援助理念と活動	講義	黒須
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 精神保健福祉士養成講座5 精神保健福祉の原理(日本ソーシャルワーク教育学校連盟編)中央法規出版【978-4-8058-8256-6】		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		①心病める人たち-開かれた精神医療へ- (石川 信義) 岩波新書 【4-00-430122-X】 ②ルポ・精神病棟(大熊一夫)朝日新聞社【4-02-260244-9】 ③自由こそ治療だ～イタリア精神病院解体のレポート～(ジル・シュミット著、半田文穂訳)社会評論社【4-7845-0181-9】 ④福祉小六法 2026(社会福祉法人 大阪ボランティア協会)中央法規出版編集部【978-4-8243-0368-4】		

科目名	精神保健福祉の原理Ⅱ			授業コード	121698B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(2年) 臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51C221P01	AL 科目	○
担当者	黒須依子(心・心)・外部講師	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	<p>本科目は「精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための必修科目」に該当する。 本講義は、日本の精神保健福祉発展過程を通じ誕生した精神保健福祉士の存在意義、援助理念、援助対象者とその関係性、倫理綱領に基づく職責について理解し、精神保健福祉向上に向け求められる精神保健福祉士の基礎的な役割を理解することを目的とする(CP2)。併せて、欧米諸国で発展した精神保健福祉援助理念や援助技法を学び、今後、日本の精神保健福祉士に必要な役割と課題を理解する。これらを通じ精神保健福祉士に必要な価値観と倫理を習得し、専門援助職者として地域貢献をめざす必要性、その上で基盤となる援助姿勢を身に着ける(DP3)。</p>						
学修目標	<p>1)日本の精神障害者に対する入院中心医療施策により生じた精神障害者の長期入院、社会的入院の現状、退院阻害要因を理解し説明できる。 2)精神障害者の社会生活の現状と社会生活困難要因を理解し説明できる。 3)インスティテューナリズム、ホスピタリズム意味と課題について説明できる。 4)日本の精神保健福祉施策によって生じた精神障害者家族の位置づけと生活課題を理解し説明できる。 5)日本の精神医学ソーシャルワーカー誕生の歴史と意義を理解し説明できる。 6)精神保健福祉士法の目的と精神保健福祉士法に規定された精神保健福祉士の基本的役割を理解し説明できる。 7)精神保健福祉士法の精神保健福祉士倫理綱領の内容と意味を理解し説明できる。 8)精神障害者の「社会的復権と権養擁護」「自己決定」「当事者主体」を精神保健福祉士が支援する意味と重要性を理解し説明できる。 9)精神障害者の「社会正義」「ごく当たり前の生活」を精神保健福祉士が支援する意味と重要性を理解し説明できる。 10)精神保健福祉援助における「ノーマライゼーション」「エンパワメント支援」「ソーシャルインクルージョン」の意味を理解し説明できる。 11)精神保健福祉援助における「リカバリーの視点」「アンチスティグマの視点」の意味を理解し説明できる。 12)精神保健福祉援助において精神保健福祉士がパートナーシップな関係、当事者主体の関係を保つ必要性を理解し説明できる。 13)欧米諸外国における障害者排除の歴史を理解し説明できる。 14)欧米諸国で誕生した精神保健福祉におけるセルフヘルプ活動、ピアサポート、ナラティブ・アプローチ、オープンダイアログ等について理解しその特徴を説明できる。 15)精神保健福祉援助におけるピアサポートの意義とピアサポーターの役割を理解する 16)精神保健福祉士業務指針を基に精神保健福祉士の業務内容と専門性を理解し説明できる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	<p>授業開始時、小テスト(計5回の予定)を行い解答解説を通じ授業成果をフィードバックし、試験範囲の授業内容を振り返りポイントの再確認、受講生の理解向上をめざす。定期筆記試験の結果を評価の70%、講義内実施の確認小テストの結果(平均点)を評価の15%、及び授業への取り組み姿勢(課題レポート提出状況と内容、授業中のSGDへの参加、発言等)を評価の15%として単位認定を行う。評価基準の詳細は授業開始(オリエンテーション)時に説明する。</p>						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>指定テキストの他、講義配布資料はファイルに綴じ、毎授業時に持参すること。尚、返却を受けた確認小テストの結果はファイルに綴じ、各自復習に活用すること。 また、1回の授業につき2時間以上/週、当授業に関する自主学習時間を設け予習復習を行い、課題レポートは提出期限厳守で提出すること。その他、講義時に提示した事例やテキスト指定内容を購読した上で授業に臨むこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して合計60時間以上の自主学習を行うこと。</p>						
オフィスアワー	時間割決定後、提示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	オリエンテーション 精神障害者の生活特性(1) 「精神科医療サービスによる影響」				講 義	黒 須
2	2)3)	精神障害者の生活特性(2) 「精神障害者の社会生活の状況」				講 義 S G D	黒 須
3	4)	精神障害者の生活特性(3) 「精神障害者の家族の生活状況」				講 義 S G D	黒 須
4	5)6)	精神保健福祉士誕生の歴史と精神保健福祉士の役割と倫理				講 義	黒 須
5	7)	精神保健福祉士の倫理綱領(1)				講 義	黒 須
6	7)	精神保健福祉士の倫理綱領(2)				講 義	黒 須
7	8)	精神保健福祉士の価値と原理(1)社会的復権・権利擁護・自己決定・当事者主体				講 義 S G D	黒 須
8	9)	精神保健福祉士の価値と原理(2)社会正義・ごく当たり前の生活				講 義 S G D	黒 須
9	10)	精神保健福祉士の援助理念 「自立支援・ノーマライゼーション・エンパワメント・ソーシャルインクルージョン」				講 義	黒 須
10	11)	精神保健福祉士の援助視点 「リカバリー支援・アンチスティグマ」				講 義	黒 須
11	12)	精神保健福祉援助における間主観関係とパートナーシップ				講 義 S G D	黒 須

12	13)	欧米諸国における排除の歴史と構造	講義 S G D	黒須
13	14)	新たな精神保健福祉援助の発展 「自助グループ・当事者研究・オープンダイアログ・ナラティブ・アプローチ」	講義 S G D	黒須
14	15)	精神保健福祉におけるピアサポートの役割と現状	講義	黒須 外部講師
15	16)	精神保健福祉士の役割と専門性	講義 S G D	黒須
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		<p>① 最新 精神保健福祉士養成講座 5「精神保健福祉の原理」(一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編) 中央法規出版株式会社【978-4-8058-8256-6】 * 2025 年度に「精神保健福祉の原理 I」で上記テキストを購入した学生は、「精神保健福祉の原理 I」で 使用したテキストを 準備して下さい。同じテキストです。</p> <p>②「福祉小六法 2026」(大阪ボランティア協会:編)中央法規出版株式会社【978-4-8243-0368-4】</p> <p>③「精神科病院を出て、町へーACTがつくる地域精神医</p>		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		<p>①「べてるの家の「非」援助論 そのままでいいと思えるための25章」(浦河べてるの家)医学書院【4-260-33210-4】</p> <p>②「精神障がいピアサポーターー活動と効果的な養成・育成プログラムー(相川章子)中央法規出版株式会社【978-4-8058-3907-2】</p> <p>③「自由こそ治療だ イタリアの精神病院解体のレポート」(ジル・シュミット/半田文穂 訳)社会評論社【4-7845-0181-9】</p>		

科目名	精神疾患とその治療		授業コード	121630B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)		ナンバリング	51C221P04	AL 科目	○	
担当者	堀 徹也(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	本講義では、精神科医療機関等の現場で援助を行うにあたり必要とされる精神疾患とその治療、精神科医療機関で活用されるべき基礎知識を修得する(DP1.2,3,4)。特に、代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援といった観点から理解するとともに、精神科病院等における専門治療の内容及び特性について修得する(CP1(1,2))。						
学修目標	1)精神障害の概念について説明できる。 2)精神疾患の成因と分類について説明できる。 3)精神症状の概略について説明できる。 4)精神疾患の診断と心理的・身体的検査について説明できる。 5)代表的な精神疾患の症状や経過、治療方法について説明できる。 6)精神疾患の治療形態について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	担当科目者は精神科医として20年以上の臨床経験を有している。その臨床経験に基づき、精神疾患と治療、精神科医療機関で活用される基礎知識の修得を目的とした講義を行う。						
評価及びフィード バックの方法	学習への取り組み姿勢(講義後のレポート提出、質問・発言など授業への参加)を10%及び、学期末の単位認定試験を90%として、単位認定を行う。 なお、講義後レポートの内容を動かし、次回講義時に適宜、フォロー・フィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	1)授業内容の項目について、テキストを読み予習しておくこと。 2)日頃から、新聞やテレビ等で報道される精神医療福祉に関する時事問題にも関心を持つように心がける。						
オフィスアワー	講義前後の時間						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)~3)	【精神疾患総論】 異常を判定する基準、精神医学特有の方法(了解、追体験、解釈等)、精神症状の概略				講義・SGD	堀
2	1)~3)	【精神疾患総論】 伝統的分類(器質性、内因性、心因性)、国際的診断分類(ICD、DSM)				講 義	堀
3	4)5)	【精神疾患総論】 精神障害の評価と診断、検査				講 義	堀
4	4)5)	【精神疾患総論】 精神障害の概念、健康の定義、健康と精神障害の違い、ICF の考え方				講 義	堀
5	2)~5)	【代表的な精神疾患】 器質的精神障害				講 義	堀
6	2)~5)	【代表的な精神疾患】 症状性精神障害、精神作用物質使用による精神および行動の障害				講 義	堀
7	2)~5)	【代表的な精神疾患】 統合失調症				講 義	堀
8	2)~5)	【代表的な精神疾患】 気分(感情)障害				講 義	堀
9	2)~5)	【代表的な精神疾患】 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害				講義・演習	堀
10	2)~5)	【代表的な精神疾患】 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群				講 義	堀
11	2)~5)	【代表的な精神疾患】 パーソナリティ障害と行動の障害、性の障害(性同一性障害)				講 義	堀
12	2)~5)	【代表的な精神疾患】 精神遅滞(知的障害)				講 義	堀
13	2)~5)	【代表的な精神疾患】 心理的発達の障害				講 義	堀
14	2)~5)	【代表的な精神疾患】 小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害				講 義	堀
15	6)	【精神疾患の治療】 精神科薬物療法、精神療法、脳刺激法などの身体療法、精神科リハビリテーション				講義・SGD	堀
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新・精神保健福祉士養成講座1 精神医学と精神医療(一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟)中央法規出版株式会社【978-4-8058-8252-8】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて紹介					

科目名	医学研究の基礎		授業コード	121882B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科・言語聴覚コース(3年)		ナンバリング	51C222P03	AL 科目	○	
担当者	吉武 重徳(臨床心理学科)中村 真理子(臨床心理学科)	開講学期	2026 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	柔軟な思考力と問題解決能力を培い、臨床現場においてリハビリテーションの一翼を担うことのできる臨床能力を身につけるために、卒業論文の作成を通して、仮説・検証のプロセスに基づく科学的臨床および臨床研究の視点と方法論を修得する(DP7、CP1(6))。						
学修目標	学修目標 1)必要な雑誌論文を図書館等より収集できる。 2)文献より、プレゼンテーションに必要な要素を抜粋し、レジュメを作成することができる。 3)レジュメ等の資料を基に、教員・他学生の前で文献のプレゼンテーションができる。 4)教員や他学生の質問に対し、答えるなどの討議ができる。 5)自己の卒業研究について説明し、討議の中で指導等を受け、卒業論文を完成させることができる。						
実務経験のある 教員による教育	教員は医療の臨床経験を有する医師・歯科医師として、大学付属病院等で習得した知識とスキルを本講義に活かして受講生に適合する教育を提供する。						
評価及びフィード バックの方法	研究への取り組み姿勢(課題提出状況、課題発表、討論等)の評価 50%と、卒業論文 50%で評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	毎回 1 時間以上は、文献抄読・研究テーマのための学習時間を作る。常に問題意識を持ち、討論には、積極的に参加すること。						
オフィスアワー	水曜日 10:45~13:00 金曜日 10:45~12:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容			授 業 方 法	担 当	
1	1)~4)	オリエンテーション・言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究に関する説明			講 義	吉武・中村	
2	1)~4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議			S G D	吉武・中村	
3	1)~4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議			S G D	吉武・中村	
4	1)~4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議			S G D	吉武・中村	
5	1)~4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議			S G D	吉武・中村	
6	1)~4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議			S G D	吉武・中村	
7	1)~4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議			S G D	吉武・中村	
8	1)~4)	卒業研究の進捗状況説明と討議			S G D	吉武・中村	
9	1)~4)	卒業研究の進捗状況説明と討議			S G D	吉武・中村	
10	1)~4)	卒業研究の進捗状況説明と討議			S G D	吉武・中村	
11	1)~4)	卒業研究の進捗状況説明と討議			S G D	吉武・中村	
12	1)~4)	卒業研究の進捗状況説明と討議			S G D	吉武・中村	
13	4)5)	卒業論文の完成と修正			S G D	吉武・中村	
14	4)5)	卒業論文の完成と提出			S G D	吉武・中村	
15	4)5)	卒業論文内容のプレゼンテーションと討議			S G D	吉武・中村	
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	特にありませんが、研究に必要な雑誌論文等を適宜指示します。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	こちらより適宜提示します。						

科目名	レクリエーション論			授業コード	120102B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51C221P01	AL 科目	○
担当者	松田 智香子(福・ス)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	生涯学習、生涯スポーツの振興、また地域コミュニティ再編の有効な手立てとして期待されつつあるレクリエーション活動に着目し、その可能性について検討を行うとともに、レクリエーション支援活動を展開していく際の心得と留意点等について理解を深める。DP(1)(2)(3)(4)、CP1(2)(3)(6)、2(1)、3(1)						
学修目標	1)現代社会におけるレクリエーションの意味と有用性について理解する。 2)自らの生活の中に存在しているレクリエーション活動とは何なのかを理解する。 3)レクリエーション支援活動の基礎を理解する。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	学習への取り組む姿勢(確認テストや課題の提出、返却物の受け取り、質問・発言、グループワークへの取り組みなど授業への参加)を5%及び学期末の単位認定試験を95%として単位認定を行う。 原則、再試験は行わない。						
準備学習・ 履修上の注意等	毎授業後に次回授業内容のポイントを示すので、事前準備を行うこと。 遅刻・早退、途中退室、講義中のスマートフォンの使用、私語厳禁。 「レクリエーション実技」の履修希望者は本講義を履修してください。						
オフィスアワー	水曜日:11:00~15:00						

授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当			
1	1)2)3)	【現代社会におけるレクリエーションの意義と必要性】 現代社会における我々の生活状況について理解する。その中でレクリエーションが果たす役割について理解を深める。	講 義	松 田			
2	1)2)3)	【レクリエーション運動の歴史とその背景】 社会運動としてのレクリエーション展開の歴史を理解する。	講 義	松 田			
3	1)2)3)	【レクリエーション支援の考え方】 現代人にとってのレクリエーションの意味とそれを支援することの大切さを理解する。	講 義	松 田			
4	1)2)3)	【ライフステージに応じたレクリエーション支援】 人々のライフステージに応じたレクリエーション支援の考え方について理解する。	講 義	松 田			
5	1)2)3)	【高齢社会の課題とレクリエーション支援】 現代社会の一課題である高齢社会に着目し、レクリエーション支援の意味について理解する。	講 義	松 田			
6	1)2)3)	【子どもの体力向上とレクリエーション】 今日的な社会課題と言われている子どもの体力向上問題に着目し、レクリエーション支援が果たしうる可能性について理解する。	講 義	松 田			
7	1)2)3)	【地域におけるレクリエーション展開の意味】 レクリエーションによる地域再編成の可能性について理解する。	講 義	松 田			
8	1)2)3)	【レクリエーション事業展開のあり方】 レクリエーション・イベントを中心とした各種事業展開の方法と意味について理解する。	講 義	松 田			
9	1)2)3)	【ホスピタリティとレクリエーション】 レクリエーション支援時の心得の一つである“おもてなし”の心について理解する。	講 義	松 田			
10	1)2)3)	【コミュニケーションワークの理解】 レクリエーションの構成要素の一つであるコミュニケーションの意味を理解し、実践できるようになる。	講 義	松 田			
11	1)2)3)	【レクリエーションとスポーツ】 レクリエーションと緊密な関係に位置するスポーツの意味を理解する。	講 義	松 田			
12	1)2)3)	【レクリエーション組織経営論Ⅰ】 レクリエーションを支援するための団体・組織を運営していく方法と意味について理解する。	講 義	松 田			
13	1)2)3)	【レクリエーション組織経営論Ⅱ】 レクリエーション団体・組織の経営論について理解する。	講 義	松 田			
14	1)2)3)	【GWT(グループワークトレーニング)の理解】 レクリエーションスキルアップの訓練であるGWTの内容を理解し、実践する力を養う。	講 義	松 田			
15	1)2)3)	【再考 レクリエーションってなに?】 レクリエーションの意味、今日的役割について理解を深める。	講 義	松 田			
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	レクリエーション実技		授業コード	120098A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床福祉学科・臨床心理学科(2年)		ナンバリング	51C222P05	AL 科目	○	
担当者	松田 智香子(福・ス)	開講学期	2026 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 技
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	レクリエーションは、生活の快や QOL の向上に貢献し、人々の生を豊かにするものである。そして、それぞれのライフステージ やライフスタイルに応じて生涯にわたって実践される活動のひとつである。本授業においては、さまざまなレクリエーション実技の 実践を通じて、コミュニケーションスキルやレクリエーションに関する知識、技術とともに、さまざまな対象者に応じた対人援助(指 導)方法を修得する。DP(1)(2)(4),CP1(6)2(1)3(1)						
学修目標	①コミュニケーションスキル(姿勢、態度、行動等)を身につける。 ②レクリエーションに必要なアイスブレイキングの技術を身につける。 ③対象者に応じたレク内容、各種ニュースポーツやレクダンス等の実技を通じてその実践方法を修得する。 ④支援者(指導者)として、レクリエーション支援(指導)の実践方法を修得する。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価及びフィード バックの方法	レクリエーション実技への積極的な参加態度、コミュニケーションスキル等(20%)、 レクリエーション実技の支援(指導)実践(レクの発表)(50%) 課題(個人・グループ課題)(30%)						
準備学習・ 履修上の注意等	原則として、レクリエーション論を受講していることが望ましい。 緊張感を持ち、積極的な受講態度を望む(あくまでも授業であって「遊びの時間ではない!」ことを理解すること)。 事前準備(個人、グループ課題)を行うこと。 実技に必要な運動着、シューズの着用。						
オフィスアワー	月曜日 9:00～金曜日 17:00 (講義、出張等で研究室を不在にしていることもある)						

授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方 法	担 当
1	1)	オリエンテーション コミュニケーションワーク①	実 技	松 田
2	1)	コミュニケーションワーク②	実 技	松 田
3	1)2)	コミュニケーションワーク③(ホスピタリティトレーニング)	実 技	松 田
4	1)2)	コミュニケーショントレーニング①(対象者に応じたアイスブレイキングの技法)	実 技	松 田
5	1)3)	コミュニケーショントレーニング②(対象者に応じたアイスブレイキングの技法)	実 技	松 田
6	1)3)	レクリエーション実践①	実 技	松 田
7	1)3)	レクリエーション実践②	実 技	松 田
8	1)3)	レクリエーション実践③(ニュースポーツ)	実 技	松 田
9	1)3)	レクリエーション実践④(レクダンス・リハビリ体操)	実 技	松 田
10	1)3)	レクリエーション実践⑤(クラフト)	実 技	松 田
11	1)3)	レクリエーション実践⑥(クラフト)	実 技	松 田
12	1)3) 4)	レクリエーション支援実習(オリエンテーション・グループ分け・計画策定)	実 技	松 田
13	1)3) 4)	レクリエーション支援実習(計画策定)	実 技	松 田
14	1)3) 4)	レクリエーション支援実習(発表・実施)	実 技	松 田
15	1)3) 4)	レクリエーション支援実習(発表・実施)	実 技	松 田

教科書(著者名)出版社名【ISBN】 使用しない

参考書(著者名)出版社名【ISBN】 使用しない

科目名	公認心理師の職責			授業コード	121557B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(4年)			ナンバリング	51P321P01	AL 科目	○
担当者	染矢真実(心・心)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ ジションNo.	公認心理師法に基づき、公認心理師は、心理学に関する専門的知識および技術をもって国民の心の健康の保持および増進に寄与する専門職である。本講義では、社会に貢献する専門職として求められる基本的態度およびコンピテンシー、多職種連携に必要なコミュニケーション能力や自己研鑽力について理解を深めるとともに、支援者としての自己理解を促進する。また、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の各分野における公認心理師の役割、法的義務および職業倫理について学修する。授業は、講義、学習内容の確認テスト、ならびに現場において生じる諸問題を題材としたスモールグループディスカッション(SGD)により進め、心理実習と関連づけて展開する。【DP(1)(2)(4)(5),CP(1)(2)(3)】						
学修目標	1)公認心理師の役割について説明できる。 2)公認心理師の法的義務及び倫理について説明できる。 3)心理に関する支援を要する者等の安全の確保について説明できる。 4)情報の適切な取り扱いについて説明できる。 5)保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務の概要について説明できる。 6)自己課題を発見し、解決できる。 7)生涯学習への準備ができる。 8)多職種連携及び地域連携の概要を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、教育や病院臨床現場での長期的経験に基づき、公認心理師の職責の理解を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	学習への取り組み状況(確認テスト、授業およびスモールグループディスカッション(SGD)への参加態度)を40%、講義内試験を60%として総合的に評価し、単位認定を行う。確認テストやリアクションペーパー等への解答・解説は、原則として次回授業時に行う。また、復習を促すため、学修支援システムを活用してフィードバックを行う場合がある。						
準備学習・ 履修上の注意等	本授業は、公認心理師資格取得のための指定科目であり、心理実習と密接に関連づけて展開する。そのため、これまでに履修した公認心理師資格取得関連科目の内容を適宜復習したうえで授業に臨むこと。講義で扱う各分野における公認心理師の役割、法的義務および職業倫理について理解を深めるため、教科書を事前に読み、要点を整理しておくこと。また、授業後は講義内容およびスモールグループディスカッション(SGD)での議論を振り返り、心理実習との関連を意識しながら復習を行うこと。なお、本授業は心理実習と連動して展開されるため、原則として毎回出席すること。講義内でのディスカッション等には積極的に参加し、発言の際は互いを尊重する態度を保持すること。						
オフィスアワー	研究室前に掲示。						

#### 授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方 法	担 当
1	1)	公認心理師とはどのような資格か	講 義	染 矢
2	1)2)	公認心理師に求められること① 公認心理師の法的義務と倫理	講義・SGD	染 矢
3	1)2) 3)	公認心理師に求められること② 支援を必要としている人の視点に立ち、安全を守る	講義・SGD	染 矢
4	1)2) 3)4)	公認心理師に求められること③ 情報の適切な取り扱い	講義・SGD	染 矢
5	1)2) 3)4) 8)	公認心理師に求められること④ チームや地域で連携して働く	講義・SGD	染 矢
6	1)2) 3)4) 5)	各分野の公認心理師の具体的な業務① 福祉分野	講義・SGD	染 矢
7	1)2) 3)4) 5)	各分野の公認心理師の具体的な業務② 保健医療分野	講義・SGD	染 矢
8	1)2) 3)4) 5)	各分野の公認心理師の具体的な業務③ 教育分野	講義・SGD	染 矢
9	1)2) 3)4) 5)	各分野の公認心理師の具体的な業務④ 司法・犯罪分野	講義・SGD	染 矢
10	1)2) 3)4) 5)	各分野の公認心理師の具体的な業務⑤ 産業・労働分野	講義・SGD	染 矢
11	1)6) 7)	公認心理師になるために① 心理支援に必要な技能(コンピテンシー)	講義・SGD	染 矢
12	1)6) 7)	公認心理師になるために② 心理支援の専門職として働くために	講義・SGD	染 矢
13	1)	公認心理師となるために③ 心理支援の専門職になるために	講義・SGD	染 矢
14	1)2) 8)	公認心理師の今後の展開 ～将来の公認心理師の多様な役割を知る	講義・SGD	染 矢
15	1)2) 3)4) 5)6) 7)8)	【総括】これまで学習したことを総括し、公認心理師の職責についての知識を身につけられているか確認する	講義と総括	染 矢

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	公認心理師スタンダードテキストシリーズ 1 公認心理師の職責 [編著]下山晴彦・慶野遥香 ミネルヴァ書房 ISBN978-4-623-08611-5 C3311
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	講義内で適宜紹介

科目名	感情・人格心理学			授業コード	121561B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51P322P01	AL 科目	○
担当者	松尾 寿栄(非常勤講師) 田島 晶子(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ ルターNo.	感情(感情に関する諸理論、感情の測定、感情喚起の生起メカニズム、感情と行動との関連性等)と、人格(人格に関する諸理論、人格の測定、人格の形成要因と発達変容、パーソナリティ障害等)に関する基礎的な心理学的事項について学びます。本講義では講義内での個別もしくは小集団での発表を予定しています。準備学習として、プレゼンテーションの準備、発表後の振り返りをしてもらいます。						
学修目標	1)感情に関する理論及び感情喚起の機序について理解できる。 2)感情が行動に及ぼす影響について説明できる。 3)人格の概念及び形成過程について理解できる。 4)人格の類型や特性などについて説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、臨床現場での実務経験に基づき、感情・人格の障害等へのアセスメントやアプローチに関する知識の習得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業中の演習の参加状況や課されたレポート、授業毎の確認テスト等により学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。評価の割合は、レポートおよびグループワーク後のプレゼン等(30%)、期末の単位認定試験(70%)として、総合的に評価し単位認定を行う。評価の基準の具体については授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	【準備学習】 感情・人格の基礎的な知識について、予習・復習を行い授業に臨むこと。 【履修上の注意等】 講義では各自がまとめた内容についてプレゼンテーションを行う。具体的には、論文等の文献検索、レジュメ作成、プレゼンテーション、ディスカッションを行う。方法については講義の中で説明する。 【合理的配慮】 障害等を理由とした合理的配慮を必要とする場合は、授業前に代表教員(面高)まで連絡すること。 必要な支援を具体的に述べる必要はなく、日頃の講義で困っていること(例えば、みんなの前で発表する際に緊張して吃ってしまう。授業を聴きながらノートをとることが難しい。)を教えてください。建設的な対話のもと、教育の本質を変更しない配慮(例えば、みんなの前で発表する際に緊張して吃ってしまう→可能な発表方法への変更。ノートを取ることが苦手→事前に資料を配布)を実施したいと思ひます。						
オフィスアワー	授業前後の可能な時間に教室または非常勤講師室にて対応する。						

#### 授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当
1	1), 3)	感情・人格とは オリエンテーション	講義・SGD	松 尾
2	1)	感情の基礎・理論:感情および性格の定義	講義・SGD	田 島
3	1), 2)	感情が行動に及ぼす影響(1):援助行動・共感性	講義・SGD	田 島
4	1), 2)	感情が行動に及ぼす影響(2):感情の制御	講義・SGD	田 島
5	1), 2)	感情が行動に及ぼす影響(3):感情の測定	講義・SGD	田 島
6	3), 4)	人格の基礎・理論:人格の概念と諸理論	講義・SGD	松 尾
7	3), 4)	人格の概念及び形成過程:人格の発達と変容(1)	講義・SGD	松 尾
8	3), 4)	人格の概念及び形成過程:人格の発達と変容(2)	講義・SGD	松 尾
9	3), 4)	人格の概念及び形成過程:パーソナリティの測定	講義・SGD	松 尾
10	3), 4)	感情と人格の病理:人格の障害(1)	講義・SGD	松 尾
11	3), 4)	感情と人格の病理:人格の障害(2)	講義・SGD	松 尾
12	3), 4)	感情と人格の病理:人格の障害(3)	講義・SGD	松 尾
13	3), 4)	人格の概念及び形成過程:知的機能の測定	講義・SGD	田 島
14	3), 4)	人格の概念及び形成過程:知的機能の障害	講義・SGD	田 島
15	1), 2), 3), 4)	感情と人格に関する心理学研究法 まとめ	講義・SGD	田 島

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	公認心理師の基礎と実践 9 感情・人格心理学 遠見書房 ISBN:978-4-8661-6059-7
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	DSM-5 精神疾患の分類と診断の手引き(日本語) 医学書院 ISBN:978-4-2600-1908-8 人格・感情心理学



科目名	神経・生理心理学			授業コード	121562B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51P222P01	AL 科目	○
担当者	松尾 寿栄(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	人の心のはたらきは脳の神経系によってもたらされている。本講義では、人の支援に関わる専門職に必要な脳神経の構造とその機能について学ぶ。また、人の心のはたらきとしての記憶・感情などに関する生理学的反応のしくみについて習得する。さらに、神経系が障害されたときの高次脳機能障害の概要を学ぶ。授業は講義を中心にし、学習内容に合わせた演習を含むものとする。						
学修目標	1)神経・生理心理学の研究領域について理解できる。 2)脳神経の構造及び機能について説明できる。 3)記憶や感情等の生理学的反応の機序について説明できる。 4)神経心理学的な障害について説明できる。 5)神経心理学的アセスメントについて説明できる。 6)神経心理学的な支援について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、臨床現場での実務経験に基づき、神経・生理心理学及び高次脳機能障害等のアプローチに関する知識の習得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業中の演習の参加状況や課されたレポート等 30%及び期末の単位認定試験 70%として総合的評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	心理学・生理学等の基礎的な知識を習得し、予習・復習を行い授業に臨むこと。						
オフィスアワー	授業前後の可能な時間に教室または非常勤講師室にて対応する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	神経・生理心理学とは				講義・SGD	松 尾
2	2)	脳神経系の構造と機能				講義・SGD	松 尾
3	1)	神経・生理心理学の研究				講義・SGD	松 尾
4	4)5)6)	神経心理学的症候のアセスメントと支援の基礎				講義・SGD	松 尾
5	3)4)5) 6)	視覚系の障害のアセスメントと支援				講義・SGD	松 尾
6	3)4)5) 6)	認知・意識・注意の障害のアセスメントと支援				講義・SGD	松 尾
7	3)4)5) 6)	感覚運動系の障害のアセスメントと支援				講義・SGD	松 尾
8	3)4)5) 6)	脳の障害と可塑性				講義・SGD	松 尾
9	3)4)5) 6)	記憶の障害のアセスメントと支援				講義・SGD	松 尾
10	3)4)5) 6)	自律神経系の障害のアセスメントと支援				講義・SGD	松 尾
11	3)4)5) 6)	睡眠の障害のアセスメントと支援				講義・SGD	松 尾
12	3)4)5) 6)	薬物嗜癖と脳				講義・SGD	松 尾
13	3)4)5) 6)	言語の障害のアセスメントと支援				講義・SGD	松 尾
14	3)4)5) 6)	情動の障害のアセスメントと支援				講義・SGD	松 尾
15	1)	まとめ 脳一心と行動の神経科学				講義・SGD	松 尾
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	ピネル バイオサイコロジー―脳 心と行動の神経科学(ジョン ピネル(著),佐藤 敬,泉井 亮,若林 孝一,飛鳥井 望(翻訳))西村書店【ISBN-13: 978-4890133352】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	公認心理士カリキュラム準拠【神経・生理心理学】臨床神経心理学(緑川 晶・山口 加代子・三村 将 編)医歯薬出版【978-4-263-26561-1 C3347】						

科目名	社会・集団・家族心理学			授業コード	121540B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(1年)			ナンバリング	51P122P01	AL 科目	×	
担当者	加藤 謙介(心理)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リデーNo.	本講義では、「社会」「集団」「家族」が関わる心理学領域の特徴・専門知識について、様々な個別研究事例を通して習得する。具体的には、「対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程」「人の態度及び行動」「家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響」などの小テーマから、心理学の知識を福祉分野に応用するための教養を習得する。【DP(1)(3)(5)・CP(3)】							
学修目標	1)「社会・集団・家族心理学」の学問的志向について説明できる。 2)対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程について説明できる。 3)人の態度及び行動について説明できる。 4)家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響について説明できる。							
実務経験のある 教員による教育	特になし。							
評価及びフィード バックの方法	【フィードバック】毎回の授業後のショートレポートに基づく質疑応答によってフィードバックを行う。 【評価】学期末の試験によって評価する(100%)。							
準備学習・ 履修上の注意等	【準備学習(予習・復習等)時間】毎授業後次回授業内容のポイントを示すので、事前準備を行うこと。また、毎授業後に、1コマあたり1時間を目安に、必ず講義ノートを読み返すこと。 【履修上の注意等】本講義に際しては、心理学・福祉・医療等、幅広い分野に関心を持ち、様々な講義を受講していることが望ましい。また、他の受講生の迷惑になるような行為(私語等)は厳に謹んで頂きたい。 【出席登録について】本科目では、学生証による出席登録をしなかった場合、出席を認めないので注意すること(「学生便覧」参照)							
オフィスアワー	時間割が確定した後に研究室前に掲示する。							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授 業 方 法	担 当
1	1)	【1】オリエンテーション 「社会」「集団」「家族」の心理学をめぐる問題群の概要について紹介する。					講 義	加 藤
2	2)	【2】「社会的認知」に関する個別テーマのうち、「帰属と対人認知のメカニズム」「社会的判断・推論のメカニズム」「ステレオタイプと偏見」などについて説明する。					講 義	加 藤
3	2)	【3】「社会的自己」に関する個別テーマのうち、「自己知識・自己概念」「自己知覚」「自己評価・自尊心の維持・高揚のメカニズム」「自己制御」「自己呈示」などについて説明する。					講 義	加 藤
4	2)	【4】「対人関係・対人行動」に関する個別テーマのうち、「対人魅力」「社会的交換」「協力と競争」などについて説明する。					講 義	加 藤
5	2)	【5】「対人関係・対人行動」に関する個別テーマのうち、「援助行動」「攻撃行動」などについて説明する。					講 義	加 藤
6	2)	【6】「コミュニケーション」に関する個別テーマのうち、「言語コミュニケーション」「非言語コミュニケーション」「コミュニケーション・ネットワーク」などについて説明する。					講 義	加 藤
7	2)	【7】「集団・組織」に関する個別テーマのうち、「所属・成員性」「集団への同調」「内集団ひいき」「集団内の地位とリーダーシップ」などについて説明する。					講 義	加 藤
8	3)	【8】「態度の機能と構造」に関する個別テーマのうち、「態度の形成と機能」「態度の構造と変化」「態度と行動の一貫性」などについて説明する。					講 義	加 藤
9	3)	【9】「説得による態度と行動の変化」に関する個別テーマのうち、「送り手の要因」「メッセージの要因」「受け手の要因」「状況の要因」「態度変化のモデル」「説得への抵抗」などについて説明する。					講 義	加 藤
10	4)	【10】「家族の機能」に関する個別テーマのうち、「性に関わる機能」「子どもの社会化に関わる機能」「情緒に関わる機能」などについて説明する。					講 義	加 藤
11	4)	【11】「家族内の関係」に関する個別テーマのうち、「家族システム」「夫婦関係」「親子関係」「きょうだい関係」「家族の発達段階」などについて説明する。					講 義	加 藤
12	4)	【12】「集団・組織の影響」に関する個別テーマのうち、「情報的影響と規範的影響」「集団凝集性」などについて説明する。					講 義	加 藤
13	4)	【13】「集団・組織の影響」に関する個別テーマのうち、「組織規範と組織文化」などについて説明する。					講 義	加 藤
14	4)	【14】「文化の影響」に関する個別テーマのうち、「規範」「慣習・習慣」「制度」「相互構成的な文化的存在としての人間」などについて説明する。					講 義	加 藤
15	4)	【15】「文化の影響」に関する個別テーマのうち、「子どもの養育と発達」「異文化接触」などについて説明する。					講 義	加 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						

科目名	障害者・障害児心理学			授業コード	121563B601	単位数 (時間数)	2単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51P222P02	AL科目	○	
担当者	松山光生(臨心)、中津真美(外部講師)	開講学期	2026年度後期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リナーNo.	福祉・保健・医療・教育・労働の現場においては、障害者・障害児の心理を科学的に理解し、心理学的に援助する方法を理解することが必要となる(DP3)。障害者・障害児にアプローチする基本的視点と方法、障害の種類と心理的特性、彼らに対する心理的援助、また彼らを取り巻く環境に関する知識を修得する。授業は講義を中心にし、学習内容に合わせた演習も含むものとする(DP6)。							
学修目標	1)障害と障害児・者の心理を理解する基本的な視点が説明できる。 2)障害児・者の各領域のわが国の施策とその課題が説明できる。 3)知的障害と心理的特性が説明できる。 4)発達障害の種類と各種類の心理的特性が説明できる。 5)身体障害の種類と各種類の心理的特性が説明できる。 6)障害児・者の心理を、心理検査などの科学的に理解する方法について説明できる。 7) 障害児・者に対する支援と技法が説明できる。							
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、臨床発達心理士、公認心理師としての実務経験に基づき、障害者・障害児のアプローチに関する知識の習得を目的とした授業を行う。							
評価及びフィード バックの方法	中間テスト(45%)、期末テストの成績(45%)、授業態度(10%)で評価する。 小テスト及び中間試験は模範解答を提示し、中間試験は点数をフィードバックする							
準備学習・ 履修上の注意等	毎回の講義中に学生に質問し、解答を求め、また、学生からの積極的な質問を歓迎する。私語は厳禁する。居眠りも慎むこと。これらが授業態度と関係する。 毎回、授業終了時に、小テストを行う(資料閲覧可)。中間試験は2週間前に告知するが、出来る限り参加すること(中間試験の再試、追試は原則、行ないません)。 ・3年生までに履修することが望ましい ・4年生で履修する場合、必ず、事前に、相談して下さい							
オフィスアワー	木曜日5限(16:40~18:10)							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)、 3)、 4)、5)	【障害の定義と分類を学ぶ】 身体障害、知的障害、精神障害の種類を説明できる					講義・SGD	松 山
2	1)	【障害の1次的要因と2次的要因について学ぶ】 ICIDH や ICF を使って障害の構造と水準を説明できる					講義・SGD	松 山
3	2)	【障害児・者に対するわが国の取り組みを学ぶ】 障害者差別解消法と特別支援教育の現状と課題を把握する					講義・SGD	松 山
4	3)	【知的障害児・者の心理特性を学ぶ①】 知的障害の定義とその評価を説明できる					講義・SGD	松 山
5	3)、6)	【知的障害児・者の心理特性を学ぶ②】 知的障害の知能特性と行動特性を説明できる					講義・SGD	松 山
6	4)、 6)、7)	【発達障害に共通する特徴について学ぶ】 発達障害の2次障害を理解し、スクリーニング検査の重要性と原理について説明できる					講義・SGD	松 山
7	4)	【限局性学習症の特徴を学ぶ①】 限局性学習症の読み書きの問題について説明できる					講義・SGD	松 山
8	4)、 6)、7)	【限局性学習症の特徴を学ぶ②】 限局性学習症の認知検査結果に基づき支援方法を考えられる ※この単元、終了後、中間試験を実施する					講義・SGD	松 山
9	7)	【障害児・者に対する支援の実践について学ぶ】 大学における障害学生・障害教職員支援：現場から見える支援の実践を知る					講義・SGD	中 津
10	4)7)	【自閉症スペクトラム症の特徴を学ぶ①】 自閉症スペクトラム症の特徴、原因仮説、発見の歴史を説明できる					講義・SGD	松 山
11	4)	【自閉症スペクトラム症の特徴を学ぶ②】 自閉症スペクトラム症の支援とその技法について説明できる					講義・SGD	松 山
12	4)7)	【注意欠如多動症の特徴を学ぶ①】 注意欠如多動症の基本症状について説明できる					講義・SGD	松 山
13	4)	【注意欠如多動症の特徴を学ぶ②】 注意欠如多動症の併存障害と神経心理学的問題について説明できる					講義・SGD	松 山
14	5)7)	【聴覚障害児・者の特徴を学ぶ①】 聴覚障害の種類とコミュニケーション手段について説明できる					講義・SGD	松 山
15	5)7)	【聴覚障害児・者の特徴を学ぶ②】 聴覚障害児・者の認知特性と障害受容について考えることができる					講義・SGD	松 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		第13巻 障害者・障害児心理学(公認心理師の基礎と実践)【遠見書房】 ISBN-13 : 978-4866160634						

科目名	心理的アセスメント	授業コード	121564B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2 年)	ナンバリング	51P222P03	AL 科目	○
担当者	染矢 真実(心・心)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択
授業の概要・一般 目標・対応するホ リス-No.	本授業では、心理的アセスメントの目的・倫理・理論の枠組みを理解し、観察法・面接法・心理検査法といった主要な方法について体系的に学ぶ。さらに、得られた情報を整理・統合し、アセスメントとして適切に解釈し、記録・報告するための基礎的知識と技能を身につけることを目的とする。本科目は公認心理師養成課程における指定科目であり、心理演習および心理実習と連動しながら、実践に活かすことのできるアセスメントの基盤形成を目指す。そのため、学習内容に応じて、検査の実施・面接等のロールプレイやスモールグループディスカッション(SGD)等の演習的要素を取り入れる。【DP(1)(3),CP(3)】				
学修目標	1)心理的アセスメントの目的及び倫理について説明できる。 2)心理的アセスメントの基本的観点を理解し、情報をどのように整理・統合するかを説明できる。 3)面接法の構造と展開を理解し、特徴を説明できる。 4)観察法の理論的背景と方法を理解し、特徴を説明できる。 5)検査法の基礎理論と種類を理解し、適切な活用の視点を説明できる。 6)適切な記録及び報告を行うために必要な観点を説明できる。				
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、教育・医療・福祉分野等の臨床現場における長期の実務経験を有しており、その経験に基づき、心理的アセスメントの実施における倫理的配慮および実施手続き、結果の解釈と活用方法について具体的に指導する。これにより、心理的アセスメントの実施者として求められる倫理観および専門的技術の修得を目的とした授業を行う。				
評価及びフィード バックの方法	・学習への取り組み状況(検査レポート課題、ロールプレイ・SGD・ふりかえりテスト等を含む授業への参加態度)を50%、講義内試験を50%として総合的に評価し、単位認定を行う。 ・確認テストおよび提出課題についての講評・解説は、原則として次回授業時に行う。また、復習を促すため、学修支援システム(ユニバ)を活用してフィードバックを行う場合がある。				
準備学習・ 履修上の注意等	本授業は、公認心理師資格取得のための指定科目であり、心理演習および心理実習と密接に関連づけて展開する。そのため、これまでに履修した公認心理師養成関連科目の内容を適宜復習したうえで授業に臨むこと。教科書の該当箇所は事前に精読し、予習を行うこと。原則として毎回出席することを前提とする。 ロールプレイやスモールグループディスカッション(SGD)等の演習には積極的に参加し、発言やフィードバックに際しては守秘義務および専門職倫理に十分配慮し、互いを尊重する態度を保持すること。授業後は、講義内容および演習での学びを振り返り、要点を整理するなど復習を必ず行うこと。				
オフィスアワー	研究室前に掲示				

授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方 法	担 当
1	1)2)	オリエンテーション 【なぜ心理的アセスメントが必要なのかⅠ】 ・公認心理師にとって心理的アセスメントを学ぶ意義	講 義	染 矢
2	1)2)	【なぜ心理的アセスメントが必要なのかⅡ】 ・心理的アセスメントの観点	講 義	染 矢
3	3)~5)	【心理的アセスメントの方法Ⅰ】 ・心理的アセスメントに有用な情報	講 義	染 矢
4	3)	【心理的アセスメントの方法Ⅱ】 ・面接法①	講義・演習	染 矢
5	3)	【心理的アセスメントの方法Ⅲ】 ・面接法②	講義・演習	染 矢
6	4)	【心理的アセスメントの方法Ⅳ】 ・観察法	講義・演習	染 矢
7	5)	【心理的アセスメントの方法Ⅴ】 ・知能検査	講義・演習	染 矢
8	5)	【心理的アセスメントの方法Ⅵ】 ・発達検査	講義・演習	染 矢
9	5)	【心理的アセスメントの方法Ⅶ】 ・質問紙法①	講義・演習	染 矢
10	5)	【心理的アセスメントの方法Ⅷ】 ・質問紙法②および作業検査法	講義・演習	染 矢
11	5)	【心理的アセスメントの方法Ⅷ】 ・神経心理学的検査	講義・演習	染 矢
12	5)	【心理的アセスメントの方法Ⅸ】 ・認知機能検査	講義・演習	染 矢
13	1)~5)	【心理的アセスメントの活用に向けてⅠ】 ・複数の心理的アセスメントの統合	講義・演習	染 矢
14	6)	【心理的アセスメントの活用に向けてⅡ】 ・心理的アセスメントの記録と報告	講義・演習	染 矢
15	1)~6)	【総括】 ・これまで学習したことを総括し、心理アセスメントについての知識を身につけられているか確認する	講義内試験	染 矢
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	公認心理師スタンダードテキストシリーズ 14 心理的アセスメント(編著:本郷一夫・吉田沙蘭)ミネルヴァ書房【ISBN978-4-623-08624-5】			
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	講義内にて適宜紹介			

科目名	心理学的支援法	授業コード	121565B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)	ナンバリング	51P321P01	AL 科目	
担当者	前田直樹(心・心)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソ-No.	心理療法のアプローチには、様々なモデルや方法がある。本講義では、主要な学派をとりあげ、その理論的枠組みや技法など基本的知識を習得する。また、それらの方法論が実際の臨床の場でどのように用いられ、治療効果を挙げているかについて議論し、理解を深める。 (DP1) (DP4) (CP1) (CP2) (CP3)				
学修目標	1)心理療法について理解し、その役割や活躍の場などを説明できる。 2)心理査定について理解し、その方法としての面接・行動観察の方法を説明できる。 3)様々な心理療法に共通する心理療法の基本について理解し、説明できる。 4)それぞれの心理療法の基本的な考え方を理解し、その概要を説明できる。				
実務経験のある 教員による教育	該当なし				
評価及びフィード バックの方法	小テストおよび確認テスト。				
準備学習・ 履修上の注意等	すでに心理学に関する講義を受講していること。				
オフィスアワー	月曜日(18:30-19:00)				

授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当
1	1)2)3) 4)	心理学的支援の総合的視点について理解する	講 義	前 田
2	1)2)4)	クライアント中心療法の治療目標・技法・過程について理解する	講 義	前 田
3	1)2)4)	精神分析の治療目標・技法・過程について理解する	講 義	前 田
4	1)2)4)	行動療法の代表的な研究者、治療目標・技法・過程について理解する	講 義	前 田
5	1)2)4)	認知行動療法の代表的な研究者、治療目標・技法・過程について理解する	講 義	前 田
6	1)2)3) 4)	家族療法 of 代表的な研究者、治療目標・技法・過程について理解する	講 義	前 田
7	1)2)3) 4)	コミュニティ心理学的支援について理解する	講 義	前 田
8	1)2)4)	森田療法における治療目標・技法・過程について理解する	講 義	前 田
9	1)2)4)	日本で生まれた心理療法の代表的な研究者、治療目標・技法・過程について理解する	講 義	前 田
10	1)2)	【個人への介入技法①】 遊戯療法の代表的な研究者、治療目標・技法・過程について理解する	講 義	前 田
11	1)2)	【個人への介入技法②】 行動療法の治療目標・技法・過程について理解する	講 義	前 田
12	1)2)	【個人への介入技法③】 応用行動分析の治療目標・技法・過程について理解する	講 義	前 田
13	1)2)3) 4)	心理学的コンサルテーションについて理解する	講 義	前 田
14	1)2)3) 4)	スクールカウンセリングについて理解する	講 義	前 田
	1)2)3) 4)	(総括) これまでの授業の内容を総括し、心理学的支援法の基礎を正しく理解する	講 義	前 田

教科書(著者名)出版社名【ISBN】 使用しない

参考書(著者名)出版社名【ISBN】 使用しない

科目名	健康・医療心理学			授業コード	121566B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51P321P02	AL 科目		
担当者	平川 忠敏(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	さまざまな疾病や健康予防行動について、健康心理学の視点より学ぶことがこの科目の目的である。受講生諸君には身体的健康(疾病)の裏に心理的な要因(生活習慣、パーソナリティ)があることを学ぶ。							
学修目標	1)健康と心理的要因との関係が理解できる。 2)生活習慣行動と身体の健康の関係について理解することができる。 3)日常生活で、健康増進行動を取ることができる。							
実務経験のある 教員による教育	特になし							
評価及びフィード バックの方法	筆記試験							
準備学習・ 履修上の注意等	予習・復習を行うこと。 健康・医療心理学を自ら進んで学習する姿勢							
オフィスアワー	授業終了後							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	健康心理学とは何かを理解する。					講 義	平 川
2	1)	【ストレスとその対処①】 ・ストレスの定義、語源、心理学的概念を理解する。					講 義	平 川
3	1)2)	【ストレスとその対処②】 ・ストレスをもたらす要因、ストレスへの対処法、ストレスと疾患について理解する。					講 義	平 川
4	1)2)3)	【ライフスタイルと健康増進①】 ・健康増進、健康増進の問題、健康関連行動の決定要因を理解する。					講 義	平 川
5	1)2)3)	【ライフスタイルと健康増進②】 ・健康行動を形成するモデル、社会文化的要因と健康関連行動について理解する。					講 義	平 川
6	1)2)3)	【生活習慣と疾病予防①】 ・生活習慣と健康について理解する。					講 義	平 川
7	1)2)3)	【生活習慣と疾病予防②】 ・栄養と食行動、運動・身体活動と健康についての関係について理解する。					講 義	平 川
8	3)	【疾病とヘルスサービス①】 ・日本の医療制度とヘルスサービスについて理解する。					講 義	平 川
9	3)	【疾病とヘルスサービス②】 ・患者と医師の関係、コンプライアンスについて理解する。					講 義	平 川
10	2)3)	痛みとその対処について理解する。					講 義	平 川
11	1)	【疾患と健康心理学①】 ・疾患と健康心理学について理解する。					講 義	平 川
12	1)	【疾患と健康心理学②】 ・高血圧、喘息、糖尿病について理解する。					講 義	平 川
13	1)2)	重篤な疾患と健康心理学について理解する。					講 義	平 川
14	1)2)3)	健康心理学の将来について理解する。					講 義	平 川
15	1)2)3)	総括					講 義	平 川
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	よくわかる健康心理学 ISBN:9784623061570 森 和代/石川 利江/茂木 俊彦【編】ミネルヴァ書房							
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	使用しない							

科目名	福祉心理学			授業コード	121567B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(3年) 臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51P322P02	AL 科目	○
担当者	松山光生(臨心)中津真美(外部講師)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	福祉現場には、多くの人々の生活にかかわるさまざまな問題が山積している。本講義では、臨床福祉の問題とその背景を整理し、心理学的アプローチ方法を習得することを目的とする(DP3)。児童福祉及び高齢者福祉分野に焦点を当てて、児童虐待と認知症の問題を取り上げる。また、近年の動向を踏まえ、ヤングケアラーの問題について考察を深めていく(DP6)。						
学修目標	1)福祉分野の体系を説明できる。 2)それぞれの福祉分野における対象者の特性を説明できる。 3)福祉分野で心理的支援をおこなう場合、必要な対象に関する知識を説明でき、基本的な心理的支援を実施できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、臨床発達心理士、公認心理師としての実務経験に基づき、社会福祉的な課題に対する心理学的アプローチに関する知識の習得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	毎回の講義中に学生に質問し、解答を求める。また、学生からの積極的な質問を歓迎する。私語は厳禁する。居眠りも慎むこと。これらが授業態度と関係する。 毎回、授業終了時に、小テストを行う(資料閲覧可)。中間試験は2週間前に告知するが、出来る限り参加すること(中間試験の再試、追試は原則、行ないません)。 中間試験の解答と採点結果は、授業の中でフィードバックする。						
準備学習・ 履修上の注意等	・精神疾患や社会福祉学に関する講義を受講していることが望ましい。 ・心理、福祉コースの学生は、原則、3年生で履修して下さい。 ・心理、福祉コースの学生で、4年生で履修する場合は、必ず、事前に相談して欲しい。						
オフィスアワー	火曜日 15 時～17 時						

授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当			
1	1)	【福祉心理学とは何かを学ぶ】 福祉心理学の定義とその視点を説明できる	講 義	松 山			
2	1)	【我が国の社会福祉の現状と課題を概観する】 わが国の今日的課題と社会福祉の主要な分野を理解する	講 義	松 山			
3	2)	【児童福祉分野の課題とその心理学的アプローチについて学ぶ①】 社会的養護の現状と課題を把握する	講 義	松 山			
4	2)3)	【児童福祉分野の課題とその心理学的アプローチについて学ぶ②】 児童虐待の現状と課題について把握する	講 義	松 山			
5	2)	【児童福祉分野の課題とその心理学的アプローチについて学ぶ③】 学術論文から児童虐待の実態とリスク要因を読み取ることができる	講 義	松 山			
6	2)3)	【児童福祉分野の課題とその心理学的アプローチについて学ぶ④】 被虐待児の特性を理解して、その対応を考えることができる ※ここまでの単元が終了後、中間試験を実施	講 義	松 山			
7	2)3)	【高齢者福祉分野の課題とその心理学的アプローチについて学ぶ①】 わが国の高齢者の生活実態について説明できる	講 義	松 山			
8	2)3)	【高齢者福祉分野の課題とその心理学的アプローチについて学ぶ②】 わが国の高齢者福祉分野の法制度を説明できる	講 義	松 山			
9	2)3)	【高齢者福祉分野の課題とその心理学的アプローチについて学ぶ③】 学術論文から特別養護老人ホームにおける公認心理師の実践と役割を読み取ることができる	講 義	松 山			
10	2)3)	【高齢者福祉分野の課題とその心理学的アプローチについて学ぶ④】 認知症の原因疾患と症状について説明できる	講 義	松 山			
11	2)3)	【高齢者福祉分野の課題とその心理学的アプローチについて学ぶ⑤】 認知症に関するアセスメント方法を理解する	講 義	松 山			
12	2)3)	【高齢者福祉分野の課題とその心理学的アプローチについて学ぶ⑥】 認知症に関する支援方法を理解する	講 義	松 山			
13	2)3)	【福祉心理学のトピックスを掘り下げる①】 ヤングケアラーの定義、実態、支援のあり方について説明できる	講 義	松 山			
14	2)3)	【福祉心理学のトピックスを掘り下げる②】 学術論文からヤングケアラーの臨床像について読み取ることができる	講 義	松 山			
15	1)2)3)	【福祉心理学のトピックスを掘り下げる③】 CODAを通してヤングケアラーの実際を理解する	講 義	中 津			
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		随時紹介する					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		公認心理師の基礎と実践 福祉心理学(中嶋 健一 編) 遠見書房 (ISBN978-4-86616-067-2C3011)					

科目名	教育・学校心理学			授業コード	121568B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51P322P03	AL 科目	○
担当者	前田直樹	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	<p>教育・学校心理学は、公認心理師の活躍する場である教育現場にかかわる実践的な科目である。もともとは、教育心理学は「教育という事象を理論的・実証的に明らかにし、教育の改善に資するための学問」(日本教育心理学会)であり、学校心理学は「一人ひとりの子どもが学校生活を通して出会う問題への対応と解決を援助する心理教育的援助サービスの理論と実践を支える」体系(日本学校心理学会)である。本講義では、スクールカウンセラー等の教育現場での心理職の基礎となる理論と心理的支援について習得することを目的とする。授業は、講義を中心にし、学習内容に関する教育現場において生じる問題等について、スマールグループディスカッション(SGD)を行う。</p> <p>(DP1) (DP4) (CP1) (CP2) (CP3)</p>						
学修目標	<p>1)子どもの発達の基礎理論について説明できる。 2)教育現場において生じる問題及びその背景について説明できる。 3)教育現場における心理社会的課題及び必要な支援について説明できる。 4)子どもの多様な援助者を含むチーム学校及び地域連携について説明できる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、教育センターやスクールカウンセラーなど教育現場での長期の実務経験に基づき、教育現場に必要な視点と支援の習得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	小テストおよび確認テスト						
準備学習・ 履修上の注意等	・公認心理師を目指す者。						
オフィスアワー	研究室前に掲示。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)2)	記憶の基本的な仕組み				講義・SGD	前 田
2	1)	知識と問題解決				講義・SGD	前 田
3	2)	学習理論				講義・SGD	前 田
4	1)2)3)	達成動機とは				講義・SGD	前 田
5	1)2)3)	学級という社会				講義・SGD	前 田
6	2)3)4)	学習指導の形態				講義・SGD	前 田
7	1)2)3) 4)	児童・生徒に対する評価				講義・SGD	前 田
8	1)2)3) 4)	発達理論				講義・SGD	前 田
9	1)2)3) 4)	知能の発達				講義・SGD	前 田
10	1)2)3) 4)	人格の発達				講義・SGD	前 田
11	1)2)3) 4)	発達障害				講義・SGD	前 田
12	1)2)3) 4)	スクールカウンセリング①				講義・SGD	前 田
13	1)2)3) 4)	スクールカウンセリング②				講義・SGD	前 田
14	1)2)3) 4)	スクールカウンセリング③				講義・SGD	前 田
15	1)2)3) 4)	総括				講義・SGD	前 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名	司法・犯罪心理学		授業コード	121569B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)		ナンバリング	51P322P03	AL 科目	○
担当者	黒浜翔太(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態 講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソールNo.	公認心理師の活躍の場として司法・犯罪分野がある。犯罪心理学には、「犯罪原因論」「捜査心理学」「裁判心理学」「矯正心理学」などがある。また最近では、「被害者心理学」や「防犯心理学」「犯罪環境心理学」などの新しい研究もある。ここでは、社会で起こる様々な犯罪について心理学的にアプローチする基礎を学び、さらに加害者に対するアセスメントや事件に関わった人々、加害者とその家族、被害者への支援方法を学ぶことを目的とする。具体的には、まず、犯罪、非行、犯罪被害及び家事事件についての基本的知識を習得する。そして、司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理的支援について学ぶ。 (DP3)					
学修目標	1)心理学が司法・犯罪にどうかかわっているかを説明できる。 2)犯罪捜査と犯罪・非行の予防について説明できる。 3)事件に関わる者(加害者、被害者、加害者家族、地域等)の心理について説明できる。 4)事件に関わる者(加害者、被害者、加害者家族、地域等)に必要な心理的支援について説明できる。 5)司法・犯罪分野に関わる法律と制度についての知識を身に着ける。 6)犯罪のない社会について考えることができる。					
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、犯罪捜査や司法の現場で長期の実務経験に基づき、司法・犯罪の現場に必要な理論と支援の修得を目的とした授業を行う。					
評価及びフィード バックの方法	3～4コマごとにレポートを作成して提出してもらい、その取り組み状況で評価を行う(10%)。全体講義を行う際に事例検討を行うので、その取り組み状況で評価を行う(10%)。最終講義の確認テスト等で総括的評価を行う(80%)。レポート内容に、講義で分からなかったこと、理解できなかったこと、もっと知りたかったことについて記載してもらえば、全体もしくは個別にフィードバックを行う。					
準備学習・ 履修上の注意等	・1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。特に、新聞・テレビニュースなどを通して、犯罪および家事事件等に関心を持つこと。 ・一部オンライン授業を実施予定。					
オフィスアワー	講義時間の前後に申し出ること。					

#### 授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当
1	1)	司法・犯罪心理学の概要 (どのような分野か、どのような職場があるか等)	講 義	黒 浜
2	2)3)4)	<犯罪・非行についての基礎知識②> 犯罪・非行の心理アセスメント	講 義	黒 浜
3	3)4)5)	<犯罪心理学における心理支援①> 少年法制における非行少年への心理的支援	講 義	黒 浜
4	3)4)5)	<犯罪心理学における心理支援②> 司法機関における犯罪加害者への心理アセスメントの実際	講 義	黒 浜
5	5)	<犯罪・非行についての基礎知識④> 犯罪心理学に関する法律と制度(成人と少年の刑事司法システムを含む)	講 義	黒 浜
6	3)4)6)	<犯罪心理学における心理支援⑤> 犯罪被害者への心理的支援	講 義	黒 浜
7	3)4)	<犯罪心理学における心理支援②> 非行少年の心理アセスメントの実際	講 義	黒 浜
8	3)4)	<犯罪心理学における心理支援③> 矯正施設における加害者臨床	講 義	黒 浜
9	3)4)	<犯罪心理学における心理支援⑥> 社会内処遇における心理支援	講 義	黒 浜
10	5)	<家事事件の基礎と心理支援①> 家事事件における法律と制度(DV等を含む)	講 義	黒 浜
11	3)4)	<家事事件の基礎と心理支援②> 離婚と子どもの心理	講 義	黒 浜
12	2)	<犯罪・非行についての基礎知識①> 科学的な犯罪捜査と犯罪・非行の予防における心理学 ～警察活動の視点から～	講 義	黒 浜
13	2)3)4)	<犯罪・非行についての基礎知識②> 犯罪・非行の心理アセスメント	講 義	黒 浜
14	2)3)4)	<犯罪・非行についての基礎知識③> 事実への接近のためのさまざまな心理面接とその技法	講 義	黒 浜
15	2)3)4)	総括	講 義	黒 浜

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	使用しない
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	司法・犯罪心理学:社会と個人の安全と共生をめざす(公認心理師の基本を学ぶテキスト 19) 門本泉(編)

科目名	産業・組織心理学		授業コード	121570B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)		ナンバリング	51P322P04	AL 科目	○	
担当者	矢島 順(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リラーNo.	産業・組織心理学とは、働く人の心身の健康や仕事の効率などに関する基礎的・応用的な研究を行い、それを産業・組織において生じる多様な課題に応用するものです。この授業では、公認心理師の業務を理解するために、職場における問題(キャリア形成に関することを含む)に対して必要な心理に関する支援や、組織における人の行動について学びます。これには担当者の長年の実務経験に基づく内容を含みます。またメンタルヘルス心理教育のプレゼンテーションや解決志向アプローチなどの演習を取り入れ実践できるように指導します。						
学修目標	1)産業・組織心理学の定義について理解し説明できる。 2)産業組織について学ぶことで組織における人間の行動(動機付けやリーダーシップ)について理解し説明できる。 3)主要な労働法について理解し、プレゼンテーションで説明できるようになる。 4)ワーク・ライフ・バランス、キャリア形成について理解しその施策について説明できる。 5)職業性ストレスモデル、ストレスチェック制度等職場のメンタルヘルス対策について理解し説明できる。 6)復職支援、再就職支援、障害者者就労支援など、働く人への心理的支援について理解し説明できる。 7)セルフケア、ラインケア、ハラスメントそれぞれの研修項目について理解し、心理教育をプレゼンテーションできるようになる。 8)産業心理臨床における心理療法について、解決志向アプローチの基本姿勢コンプリメントや質問法を理解し説明できるようになるとともに、ロールプレイなどの演習で実施できるようになる。						
実務経験のある 教員による教育	講師は国家資格公認心理師資格、中級産業カウンセラー資格を取得しています。精神科病院勤務後私設心理相談室開設以来、産業・組織心理学的な心理支援(カウンセリング、コンサルテーション、復職支援、メンタルヘルス心理教育等)に長く携わってきています。 産業・組織心理学臨床分野での経験を元に具体的事例を提示しながらわかりやすく授業します。 なお、講師は長く臨床心理士として活動してきましたが、国家資格公認心理師取得に伴い臨床心理士資格の更新をやめましたことを付け加えておきます。						
評価及びフィード バックの方法	授業態度特に演習への取り組みを 10%、演習後のレポートに 20%、単位認定試験 20%、単位認定レポート 50% で総合的に評価する。 ・確認テストや提出課題についての解説については、原則、次回授業時に行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	1 回の授業毎に 4 時間を目安に予習復習を行うこと。復習は主として課題とするレポートの作成。予習は授業時に予告を行うので教科書の該当部分を読んでおく、事前に配布するレジュメで事前学習をしておくこと。						
オフィスアワー	講義日の授業前後の可能な時間、講師控室において						

授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当
1	1)	【産業・組織心理学の意義と方法】 産業・組織心理学の定義を踏まえ、この分野における公認心理師の業務、役割、資質の向上について理解し、説明できる。	講 義	矢 島
2	2)	【産業組織について】 経営戦略と企業組織の関係について理解し説明できる。また、いくつかの組織論について理解し説明できる。	講 義	矢 島
3	2)	【組織における人間の行動について】 主な動機付け理論について理解し説明できる。また、リーダーシップの特性論、行動論、状況論について理解し説明できる。	講 義	矢 島
4	3)	【主要な労働法について】 主要な労働法や働き方改革関連法の主なポイントについて理解し、プレゼンテーションし説明できる。	講義・演習	矢 島
5	4)	【ワーク・ライフ・バランスの必要性について】 ワーク・ライフ・バランスの必要性について理解しその施策について説明できる。キャリアの定義や理論について理解し、キャリア・カウンセリング、キャリア教育などについて説明できる。	講 義	矢 島
6	5)	【産業臨床心理学の特徴について】 職業性ストレスモデル、ストレスチェック制度を理解し説明できる。	講 義	矢 島
7	5)	【産業保健に関する施策と法令の概要】 職場のメンタルヘルス対策について理解し説明できる。	講 義	矢 島
8	6)	【従業員支援プログラム(EAP)とは】 EAP について、またコアテクノロジーには何が含まれているかについて理解し説明できる。	講 義	矢 島
9	6)7)	【産業・労働分野におけるコンサルテーションについて】 セルフケア、ラインケア、ハラスメントそれぞれの研修項目について理解し説明できる。	講 義	矢 島
10	6)	【復職支援の背景や概要】 復職支援ではクライアントの疾病性や個別性、所属する組織や社会との関係性から理解することで、成長発達する職業人・社会人への全人的支援が可能となることを理解し説明できる。	講 義	矢 島
11	6)	【就職における心理支援について】 再就職を取り巻く環境を理解し、再就職における心理支援のポイントを説明できる。また障害者の就労支援について、民間企業における障害者の雇用の現状を理解し、障害者の就労支援組織、就労形態について説明できる。	講 義	矢 島
12	6)	【職場でのトラウマケアについて】 危険を伴う職場で働く人々の心理を理解し、説明できる。組織におけるトラウマケアの考え方を理解し説明できる。	講 義	矢 島
13	7)	【セルフケア、ラインケア、ハラスメントについて】 それぞれの研修項目を理解し、心理教育をプレゼンテーションできるようになる。	演 習	矢 島
14	8)	【産業心理臨床における心理療法、解決志向アプローチ】 産業心理臨床における心理療法、解決志向アプローチの基本的視点を理解し説明できるようになる。	講 義	矢 島
15	8)	【産業心理臨床における心理療法、解決志向アプローチの実際】 産業心理臨床における心理療法、解決志向アプローチについて、ロールプレイで実践できるようになる。	演 習	矢 島

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	野島一彦・繁柘算男監修 公認心理師の基礎と実践 20 新田泰生編 産業・組織心理学 遠見書房 ISBN978-4-86616-070-2C3011 厚生労働省のホームページより『知って役立つ労働法～働くときに必要な基礎知識～』PDFをダウンロードしておいてください。なお法律の改正に伴って更新されます。最新のバージョンかご確認ください。 <a href="https://www.mhlw.go.jp/content/000693888.pdf">https://www.mhlw.go.jp/content/000693888.pdf</a>
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	森 俊夫 先生のためのやさしいブリーフセラピー 読めば面接が楽しくなる ほんの森出版 ISBN978-4-938874-16-2C3011

科目名	心理学実験	授業コード	121558B601	単位数 (時間数)	2 単位 (60)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)	ナンバリング	51P223P01	AL 科目	○
担当者	加藤 謙介(心理)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択 授業形態 実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	本科目では、心理学の様々な「実験」課題への参加を通して、心理学の研究方法に関する専門知識と技術を習得する。具体的には、(1)心理学実験の基礎、(2)学習心理学、(3)知覚心理学、(4)社会心理学の4つのセクションにおける実験等の課題に取り組み、各分野の特徴と、代表的な研究方法・研究事例を学ぶ。【DP(1)(3)(5)・CP(3)】				
学修目標	1)「心理学研究」の枠組み(「問題」「方法」「結果」「考察」)を説明できる。 2)研究テーマに即した心理学研究法の活用について説明できる。 3)心理学研究の形式に即した「レポート」を書くことができる。 4)様々な材料を用いて、心理学実験課題を行うことができる。 5)心理学的な知見の社会で活用方法について説明できる。				
実務経験のある 教員による教育	特になし。				
評価及びフィード バックの方法	【フィードバック】授業中に実施する各実験課題のふりかえりを通してフィードバックを行う。 【評価】授業中に実施する各「実験課題」への参加(50%)、及び、それぞれの課題の「レポート」(50%)を評価対象とする。なお、授業内で実施する全ての実験課題に対してレポートを課す。				
準備学習・ 履修上の注意等	◆「公認心理師」「認定心理士」資格取得希望者のみに開講する。 ◆本科目は「実験・実習」であるため、授業中に実施する各「実験課題」に全て参加することが基本となる。理由なく遅刻・欠席することのないように。 ◆新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、実験課題等、授業内容に大幅な変更が生じる可能性があることを付記する。 【出席登録について】本科目では、学生証による出席登録をしなかった場合、出席を認めないので注意すること(「学生便覧」参照)				
オフィスアワー	時間割が確定した後に研究室前に掲示する。				

授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当
第1回	1)	【第1回】イントロダクション 「心理学」研究法の実践に関する問題群について学ぶ。	講 義	加 藤
第2回	1)	【第2回】「良い」心理学研究とは何か 「良い」心理学研究のポイントを考えるとともに、研究を進めるための文献収集等の方法について学ぶ。	講 義	加 藤
第3回-第6回	1)	【第3回-第6回】心理学の研究法 心理学研究法のうち、「観察法」「面接法」「質問紙調査法」「実験法」「史資料の分析」について学ぶ。	講 義	加 藤
第7回	1)2)3)	【第7回】心理学論文・レポートの書き方 心理学の研究をまとめるための「研究論文」の書き方を学ぶ。その上で、「正しい」研究論文のまとめ方を理解するために、「誤った」論文の修正の仕方を学ぶ。:【レポート課題】心理学レポートの形式	講義・演習	加 藤
第8回	1)2)3) 4)	【第8回】学習心理学実験(1) 「学習心理学」における研究事例について説明し、「思考と問題解決」に関する実験課題に参加し、実験内容のレポートを作成する。:【レポート課題】ダウンカーのろうそくの問題(思考と問題解決)	実 習	加 藤
第9回	1)2)3) 4)	【第9回】学習心理学実験(2) 「学習心理学」の実験のうち、「系列位置効果」に関する実験課題に参加し、実験内容のレポートを作成する。:【レポート課題】名前を覚えよう(系列位置効果)	実 習	加 藤
第10回	1)2)3) 4)	【第10回】学習心理学実験(3) 「学習心理学」の実験のうち、「記憶」に関する実験課題に参加し、実験内容のレポートを作成する。:【レポート課題】身近なモノを思いだそう(記憶)	実 習	加 藤
第11回	1)2)3) 4)	【第11回】学習心理学実験(4) 「学習心理学」の実験のうち、「記憶」に関する実験課題に参加し、実験内容のレポートを作成する。:【レポート課題】図形の伝達ゲーム(記憶)	実 習	加 藤
第12回-第14回	1)2)3) 4)	【第12回-第14回】学習心理学実験(5) 「学習心理学」の実験のうち、「鏡映描写」に関する実験課題に参加し、実験内容のレポートを作成する。:【レポート課題】鏡映描写(学習曲線/両側性転移)	実 習	加 藤
第15回-第17回	1)2)3) 4)	【第15回-第17回】知覚心理学実験(1) 「知覚心理学」の実験のうち、SD 法を用いた「社会的知覚」に関する実験課題に参加し、実験内容のレポートを作成する。:【レポート課題】動物の存在による知覚の変化(社会的知覚)	実 習	加 藤
第18回-第20回	1)2)3) 4)	【第18回-第20回】知覚心理学実験(2) 「知覚心理学」の実験のうち、「ミュラー-リヤー」の錯視図形を用いた実験課題に参加し、実験内容のレポートを作成する。:【レポート課題】ミュラー-リヤーの錯視(錯視)	実 習	加 藤
第21回	1)2)3) 4)	【第21回】社会心理学実験(1) 「社会心理学」の実験のうち、「同調」に関する実験課題に参加し、実験内容のレポートを作成する。:【レポート課題】アッシュの線分課題(同調)	実 習	加 藤
第22回-第24回	1)2)3) 4)	【第22回-第24回】社会心理学実験(2) 「社会心理学」の実験のうち、「NASA の課題」を用いた GDM 実験課題に参加し、実験内容のレポートを作成する。:【レポート課題】NASA の課題(集団意志決定)	実 習	加 藤
第25回-第28回	1)2)3) 4)	【第25回-第28回】社会心理学実験(3) 「社会心理学」の実験のうち、観察法を用いた社会的相互作用に関する実験課題に参加し、実験内容のレポートを作成する。:【レポート課題】社会的相互作用過程の観察(リーダーシップ)	実 習	加 藤
第29回-第30回	5)	【第29回-第30回】心理学と社会 心理学の知見を社会で活用するために必要なアイデアを学び、心理学上の知見を社会で活用するためのアイデアに関してレポートを作成する。:【レポート課題】「研究」と「実践」との関係	講 義	加 藤

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	特になし。
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	特になし。

科目名	心理演習 I			授業コード	121571A102	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	心理・福祉コース(3年)			ナンバリング	51P321P04	AL 科目	
担当者	前田直樹 加藤謙介 染矢真実 松山光生 横山裕	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	<p>心理に関する支援は必要な知識・技術を踏まえた上で、心理支援者としての態度を基盤として、心理検査、心理面接、チームアプローチを行うものである。ここでは、公認心理師として臨床現場に必要な心理支援に関する知識および技術の基本的な水準の修得を目的とする。そのため、これまでに学んだ心理学の知識を踏まえ、心理アセスメントからチームアプローチまでの臨床現場での一連の活動を想定し、ロールプレイや事例検討等を行う。なお、「心理演習 I」では、各領域における心理検査法やアセスメントに触れる。「心理演習 II」では心理面接として個人面接に触れる。</p> <p>(DP2) (DP3) (DP6) (CP3)</p>						
学修目標	<p>1)心理に関する支援を要する者等に関する、コミュニケーション、心理検査、心理面接、地域支援などの基本的な知識及び技能について理解し、その概要を説明できる。</p> <p>2)心理に関する支援を要する者等を理解とニーズの把握及び支援計画の作成のための基本について理解し、その概要を説明できる。</p> <p>3)心理に関する支援を要する者等の現実生活を視野に入れたチームアプローチの基本を理解し、その概要を説明できる。</p> <p>4)多職種連携及び地域連携の基本を理解し、その概要を説明できる。</p> <p>5)公認心理師としての職業倫理及び法的義務について理解し、その概要を説明できる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、臨床現場での長期的実務経験に基づき、心理支援に関する知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業中の課題への取り組み等 50%及びそれぞれの課題ごとのレポート等 50%として総括的評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公認心理師資格取得のための指定科目である。</li> <li>・心理検査や心理面接場面のロールプレイ等を行うなど体験を重視する多恵、積極的な授業参加を求める。</li> <li>・各担当ごとに授業内容に関するレポートを提出すること。</li> <li>・1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。</li> </ul>						
オフィスアワー	研究室前に掲示。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)5)	教育領域におけるアセスメント				演 習	◎◎◎◎◎◎
2	1)2)5)	教育領域におけるアセスメントを活かした支援計画				演 習	◎◎◎◎◎◎
3	1)2)3) 4)	教育領域におけるアセスメントの事例検討				演 習	◎◎◎◎◎◎
4	1)5)	医療領域におけるアセスメント				演 習	◎◎◎◎◎◎
5	1)2)5)	医療領域におけるアセスメントを活かした支援計画				演 習	◎◎◎◎◎◎
6	1)2)3) 4)	医療領域におけるアセスメントの事例検討				演 習	◎◎◎◎◎◎
7	1)5)	福祉領域におけるアセスメント				演 習	◎◎◎◎◎◎
8	1)2)5)	福祉領域におけるアセスメントを活かした支援計画				演 習	◎◎◎◎◎◎
9	1)2)3) 4)	福祉領域におけるアセスメントの事例検討				演 習	◎◎◎◎◎◎
10	1)5)	産業領域におけるアセスメント				演 習	◎◎◎◎◎◎
11	1)2)5)	産業領域におけるアセスメントを活かした支援計画				演 習	◎◎◎◎◎◎
12	1)2)3) 4)	産業領域におけるアセスメントの事例検討				演 習	◎◎◎◎◎◎
13	1)5)	多職種連携及び地域連携1				演 習	◎◎◎◎◎◎
14	1)2)5)	多職種連携及び地域連携2				演 習	◎◎◎◎◎◎
15	1)2)3) 4)	多職種連携及び地域連携3				演 習	◎◎◎◎◎◎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		授業中に適宜紹介					

科目名	心理演習Ⅱ			授業コード	121572A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	心理・福祉コース(3年)			ナンバリング	51P322P05	AL 科目	
担当者	前田直樹 加藤謙介 横山裕 松山光生 染矢真実	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	<p>心理に関する支援は必要な知識・技術を踏まえた上で、心理支援者としての態度を基盤として、心理検査、心理面接、チームアプローチを行うものである。ここでは、公認心理師として臨床現場に必要な心理支援に関する知識および技術の基本的な水準の修得を目的とする。そのため、これまでに学んだ心理学の知識を踏まえ、心理アセスメントからチームアプローチまでの臨床現場での一連の活動を想定し、ロールプレイや事例検討等を行う。なお、「心理演習Ⅰ」では、心理検査として知能検査や投影法、心理面接として集団面接に触れる。「心理演習Ⅱ」では、心理検査として質問紙法や作業検査法、心理面接として個人面接に触れる。</p> <p>(DP2) (DP3) (DP6) (CP3)</p>						
学修目標	<p>1) 心理に関する支援を要する者等に関する、コミュニケーション、心理検査、心理面接、地域支援などの基本的な知識及び技能について理解し、その概要を説明できる。</p> <p>2) 心理に関する支援を要する者等を理解とニーズの把握及び支援計画の作成のための基本について理解し、その概要を説明できる。</p> <p>3) 心理に関する支援を要する者等の現実生活を視野に入れたチームアプローチの基本を理解し、その概要を説明できる。</p> <p>4) 多職種連携及び地域連携の基本を理解し、その概要を説明できる。</p> <p>5) 公認心理師としての職業倫理及び法的義務について理解し、その概要を説明できる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、臨床現場での長期的実務経験に基づき、心理支援に関する知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業中の課題への取り組み等 50% 及びそれぞれの課題ごとのレポート等 50% として総括的評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公認心理師資格取得のための指定科目である。</li> <li>・心理検査や心理面接場面のロールプレイ等を行うなど体験を重視する多恵、積極的な授業参加を求める。</li> <li>・毎回、授業内容に関するレポートを提出すること。</li> <li>・1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。</li> </ul>						
オフィスアワー	研究室前に掲示。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)2)5)	教育分野において心理的な支援を要する者に関する知識及び技能				講 義	◎◎◎◎◎◎
2	1)2)5)	教育分野において心理的な支援を要する者に対するコミュニケーション				演 習	◎◎◎◎◎◎
3	1)2)3) 4)5)	教育分野において心理的な支援を要する者に対する支援のロールプレイング				実 習	◎◎◎◎◎◎
4	1)2)5)	医療分野において心理的な支援を要する者に関する知識及び技能				講 義	◎◎◎◎◎◎
5	1)2)5)	医療分野において心理的な支援を要する者に対するコミュニケーション				演 習	◎◎◎◎◎◎
6	1)2)3) 4)5)	医療分野において心理的な支援を要する者に対する支援のロールプレイング				実 習	◎◎◎◎◎◎
7	1)2)5)	福祉分野において心理的な支援を要する者に関する知識及び技能				講 義	◎◎◎◎◎◎
8	1)2)5)	福祉分野において心理的な支援を要する者に対するコミュニケーション				演 習	◎◎◎◎◎◎
9	1)2)3) 4)5)	福祉分野において心理的な支援を要する者に対する支援のロールプレイング				実 習	◎◎◎◎◎◎
10	1)2)3)	産業分野において心理的な支援を要する者に関する知識及び技能				講 義	◎◎◎◎◎◎
11	1)2)5)	産業分野において心理的な支援を要する者に対するコミュニケーション				演 習	◎◎◎◎◎◎
12	1)2)3) 4)5)	産業分野において心理的な支援を要する者に対する支援のロールプレイング				実 習	◎◎◎◎◎◎
13	1)2)3) 4)5)	心理的な支援を要する者に対する多職種連携と地域支援に関する知識及び技能				講 義	◎◎◎◎◎◎
14	1)2)3) 4)5)	地域において心理的な支援を要する者に対するコミュニケーション				演 習	◎◎◎◎◎◎
15	1)2)3) 4)5)	地域において心理的な支援を要する者に対する支援のロールプレイング				実 習	◎◎◎◎◎◎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		授業中に適宜紹介					

科目名	心理実習	授業コード	121573B601	単位数 (時間数)	2単位 (90)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(4年)	ナンバリング	51P423P01	AL科目	○	
担当者	加藤謙介・前田直樹・横山裕・染矢真実(心理)	開講学期	2026年度前期	必修・選択	選 択	
授業の概要・一般 目標・対応するホ ルターNo.	「心理実習」は公認心理師になるために実習生が学外の保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野の施設において見学等による実習を行いながら、その施設の実習指導者又は実習担当教員の指導を受けるものである。そして、①心理に関する支援を要する者等へのチームアプローチ、②多職種連携及び地域連携、③公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解についての基本を習得することを目的とする。(ただし、公認心理師は新しい資格であるため、当分の間は医療機関の実習を必須とし、医療機関以外の施設での実習を適宜行うものとする。)(DP(2)(3)(6)・CP(3))					
学修目標	1)実習施設の専門的機能を理解し、その概要を説明できる。 2)実習施設での心理に関する支援を要する者等へのチームアプローチの基本を理解し、その概要を説明できる。 3)実習施設での多職種連携及び地域連携の基本を理解し、その概要を説明できる。 4)公認心理師としての職業倫理及び法的義務を理解し、その概要を説明できる。					
実務経験のある 教員による教育	実習担当教員は、臨床現場での長期的実務経験に基づき、心理支援に関する知識及び技能の基本的な水準の習得を目的とした実習を目指す。					
評価及びフィード バックの方法	【フィードバック】事前指導・事後指導を通してフィードバックを行う。 【評価】実習の取り組み(実習担当教員・実習指導者の評価を含む)60%、実習記録ノートの記載20%、実習報告書及び実習報告会での発表20%として総括的評価を行う。					
準備学習・ 履修上の注意等	◆公認心理師資格取得のための指定科目である。 ◆公認心理師資格取得のための大学での必要な科目を全て習得済み、もしくは履修中であること。 ◆公認心理師資格取得を強く希望し、大学院など次のステップへの準備を始めていること。 ◆詳細な実習及び実習報告会等の日程は、決まり次第連絡する。 ◆本科目は「実習科目」であるため、学内での事前・事後指導を含め、全てに参加することが基本となる。理由なく遅刻・欠席することのないように。 ◆本科目では、学外の施設・機関に実習受け入れを依頼している。このため、他科目と異なり、履修者に、実習生としてのマナー・社会的スキルも強く求める。あいさつ・服装・期日通りの各文書提出等、基本的なマナー・スキルに問題があると、担当教員・実習指導者から判断された場合、実習への参加を中止させることがある。 【出席登録について】本科目では、学生証による出席登録をしなかった場合、出席を認めないので注意すること(「学生便覧」参照)					
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準ずる。各研究室前に掲示。					
授業計画						
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容			授業 方法	担当
1	4)	オリエンテーション(学習目標と心理実習の進め方、実習の注意点等)			講義・SGD	加藤・前田・横山・染矢
2	1)4)	実習施設と公認心理師の職務の概要(グループワーク等)			講義・SGD	加藤・前田・横山・染矢
3	1)2) 3)4)	学外見学実習			実 習	加藤・前田・横山・染矢
4	1)2) 3)4)	まとめと自己評価報告			講義・SGD	加藤・前田・横山・染矢
5~13		授業2~4回を実習施設5か所分繰り返し 福祉分野(児童)(児相)、教育分野(学校)、医療保健分野(病院)、産業・労働分野(企業)			講義・SGD・実習	加藤・前田・横山・染矢
14	1)2) 3)4)	実習報告書の作成			講義・SGD	加藤・前田・横山・染矢
15	1)2) 3)4)	実習報告会			演 習	加藤・前田・横山・染矢
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		無				
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		授業内で適宜紹介。				

科目名	関係行政論			授業コード	121576B601	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学部 臨床心理学科(4年)			ナンバリング	51P421P02	AL科目	
担当者	山崎 知佳 (非常勤講師)	開講学期	2026年度前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義 問題演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	公認心理師法が2017年9月に施行され、それと同時に公認心理師の養成カリキュラムの一つとして関係行政論が位置付けられた。だが、当該法律制定以前より、心の支援は既に色々な場所で、多様な人々、専門家や行政、市民活動の中で、また国民一人一人の行為により、それぞれ様々な形で行われてきている。その歴史的経緯や活動の根底にある仕組みやきまりを知ること、現実に有効な手段を考えることが可能となる。また、心の支援の本質を大事にするためにも不可欠である。なぜなら、公認心理師は個別の心理面接だけではなく法律や制度で位置付けられた仕組みを活用しつつ、関係機関と連携を取りながら迅速な対応が行えるように現場をフォローしていく役割も期待されているためである。まずは、実習等で現場での応用や臨床の中で深い理解をしていくために、心の支援に関係する基本的な法律や制度の知識、理念を修得することが必要である。そして、多岐にわたる分野で横断的にとらえながら活動できる基礎を養う。						
学修目標	1)法律や制度の観点から、心の支援に関する全体像を把握する。 2)公認心理師が活動する中で、必要な法律や制度を把握し、具体的な役割を認識する。 3)心の支援における様々な判断を行う過程で、必要な法律や制度の知識や理念の基本的知識を修得する。 4)法律や制度の知識や制度を知り、多職種の専門家や行政や市民との協働について考察する。 5)安全配慮などの法的考え方を通して、支援する中での安心安全を確保することについて考察する						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価及びフィード バックの方法	授業中の問題演習により形成的評価(50%)を行う。毎回の学習態度(態度・提出物等)を総合的に勘案し、学期末の単位認定試験と共に、総括的評価(50%)を行う。 小テストを行い、問題を出し回答をさせ、授業の理解度を見て、その結果をフィードバックする。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業の範囲の部分についての法律条文については、必ず読んでおくこと。授業の出席を前提とし、復習し自分の思考を整理しておくこと。憲法の条文については、毎授業持参すること。 また、授業に関する疑問は、直接質問し解消することを推奨する。						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	法・制度の基本				講 義	山 崎
2	1)4)	公認心理士の法的立場と多職種連携				講義問題演習	山 崎
3	2)3)4) 5)	医療全般に関係する法律,制度				講義問題演習	山 崎
4	2)3)4) 5)	精神か医療に関係する法律、制度				講義問題演習	山 崎
5	2)3)4) 5)	地域保健・医療に関係する法律、制度				講義問題演習	山 崎
6	2)3)4) 5)	児童福祉に関係する法律、制度				講義問題演習	山 崎
7	2)3)4) 5)	障害者・障害児福祉に関係する法律、制度(1)				講義問題演習	山 崎
8	2)3)4) 5)	障害者・障害児福祉に関係する法律、制度(2)				講義問題演習	山 崎
9	2)3)4) 5)	高齢者福祉に関係する法律、制度				講義問題演習	山 崎
10	2)3)4) 5)	教育分野に関係する法律、制度				講義問題演習	山 崎
11	2)3)4) 5)	刑事司法に関係する法律、制度				講義問題演習	山 崎
12	2)3)4) 5)	家族問題に関係する法律、制度				講義問題演習	山 崎
13	2)3)4) 5)	少年少女非行に関係する法律、制度				講義問題演習	山 崎
14	2)3)4) 5)	産業・労働分野に関係する法律、制度				講義問題演習	山 崎
15	1)2)3) 4)5)	心理支援と関係行政				講義問題演習	山 崎
教科書(著者名)出版社名[ISBN]	第23巻 関係行政論 第3版(公認心理師の基礎と実践) 元永 拓郎(著,編集), 大御 均(著), 林 直樹(著), 小泉 典章(著), 遠見書房						
参考書(著者名)出版社名[ISBN]	特に指定しない						

科目名	児童・家庭福祉			授業コード	121657B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	社会福祉学部 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科 1 年、臨床心理 学部 臨床心理学科 1 年			ナンバリング	51C121P03	AL 科目	○	
担当者	藤原 幸子(福・ス)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リナーNo.	子ども家庭福祉の意義と理念を理解し、児童福祉法をはじめとした関係法規による子どもと家庭の福祉の保障の仕組みを理解 することによって子ども家庭福祉の分野における福祉サービスの担い手としての資質と能力を獲得する。 (臨床福祉:DP1,2,3 スポーツ:DP1,2,3,4 臨床心理:DP1,2,3,4,5,6) (臨床福祉:CP1,2,3 スポーツ:CP1,2,3,4,5,6,7 臨床心理:CP1,2,3,4,5,6)							
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 子どもと家庭福祉の権利と歴史を理解できる。</li> <li>2) 子ども家庭福祉を取り巻く現代社会を理解、説明できる。</li> <li>3) 子ども家庭福祉の法体系、実施体制、関係機関を理解する。</li> <li>4) 保育対策、地域子育て支援の現状と課題を理解する。</li> <li>5) 要保護児童等と在宅支援を理解する。</li> <li>6) 児童虐待にかかわる支援を理解する。</li> <li>7) 母子保健福祉対策を説明できる。</li> <li>8) ひとり親家庭への支援を理解する。</li> <li>9) 障害のある子どもと家族への支援と制度を説明できる。</li> <li>10) 子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践を理解する。</li> </ol>							
実務経験のある 教員による教育	該当なし							
評価及びフィード バックの方法	定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。							
準備学習・ 履修上の注意等	教科書は必ず熟読し、予習・復習をすること。							
オフィスアワー	研究室前に掲示する。							
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授 業 方 法	担 当
1	1)	子どもの家庭福祉とは何か(子ども家庭福祉の定義、子どもの権利)					講 義	藤 原
2	1)2)	子ども家庭福祉の歴史(先達の歩み、権利擁護の変遷、児童の権利に関する条約の意義、現代社会の実態)					講 義	藤 原
3	1)	子ども家庭福祉を取り巻く現代社会(取り巻く社会環境、課題と子育て・子育てへの影響)					講 義	藤 原
4	2)3)	子ども家庭福祉の支援の基盤(子ども家庭福祉の法体系、国、都道府県、市町村、民間施設等の役割)					講 義	藤 原
5	3)	子ども家庭福祉の支援の基盤(財源と費用負担、人材と専門職、計画的推進)					講 義	藤 原
6	4)	子ども家庭福祉の基盤(子ども・子育て支援、母子保健、保育)					講 義	藤 原
7	4)	子どもの福祉課題と支援(要保護児童等と在宅支援、児童虐待にかかわる支援、社会的養護)					講 義	藤 原
8	5)	子どもの福祉課題と支援(ひとり親家庭への支援、ドメスティックバイオレンスと女性支援、スクールソーシャルワ ーク)					講 義	藤 原
9	4)5)	子どもの福祉課題と支援(少年非行、若者支援、障害のある子どもの支援、ソーシャルアクション)					講 義	藤 原
10	5)	子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践(ソーシャルワークの意義、支援の端緒と調査、アセスメント)					講 義	藤 原
11	5)	子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践(子ども家庭福祉における支援の展開過程と連携、子ども・子育て支援、 母子保健・医療の協働、保育の実践)					講 義	藤 原
12	5)	子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践(児童虐待にかかわる実践、その 1、その 2、社会的養護)					講 義	藤 原
13	5)	子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践(ひとり親家庭、女性福祉、教育との協働の連携)					講 義	藤 原
14	5)	子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践(若者の自立支援、障害児にかかわる実践、当事者参画とアドボカシー)					講 義	藤 原
15	5)	まとめ 子ども家庭福祉の今後の支援のあり方(専門職に求められること)					講 義	藤 原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編「最新 社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座 3 児童・家庭福祉」中央法規出版、2024						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		随時紹介する。						

科目名	障害者福祉			授業コード	121658B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(1年)			ナンバリング	51C122P05	AL 科目	○
担当者	佐藤 太郎(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソ-No.	<p>この科目は、社会福祉士国家試験指定科目である。そのため、厚生労働省から以下の4つのねらいが明示されている。</p> <p>①障害の概念と特性を踏まえ、障害者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。  ②障害者福祉の歴史と障害観の変遷、制度の発展過程について理解する。  ③障害者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する。  ④障害による生活課題を踏まえ、社会福祉士及び精神保健福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。</p> <p>上記のねらいを受けて、この科目では、障害および障害者の特性とその家族を取りまく社会環境を踏まえた福祉実践力(DP(3))の涵養をはかることを目標にする。さらに講義の中で SGD を実施して、コミュニケーション能力(DP(4))の向上をはかる。社会福祉士国家試験の受験資格を取得するため、他の科目も含めて体系的・系統的に学ぶ(CP(5))ことも目標とする。</p>						
学修目標	<p>1)障害概念と特性の理解～ICIDH から ICF への変遷を説明することができる。さらに、障害者の定義と特性を説明することができる。(身体障がい、知的障がい、精神障がい)</p> <p>2)障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境の把握～障害者の生活実態の種類を述べることができる。障害者を取りまく社会環境について、バリアフリー・コンフリクトなどと関連付けて説明することができる。</p> <p>3)障害者福祉の歴史を学ぶ～障害者福祉の理念と障害観と障害者処遇の変遷、障害者の権利条約と障害者基本法などと絡めて、障害者の歴史の発展過程全体を総合的にまとめて述べることができる。</p> <p>4)障害者に対する法制度の理解～障害者総合支援法・身体障害者福祉法・知的障害者福祉法・精神保健福祉法・児童福祉法・発達障害者支援法・障害者虐待防止法・障害者差別解消法・バリアフリー法・障害者雇用促進法・障害者優先調達推進法以上各法の特徴を述べるができる。さらに相互の関連性についてノートにまとめることができる。</p> <p>5)障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割を理解する～障害者と家族等の支援における関係機関の役割を述べ、さらに関連する専門職等の役割についても述べるができる。</p> <p>6)障害者と家族等に対する支援の実際を学ぶ～障害領域における社会福祉士及び精神保健福祉士の役割を説明できる。また、障害者と家族等に対する支援の実際を多職種連携を含めながら、その概要を述べるができる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(佐藤)は、社会福祉士並びに主任相談支援専門員として、障害者施設等での実践現場5年以上の経験に基づき、障害者福祉に関する基本的概念や制度の変遷、最新の動向などを含めた基本的知識を習得することを目的に授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	毎時間後のレポートと適宜小テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を30%及び後期末試験70%として総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>シラバスに記載されている学習予定を確認して、テキストの該当部分を予習する事  加えて厚生労働省 web ページなどを活用して、事前に必要な法令や制度を確認する事。これらに90分以上の予習時間が必要である。</p> <p>講義後は、教員が配布したプリント及び自身が筆記した講義ノートを整理して、必要に応じて不明な語句を調べなおすなど、復習に90分以上を費やす必要がある。</p> <p>講義中、口頭質問やSGDを実施するので、積極的に自身の考えや意見を述べるようにすること</p>						
オフィスアワー	時間割が確定次第、告知する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	障害者の定義と特性を理解する				講 義	佐 藤
2	1)	国際生活機能分類と障害の社会モデルを学ぶ。医学モデルと社会モデルの違いを理解する				講義・SGD	佐 藤
3	3)	障害観の変遷を学ぶ。障害とはなにかをグループで検討する。				講義・SGD	佐 藤
4	3)	障害者福祉の理念を学ぶ。ノーマライゼーションやエンパワメントについて理解する				講義・SGD	佐 藤
5	3)	障害者福祉の歴史～障害者処遇の変遷と障害者福祉制度および発展過程を理解する				講 義	佐 藤
6	3)	障害者福祉の歴史②～障害者福祉制度と当事者運動から障害者権利条約や障害者基本法への流れを理解する				講 義	佐 藤
7	3)	障害者を取り巻く社会環境と課題を理解する。				講 義	佐 藤
8	2)	障害者に関する法制度の全体像を理解するとともに、身体障害者法・知的障害者法を学ぶ				講 義	佐 藤
9	4)	精神保健福祉法と児童福祉法、発達障害者支援法を学ぶ				講 義	佐 藤
10	4)	障害者総合支援法と児童福祉法、障害者虐待防止法を学ぶ				講 義	佐 藤
11	4)	障害者差別解消法とバリアフリー法、障害者雇用促進法、障害者優先調達促進法を学ぶ				講義・SGD	佐 藤
12	5)	障害者と家族等の支援における関係機関の役割を理解する				講 義	佐 藤
13	5)	障害者と家族等の支援に関連する専門職を理解する				講 義	佐 藤
14	6)	障害領域におけるソーシャルワークの役割を理解する				講 義	佐 藤
15	6)	障害者と家族等に対する支援の実際を多職種連携を含めて理解する				講義・SGD	佐 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座8『障害者福祉』中央法規【978-4-8058-8238-2】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	講義中に適時指示する。						



科目名	高齢者福祉			授業コード	121659B101	単位数 (時間数)	2単位 (30)	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(1年)			ナンバリング	51C122P06	AL科目	○	
担当者	兒崎 友美(講師)	開講学期	2026年度前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	<p>高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について学び、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く環境について理解する。また、高齢者に対する法制度と支援お仕組みを学び、高齢期における生活課題を踏まえた社会福祉士としての適切な支援のあり方を習得できる。</p> <p>スポ DP:(3)、(4) CP:1-(1)、1-(2)、1-(6)、2-(1)、2-(3)、3-(1)</p> <p>心理 DP:(1)、(6) CP:1-(1)、1-(4)、2-(1)、3-(1)</p>							
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 高齢者の定義と特性を社会的側面、身体的・精神的側面より総合的に説明できる。</li> <li>2) 少子高齢社会について説明できる。</li> <li>3) 高齢者の生活実態について説明できる。</li> <li>4) 高齢者を取り巻く社会環境について説明できる。</li> <li>5) 高齢者観の変遷・高齢者福祉の発展過程について説明できる。</li> <li>6) 高齢者福祉の理念と介護保険制度の枠組みについて説明できる。</li> <li>7) 介護保険制度の概要(介護保険財政・保険者と被保険者・保険料)について説明できる。</li> <li>8) 介護保険制度の概要(要介護認定のプロセス・保健給付・介護保険事業計画)について説明できる。</li> <li>9) 地域支援事業について説明できる。</li> <li>10) 介護保険サービスの体系(居宅サービス、介護予防サービス、地域密着型サービス、居宅介護住宅改修費、居宅介護支援、施設サービス)について説明できる。</li> <li>11) 高齢者保健福祉の法体系(老人福祉法、高齢者医療確保法、高齢者虐待防止法、認知症基本法、バリアフリー法)について説明できる。</li> <li>12) 高齢者保健福祉の法体系(高齢者住まい法、高齢者雇用安定法、育児・介護休業法、市町村独自の高齢者支援)について説明できる。</li> <li>13) 関係機関の役割や関連する専門職等の役割について説明できる。</li> <li>14) 高齢者領域におけるソーシャルワーカーの役割について説明できる。</li> <li>15) 高齢者と家族等に対する支援の実際について説明できる。</li> </ol>							
実務経験のある 教員による教育	<p>科目担当者は、福祉現場である特別養護老人ホームに3年、地域包括支援センターに13年という期間、社会福祉士として実務経験を担ってきた。このような実務経験に基づき、介護保険制度の理解と実践、および他の専門職との具体的な連携方法の理解を促す。また、高齢者福祉にかかわる幅広い課題に対応できる視点や考え方の習得を目的とした授業を行う。</p>							
評価及びフィード バックの方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 定期試験を80%</li> <li>* 中間テストを10%</li> <li>* 出席時に毎回提出するレポート、提出物(課題など)、取り組み姿勢を10%とし、総合的に評価する。</li> </ul>							
準備学習・ 履修上の注意等	<p>社会福祉士の資格取得予定者は履修すること。</p> <p>授業前後に2時間ずつの予習復習を設けること。</p> <p>プリントを配布するためファイル等を準備し、しっかりと管理すること。</p>							
オフィスアワー	研究室ドアに貼り出す							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	【オリエンテーション、高齢者と少子高齢社会】 高齢期の社会的理解、高齢者を身体的・精神的・総合的な視座を学ぶ。					講義・SGD	兒 崎
2	2)	【高齢者と少子高齢社会】 高齢化と高齢化率、日本の高齢化の状況、高齢化が進む理由、今後の高齢化の見通し、日本の高齢化の特徴と課題について学ぶ。					講 義	兒 崎
3	3)	【高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境】 高齢者の経済・就労・健康・要介護・社会参加・生活環境の状況について学ぶ。					講 義	兒 崎
4	4)	【高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境】 高齢者世帯の特徴・家族介護(者)の状況・家族介護の多様化・高齢者と家族の生活保障について学ぶ。					講 義	兒 崎
5	5)	【高齢者福祉の歴史と理念】 社会における高齢者観の変遷、老年学における高齢者観の変化、現代における高齢者観の諸概念、社会福祉の発達前から老人福祉法の誕生、介護保険制度の誕生、地域包括ケアシステム構築を学ぶ。					講 義	兒 崎
6	6)7)	【介護保険制度】 介護保険制度の枠組み、介護保険財政、保険者と被保険者、保険料について学ぶ。					講 義	兒 崎
7	7)8)	【介護保険制度】 要介護認定の仕組みとプロセス、保険給付、介護保険事業計画を学ぶ。					講 義	兒 崎
8	9)	【介護保険制度】 地域支援事業の内容、地域包括支援センターを学ぶ。					講 義	兒 崎
9	10)	【介護保険制度】 居宅サービス、介護予防サービス、地域密着型サービス、居宅介護住宅改修費、居宅介護支援、施設サービスを学ぶ。					講 義	兒 崎
10	11)	【高齢者に対する関連諸制度】 福祉と保健、高齢社会対策基本法、老人福祉法(法成立の背景・改正経過・目的と理念・法に基づく措置・有料老人ホーム)を学ぶ。					講 義	兒 崎
11	11)	【高齢者に対する関連諸制度】 高齢者医療確保法(旧老人保健法の流れ、特定健康診査と特定保健指導、後期高齢者医療制度)、高齢者虐待防止法(法の概要、高齢者虐待の未然防止)、認知症基本法、バリアフリー法(わが国におけるバリアフリー政策の展開、法の概要)を学ぶ。					講 義	兒 崎
12	12)	【高齢者に対する関連諸制度】					講 義	兒 崎

		高齢者住まい法(法の内容、これからの高齢者住まい法と高齢者の住まいの展望、バランスのとれた住宅行政)、高年齢者雇用安定法(高年齢者雇用安定法の概要、高年齢期の就労と経済状況、定年制と年金保険制度、高年齢者雇用安定法の改正)を学ぶ。		
13	12)	【高齢者に対する関連諸制度】 育児・介護休業法(法の趣旨、主な内容、今後の課題)、市町村独自の高齢者支援(介護保険外の高齢者支援サービスの意義、一般会計としての位置づけ)を学ぶ。	講義	児崎
14	13)	【高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割】 行政機関・指定サービス事業者・国民健康保険団体連合会・地域包括支援センター・ハロワークと人材センター、フォーマルとインフォーマルな援助者の役割を学ぶ。	講義	児崎
15	14) 15)	【高齢者と家族等に対する支援の実際】 高齢者領域におけるソーシャルワーカーの役割や高齢者とその家族などに対する支援の実際を学ぶ。	講義	児崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		2 最新社会福祉士養成講座、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集、第2版、「高齢者福祉」中央法規【978-4-8243-0154-3】		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		

科目名	介護概論			授業コード	120194B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・臨床心理学科、2 年			ナンバリング	51C221P06	AL 科目	○
担当者	藤原 幸子(福・ス)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	高齢者を取り巻く社会情勢、福祉・介護需要を踏まえ、介護の知識・技術とその実践能力を持った専門職が必要である。そのため本講義では、介護の概念や対象及びその理念等について理解し、介護過程における介護の生活支援技術や終末期の援助の基本的な考え方について理解する。 (ス DP1～3,CP1～3/福 DP1～3,CP1～3/心 DP1～3, CP1～3)						
学修目標	1)介護の意義・目的が説明できる。 2)介護の原則と倫理を学び、介護の専門職のあり方を討議できる。 3)介護に関する歴史を理解し、現在の介護を取り巻く制度やサービスを説明できる。 4)体験を通して、高齢者や障がい者の立場や介護者のあり方について考察できる。 5)ICF の視点から利用者理解の方法を学ぶ。 6)医療的ケアについて説明できる。 7)リスクマネジメントの実際を理解できる。 8)介護過程の目的や流れが説明できる。 9)介護の目的や基本技法を理解し、実践できる。 10)尊厳を支える介護の視点を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	教科書は必ず熟読し、予習・復習をすること。						
オフィスアワー	研究室前に掲示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション 介護の目的、介護福祉職の役割				講 義	藤 原
2	2)	介護の原則と職業倫理				講 義	藤 原
3	4)5)	介護を必要とする人々の理解				講 義	藤 原
4	3)	介護に関する制度 1				講 義	藤 原
5	3)	介護に関する制度 2				講 義	藤 原
6	6)7)	医療的ケア				講 義	藤 原
7	4)5)	コミュニケーション技術				講 義	藤 原
8	5)8)	介護過程とチームアプローチ				講 義	藤 原
9	9)	介護の基本(体位変換、身じたく)				講 義	藤 原
10	9)	介護の基本(食事、入浴・清潔保持)				講 義	藤 原
11	9)	介護の基本(排泄、家事)				講 義	藤 原
12	9)	介護の基本(睡眠)				講 義	藤 原
13	9)	介護の基本(療養が必要な人の介護)				講 義	藤 原
14	10)	緊急・事故時に求められる介護福祉職の対応				講 義	藤 原
15	10)	終末期の介護				講 義	藤 原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		社会福祉学習双書 2026 第 15 巻 介護概論 全国社会福祉協議会					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に紹介する。					

科目名	ソーシャルワークの基盤と専門職 I		授業コード	121660B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	社会福祉学部 スポーツ健康福祉学科(1年) 臨床心理学部 臨床心理学科(1年)		ナンバリング	51C121P04	AL 科目		
担当者	川崎 順子(福・福)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態 講 義	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	ソーシャルワークの基盤と専門職 I では、社会福祉士と精神保健福祉士の法的位置づけやソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について理解する。また、ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解することを通して、ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理を学び、社会福祉士、精神保健福祉士に求められる基本的な知識を習得する。スボ DP(2)(3)(4)。						
学修目標	1)社会福祉士、精神保健福祉士の法的位置づけと専門性が説明できる。 2)ソーシャルワークの概念が説明できる。 3)ソーシャルワークの基盤となる考え方(原理・理念)が概説できる。 4)ソーシャルワークの形成過程における実践と理論化の内容が概説できる。 5)ソーシャルワークの発展期から統合化を概説できる。 6)ソーシャルワークの倫理のあり方が説明できる。 7)社会福祉士・精神保健福祉士の倫理綱領の位置づけや倫理的ジレンマへの対応が考えられる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(川崎)は、社会福祉士として行政や社会福祉協議会等での実践現場 5 年以上の経験に基づき、相談援助の基本的概念や専門職に求められる基本的知識を修得することを目的に授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を 30%及び前期末試験 70%として総合的に形成的評価を行う。毎時間後のレポートと適宜小テストにより理解度を確認しながら、フィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	1コマあたり 4 時間を目安に予習・復習を行うこと。具体的に、授業前の予習では、次回シラバスの授業内容について、テキストを読み、まとめておくこと。復習では、授業時に配布された資料・レジュメをファイリングし、再度テキストと照らし合わせ再確認を行うこと。適宜の小テストに備え、重要事項をノートにまとめておくこと。提示された課題に取り組むことなどである。						
オフィスアワー	時間割確定後研究室に掲示						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	現代社会に起きている地域での生活状況とソーシャルワークの必要性を理解する				講 義	川 崎
2	1)2)	社会福祉士の法的位置づけを理解し、制度創設から見直しの概要が説明できる。				講 義	川 崎
3	1)2)	精神保健福祉士の法的位置づけを理解し、成立経緯や制度見直しの概要が説明できる。				講 義	川 崎
4	1)2)	社会福祉士・精神保健福祉士に求められる専門性を理解する。				講 義	川 崎
5	2)3)	ソーシャルワークの概念、ソーシャルワークとは何かを考え、ソーシャルワーク専門職のグローバル定義の内容を理解する。				講 義	川 崎
6	2)3)	ソーシャルワークを構成する要素としてのクライアントシステム、ニーズ、ソーシャルワーカー、社会資源・サービス等の内容や関係性を理解する。				講 義	川 崎
7	2)3)	ソーシャルワークの諸原理に基づいて、ソーシャルワークの必要性を理解する。 ソーシャルワークの理念の意味を理解し、理念に基づく行動のあり方を考えることができる。(当事者主権、尊厳の保持、権利擁護、自立支援、エンパワメント、ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン)				講 義	川 崎
8	2)3)	ソーシャルワークの理念の意味を理解し、理念に基づく行動のあり方を考えることができる。(当事者主権、尊厳の保持、権利擁護、自立支援、エンパワメント、ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン)				講 義	川崎・外部講師
9	3)4)	ソーシャルワークの形成過程①ソーシャルワークの源流(COS,セツルメント運動等)と基礎確立期を理解する。				講 義	川 崎
10	3)4)	ソーシャルワークの形成過程②ソーシャルワークの発展期(ケースワーク、グループワーク、コミュニティオーガニゼーションの発展)の流れを理解する。				講 義	川 崎
11	3)4)5)	ソーシャルワークの形成過程③ソーシャルワークの展開期と統合化(ジェネラリスト・ソーシャルワークへの流れ)を理解する。				講 義	川 崎
12	3)4)5)	日本におけるソーシャルワークの形成過程(社会事業前史から戦後のソーシャルワークの導入)を理解する。				講 義	川 崎
13	6)7)	ソーシャルワークにおける専門職倫理の概念や専門職倫理の必要性について理解する。				講 義	川 崎
14	6)7)	倫理綱領の意義と各専門職能団体の倫理綱領の内容を知り、倫理綱領の活用方法について理解する。				講 義	川 崎
15	6)7)	ソーシャルワーク実践における倫理的ジレンマの実際を知り、倫理的判断過程に基づいて対応することの必要性を理解する。				講 義	川 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職 (一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集) 中央法規 【978-4-8058-8241-2】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	使用しない。						

科目名	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ		授業コード	121661B101	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部 スポーツ健康福祉学科(1年) 臨床心理学部 臨床心理学科(1年)		ナンバリング	51C122P07	AL科目	
担当者	川崎 順子(福・スポ)	開講学期	2026年度後期	必修・選択	選 択	授業形態 講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱでは、ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲を学ぶとともに、マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と連関性について理解する。さらに、総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義や内容について理解し、社会福祉士に求められる基本的な知識を習得するスポ(1)(3)(4)					
学修目標	1)社会福祉士の職域と求められる役割について概説できる。 2)ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について概説できる。 3)マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象や介入、支援の方法について説明できる。 4)総合的かつ包括的な支援の意義と内容について概説できる。 5)総合的かつ包括的な支援のための多職種連携やチームアプローチの意義、内容について説明できる。					
実務経験のある 教員による教育	科目担当(川崎)は、社会福祉士として行政や社会福祉協議会等での実践現場5年以上の経験に基づき、相談援助の基本的概念や専門職に求められる基本的知識を修得することを目的に授業を行う。					
評価及びフィード バックの方法	学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を30%及び前期末試験70%として総合的に形成的評価を行う。毎時間後のレポートと適宜小テストにより理解度を確認し、フィードバックを行う。					
準備学習・ 履修上の注意等	1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。具体的に、授業前の予習では、次回シラバスの授業内容について、テキストを読み、まとめておくこと。復習では、授業時に配布された資料・レジュメをファイリングし、再度テキストと照らし合わせ再確認を行うこと。適宜の小テストに備え、重要事項をノートにまとめておくこと。提示された課題に取り組むことなどである。					
オフィスアワー	時間割確定後研究室に掲示					
授業計画						
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容			授業 方法	担当
1	1)2)	ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。 ソーシャルワーカーが専門職であるための成立条件と職能団体の役割を学ぶ。			講 義	川 崎
2	1)2)	社会福祉士が活躍する職域とそこでのソーシャルワーカーの役割を理解する①。			講 義	川 崎
3	1)2)	社会福祉士が活躍する職域とそこでのソーシャルワーカーの役割を理解する②。			講 義	川 崎
4	1)2)	ソーシャルワーク実践を担う様々な組織・機関・団体における専門職について理解する。			講 義	川 崎
5	1)2)	主要先進諸国のソーシャルワーカー養成制度の現状などを知り、ソーシャルワークの多様性を理解する。			講 義	川 崎
6	2)3)	ソーシャルワークにおけるマイクロ・メゾ・マクロの意味を知り、その対象から、相互の関係性を理解する。			講 義	川 崎
7	2)3)	マイクロ・メゾ・マクロレベルの介入の考え方やソーシャルワーク実践の展開について理解する。			講 義	川崎・外部講師
8	2)3)	マイクロ・メゾ・マクロレベルの連関性とそれに基づく支援の実際を理解する。			講 義	川 崎
9	3)4)	総合的かつ包括的な支援としてのソーシャルワークの意義と必要性を理解する。			講 義	川 崎
10	3)4)	ソーシャルワークにおけるジェネラリストの視点を学び、ソーシャルワークの特徴を理解する。			講 義	川 崎
11	3)4)5)	ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支援の意義と内容を理解する。特に、多機関・多職種による包括的支援体制の構築について理解する。			講 義	川 崎
12	3)4)5)	社会資源となる人や組織などの協働体制の構築やソーシャルサポートネットワーキングの実践方法について理解する。			講 義	川 崎
13	3)4)5)	多職種連携及びチームアプローチの意義を理解する。			講 義	川 崎
14	3)4)5)	ジェネラリスト視点から多職種連携の際の合意形成の促進とクライアントとの連携・協働の意味を理解する。			講 義	川 崎
15	1)2)3) 4)5)	総括 ソーシャルワークの基盤と専門職の概要を総括し、具体的理論と方法を学ぶ必要性を理解する。			講 義	川 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職 (一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集) 中央法規 【978-4-8058-8241-2】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	使用しない。					

科目名	社会福祉の原理と政策 I			授業コード	121662B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(1年)			ナンバリング	51C121P02	AL 科目	○
担当者	日田 剛	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必修(心理)選択(スポ)	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソンNo.	<p>本科目は、社会福祉士関連科目の基礎科目(概論)として、以下の7つを目標とする。なお、同教科Ⅱにおいても扱う項目がある。</p> <p>① 社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論を理解する。  ② 社会福祉の歴史的展開の過程と社会福祉の理論を踏まえ、欧米との比較によって日本の社会福祉の特性を理解する。  ③ 社会問題と社会構造の関係の視点から、現代の社会問題について理解する。  ④ 福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解するとともに、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて理解する。  ⑤ 福祉政策の動向と課題を踏まえた上で、関連施策や包括的支援について理解する。  ⑥ 福祉サービスの供給と利用の過程について理解する。  ⑦ 福祉政策の国際比較の視点から、日本の福祉政策の特性について理解する。</p> <p>以上7つの目標をとおして、福祉分野における福祉実践力(DP3)を涵養したい。また、SGD をとおして、コミュニケーション能力(DP4)を身につけることも目標とする。</p>						
学修目標	<p>本科目は、一般目標に基づき以下の達成目標を定める。なお、同教科Ⅱにおいても扱う項目がある。</p> <p>① 社会福祉の原理をめぐる思想と哲学に関する理論を述べることができる。  ② 社会福祉の歴史展開を時系列に述べることができ、わが国の社会福祉の特質を海外の社会福祉と比較してまとめることができる。  ③ 社会福祉を取り巻く社会構造から社会問題を明らかにして、それが福祉政策にいかんにか反映されているのかを理解して、人々の生活上のニーズに結びつけた政策を 考えることができる。加えて関連する政策を理解して、包括的な政策のあり方を述べるようになる。  ④ 社会福祉を担う専門職について、その養成課程や専門職性について、その概要をまとめて、説明することができるようになる。  ⑤ 福祉サービスの供給主体とその提供過程を理解して、その利用過程も含めて説明することができる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	科目教員は、社会福祉士及び精神保健福祉士として、実践現場、教育現場、専門職養成の経験に基づき、社会福祉原理について研究を続けており、その知見を活かして社会福祉を担う人材としての基本的理念を習得することを目的に授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	毎時間後のレポートと適宜小テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を30%及び後期末試験70%として総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>シラバスに掲載されている学修予定を確認して、テキストの該当部分を予習すること。  くわえて、厚生労働省 web ページなどインターネットを活用して、事前に必要な法令や制度を確認すること。これらに90分以上の予習時間が必要である。  講義後は、本人が筆記した講義ノートを整理して、必要に応じて不明な語句を調べなおすなど、復習に90分以上を費やす必要がある。  講義中口頭質問を多用するので、積極的に本人の考えや意見を述べるようにすること。また、必要に応じてSGDも実施する。</p>						
オフィスアワー	時間割が確定次第、告知する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	社会福祉の原理とは何か?その問われる意義について考える				講義・SGD	日 田
2	2)	社会福祉の歴史を学ぶ意義・支援等についてSGDを通して相互理解を深める				講義・SGD	日 田
3	2)	欧米の社会福祉の歴史的展開を学びつつ、なぜこのような変遷を遂げたのかを理解する				講義・SGD	日 田
4	2)	日本の社会福祉の歴史的展開を学びつつ、なぜこのような変遷を遂げたのかを理解する				講義・SGD	日 田
5	3)	社会福祉の理想・哲学について学び、イデオロギーと社会福祉の関係について理解する				講 義	日 田
6	3)	社会福祉の理想・哲学について学び、ニーズという言葉の概念を理解する				講 義	日 田
7	3)	社会福祉学におけるニーズの捉え方とその現代的課題を理解する				講義・SGD	日 田
8	3)	現代における社会問題について、社会が抱える問題の全体像について理解する				講 義	日 田
9	3)	現代における社会問題について、個別・具体的な社会問題について理解する				講義・SGD	日 田
10	3)	社会問題の構造的背景(人口構造と世帯構造の変化)について歴史的背景とつなげて理解する				講 義	日 田
11	1),4)	福祉政策の概念・理念を学び、「狭義の福祉」と「広義の福祉」を理解する				講義・SGD	日 田
12	3),4)	福祉政策を学ぶ中で「自立」と「依存」の概念と関係性について理解する				講義・SGD	日 田
13	3)	心理学、マーケティング、社会福祉におけるニーズの概念を学ぶ				講 義	日 田
14	4)	福祉政策におけるニーズ概念をデマンドの違いと併せて理解を深める				講義・SGD	日 田
15	4)	社会資源とは何か?フォーマル・インフォーマルな資源を調べたうえで身近なものとして理解する				講義・SGD	日 田
教科書(著者名)出版社名[ISBN]		最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座4 社会福祉の原理と政策 中央法規					

参考書(著者名)出版社名【ISBN】

適時印刷物を配布する。

科目名	社会福祉の原理と政策Ⅱ			授業コード	121663B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(1年)			ナンバリング	51C122P08	AL 科目	○	
担当者	日田 剛	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソンNo.	<p>本科目は、社会福祉士関連科目の基礎科目(概論)として、以下の7つを目標とする。なお、同教科Ⅰにおいても扱う項目がある。</p> <p>① 社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論を理解する。  ② 社会福祉の歴史的展開の過程と社会福祉の理論を踏まえ、欧米との比較によって日本の社会福祉の特性を理解する。  ③ 社会問題と社会構造の関係の視点から、現代の社会問題について理解する。  ④ 福祉政策を捉える基本的な視点として、概念や理念を理解するとともに、人々の生活上のニーズと福祉政策の過程を結びつけて理解する。  ⑤ 福祉政策の動向と課題を踏まえた上で、関連施策や包括的支援について理解する。  ⑥ 福祉サービスの供給と利用の過程について理解する。  ⑦ 福祉政策の国際比較の視点から、日本の福祉政策の特性について理解する。</p> <p>以上7つの目標をとおして、福祉分野における福祉実践力(DP3)を涵養したい。また、SGD をとおして、コミュニケーション能力(DP4)を身につけることも目標とする。</p>							
学修目標	<p>本科目は、一般目標に基づき以下の達成目標を定める。なお、同教科Ⅰにおいても扱う項目がある。</p> <p>① 社会福祉の原理をめぐる思想と哲学に関する理論を述べることができる。  ② 社会福祉の歴史展開を時系列に述べることができ、わが国の社会福祉の特質を海外の社会福祉と比較してまとめることができる。  ③ 社会福祉を取り巻く社会構造から社会問題を明らかにして、それが福祉政策にいかに反映されているのかを理解して、人々の生活上のニーズに結びつけた政策を 考えることができる。加えて関連する政策を理解して、包括的な政策のあり方を述べるようになる。  ④ 社会福祉を担う専門職について、その養成課程や専門職性について、その概要をまとめて、説明することができるようになる。  ⑤ 福祉サービスの供給主体とその提供過程を理解して、その利用過程も含めて説明することができる。</p>							
実務経験のある 教員による教育	担当教員は、社会福祉士及び精神保健福祉士として、実践現場、教育現場、専門職養成の経験に基づき、社会福祉原理の研究を続けており、その知見を活かして、社会福祉を担う人材としての基本的理念を習得することを目的に授業を行う。							
評価及びフィード バックの方法	毎時間後のレポートと適宜小テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を30%及び後期末試験70%として総合的に評価する。							
準備学習・ 履修上の注意等	<p>シラバスに掲載されている学修予定を確認して、テキストの該当部分を予習すること。  くわえて、厚生労働省 web ページなどインターネットを活用して、事前に必要な法令や制度を確認すること。これらに90分以上の予習時間が必要である。  講義後は、本人が筆記した講義ノートを整理して、必要に応じて不明な語句を調べなおすなど、復習に90分以上を費やす必要がある。  講義中口頭質問を多用するので、積極的に本人の考えや意見を述べるようにすること。また、必要に応じてSGDも実施する。</p>							
オフィスアワー	時間割が確定次第、告知する。							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	3)	福祉政策の構成要素を、政策の分野と各分野の目的から理解する					講 義	日 田
2	3)	福祉サービスの提供方式が多様化する中で、政府や事業者、国民が果たす役割について学ぶ					講義・SGD	日 田
3	3)	福祉政策の過程と評価について全体像と各過程について理解する					講 義	日 田
4	3)	社会福祉基礎構造改革と社会福祉法について理解を深める					講 義	日 田
5	3)	「地域包括ケア」から「地域共生社会」への変遷について、時系列的に理解する					講 義	日 田
6	4)	地域共生社会の実現と地域づくりに向けた課題について理解し、自分の地域について調べる					講義・SGD	日 田
7	4)	福祉人材の確保と多文化共生の推進のための課題について、実際の福祉現場と照らし合わせて理解する					講 義	日 田
8	4)	保健医療施策の重要性を認識しそこに関わる専門職の役割を理解する					講 義	日 田
9	5)	教育施策について役割と重要性を理解しつつ、子どもの貧困について話し合う					講義・SGD	日 田
10	4),5)	住宅政策と労働政策について関連する制度を含めて包括的に理解する					講 義	日 田
11	4),5)	災害政策の現状を知り、災害対策の必要性を理解する。近年の災害対策の実際を知る					講義・SGD	日 田
12	6)	福祉サービスの供給が多面的な供給主体によって担われていることを理解する					講 義	日 田
13	6)	福祉サービスの供給過程について、情報の非対称性について理解を深める					講義・SGD	日 田
14	7)	福祉政策の国際比較をしつつ、近年の福祉政策の展開における「サービス保障」の重要性を学ぶ					講 義	日 田
15	1),3),7)	これからの社会福祉についてこれまでの学習をもとに、自身の考えをまとめる					講義・SGD	日 田
教科書(著者名)出版社名[ISBN]		最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座4 社会福祉の原理と政策 中央法規						

参考書(著者名)出版社名【ISBN】

適時印刷物を配布する。

科目名	貧困に対する支援			授業コード	121665B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51C221P07	AL 科目	
担当者	日田 剛(福・福)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	<p>公的扶助分野は、現代社会が生み出す貧困・低所得問題に対処するための一連の制度的な取組を指し、市民生活を守る社会保障・社会福祉制度の最後のセーフティネットとして位置づけられている。公的扶助の概念と範囲、意義と役割についての理解、「貧困」「低所得」などの問題の理解、公的扶助制度の主要制度である生活保護制度の仕組み、動向、福祉事務所を中心とした実施体制などの理解、相談活動実践事例など、自立支援プログラムの在り方などの理解を通じて、専門家としての知識の修得を図る(DP3)。</p>						
学修目標	<p>1)「貧困」について、その定義と概念を説明できる。  2)公的扶助の対象となる貧困・低所得とは何なのかなどを説明できる。  3)公的扶助の制度的沿革、わが国の貧困・低所得対策などが説明できる。  4)生活保護制度の仕組み(目的・原理・原則など)、不服審査制度など説明できる。  5)最低生活保障水準の考え方、生活扶助基準の算定方法など説明できる。  6)生活保護の受給人員、世帯の動向、各種扶助別人員数などの説明ができる。  7)低所得者対策としての生活福祉資金制度の内容を説明できる。  8)生活保護運営実施体制と関係機関、団体の役割などについて説明できる。  9)貧困・低所得者に対する相談援助活動(関連専門職・専門機関との連携など)を説明できる。  10)生活保護における自立支援プログラムについて説明ができる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	生活保護行政にかかわる外部講師を招聘予定						
評価及びフィード バックの方法	ミニテスト、単位認定試験、授業態度などを総合的に判断して評価。						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>予習・復習を行うこと。  授業中にミニテストを実施する。社会福祉士国家資格試験の過去問を使用して実施する。生活保護は社会情勢との関連があるので、新聞などを読むこと。</p>						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	「貧困」が現代においてどのように語られているか、また、どのような問題があるのかを理解する。合わせて「貧困」について自らの問題として考える。				講 義	日 田
2	2)	貧困・低所得とは何か、貧困と社会的排除(絶対的貧困・相対的貧困、社会的排除としての貧困、わが国における貧困の研究、貧困・低所得者問題の現代的課題				講 義	日 田
3	3)	公的扶助制度の歴史:海外の歴史、日本の歴史、貧困・低所得者対策の近年の動向				講 義	日 田
4	4)	生活保護法の目的・基本原理・原則、保護の種類と内容および方法、保護施設				講 義	日 田
5	4)	被保護者の権利および義務、不服申立と訴訟、生活保護の財源・予算				講 義	日 田
6	5)	最低生活保障水準の考え方、生活保護基準の考え方				講 義	日 田
7	5)	生活保護基準の実際、最低生活保障水準の実際				講 義	日 田
8	6)	生活保護の動向:被保護人員・世帯数、保護の開始・廃止				講 義	日 田
9	6)	生活保護の動向:医療扶助の動向。介護扶助の動向				講 義	日 田
10	7)	低所得者の概要:生活福祉資金貸付制度				講 義	日 田
11	7)	低所得者の概要:社会手当制度、ホームレス対策、その他の低所得者対策				講 義	日 田
12	8)	生活保護の運営実施体制と関係機関・団体:国・都道府県・市町村の役割、福祉事務所の役割、福祉事務所専門職員の役割				講 義	日 田
13	9)	貧困・低所得者に対する相談援助活動:生活保護制度における相談援助活動				講 義	日 田
14	9)	貧困・低所得者に対する相談援助活動:他機関・他職種との連携・協働				講 義	日 田
15	10)	生活保護における自立支援:自立とは何か				講 義	外部講師
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座4 貧困に対する支援 中央法規					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		歴史との対話—現代府福祉の源流を探る—(西尾祐吾 塚口伍喜夫)大学教育出版					

科目名	地域福祉と包括的支援体制 I			授業コード	121666B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51C221P08	AL 科目	
担当者	加藤 正憲(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リデーNo.	地域共生社会の実現に向けて、包括的な相談支援を実施し、地域住民等が主体的に地域課題を解決していくよう支援できるソーシャルワーカーを養成するため、本科目では地域福祉と包括的支援体制の考え方について、その理論、方法を体系的に理解するとともに、それらを推進するうえで欠かせない福祉行財政と福祉計画について学ぶ。また、地域福祉と包括的支援体制を推進していくための地域を基盤としたソーシャルワークの展開について理解を深め、具体的な展開方法について修得する。臨床 DP(3)(5)(6)、スポ DP(3)(4)、心理 DP(3)(6)						
学修目標	1) 地域福祉の基本的な考え方について説明できる。 2) 地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題について説明できる。 3) 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制について説明できる。 4) 地域福祉ガバナンスと多機関協働について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(加藤)は、社会福祉士の資格を有し、地域福祉の実践現場(社会福祉協議会)での5年以上の実務経験に基づき、実践的な内容を取り入れ、「地域福祉と包括的支援体制」の習得を目的とした授業を行う予定。						
評価及びフィード バックの方法	授業後における小レポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学習への取り組み姿勢(小レポート及び確認テストの内容、授業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を7割として、包括的に評価する。 小レポート、確認テスト等の結果から、学習進捗状況を把握し、各講義の最初にフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	国家資格試験対象科目なのでテキスト以外の文献についても自己学習を進めること。また予習・復習をしっかりとやること。						
オフィスアワー	講義前後の時間に対応。						

#### 授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担当
1	1)	1.ガイダンス(講義の概要と予定) 地域福祉とは何か 2.地域福祉の基本的な考え方 (1) 地域福祉の概念と理論 ① 地域福祉の概念と理論の変遷/新たな展開と理論的な視点について理解する。	講 義	加 藤
2	1)	(2)地域福祉の歴史 ① 欧米の地域福祉の源流の内容について理解する。 ② 我が国の地域福祉の源流の内容について理解する。 ③ 戦後から今日に至る地域福祉の歴史的変遷の内容について理解する。	講 義	加 藤
3	1)	(3)地域福祉の動向 ① 人口減少・超高齢社会における地域生活課題について把握する。 ② 地域生活課題に対応する地域福祉の新たな動向について理解する。 (4)地域福祉の推進主体 ① 地域福祉の推進主体(組織)とは何か、その役割の実際について理解する。(社会福祉協議会を中心に)	講義・SGD	加 藤
4	1)	(5)地域福祉の主体と福祉教育 ① 人々の直面する地域生活課題の傾向を理解する。 ② 地域福祉の推進主体/地域住民の主体形成と福祉教育について考える。	講 義	加 藤
5	1)2)	3.地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題 (1)地域社会の概念と理論 ① 地域社会の概念と地域社会の理論について理解する。	講 義	加 藤
6	1)2)	(2)地域社会の変化 ① 近年の地域社会の変化の諸相を把握する。 ② 地域社会の変化による課題と対応策を考える。	講義・SGD	加 藤
7	1)2)	(3)多様化・複雑化した地域生活課題の現状とニーズ ① 地域社会を多様なシステムの複雑な相互作用から捉え、理解する視点を身につける。 ② 多様化・複雑化する地域生活課題と表出にかかわる状況とニーズについて考える。	講 義	加 藤
8	1)2)	(4)地域福祉と社会的孤立 ① 地域福祉の概念と我が国の政策上の位置づけについて理解する。 ② 社会的孤立とセルフ・ネグレクト、社会的排除の概念について理解する。	講 義	加 藤
9	3)	4.地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制 (1)地域包括ケアシステム ① 地域包括ケアシステムの考え方、確立の経過、展開について理解する。 ② 包括的な相談支援体制について理解する。	講 義	加 藤
10	3)	(2)生活困窮者自立支援の考え方 ① 生活困窮者自立支援制度の目的と基本理念、概要について理解する。 ② 自立相談支援事業の役割と支援過程について理解する。 ③ 生活困窮者自立支援に必要な倫理と基本姿勢を理解する ④ 高齢者、生活困窮者以外を対象とする包括的な相談支援体制について理解する。	講 義	加 藤
11	3)	(3) 包括的支援体制とは ① 包括的支援体制に実現に向けての展開と具体的展開方法について理解する。 (4)地域共生社会の構築とは ① 地域共生社会と実現の方向について理解する。	講 義	加 藤
12	3)	(5) 地域共生社会の実現に向けた各種施策 ① 包括的支援体制構築事業と市町村での体制整備について理解する。 ② 包括的支援体制の確立に向けての社会福祉法改正(2020(令和2)年)を理解する。 ③ 包括支援体制の確立に向けてのソーシャルワーカーの役割を理解する。	講 義	加 藤

13	3)4)	<p>5.地域福祉ガバナンスと多機関協働</p> <p>(1) 地域福祉ガバナンス</p> <p>① 地域福祉ガバナンスの考え方と他機関協働のマネジメントについて理解する。</p> <p>② 地域住民の参加と協働について考える。</p> <p>③ 地域福祉ガバナンスを進める協議の場の形成と運営、専門職の役割について考える。</p> <p>(2) 多機関協働を促進する仕組み</p> <p>① 総合相談と包括的な支援体制を支える各種相談機関の連携協働の意義と仕組みについて理解する。</p>	講義	加藤
14	3)4)	<p>(3) 多職種連携</p> <p>① 多職種連携の目的と多職種連携を促進する要因やコンピテンシーについて理解する。</p>	講義	加藤
15	3)4)	<p>(4) 福祉以外の分野との機関協働の実際</p> <p>① さまざまな主体のさまざまな発想と協働で地域福祉を進める目的と意義について考える。</p> <p>② 福祉以外の分野との協働による開発的実践について理解する。</p> <p>③ 地方創生の政策と社会的企業について理解する。</p> <p>【前期講義の振り返り】</p>	講義	加藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		<p>一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟(編集)</p> <p>「最新社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座第6巻 第2版 地域福祉と包括的支援体制」中央法規出版(9784824303486)</p>		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		<p>使用しない。必要に応じて参考資料を提供する。</p>		

科目名	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ		授業コード	121667B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2年)		ナンバリング	51C222P02	AL 科目	
担当者	加藤 正憲(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態 講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リデーNo.	地域共生社会の実現に向けて、包括的な相談支援を実施し、地域住民等が主体的に地域課題を解決していくよう支援できるソーシャルワーカーを養成するため、本科目では地域福祉と包括的支援体制の考え方について、その理論、方法を体系的に理解するとともに、それらを推進するうえで欠かせない福祉行政と福祉計画について学ぶ。また、地域福祉と包括的支援体制を推進していくための地域を基盤としたソーシャルワークの展開について理解を深め、具体的な展開方法について修得する。臨床 DP(3)(5)(6)、スポ DP(3)(4)、心理 DP(3)(6)					
学修目標	1) 地域を基盤としたソーシャルワークの展開について説明できる。 2) 災害時における総合的かつ包括的な支援体制について説明できる。 3) 福祉計画の意義と種類、策定と運用について説明できる。 4) 国・都道府県・市町村の役割、祉行政の組織及び専門職の役割について説明できる。 5) 福祉における財源について説明できる。					
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(加藤)は、社会福祉士の資格を有し、地域福祉の実践現場(社会福祉協議会)での5年以上の実務経験に基づき、実践的な視点から「地域福祉と包括的支援体制」の習得を目的とした授業を行う予定。					
評価及びフィード バックの方法	授業後における小レポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学習への取り組み姿勢(小レポート及び確認テスト、授業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を7割として、包括的に評価する。小レポート、確認テスト等の結果から学習進捗状況を把握し、各講義の最初にフィードバックを行う。					
準備学習・ 履修上の注意等	国家資格試験対象科目なのでテキスト以外の文献についても自己学習を進めること。また予習・復習をしっかりとやること。					
オフィスアワー	講義前後の時間帯に対応。					
授業計画						
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容			授業 方法	担当
1	1)	6.地域を基盤としたソーシャルワークの展開 (1)地域を基盤としたソーシャルワークの方法 ① 地域を基盤としたソーシャルワークの概念、求められてきた背景について理解する。 ② 生活困窮者自立支援とコミュニティソーシャルワークについて理解する。 ③ 地域共生社会の実現に向けたアプローチについて考える。			講 義	加 藤
2	1)	(2)住民の主体形成に向けたアプローチ ① 地域福祉における住民の主体形成の意義と方法について理解する。 ② 住民の主体形成を援助するソーシャルワークの視点と方法を理解する ③ 社会的包摂(地域共生社会)形成に向けた福祉学習について理解する			講 義	加 藤
3	1)	(3)具体的な展開 ① 地域を基盤としたソーシャルワーク展開の具体を理解する。 ② 事例の展開をとおして、五つのポイントを知る。			講義・SGD	加 藤
4	1)	③ 住民の主体性を尊重し、育む多職種連携について考える。			講義・SGD	加 藤
1	1)2)	7.災害時における総合的かつ包括的な支援体制 (1)非常時や災害時における法制度 ① 災害対策基本法、災害救助法について理解する。			講 義	加 藤
6	1)2)	② 特定非常災害特別措置法、災害弔慰金の支給等に関する法律について理解する。 ③ 被災者生活再建支援法、その他の支援の仕組みについて理解する。			講 義	加 藤
7	1)2)	(2)非常時や災害時における総合的かつ包括的な支援 ① 災害と被災者が抱える多様なニーズについて考える。 ② 他職種との連携による包括的な支援について考える。			講 義	加 藤
8	1)2)	③ 災害に備えた平時からの取組みの重要性について理解する。			講 義	加 藤
9	3)	8.福祉計画の意義と種類、策定と運用 (1)福祉計画の定義、目的、機能と歴史的展開 ① 福祉計画の定義、歴史的展開について理解し、福祉計画の基本的視点を知る。 ② 我が国の福祉制度の展開を理解し、福祉計画の種類と類型、果たす機能について知る。			講 義	加 藤
10	3)	(2)市町村地域福祉計画・都道府県地域福祉支援計画の内容 ① 地域福祉計画の歴史的展開について理解する。 ② 社会福祉法改正と市町村地域福祉計画・都道府県地域福祉支援計画について理解する。			講 義	加 藤
11	3)	(3)福祉計画の策定過程と方法 ① 福祉計画の主体、計画の過程モデルについて理解する。 ② 福祉計画の過程と特徴、問題の分析と合意形成過程について理解する。 ③ 福祉計画の過程における方法・技術、留意点について理解する。			講 義	加 藤
12	3)	(4)福祉計画におけるニーズ把握の方法・技術 ① ニーズの概念、類型について理解する。 ② ニーズ把握の方法・技術、留意点について理解する。 (5)福祉計画における評価 ① 福祉計画における評価の方法・技術、実際、留意点について理解する。			講 義	加 藤
13	4)	9.福祉行政システム (1)国の役割 ① 行政の骨格、国の福祉行政体制とその役割について理解する。 ② 法定受託事務と自治事務について理解する。 (2)都道府県の役割			講 義	加 藤

		① 都道府県の福祉行政体制と組織、役割について理解する。 (3)市町村の役割 ① 市町村の福祉行政体制と組織、役割について理解理解する理解する。 (4)国と地方の関係 ① 中央集権から地方自治への流れを理解する。 ② 地方分権の意義と改革の流れを把握し、地方創生について理解する。		
14	4)	(5)福祉行政の組織および専門職の役割 ① 社会福祉の実施体制、社会福祉の専門機関について理解する。 ② 社会福祉の専門職について理解する。	講義	加藤
15	5)	(6)福祉における財源 ① 国と地方の財源について理解する。 ② 保険料財源について理解する。 ③ 民間の財源について理解する。 <b>【後期講義の振返り】</b>	講義	加藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟(編集) 「最新社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座第6巻 第2版 地域福祉と包括的支援体制」中央法規出版(9784824303486)		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。必要に応じて参考資料を提供する。		

科目名	社会保障 I			授業コード	121493B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51C221P09	AL 科目	○
担当者	山崎 真梨子(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	<p>この科目は、社会福祉士国家試験の指定科目である。厚生労働省から以下 6 つのねらいが提示されている。</p> <p>①社会保障の概念や対象及びその理念について、社会保障制度の展開過程も含めて理解する。  ②現代社会における社会保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について理解する。  ③社会保障制度の財政について理解する。  ④公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。  ⑤社会保障制度の体系と概要について理解する。  ⑥諸外国における社会保障制度の概要について理解する。</p> <p>以上 6 つのねらいを受けて、この科目①～④までを学ぶ。また、社会保障制度の概要を理解することをとおして、将来福祉現場で活躍する社会福祉士としての福祉実践力(DP(3))の涵養をはかる。さらに講義の中で SGD を実施して、コミュニケーション能力(DP(4))の向上をはかる。くわえて、社会福祉士国家試験の受験資格を取得するため、他の科目も含めて体系的・系統的に学ぶ(CP(5))ことも目標とする。</p>						
学修目標	<p>1) 現代社会における社会保障制度の現状(少子高齢化と社会保障制度の関係を含む)を理解する～人口動態、経済環境、労働環境の変化から現状を説明することができる。</p> <p>2) 社会保障の概念や対象及びその理念を理解する～社会保障の概念とその範囲および役割と意義、理念と対象およびその展開を述べるができる。</p> <p>3) 社会保障と財政 を理解する～社会保障の財源 を一般会計や地方経費などから述べるができる。また、社会保障給付費の内訳と動向を説明できる。さらに国民負担率とは何か説明して、それが経済に与える影響について自身意見も含めて述べるができる。について述べるができる。</p> <p>4) 社会保険と社会扶助の関係を理解する～社会保険の概念と範囲及び社会扶助の概念と範囲を理解して、その相違を明確に説明することができる。</p> <p>5) 公的保険制度と民間保険制度の関係を理解する～それぞれの特徴を把握して、その課題を明確にして、相違及び補完性を述べることができる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(山崎)は、社会福祉士及び精神保健福祉士の資格を有し、行政や社会福祉施設、研究所などにおいて実践現場 5 年以上の経験に基づき、社会保障に関する基本的概念や制度の変遷、最新の動向などを含めた基本的知識を習得することを目的に授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	毎時間後のレポートと適宜小テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を 30%及び後期末試験 70%として総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>シラバスに記載されている学習予定を確認して、テキストの該当部分を予習する事  加えて厚生労働省 web ページなどを活用して、事前に必要な法令や制度を確認する事。これらに 90 分以上の予習時間が必要である。</p> <p>講義後は、教員が配布したプリント及び自身が筆記した講義ノートを整理して、必要に応じて不明な語句を調べなおすなど、復習に 90 分以上を費やす必要がある。</p> <p>講義中、口頭質問や SGD を実施するので、積極的に自身の考えや意見を述べるようにすること</p>						
オフィスアワー	時間割が確定次第、告知する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	「社会保障とは」という概念について、人口減少と少子高齢化をもとに社会保障の成り立ちを理解する				講 義	山 崎
2	1)	人口減少と少子高齢化が社会及び社会保障に与える影響について理解する				講義・SGD	山 崎
3	1)	日本の経済成長と共に変化してきた社会保障についてどのように変化してきたのかを理解する				講義・SGD	山 崎
4	1)	労働環境の変化がもたらす社会への影響と社会保障の課題について理解する				講義・SGD	山 崎
5	2)	社会保障の概念や対象、及びその理念について総合的に理解する				講義・SGD	山 崎
6	2)	社会保障の役割と意義について、総合的に理解するとともに、救貧と防貧の違いについて理解する				講 義	山 崎
7	2)	社会保障の理念として生存権と社会連帯、社会保障との関連について理解する				講義・SGD	山 崎
8	3)	社会保障制度の展開について、歴史的背景を学ぶとともに、社会保険・社会手当が出来た経緯について理解する				講 義	山 崎
9	3)	戦後の社会保障の拡充と近年の制度改正について整理して理解する				講 義	山 崎
10	3)	社会保障の財政について種類や財源の確保の方法、内訳等について理解する				講 義	山 崎
11	3)	社会保障の財政について国民の負担が生活にどのような影響を及ぼしているかを理解する				講義・SGD	山 崎
12	4)	保険と扶助のメリットデメリットについて SGD にて考える				講義・SGD	山 崎
13	4)	社会保険と社会扶助の特徴について理解し、「自助」「共助」「公助」の関係性を理解する				講 義	山 崎
14	5)	社会保険と民間保険の種類や違いについて、自分が加入している保険と照らし合わせながら理解する				講義・SGD	山 崎
15	5)	社会保険と民間保険の相互関係について理解する				講義・SGD	山 崎

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	最新 社会福祉士養成講座 7 社会保障(日本ソーシャルワーク学校連盟編集)中央法規出版 ISBN978-4-8058-8237-5
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	講義の中で適時紹介する。

科目名	社会保障Ⅱ			授業コード	121494B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51C222P03	AL 科目	○
担当者	山崎 真梨子 (非常勤講師)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	<p>この科目は、社会福祉士国家試験の指定科目である。厚生労働省から以下6つのねらいが提示されている。</p> <p>①社会保障の概念や対象及びその理念について、社会保障制度の展開過程も含めて理解する。  ②現代社会における社会保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について理解する。  ③社会保障制度の財政について理解する。  ④公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。  ⑤社会保障制度の体系と概要について理解する。  ⑥諸外国における社会保障制度の概要について理解する。</p> <p>この科目では、社会保障制度を理解することをとおして、福祉実践力(DP(3))の涵養をはかることを目標にする。さらに講義の中でSGDを実施して、コミュニケーション能力(DP(4))の向上をはかる。くわえて、社会福祉士国家試験の受験資格を取得するため、他の科目も含めて体系的・系統的に学ぶ(CP(5))ことも目標とする。</p>						
学修目標	<p>1) 社会保障制度の体系を把握する～医療保険制度の体系を説明することができるようになる。  2) 社会保障制度の体系を把握する～介護保険制度の体系を説明できるようになる。  3) 社会保障制度の体系を把握する～年金保険制度の体系を説明することができる。  4) 社会保障制度の体系を把握する～労働者災害補償保険と雇用保険の体系を説明することができる。  5) 社会保障制度の体系を把握する～生活保護制度の概要を説明することができる。  6) 社会保障制度の体系を把握する～社会手当制度の概要を説明することができる。  7) 社会保障制度の体系を把握する～社会福祉制度の概要を説明することができる。  8) 諸外国における社会保障制度の理解～諸外国の社会保障制度を、わが国の制度と比較して、各国の特徴を説明することができる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(山崎)は、社会福祉士及び精神保健福祉士の資格を有し、行政や社会福祉施設、研究所等において実務経験5年以上の経験に基づき、社会保障に関する基本的概念や制度の変遷、最新の動向などを含めた基本的知識を習得することを目的に授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	毎時間後のレポートと適宜小テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業態度等)の評価を30%及び後期末試験70%として総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>シラバスに記載されている学習予定を確認して、テキストの該当部分を予習する事  加えて厚生労働省 web ページなどを活用して、事前に必要な法令や制度を確認する事。これらに90分以上の予習時間が必要である。  講義後は、教員が配布したプリント及び自身が筆記した講義ノートを整理して、必要に応じて不明な語句を調べなおすなど、復習に90分以上を費やす必要がある。  講義中、口頭質問やSGDを実施するので、積極的に自身の考えや意見を述べるようにすること</p>						
オフィスアワー	時間割が確定次第、告知する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	医療保険制度の概要・体系・種類等を自分の状況と照らし合わせて理解する				講義・SGD	山 崎
2	1)	医療保険制度の具体的な流れや支払い方法等について理解する				講義・SGD	山 崎
3	2)	介護保険制度の概要について、近年の高齢者福祉の動向と照らし合わせながら理解する				講義・SGD	山 崎
4	2)	介護保険制度の詳細について、最新の情報を調べて理解を深める				講義・SGD	山 崎
5	3)	年金制度の概要について、種類や加入状況、給付状況など最新の情報を調べて把握する				講義・SGD	山 崎
6	3)	年金制度の種類について、それぞれの特徴や概要を理解する。				講 義	山 崎
7	4)	労働災害保険と雇用保険制度の概要について、実際の現状と照らし合わせながら理解する				講義・SGD	山 崎
8	4)	労働災害保険と雇用保険の実際について、事例をあげながら詳細を把握する				講 義	山 崎
9	5)	生活保護制度の歴史的な流れや、現在の制度の概要(原理・原則)について理解する				講 義	山 崎
10	5)	生活保護法の実際を学び、関連施策についても理解を深める				講 義	山 崎
11	6)	社会手当制度の概要について、家族関係の社会的背景とリンクさせながら理解する				講義・SGD	山 崎
12	7)	社会福祉制度の概要について、歴史的背景も含めて時系列的に理解する				講 義	山 崎
13	8)	海外の社会保障制度を学ぶ				講 義	山 崎
14	8)	海外の社会保障制度と我が国の社会保障制度を比較する				講 義	山 崎
15	1)～8)	社会保障に関する総まとめとして、社会保障制度の全体像を把握する				講義・SGD	山 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	最新 社会福祉士養成講座 7 社会保障(日本ソーシャルワーク学校連盟編集)中央法規出版 ISBN978-4-8058-8237-5						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	特に指定しない。						

科目名	ソーシャルワークの理論と方法 I		授業コード	121668B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2年)		ナンバリング	51C221P10	AL 科目	○
担当者	児崎 友美(講師)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態 講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	<p>今般の新カリキュラムの改正により、社会福祉士と精神保健福祉士の共通科目が拡充され、「相談援助」の名称が「ソーシャルワーク」に変更された。国による社会福祉・社会保障施策に注目すると、その潮流は、「地域共生社会の実現」「我が事・丸ごと」「制度横断的」「包括的な相談支援体制の構築」「住民主体の地域課題解決体制の構築」等をキーワードとして確認できる。このような流れにおいて、地域共生社会の実現を推進する観点からソーシャルワークの機能や社会福祉士や精神保健福祉士といったソーシャルワーク専門職への社会的期待が高まっていることが窺える。</p> <p>両資格に共通するソーシャルワークの実践基盤となる人と環境の交互作用に関する理論やソーシャルワークの一連のプロセス等について、深く学ぶことを目的とする。</p> <p>スポ DP:(3)、(4) CP:1-(1)、1-(2)、1-(6)、2-(1)、2-(3)、3-(1) 心理 DP:(1)、(6) CP:1-(1)、1-(4)、2-(1)、3-(1)</p>					
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)システム理論の成り立ちやソーシャルワーク分野におけるシステム理論について説明できる。</li> <li>2)生態学理論やバイオ・サイコ・ソーシャルモデル、マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて説明できる。</li> <li>3)ケース発見やエンゲージメントにおけるソーシャルワーカーの役割について説明できる。</li> <li>4)アセスメントの意義や目的について説明できる。</li> <li>5)アセスメントの方法や留意点を説明できる。</li> <li>6)プランニングの意義と目的やプランニングのプロセスについて説明できる。</li> <li>7)プランニングの方法や留意点を説明できる。</li> <li>8)支援の実施やモニタリングを説明できる。</li> <li>9)効果測定について説明できる。</li> <li>10)支援の終結や支援の結果評価について説明できる。</li> <li>11)アフターケアについて説明できる。</li> <li>12)ソーシャルワークの実践モデルとアプローチの考え方について説明できる。</li> <li>13)治療モデルやストレングスモデル、生活モデルについて説明できる。</li> <li>14)心理社会的アプローチや機能的アプローチ、問題解決アプローチについて説明できる。</li> </ol>					
実務経験のある 教員による教育	<p>科目担当社は、福祉現場である特別養護老人ホームに3年、地域包括支援センターに13年という期間、社会福祉士として実務経験を担ってきた。このような実務経験に基づき、実践においてソーシャルワーク理論や援助技術をどのように用いるのか事例を使いながらより具体的な理解を促す。</p>					
評価及びフィード バックの方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 定期試験を 80%</li> <li>* 中間テストを 10%</li> <li>* 出席時に毎回提出するレポート、提出物(課題など)、授業姿勢を 10%とし、総合的に評価する。</li> </ul>					
準備学習・ 履修上の注意等	<p>社会福祉士・精神保健福祉士の資格取得予定者は履修すること。 事前に必ずテキストを読んでくること。 授業前後に関係する項目のトピックを予習する。方法は、図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。 1コマにつき4時間程度の予習復習をすること。 プリントを配布するため、科目専用ファイル等を準備し、しっかりと管理すること(配布した順番に綴ることを求める)。</p>					
オフィスアワー	研究室ドアに貼り出す					
授業計画						
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容			授業 方法	担当
1	1)	【ソーシャルワークの理論と方法の講義オリエンテーション】 講義のねらいと進め方を理解する。			講義・SGD	児 崎
2	1)	【人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク①】 システム理論の成り立ちやソーシャルワーク分野におけるシステム理論を学ぶ。			講 義	児 崎
3	2)	【人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク②】 生態学理論やバイオ・サイコ・ソーシャルモデル、マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて学 ぶ。			講 義	児 崎
4	4)	【ソーシャルワークの過程/ケース発見とエンゲージメント】 ケース発見やエンゲージメントにおけるソーシャルワーカーの役割について学ぶ。			講 義	児 崎
5	5)	【ソーシャルワークの過程/アセスメント①】 アセスメントの意義や目的について学ぶ。			講 義	児 崎
6	6)	【ソーシャルワークの展開/アセスメント②】 アセスメントの方法や留意点を学ぶ。			講 義	児 崎
7	7)	【ソーシャルワークの過程/プランニング①】 プランニングの意義と目的やプランニングのプロセスを学ぶ。			講 義	児 崎
8	8)	【ソーシャルワークの過程/プランニング②】 プランニングの方法や留意点を学ぶ。			講 義	児 崎
9	9)	【ソーシャルワークの過程/支援実施とモニタリング①】 支援の実施やモニタリングを学ぶ。			講 義	児 崎
10	10)	【ソーシャルワークの過程/支援の実施とモニタリング②】 効果測定について学ぶ。			講 義	児 崎
11	11)	【ソーシャルワークの過程/支援の終結と結果評価、アフターケア①】 支援の終結や支援の結果評価について説明学ぶ。			講 義	児 崎
12	12)	【ソーシャルワークの過程/支援の終結と結果評価、アフターケア②】 アフターケアについて学ぶ。			講 義	児 崎
13	13)	【ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ①】 ソーシャルワークの実践モデルとアプローチの考え方について学ぶ。			講 義	児 崎

14	14)	【ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ②】 治療モデルやストレングスモデル、生活モデルについて学ぶ。	講義	児崎
15	14)	【ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ③】 心理社会的アプローチや機能的アプローチ、問題解決アプローチを学ぶ。	講義	児崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		12 最新社会福祉士養成講座 ソーシャルワークの理論と方法 [共通科目]、(一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集)、中央法規【978-4-8058-8242-9】		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		

科目名	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ			授業コード	121669B101	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51C222P04	AL科目	○
担当者	児崎 友美(講師)	開講学期	2026年度後期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	<p>今般の新カリキュラムの改正により、社会福祉士と精神保健福祉士の共通科目が拡充され、「相談援助」の名称が「ソーシャルワーク」に変更された。国による社会福祉・社会保障施策に注目すると、その潮流は、「地域共生社会の実現」「我が事・丸ごと」「制度横断的」「包括的な相談支援体制の構築」「住民主体の地域課題解決体制の構築」等をキーワードとして確認できる。このような流れにおいて、地域共生社会の実現を推進する観点からソーシャルワークの機能や社会福祉士や精神保健福祉士といったソーシャルワーク専門職への社会的期待が高まっていることが窺える。</p> <p>両資格に共通するソーシャルワークの実践基盤となる人と環境の交互作用に関する理論やソーシャルワークの一連のプロセス等について、深く学ぶことを目的とする。</p> <p>スポ DP:(3)、(4) CP:1-(1)、1-(2)、1-(6)、2-(1)、2-(3)、3-(1) 心理 DP:(1)、(6) CP:1-(1)、1-(4)、2-(1)、3-(1)</p>						
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)ソーシャルワークの実践モデルとアプローチを説明できる。</li> <li>2)ソーシャルワークの面接の意義と目的を説明できる。</li> <li>3)ソーシャルワーク面接の方法と実際を説明できる。</li> <li>4)ソーシャルワークの記録の意義と目的を説明できる。</li> <li>5)ソーシャルワークの記録内容と記録のフォーマットを説明できる。</li> <li>6)ケアマネジメントの原則や意義、方法を説明できる。</li> <li>7)グループワークの意義や目的を説明できる。</li> <li>8)グループワークの展開過程やグループワークとセルフヘルプグループを説明できる。</li> <li>9)コミュニティワークの意義や目的、展開について説明できる。</li> <li>10)コミュニティワークの理論的系譜を説明できる。</li> <li>11)ソーシャルアドミニストレーションの概念や意義、組織介入・組織改善の実践モデル、財政の確保を説明できる。</li> <li>12)ソーシャルアクションの概念とその意義やコミュニティ・オーガナイズングを説明できる。</li> <li>13)スーパービジョンの意義、目的、方法を説明できる。</li> <li>14)コンサルテーションの意義、目的、方法を説明できる。</li> </ol>						
実務経験のある 教員による教育	<p>科目担当者は、福祉現場である特別養護老人ホームに3年、地域包括支援センターに13年という期間、社会福祉士として実務経験を担ってきた。このような実務経験に基づき、事例を通して実践に近い面接場面を設け、さらにアセスメントや記録方法等ソーシャルワークに必要な具体的な技術の習得を目的とした授業を行う。</p>						
評価及びフィード バックの方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 定期試験を80%</li> <li>* 中間テストを10%</li> <li>* 出席時に毎回提出するレポート、提出物(課題など)、授業姿勢を10%とし、総合的に評価する。</li> </ul>						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>社会福祉士・精神保健福祉士の資格取得予定者は履修すること。 「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」と関連した内容であるため、「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」を履修した上で受講することが望ましい。</p> <p>学生は授業前後に4時間の予習復習時間をもつこと。 授業前に必ずテキストを読んでくること。 プリントを配布するため、科目専用ファイル等を準備し、しっかりと管理すること(配布した順番に綴ることを求める)。</p>						
オフィスアワー	研究室ドアに貼り出す						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【ソーシャルワークの理論と方法 講義のオリエンテーション、ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ①】 行動変容アプローチ、認知アプローチ、危機介入アプローチを学ぶ。				講義・SGD	児崎
2	2)	【ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ②】 エンパワメントアプローチ、ナラティブアプローチ、解決志向アプローチ、さまざまなアプローチを学ぶ。				講 義	児崎
3	3)	【ソーシャルワークの面接①】 面接の意義と目的を学ぶ。				講 義	児崎
4	4)	【ソーシャルワークの面接②】 ソーシャルワーク面接の方法と実際を学ぶ。				講 義	児崎
5	5)	【ソーシャルワークの記録①】 ソーシャルワークの記録の意義と目的を学ぶ。				講 義	児崎
6	6)	【ソーシャルワークの記録②】 ソーシャルワークの記録内容と記録のフォーマットを学ぶ。				講 義	児崎
7	7)	【ケアマネジメント】 ケアマネジメントの原則や意義、方法を学ぶ。				講 義	児崎
8	8)	【グループを活用した支援①】 グループワークの意義や目的を学ぶ。				講 義	児崎
9	9)	【グループを活用した支援②】 グループワークの展開過程やグループワークとセルフヘルプグループを学ぶ。				講 義	児崎
10	10)	【コミュニティワーク①】 コミュニティワークの意義や目的、展開について学ぶ。				講 義	児崎
11	11)	【コミュニティワーク②】 コミュニティワークの理論的系譜を学ぶ。				講 義	児崎
12	12)	【ソーシャルアドミニストレーション】 ソーシャルアドミニストレーションの概念や意義、組織介入・組織改善の実践モデル、財政の確保を学ぶ。				講 義	児崎
13	13)	【ソーシャルアクション】 ソーシャルアクションの概念とその意義やコミュニティ・オーガナイズングを学ぶ。				講 義	児崎

14	14)	【スーパービジョンとコンサルテーション①】 スーパービジョンの意義、目的、方法を学ぶ。	講義	児崎
15	14)	【スーパービジョンとコンサルテーション②】 コンサルテーションの意義、目的、方法を学ぶ。	講義	児崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		12 最新社会福祉士養成講座 ソーシャルワークの理論と方法 [共通科目]、(一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集)、中央法規【978-4-8058-8242-9】		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		

科目名	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ			授業コード	121670B101	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(3年)			ナンバリング	51C321P02	AL科目	○
担当者	鹿嶋 隆志(非常勤講師)	開講学期	2026年度前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	相談援助の過程を理解し、個人、家族、小集団・組織、地域社会といったクライアント・システムに対して、社会福祉士がソーシャルワーカーとしていかに対応していくかの実践力を有する力を身につけるために、福祉課題を抱えた者からの相談への対応や、これを受けて総合的かつ包括的にサービスを提供することの必要性及びその具体的方法にかかわる知識・技術を修得する。						
学修目標	1) 相談援助における対象について説明できる。 2) 総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークとは何かを理解できる。 3) ソーシャルワークにおける援助関係の形成における意義・概念・方法と留意点について理解できる。 4) ネットワークにおけるネットワーキングとネゴシエーションについて理解できる。 5) ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発について理解ができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(鹿嶋)は、社会福祉士として知的障がい、児童(スクールソーシャルワーカー)、成年後見活動等での実践を25年して参りました。その経験に基づき、実務に必要な相談援助の理論と方法についての知識を習得することを目的に指導を行います。						
評価及びフィード バックの方法	授業後におけるレポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行い、随時フィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(レポートの提出状況、授業態度、SGDでの参加状況)の評価を3割、学期末の単位認定試験を7割として、包括的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	ソーシャルワークの基盤と専門職及びソーシャルワークの理論と方法を十分復習して授業に臨むこと。 遅刻・私語は厳禁。 1回の授業ごとに、4時間の予習、復習の学習を行うこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して45時間の予習復習を行うこと。						
オフィスアワー	時間割が確定後研究室に掲示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	相談援助における対象について(ソーシャルワーカーの立ち位置とアプローチ)理解する。				講 義	鹿 嶋
2	1)	総合的かつ包括的な支援の考え方(多様化・複雑化した生活課題への対応プロセスとスキル)を学ぶ。				講義・SGD	鹿 嶋
3	2)	家族支援の基礎的な理論とツールを学ぶ。				講 義	鹿 嶋
4	2)	地域支援の必要な知識とスキルを学ぶ。				講 義	鹿 嶋
5	2)	非常時や災害時支援の実際(目的と留意点)を学ぶ。				講義・SGD	鹿 嶋
6	3)	援助関係形成の意義と概念(クライアントシステムとソーシャルワークの実践レベル)を学ぶ。				講義・SGD	鹿 嶋
7	3)	援助関係の形成方法と留意点(自己覚知と他者理解)を学ぶ。				講 義	鹿 嶋
8	3)	援助関係の形成方法と留意点(クライアントシステムとの援助関係の形成)を学ぶ。				講義・SGD	鹿 嶋
9	4)	ネットワークの構築プロセスと手法について学ぶ。				講 義	鹿 嶋
10	4)	コーディネーションの意義と目的及び地域共生社会としてのソーシャルキャピタルについて学ぶ。				講義・SGD	鹿 嶋
11	4)	地域福祉推進のための総合的なネットワークの形成とシステム化を考える。				講義・SGD	鹿 嶋
12	5)	社会資源の活用、調整、開発の意義や目的、方法を知る。				講義・SGD	鹿 嶋
13	5)	クライアントの権利を擁護していくソーシャルアクションの方法を知る。				講 義	鹿 嶋
14	5)	社会資源開発に必要なソーシャルワーカーのスキルについて理解する				講 義	鹿 嶋
15	5)	地域共生社会を目指すジェネラリストソーシャルワーカーとしての役割について考える。				講 義	鹿 嶋
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	最新 社会福祉士養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法【社会専門】 中央法規出版株式会社【978-4-8058-8249-8】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	使用しない。						

科目名	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ			授業コード	121671B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(3年)			ナンバリング	51C322P01	AL 科目	○
担当者	鹿嶋 隆志(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	個人、家族、小集団・組織、地域社会といったクライアント・システムに対して、社会福祉士がソーシャルワーカーとしていかに対応していくかの実践力を有する力を身につけるために、福祉課題を抱えた者からの相談への対応や、これを受けて総合的かつ包括的にサービスを提供することの必要性及びその具体的方法にかかわる知識・技術を修得する。						
学修目標	1)社会福祉士としての業務や実践における会議について説明する。 2)事例分析から検討並びに研究の重要性について理解する。 3)ネゴシエーションについて説明できる。 4)コンフリクト・レゾリューションについて説明ができる。 5)ファシリテーションについて説明ができる。 6)プレゼンテーションについて説明ができる。 7)ソーシャルマーケティングについて説明ができる。 8)地域共生社会におけるソーシャルワーカーとしての役割を説明する。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(鹿嶋)は、社会福祉士として知的障がい、児童(スクールソーシャルワーカー)、成年後見活動等での実践を25年して参りました。その経験に基づき、実務に必要な相談援助の理論と方法についての知識を習得することを目的に指導を行います。						
評価及びフィード バックの方法	授業後におけるレポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行い、随時フィードバック行う。学習への取り組み姿勢(レポートの提出状況、授業態度、SGDの参加状況)の評価を3割、学期末の単位認定試験を7割として、包括的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	ソーシャルワークの基盤と専門職及びソーシャルワークの理論と方法を十分復習して授業に臨むこと。 遅刻・私語は厳禁。 1回の授業ごとに、4時間の予習、復習の学習を行うこと。ただし、これによらない場合は授業前後に限らず、休日、休暇などを利用して45時間の予習復習を行うこと。						
オフィスアワー	時間割が確定後研究室に掲示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	会議の種類と方法について理解する。				講 義	鹿 嶋
2	1)	マイクロ・メゾ・マクロの会議について理解する。				講義・SGD	鹿 嶋
3	2)	事例分析について理解する。				講 義	鹿 嶋
4	2)	事例検討について理解する。				講 義	鹿 嶋
5	2)	事例研究について理解する。				講 義	鹿 嶋
6	3)	ネゴシエーションのプロセスについて理解する。				講義・SGD	鹿 嶋
7	4)	コンフリクト・レゾリューションに向けた方法について理解する。				講 義	鹿 嶋
8	5)	ファシリテーションプロセスについて理解する。				講義・SGD	鹿 嶋
9	6)	プレゼンテーションの方法と留意点について理解する。				講 義	鹿 嶋
10	7)	ソーシャル・マーケティングのプロセスについて理解する。				講義・SGD	鹿 嶋
11	8)	地域福祉推進のための総合的なネットワークの形成とシステム化を考える。				講 義	鹿 嶋
12	8)	社会資源の活用、調整、開発の意義や目的、方法を知る。				講 義	鹿 嶋
13	8)	クライアントの権利を擁護していくソーシャルアクションの方法を知る。				講 義	鹿 嶋
14	8)	相談援助における個人情報の保護の基礎的知識を理解する。				講 義	鹿 嶋
15	8)	相談援助における情報通信技術(ICT)の活用を知る。				講 義	鹿 嶋
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法【社会専門】 中央法規出版株式会社【978-4-8058-8249-8】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名	権利擁護を支える法制度		授業コード	121672B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科(2年)・臨床心理学部(2年)		ナンバリング	51C222P05	AL 科目	○	
担当者	池田 実希(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	「権利」とは何か、その根源的な意味を問い直し、憲法、民法、行政法の基本的な知識を習得し、相談援助を展開する上で、想定される法律問題に対応ができる。また、具体的に成年後見制度や関連制度の内容を理解し、誰のための何の権利擁護を実践しなければならぬかが明らかにできる。この科目での学習を通して社会福祉士として果たすべき使命と役割を理解し、鋭い人権感覚を養うことができる(DP3)。						
学修目標	1)憲法、民法、行政法が生活にどのように関わっているか説明できる。 2)成年後見制度の基本的な仕組みや申立ての流れを理解し、その特性、最近の動向を把握できる。 3)日常生活自立支援事業の概要を理解し、成年後見制度と関連付けて把握できる。 4)成年後見利用支援事業の概要を理解し、問題点を指摘できる。 5)利用者の権利擁護を図るために、専門機関、専門職がどのように連携しているのか説明できる。 6)権利擁護にかかわる専門職の役割と社会福祉士の立ち位置を確認できる。 7)判断能力の不十分な高齢者、障害者を支援する社会福祉士の活動の実際を理解し、その重要性を把握できる。 8)事例を通じて権利擁護の実践について具体的にイメージすることができる。						
実務経験のある 教員による教育	担当教員(池田)は、社会福祉士・精神保健福祉士の資格を有し、医療機関、地域包括支援センターや社会福祉協議会でのソーシャルワーク実務経験が5年以上あり、かつ成年後見人としても業務を担っていることから、権利擁護に関する基本的概念や制度の編成、最新の動向を含め幅広く権利擁護の知識・技術を修得することを目的に授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	科目単位認定試験及び適宜出題するレポート、出席状況などを総合的に評価する。 適宜、授業前後に小テストを実施し、その後回答および解説をフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	シラバスに記載されている学習予定を確認して、テキストの該当部分を予習する事 加えて厚生労働省 web ページなどを活用して、事前に必要な法令や制度を確認する事。これらに 90 分以上の予習時間が必要である。 講義後は、教員が配布したプリント及び自身が筆記した講義ノートを整理して、必要に応じて不明な語句を調べなおすなど、復習に 90 分以上を費やす必要がある。 講義中、口頭質問や SGD を実施するので、積極的に自身の考えや意見を述べるようにすること。						
オフィスアワー	時間割が確定次第、告知する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	権利擁護に必要な法制度と憲法について基本的な概念を理解する				講 義	池 田
2	2)	民法と行政法について、権利擁護とのつながりを意識できるようになる				講 義	池 田
3	3)	法律の規範・体系・種類など基礎的な知識を理解する				講 義	池 田
4	4)	権利擁護とは何か、なぜ必要なのかを理解する				講義・SGD	池 田
5	5)	権利擁護の観点からみる福祉サービス及び制度のつながりを知る				講 義	池 田
6	6)	虐待・暴力防止関係法及び、障害者差別解消法等と権利擁護の関係性を理解する				講義・SGD	池 田
7	7)	権利擁護における意思決定支援及び意思決定支援ガイドラインを学び、最近の動向を学ぶ				講義・SGD	池 田
8	8)	インフォームド・コンセントの概念及び必要性について理解する				講 義	池 田
9	9)	個人情報保護法における守秘義務が権利擁護とどのようにつながっているかを理解する。				講 義	池 田
10	10)	権利擁護に関わる様々な組織の役割を知り、地元にある施設と関連付けて理解する				講義・SGD	池 田
11	11)	成年後見制度の概要及び歴史の変遷を理解する				講 義	池 田
12	12)	それぞれの後見類型(後見・保佐・補助)の違いについて理解する				講 義	池 田
13	13)	後見人としての立ち位置及び身上保護の重要性について理解する				講義・SGD	池 田
14	14)	成年後見制度の最近の動向を知り、民法改正について把握する				講 義	池 田
15	15)	成年後見制度と日常生活自立支援事業の概要と関係性と理解する				講義・SGD	池 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座9 権利擁護を支える法制度 中央法規					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	社会福祉調査の基礎		授業コード	121673B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科 3 年・臨床福祉学科 3 年・臨床心理学科 3 年		ナンバリング	51C321P03	AL 科目	○	
担当者	三宮 基裕(福・ス)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	<p>【授業の概要】社会福祉調査の意義・目的や歴史の変遷、調査を実施するための具体的方法、実施するうえで配慮すべき点などについて学び、社会福祉調査の基礎を修得する。</p> <p>【一般目標(GIO)】社会福祉調査の意義・目的と歴史の変遷、関連法律、調査・研究者としての倫理を理解するとともに、量的研究と質的研究という二つの研究方法の概要、実際の手続き、それぞれの長所と短所を修得し、社会福祉調査が実践できるようになる。</p> <p>【対応するポリシーNo.】</p> <p>臨床福祉学科:DP(6)、CP1(5)、CP3(1)          スポーツ健康福祉学科:DP(3)、CP1(2)、CP2(3)、CP3(1)          臨床心理学科:DP(3)、CP1(4)、CP2(2)</p>						
学修目標	1) 社会福祉調査の意義と目的について説明できる 2) 社会福祉調査と社会福祉の歴史的関係について説明できる 3) 社会福祉調査における倫理や個人情報保護について説明できる 4) 量的調査の方法及び調査の結果について説明できる 5) 質的調査の方法及び調査の結果について説明できる 6) ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について説明できる						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	単元ごとに予習プリントの提出を求める。また、各回の授業で学習内容の確認テストを行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(予習プリントの提出率、確認テストの得点率、授業への参加)を 30%及び学期末の単位認定試験を 70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業内容の項目について、教科書を読み予習しておくこと。 復習として講義で学んだ内容を教科書で確認し、配布資料等を整理しておくこと。※単位認定試験は教科書のみ持ち込みを認める						
オフィスアワー	月・火・水・16:00～17:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容			授業 方法	担当	
1	1)6)	社会福祉調査の意義			講 義	三 宮	
2	1)6)	ソーシャルワークと社会福祉調査			講 義	三 宮	
3	1)2)	社会福祉調査の種類と歴史			講 義	三 宮	
4	1)4)5)	社会福祉調査の方法			講 義	三 宮	
5	1)4)5)	サンプリング			講 義	三 宮	
6	4)5)	量的・質的調査の種類			講 義	三 宮	
7	4)5)	質問紙の作成			講 義	三 宮	
8	4)	量的調査の集計と分析1(尺度とデータの視覚化)			講 義	三 宮	
9	4)	量的調査の集計と分析2(記述統計量)			講 義	三 宮	
10	4)	量的調査の集計と分析3(検定と解析)			講 義	三 宮	
11	5)	質的調査の方法と記録			講 義	三 宮	
12	5)	質的調査の分析方法			講 義	三 宮	
13	3)	統計法			講 義	三 宮	
14	3)	社会福祉調査における倫理と個人情報保護			講 義	三 宮	
15	6)	ソーシャルワークにおける評価の意義と方法			講 義	三 宮	
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座5 社会福祉調査の基礎(一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟=編集) 中央法規出版【978-4-8058-8235-1】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	講義時間内に紹介						

科目名	保健医療と福祉			授業コード	121674B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科、3 年			ナンバリング	51C321P04	AL 科目	○	
担当者	藤原 幸子(福・ス)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	保健医療サービスにおいて社会福祉士が利用者の生活の質の向上に貢献できるよう、保健医療制度、保健医療サービスの知識や医療機関及び特徴を学習する。近年、専門職・機関の多職種他機関連携が求められていることから、連携をキーワードに社会福祉士の役割について理解を深める。 (臨床福祉:DP1,2,3 スポーツ:DP1,2,3,4) (臨床福祉:CP1,2,3 スポーツ:CP1,2,3,4,5,6,7)							
学修目標	1)ソーシャルワーク実践において必要となる保健医療の動向を理解する。 2)保健医療にかかわる政策、制度、サービスについて理解する。 3)保健医療領域にかかわる社会福祉士の役割、連携・協働について理解する。 4)保健医療の課題をもつ人に対する社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。							
実務経験のある 教員による教育	該当なし							
評価及びフィード バックの方法	定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。							
準備学習・ 履修上の注意等	教科書は必ず熟読し、予習・復習をすること。							
オフィスアワー	研究室前に提示する。							
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授 業 方 法	担 当
1	1)4)	保健医療の課題をもつ人の理解					講 義	藤 原
2	1)4)	患者の権利					講 義	藤 原
3	1)	医療倫理と倫理的課題					講 義	藤 原
4	1)	患者の意思決定をめぐる課題					講 義	藤 原
5	1)	疾病構造の変化					講 義	藤 原
6	1)	入院医療から在宅医療へ					講 義	藤 原
7	1)2)	保健医療における福祉的課題 1					講 義	藤 原
8	1)2)	保健医療における福祉的課題 2					講 義	藤 原
9	2)	保健医療制度の概要					講 義	藤 原
10	2)	保健医療対策の概要					講 義	藤 原
11	3)	保健医療領域における専門職の役割					講 義	藤 原
12	3)	保健医療領域における連携・協働					講 義	藤 原
13	3)	保健医療領域における社会福祉士の役割					講 義	藤 原
14	4)	保健医療領域における支援の実際 1					講 義	藤 原
15	4)	保健医療領域における支援の実際 2					講 義	藤 原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集「最新 社会福祉士養成講座5 保健医療と福祉」中央法規、2024						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		随時紹介する。						

科目名	福祉サービスの組織と経営			授業コード	121502B101	単位数 (時間数)	2単位 (30)	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51C322P02	AL科目	○	
担当者	中嶋 秀充(非常勤講師)	開講学期	2026年度後期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リデーNo.	<p>新たな時代における福祉サービスの提供組織とその新たな経営モデルの必要性が叫ばれる中で、社会福祉士は、従来からの相談援助を中心とした職務から、幅広く福祉サービス全体の運営管理にかかわっていくことが期待される。また、地域共生社会づくりが求められている今日、利用者と地域をつなぎ、地域の包摂力を高め、地域をつくる福祉マネジメント能力が期待されている。そのために、福祉サービスの組織と経営のあり方を理解し、新たな社会福祉実践の視点の獲得と関連する知識・技術を修得する。スポ DP(1)(3)(4)、心理 DP(1)(3)(6)</p>							
学修目標	<p>1)福祉サービスにかかわる組織や団体の概要と役割について理解し、福祉サービスの沿革や組織間連携のあり方について説明できる。 2)福祉サービスの組織と経営の基礎理論について説明できる。 3)福祉サービス提供組織の経営と実際について理解し、適切な福祉サービスの経営について説明できる。 4)福祉人材のマネジメントについて理解し、福祉人材の育成や働きやすい労働環境について説明できる。</p>							
実務経験のある 教員による教育	<p>科目担当者(中嶋)は、社会福祉士有資格者であり、社会福祉法人の経営や社会福祉協議会の組織運営などに携わり5年以上の実務経験に基づき、実践的な視点から「福祉サービスの組織と経営」にかかわる知識と方法の習得を目的とした授業を行う。</p>							
評価及びフィード バックの方法	<p>授業後における小レポートと適時の確認テストにより形成的な評価を行う。学習への取り組み姿勢(小レポート及び確認テスト、授業態度)の評価を3割、学期末の単位認定試験を7割として、包括的に評価する。また、授業時に毎回行う小レポート及び確認テストについては翌週の授業で解説を行いフィードバックする。</p>							
準備学習・ 履修上の注意等	<p>国家資格試験対象科目なのでテキスト以外の文献についても自己学習を進めること。また予習・復習をしっかりとやること。</p>							
オフィスアワー	<p>質問、相談等については、メールにて受け付ける。(講師のメールアドレスについては、講義で提示する。)</p>							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	<p>ーガイダンス(講義の概要と予定)ー 福祉サービスの組織と経営とは 1.福祉サービスに係る組織や団体の概要と役割 ①福祉サービスを提供する組織 ・社会福祉法人について理解する。</p>					講 義	中 嶋
2	1)	<p>・特定非営利活動法人(NPO法人)、医療法人、その他の法人や団体について理解する。</p>					講 義	中 嶋
3	1)	<p>②福祉サービスの沿革と概要 ・福祉サービスの歴史を知る。 ・社会福祉制度にかかわる各種改革の概要を理解する。 ・公益的活動の推進について理解する。</p>					講 義	中 嶋
4	1)2)	<p>③組織間連携と促進 ・組織間連携と基礎理論を理解する。 ・組織間連携の意義とマネジメントの要素を理解する。</p>					講 義	中 嶋
5	2)3)	<p>2.福祉サービスの組織と運営に係る基礎理論 ①組織運営に関する基礎理論 ・社会福祉分野における組織の特徴と組織に関する基礎理論を理解する。 ・組織における三要素、コンフリクトへの対応、モチベーションと組織の活性化について理解する。</p>					講 義	中 嶋
6	2)3)	<p>②集団の力学に関する基礎理論 ・集団力学について理解する。 ・チーム機能とチームアプローチについて理解する。</p>					講 義	中 嶋
7	2)3)	<p>③リーダーシップに関する基礎理論 ・リーダーとは何か、代表的なリーダーシップ理論について理解する。 ・福祉サービスにおけるリーダーシップ、フォローシップについて理解する。</p>					講義・SGD	中 嶋
8	2)3)	<p>3.福祉サービス提供組織の経営と実際 ①経営体制 ・社会福祉法人と株式会社の経営体制の違いを知る。 ②福祉サービス提供組織のコンプライアンスとガバナンス ・コンプライアンスとガバナンスについて理解する。</p>					講 義	中 嶋
9	2)3)	<p>③適切な福祉サービスの経営管理 ・福祉経営における理念と戦略を理解する。 ・福祉経営におけるマーケティングについて理解する。</p>					講 義	中 嶋
10	2)3)	<p>・苦情対応とリスクマネジメントの方法を考える。 ・サービスの質の向上と適正なサービスマネジメントを考える。</p>					講義・SGD	中 嶋
11	4)	<p>④情報管理 ・福祉サービスの経営・運営と情報の担う役割について考える。 ・福祉サービスの情報の管理と運営について考える。</p>					講 義	中 嶋
12	2)3)	<p>⑤会計管理と財務管理 ・財務管理・会計管理の基礎を理解する。</p>					講 義	中 嶋
13	2)3)	<p>・福祉サービスの財源を知る。 ・社会福祉法人の財務諸表について理解する。</p>					講 義	中 嶋
14	4)	<p>4.福祉人材のマネジメント ①福祉人材のマネジメント ・福祉人材マネジメントの基本を知る。</p>					講 義	中 嶋

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉人材マネジメントの方法を理解する。</li> <li>② 福祉人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営組織における福祉人材育成について理解する。</li> <li>・キャリアパスの構築とキャリアアップ支援について理解する。</li> </ul> </li> </ul>		
15	1)2)3) 4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>③働きやすい労働環境の整備についてを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・働きやすい労働環境の整備について理解する。</li> <li>－ 講義の振り返り－</li> </ul> </li> </ul>	講義	中嶋
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟(編集) 最新・社会福祉士養成講座1「福祉サービスの組織と経営」中央法規出版【978-4-8058-8244-3】		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。必要に応じて参考資料を提供する。		

科目名	刑事司法と福祉			授業コード	121675B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科、3 年			ナンバリング	51C322P03	AL 科目	○
担当者	藤原 幸子(福・ス)	開講学期	2026 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リデーNo.	近年では、刑事司法とかかわる人にさまざまな支援ニーズがあることがあることが広く認識されるようになり、司法と福祉の連携の必要性が指摘されている。本講義では、司法領域でソーシャルワークが必要とされる根拠と背景、刑事司法における近年の動向と課題に関する知識の習得を目指す。 (スポーツ:DP1~4 臨床福祉:DP1~3) (スポーツ:CP1~7 臨床福祉 CP1~3)						
学修目標	1) 司法分野でソーシャルワークが必要となった背景を説明することができる。 2) 相談援助活動において必要となる更生保護制度について理解する。 3) 更生保護を中心に、刑事司法・少年司法分野で活動する組織、団体及び専門職について理解する。 4) 犯罪被害者支援分野で活動する組織、団体及び専門職について理解する。 5) 刑事司法・少年司法分野の他機関等との連携の在り方について理解する。 6) 司法分野でソーシャルワークの実際と今後の展望を具体的にイメージし、描けることができる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	定期試験(80%)および授業への取り組み状況(20%)を総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	教科書は必ず熟読し、予習・復習をすること。						
オフィスアワー	研究室前に掲示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	刑事司法における近年の動向				講 義	藤 原
2	1)	社会と犯罪				講 義	藤 原
3	1) 2) 3)	犯罪原因論と対策				講 義	藤 原
4	2)3)	刑罰とは何か 刑罰制度の歴史、刑罰の種類と適用の状況				講 義	藤 原
5	2)3)	刑事司法 刑事手続の概要				講 義	藤 原
6	3)5)	少年司法				講 義	藤 原
7	3)5)	施設内処遇① 成人				講 義	藤 原
8	3)5)	施設内処遇② 少年				講 義	藤 原
9	3)5)	社会内処遇① 更生保護の理念と概要				講 義	藤 原
10	3)5)	社会内処遇② 更生保護の実際				講 義	藤 原
11	6)	多様なニーズを有する犯罪行為者① 精神障害者を対象とした医療観察制度				講 義	藤 原
12	6)	多様なニーズを有する犯罪行為者② 高齢者・障害者による犯罪・非行と福祉				講 義	藤 原
13	6)	多様なニーズを有する犯罪行為者③ アディクションを抱える人と刑事司法				講 義	藤 原
14	4)	犯罪被害者等支援				講 義	藤 原
15	1) 5)6)	コミュニティと刑事司法				講 義	藤 原
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編「最新 社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座 10 刑事司法と福祉」中央法規出版、2025						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	随時紹介する。						

科目名	ソーシャルワーク演習 I			授業コード	121676A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)	
配当学科(学年)	社会福祉学部 スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(2年) 臨床心理学部 臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51C221P11	AL 科目	○	
担当者	清水 径子(福・ス)、兒崎 友美 (福・ス)、川崎 順子(福・ス)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	<p>相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、実践的に習得するスポ DP(3)、心理 DP(3)、臨床 DP(3)。</p> <p>専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。</p> <p>ソーシャルワーク演習 I では、基本的な援助者としてのあり方を問い、価値観の相違や自己理解、他者理解を通して自己覚知を行うとともに、基本的な面接技術・コミュニケーション技法を習得するスポ DP(1)、心理 DP(2)、臨床 DP(4)。</p> <p>授業は、個別指導ならびに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導(ロールプレイ等)を中心とする演習形態で行う。スポ DP(3)、心理 DP(2)、臨床 DP(4)。</p>							
学修目標	<p>1)自己覚知を行い、自身の援助者としてのあり方が説明できる。</p> <p>2)基本的なコミュニケーション技術を習得する。</p> <p>3)ロールプレイを通して、基本的な援助技術を習得する。</p> <p>4)フィールドワークを通して面接体験を試みる。</p> <p>* 木城町連携推進事業により実践場面で体験する。</p>							
実務経験のある 教員による教育	科目担当(清水・兒崎・川崎)は、いずれも相談援助の実践現場5年以上の経験に基づき、相談援助における基本的面接技術を修得することを目的として授業を行う。							
評価及びフィード バックの方法	授業中における演習実施中の態度(出席レポート、グループワークでの役割遂行、積極的な参加姿勢)、レポート試験(ソーシャルワークの視点で記述されているか等)を50%とし、統合的に評価する。							
準備学習・ 履修上の注意等	<p>社会福祉士・精神保健福祉士資格取得予定者は履修すること</p> <p>履修を可能とする関連科目の履修条件が設定されているため、該当科目を確認すること</p> <p>演習授業では、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。</p> <p>授業前後に関係する項目のトピックを予習する。方法は図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。</p>							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準ずる。							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	【オリエンテーション「演習」のねらいと進め方について】 演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を理解する。					演 習	全 員
2	1)2)	自己覚知① 自己紹介、他者紹介を通して自己観察を行い、自分を理解する。					演 習	全 員
3	1)2)	自己覚知② 他者との価値観の違いを学び、自身と専門職としての価値観の置き方を理解する。					演 習	全 員
4	1)2)	コミュニケーション技法① コミュニケーションの基本形を体験的に理解する。(言語的・非言語的)					演 習	全 員
5	1)2)	コミュニケーション技法② 基本的応答技法を理解する 初回面接の基本的応答をロールプレイで行い、面接技法を理解する。					演 習	全 員
6	1)2)3)	コミュニケーション技法③ 初回面接の基本的応答をロールプレイで行い、面接技法を理解する。					演 習	全 員
7	1)2)	カードワーク法① カードワーク法の理解とグループワークのあり方について考える 人と環境との相互作用について、構造化を試み関係性を理解する					演 習	全 員
8	1)2)	カードワーク法② カードワーク法を用いて構造化した関連図から、人と環境との相互作用のあり方を理解する。					演 習	全 員
9	1)2)	カードワーク法③ カードワーク法を用いて構造化した関連図から、人と環境との相互作用のあり方を理解する。					演 習	全 員
10	1)2)3)	フィールドワーク事前準備 調査方法の準備を行う。					演 習	全 員
11	1)2)3)	フィールドワーク事前準備② 調査方法の準備を行う。					演 習	全 員
12	4)	具体的場面による実践① フィールドワークを通して対人援助コミュニケーション技法を試みる。					演 習	全 員
13	4)	具体的場面による実践② フィールドワークを通して面接の展開を試みる。					演 習	全 員
14	4)	具体的場面による実践③ フィールドワークを通して対人援助の技法を習得する。					演 習	全 員
15	1)2)3) 4)	【授業のまとめと振り返り】 基本的面接技術の習得状況を評価し、前期演習を振り返る。					演 習	全 員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	講義時に配布するプリントなどを使用する。							
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	講義時に配布するプリントなどを使用する。							

科目名	ソーシャルワーク演習Ⅱ			授業コード	121677A101	単位数 (時間数)	1単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部 スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科(2年) 臨床心理学部 臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51C222P06	AL科目	○
担当者	清水 径子(福・ス)、兒崎 友美 (福・ス)、川崎 順子(福・ス)	開講学期	2026年度後期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	<p>ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められるソーシャルワークの知識と技術について、実践的に習得する。スポ DP(1)(3)、心理 DP(1)(3)、臨床 DP(2)(3)。</p> <p>専門援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。</p> <p>ソーシャルワーク演習Ⅱでは、具体的な相談援助場面及び相談援助過程を想定した実技指導(ロールプレイ)を中心とする演習形態により行う。スポ DP(1)、心理 DP(2)(5)、臨床 DP(2)(4)。</p> <p>* 木城町との連携推進事業に伴う実践も行う。スポ DP(1)(2)(4)、心理 DP(1)(2)(3)、臨床 DP(1)(2)(3)(4)。</p> <p>また、ソーシャルワーク実習指導Ⅰと連動させながら、実習準備に向けて必要な知識・技術を習得する。</p>						
学修目標	<p>1) ソーシャルワークに係る基本姿勢・基本原則について説明できる。</p> <p>2) 基本的なソーシャルワークの展開プロセスが説明でき、体験的に理解する。</p> <p>3) 総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助について説明でき、体験的に理解する。</p> <p>4) ソーシャルワークの対象領域を理解し、ソーシャルワーク実習における課題を明確にして、実習に臨む準備ができる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(清水・兒崎・川崎)は、いずれも相談援助の実践現場5年以上の経験に基づき、相談援助の過程を理解し、実践力を修得することを目的として授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業中における演習実施中の態度(出席レポート、グループワークでの役割遂行、積極的な参加姿勢)、レポート試験(ソーシャルワークの視点で記述されているか等)を50%とし、統合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>社会福祉士・精神保健福祉士資格取得予定者は履修すること</p> <p>履修を可能とする関連科目の履修条件が設定されているため、該当科目を確認すること</p> <p>演習授業では、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。</p> <p>授業前後に関係する項目のトピックを予習する。方法は、図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。</p>						
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準ずる。						

授業計画				
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当
1	1)4)	【オリエンテーション「演習」のねらいと進め方について】 演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を理解する。 対象領域におけるソーシャルワーカーの具体的実践場面を理解する。	演 習	全 員
2	1)2)3) 4)	ソーシャルワークの理解 対象領域におけるソーシャルワーカーの具体的実践場面を理解する(先輩との面談・SGD)	演 習	全 員
3	1)2)3) 4)	展開プロセスの理解① ソーシャルワークの援助展開プロセスについて、ソーシャルワーク実習19項目と関連づけながら理解する。	演 習	全 員
4	1)2)3) 4)	展開プロセスの理解② ソーシャルワークの援助展開プロセスについて、ソーシャルワーク実習19項目と関連づけながら理解する。	演 習	全 員
5	1)2)	フィールド調査による課題分析① 調査から抽出された課題を整理し、まとめ作業を行う (ニーズ把握からアセスメント手法を学ぶ)	演 習	全 員
6	1)2)	フィールド調査による課題分析② 調査から抽出された課題を整理し、まとめ作業を行う。 (アセスメントの結果を元に、課題整理を行い、プランニング段階に進める)	演 習	全 員
7	3)	フィールド調査によるプランニング① 調査から抽出された課題を整理し、目標設定、計画作成作業を行う。 (プランニングしたものをプレゼンテーションできるように準備する) 総合的かつ包括的な視点をもったプランニング手法を学ぶ。	演 習	全 員
8	3)	フィールド調査によるプランニング② 調査から抽出された課題を整理し、目標設定、計画作成作業を行う。 (プランニングしたものをプレゼンテーションできるように準備する)	演 習	全 員
9	3)	プレゼンテーション準備① プレゼンテーションの資料作成を行い、発表準備を行う。	演 習	全 員
10	3)	プレゼンテーション準備② プレゼンテーションの資料作成を行い、発表準備を行う。	演 習	全 員
11	3)	プレゼンテーションの実施と評価 プレゼンテーションを実施し、評価を得る 地域住民に対する提案、アウトリーチの重要性を理解する。《木城町連携事業》	演 習	全 員
12	3)	地域を基盤とした演習 地域福祉推進に係る住民参加と組織化活動の必要性を理解する。《木城町連携事業》	演 習	全 員
13	3)	実践の振り返り① ソーシャルワークの展開プロセスの一連の流れを再確認する。 社会資源の把握・活用の方法を理解する。《木城町連携事業》	演 習	全 員
14	3)	実践の振り返り② ソーシャルワークの展開プロセスの一連の流れを再確認する。 実践の記録を行い、記録の活用の方法を理解する。《木城町連携事業》	演 習	全 員
15	1)2)3)	【授業のまとめと振り返り】 グループを評価し後期演習を振り返る。	演 習	全 員

教科書(著者名)出版社名【ISBN】 講義時に配布するプリントなどを使用する。

参考書(著者名)出版社名【ISBN】

講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名	ソーシャルワーク演習Ⅲ			授業コード	121678A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部 スポーツ健康福祉学科(3年) 臨床心理学部 臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51C321P05	AL 科目	○
担当者	清水 径子(福・スポ)、兒崎 友美 (福・スポ)、川崎 順子(福・スポ)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	<p>ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、実践的に習得する。</p> <p>専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。</p> <p>ソーシャルワーク演習Ⅲでは、ソーシャルワーク実習Ⅰの振り返りと同時にソーシャルワーク実習指導Ⅱの事前学習の観点からも、事例を活用したソーシャルワークの展開プロセスについて演習を通して実践できる能力を習得する。</p> <p>授業は、個別指導ならびに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導(ロールプレイ等)を中心とする演習形態で行う。</p> <p>スポ DP(1)、スポ CP:1-(1)、1-(2)、2-(1)、2-(2)、2-(3)、3-(1)、3-(2)、3-(4) 心理 DP(1)、心理 CP:1-(1)、1-(2)、1-(4)、2-(1)、2-(2)、3-(1)</p>						
学修目標	<p>1)演習のねらいと進め方を理解する。</p> <p>2)ソーシャルワークの展開プロセスの具体的内容を理解するとともに、利用者や法制度、社会資源の活用状況を理解し、実践に応用できる。</p> <p>3)ソーシャルワークの事例を活用し、総合的かつ包括的な相談援助について実践的に考え、説明できる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(清水・兒崎・川崎)は、いずれも相談援助の実践現場5年以上の経験に基づき、具体的なソーシャルワーク場面における援助技術の活用方法を修得することを目的として授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業中における演習実施中の態度(グループワークでの役割遂行、積極的な参加姿勢など)、出席レポート50%、レポート試験(ソーシャルワークの視点で記述されているかなど)など50%とし、統合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>社会福祉士・精神保健福祉士資格取得予定者は履修すること。</p> <p>履修を可能とする関連科目の履修条件が設定されているため、該当科目を確認すること。</p> <p>演習授業では、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。</p> <p>授業前後に関係する項目のトピックを予習する。方法は図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。</p> <p>一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。</p>						
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準ずる。						

#### 授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当
1	1)	【オリエンテーション「演習」のねらいと進め方について】 演習メンバーのグルーピングを行い、演習のねらいと進め方を理解する。 ○ソーシャルワーク実習のふりかえり① 体験の言語化/カードワーク法を用いて、実習での学びを整理する。	演 習	全 員
2	2)	○ソーシャルワーク実習Ⅰの振り返り② 具体的なソーシャルワーク展開プロセスの場面を整理し、確認する。 対象者の置かれている状況や背景(社会的排除・虐待・家庭内暴力・低所得者・ホームレスなど)を理解する。 ソーシャルワーク実践の実際について、自身の実践課題を明確にする。	演 習	全 員
3	2)	○ソーシャルワーク実習Ⅰの振り返り③ 具体的なソーシャルワーク展開プロセスの場面を整理し、確認する。 対象者の置かれている状況や背景(社会的排除・虐待・家庭内暴力・低所得者・ホームレスなど)を理解する。 ソーシャルワーク実践の実際について、自身の実践課題を明確にする。 グループメンバーでソーシャルワーク実習での学びを共有し、言語化、可視化する。	演 習	全 員
4	2)	○ソーシャルワーク実践場面の理解① インテーク場面における面接技法を確認する。 DVD等を使用し、インテーク場面のイメージを掴み、ロールプレイすることで自己覚知を進める。	演 習	全 員
5	2)3)	○ソーシャルワーク実践場面の理解② インテーク場面における面接技法を確認する。 DVD等を使用し、インテーク場面のイメージを掴み、ロールプレイすることで自己覚知を進める。	演 習	全 員
6	2)3)	○ソーシャルワーク実践場面の理解③ 電話でのインテーク場面における面接技法を確認する。 DVD等を使用し、インテーク場面のイメージを掴み、ロールプレイすることで自己覚知を進める。	演 習	全 員
7	2)3)	○ソーシャルワーク実践場面の理解④ 電話でのインテーク場面における面接技法を確認する。 DVD等を使用し、インテーク場面のイメージを掴み、ロールプレイすることで自己覚知を進める。	演 習	全 員
8	2)3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習① 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する(DVD等の活用)。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション)	演 習	全 員
9	2)3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習② 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する(DVD等の活用)。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション) 事例を基にマッピング技法を使い、情報のまとめ方や情報の分析方法を理解する。	演 習	全 員
10	2)3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習③ 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション) 事例を基に生活課題の整理方法や整理過程を理解する。	演 習	全 員
11	2)3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習④ 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション)	演 習	全 員

		* 領域別事例を用いて、具体的援助実践のあり方を理解する。		
12	2)3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習⑤ 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション) * 領域別事例を用いて、具体的援助実践のあり方を理解する。	演習	全員
13	2)3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習⑥ 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション) * 領域別事例を用いて、具体的援助実践のあり方を理解する。	演習	全員
14	2)3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習⑦ 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション) カンファレンスの目的や方法を理解する。 * 領域別事例の実践プロセスについて、全体発表を行い、共通点、相違点を理解する。	演習	全員
15	1)2)3)	ソーシャルワーク展開プロセス演習⑧ 相談援助場面の事例を活用し、具体的援助実践の一連の展開プロセスを理解する。 (ニーズ把握、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション) 領域ごとに作成した計画書を基にカンファレンスを実践し、自己覚知を進める。 * 領域別事例の実践プロセスについて、全体発表を行い、共通点、相違点を理解する。 【授業のまとめと振り返り】 総合的かつ包括的な相談援助実践のあり方を総括し、前期演習を振り返る。	演習	全員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		

科目名	ソーシャルワーク演習Ⅳ			授業コード	121679A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部 スポーツ健康福祉学科(3年) 臨床心理学部 臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51C322P04	AL 科目	○
担当者	清水 径子(福・スポ)、兒崎 友美 (福・スポ)、川崎 順子(福・ス ポ)、	開講学期	2026 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リナーNo.	<p>ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、実践的に習得する。スポ DP(1)、心理 DP(3) 専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 ソーシャルワーク演習Ⅳでは、ソーシャルワーク実習Ⅱにおいてプランニングした事例をもとに、展開プロセスの理解を深める。次に、地域福祉に関する相談援助実践の価値・知識・技術を災害をテーマに用いて、具体的な演習課題を通して実践できる能力を習得する。 スポ DP(1)、スポ CP: 1-(1)、1-(2)、2-(1)、2-(2)、2-(3)、3-(1)、3-(2)、3-(4) 心理 DP(1)、心理 CP: 1-(1)、1-(2)、1-(4)、2-(1)、2-(2)、3-(1) 災害ソーシャルワークの授業は、地震、津波、洪水などの発生を想定し、個人やグループワークにてフィールドワークを行う。 スポ DP(1)(2)(3)、スポ CP: 1-(1)、1-(2)、2-(1)、2-(2)、2-(3)、3-(1)、3-(2)、3-(4) 心理 DP(3)(4)、心理 CP: 1-(1)、1-(2)、1-(4)、2-(1)、2-(2)、3-(1)</p>						
学修目標	<p>1)ソーシャルワーク実習Ⅱで学んだ展開プロセスを説明できる。 2)災害ソーシャルワーク演習のねらいと進め方を説明できる。 3)防災のあり方、支援のあり方を学び、説明できる。 4)防災・災害ボランティアの実際を学び説明できる。 5)防災・災害に関するフィールドワーク実践ができる。 6)地域における防災・災害対策について調査分析を行い、まとめることができる。 7)総括として、調査結果をまとめ説明できる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	科目担当(清水・兒崎・川崎)は、いずれも相談援助の実践現場5年以上の経験に基づき、具体的な相談援助場面における相談援助技術の活用方法を修得することを目的として授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業中における演習実施中の態度(主体的な活動ができていないか、グループワークを能動的に行っているか等)・出席レポート(学びを言語化できているか)50%、レポート試験 50%とし、統合的に評価する。 毎時間のレポートや演習状況を踏まえ、理解度や修得度を確認し、フィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	社会福祉士・精神保健福祉士資格取得予定者は履修すること。 履修を可能とする関連科目の履修条件が設定されているため、該当科目を確認すること。 演習授業では、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。 授業前後に関係する項目のトピックを予習する。方法は、図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。 一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。						
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準ずる。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション授業目的</li> <li>・ソーシャルワーク実習におけるプランニングの実施状況を確認する</li> <li>・災害ソーシャルワーク実践活動・調査実施方法について確認する</li> </ul> 演習(グループワーク) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルワーク実習Ⅱで作成した支援計画書をグループで共有する</li> </ul>				演 習	全 員
2	1)	災害ソーシャルワーク① 災害ソーシャルワークとは何か(定義やソーシャルワーカーに求められる姿勢等)を理解する。 行政における災害対策の現状を理解する。 (延岡市危機管理課からの講話)				演 習	全員・外部講師
3	1)	災害ソーシャルワーク② ハザードマップから災害リスクの情報収集ができ、災害リスクを想定することができる。 個別避難計画や地区防災計画の作成方法を理解する。 (延岡市危機管理課)				演 習	全員・外部講師
4	1)	災害ソーシャルワーク③ 被災地支援の実際、避難所設置訓練を実践する。 (延岡市水防センターにおいて訓練を実施する)				演 習	全員・外部講師
5	2)3)	災害ソーシャルワーク④ 被災地支援の実際、避難所設置訓練を実践する。 (延岡市水防センターにおいて訓練を実施する)				演 習	全員・外部講師
6	2)3)	災害ソーシャルワーク⑤ 災害救助の実際を理解する。 消防本部の組織体系について理解し、避難所等で応用できる救助方法を修得する。 (延岡市消防本部)				演 習	全員・外部講師
7	2)3) 4)	災害ソーシャルワーク⑥ 災害ボランティアセンターの現状について理解する。 延岡市社会福祉協議会での活動状況を聴講する。 (延岡市社会福祉協議会)				演 習	全員・外部講師
8	2)3) 4)	災害ソーシャルワーク⑦ 災害ボランティアセンター設置・運営訓練に向けた事前学習をする。 (社会福祉協議会)				演 習	全員・外部講師
9	3)4) 5)	災害ソーシャルワーク⑧ 災害ボランティアセンターの設置運営訓練を行い、ソーシャルワークの展開プロセスの実践を理解する。				演 習	全員・外部講師

		(社会福祉協議会)		
10	3)4) 5)	災害ソーシャルワーク⑨ 災害ボランティア設置・運営訓練のふりかえりを実施する。 個別避難計画・避難経路のフィールドワークに向けた事前準備を行う。	演習	録音講師
11	4)5)	災害ソーシャルワーク⑩ 個別避難計画・地区防災計画との関連から調査を実施する (避難経路のフィールドワーク実施 または、地区防災計画の実践活動のフィールドワーク)	演習	全員
12	3)4) 5)6)	災害ソーシャルワーク⑪ フィールドワークの調査結果の分析・報告書作成 (避難経路のフィールドワーク実施 または、地区防災計画の実践活動のフィールドワーク)	演習	全員
13	5)6)	災害ソーシャルワーク⑫ フィールドワークの調査結果の分析・報告書作成 (避難経路のフィールドワーク実施 または、地区防災計画の実践活動のフィールドワーク)	演習	全員
14	5)6) 7)	災害ソーシャルワーク⑬ 災害 避難グッズ制作体験 フィールドワーク報告書発表準備	演習	全員
15	5)6) 7)	災害ソーシャルワーク⑭ フィールドワーク報告書発表・評価 【演習全体振り返り】 災害ソーシャルワークにおける展開プロセスが、他の領域でのソーシャルワークと共通することを理解する。 さらに、被災者となる対象者は、平時のソーシャルワーク対象者でもあることとの関連性を見出すことができる。	演習	全員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義時に配布するプリントなどを使用する。		

科目名	ソーシャルワーク演習Ⅴ			授業コード	121680A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(4年)			ナンバリング	51C421P01	AL 科目	○
担当者	鹿嶋隆志(非常勤講師)、黒須依子(心・心)	開講学期	2026 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	演習Ⅰ～演習Ⅳ並びに相談援助現場実習を通して得た相談援助技術をさらに深める。 特に社会福祉士・精神保健福祉士に求められる相談援助にかかる知識と技術を再確認し、地域を基盤とした相談援助者としての実践能力を高める。 理論的枠組みの理解を深め、多様な場面における実践に対しても対応できるよう体系立てて考えることができる						
学修目標	1. レジデンシャルソーシャルワークの特徴と機能を理解し、説明できる。 2. レジデンシャルソーシャルワークの実践事例から理論との関連性を導き出すことができる。 3. フィールドソーシャルワークの特徴や機能を説明できる。 4. フィールドソーシャルワークの実践事例から理論との関連性を導き出すことができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当は、社会福祉士又は精神保健福祉士の資格を有し、実践現場による5年以上の幅広い経験に基づき、実践現場における多様な事例を教授しながら、理論的枠組みが理解できるように授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	演習への主体的取り組みや姿勢を40%とし、演習理解度の試験を60%として総合的に評価し、随時フィードバック行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	社会福祉士・精神保健福祉士資格取得予定者は必須である。 履修条件として、他の関連科目履修状況との整合性を確認し、履修すること。 演習授業であるため、自ら積極的に発言すること。 授業前後に、4時間の予習・復習を行うこと。 課題が提示された場合は、指示に従うこと。						
オフィスアワー	各教員が提示するのオフィスアワーに準ずる。非常勤講師の場合は、授業の前後で行う。						

#### 授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方 法	担 当
1	1)2)	オリエンテーション 演習の目的と進め方について ソーシャルワークの基本的機能	演 習	鹿嶋・黒須
2	1)	レジデンシャルソーシャルワークの特徴と機能を説明できる	演 習	鹿嶋・黒須
3	3)	フィールドソーシャルワークの特徴と機能を説明できる	演 習	鹿嶋・黒須
4	1)2)	レジデンシャルソーシャルワークの具体的実践事例①から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。	演 習	鹿嶋・黒須
5	1)2)	レジデンシャルソーシャルワークの具体的実践事例②から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。	演 習	鹿嶋・黒須
6	1)2)	レジデンシャルソーシャルワークの具体的実践事例③から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。	演 習	鹿嶋・黒須
7	1)2)	レジデンシャルソーシャルワークの具体的実践事例④から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。	演 習	鹿嶋・黒須
8	1)2)	レジデンシャルソーシャルワークの具体的実践事例⑤から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。	演 習	鹿嶋・黒須
9	3)4)	フィールドソーシャルワークの具体的実践事例①から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。	演 習	鹿嶋・黒須
10	3)4)	フィールドソーシャルワークの具体的実践事例②から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。	演 習	鹿嶋・黒須
11	3)4)	フィールドソーシャルワークの具体的実践事例③から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。	演 習	鹿嶋・黒須
12	3)4)	フィールドソーシャルワークの具体的実践事例④から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。	演 習	鹿嶋・黒須
13	3)4)	フィールドソーシャルワークの具体的実践事例⑤から理論との関連性を導き、援助の在り方が提案できる。	演 習	鹿嶋・黒須
14	1)2)3) 4)	まとめ	演 習	鹿嶋・黒須
15	1)2)3) 4)	まとめ	演 習	鹿嶋・黒須

教科書(著者名)出版社名【ISBN】 講義時にプリント等必要な教材を配布する

参考書(著者名)出版社名【ISBN】 講義時に必要な教材等について紹介を行う。

科目名	ソーシャルワーク実習指導 I			授業コード	121681A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科 2 年・臨床心理学科 2 年			ナンバリング	51C222P07	AL 科目	○
担当者	三宮基裕(福・ス)、川崎順子(福・ス)、清水径子(福・ス)、兒崎友美(福・ス)、黒須依子(心・心)、藤原幸子(福・ス)、日田剛(福・ス)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	<p>【授業の概要】 SW 実習1で実習する実習施設等の概要の理解、具体的な実習内容の理解、実習計画書の作成など、SW 実習1に向けた準備指導をおこなう。</p> <p>【一般目標】 SW 実習1を円滑かつ効果的におこなうために、実習の意義を明確にするとともに、実習生としての基本的態度やマナー、専門職としての倫理・行動規範を修得する。また、実習のねらいや目標を理解し、実習計画書が作成できるようになることを目標とする。</p> <p>【対応するポリシーNo.】 スポーツ健康福祉学科:DP(3)、CP1(2)、CP2(3) 臨床心理学科:DP(3)、CP1(4)、CP2(2)</p>						
学修目標	<p>1)SW 実習の意義について説明できる。 2)実習を行う実習分野の役割・機能が説明できる。 3)実習分野の選定動機が説明できる。 4)実習に向けての事前学習・事前準備ができる。 5)実習先の法的根拠や業務内容が説明できる。 6)実習に必要なとされる基本的態度を示すことができる。 7)具体的な実習課題を明確に説明できる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員の半数は社会福祉士の有資格者で、福祉分野での実務経験が5年以上ある教員もおり、その経験に基づき社会福祉士として必要な知識、技術、価値の修得を目標とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	学期中および学期末に実施する試験の成績、課題の提出状況、受講態度などにより、総合的に評価する。各評価の配分は、実習ファイルに掲載している評価表に記しているので確認しておくこと。途中、中間試験を実施する。中間試験が不合格の場合はその段階で不可とする。						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>【準備学習】 授業時間外での作業(書類作成や関係資料の収集)を求める</p> <p>【履修上の注意等】 社会福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 SW 実習指導2~3および SW 実習1・2の修得を前提とした講義のため、資格取得を目指していない場合は履修できない。 本学既定の申告を満たしていること。(学生便覧を参照) 第1回目の授業でスケジュールを配布するので、60分を目安に予習・復習を行うこと。 授業や実習先で得られた資料は適切に整理・管理し、実習ファイルとともに授業に必ず持参すること。 指示された課題、書類等は提出期日を厳守すること。 ソーシャルワーク演習と連動して進めるため、下記の授業計画を変更することがある。</p> <p>【授業計画の補足】 15週目に実習指導者との面談会をおこない、16週目に実習直前の注意事項伝達の時間をとる</p>						
オフィスアワー	実習センター 9:00~17:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)3)	実習の理解:実習の目的、指導内容、履修条件、評価方法など ソーシャルワーク実習の意義と目的				演 習	全 員
2	2)5)	実習先の理解:実習分野の概要について				演 習	全 員
3	1)2)3) 6)	個別面談:実習に対する意欲、資格所得の考え				演 習	全 員
4	1)2)3) 4)	ソーシャルワーク実習内容の理解				演 習	全 員
5	1)5)6)	中間試験① 倫理綱領・行動規範 社会福祉士の倫理と行動規範の理解				演 習	全 員
6	1)3)6)	実習関係書類の作成①:提出書類の説明、自己紹介書の書き方説明・作成 実習生の心得① 体調管理・健康管理について				演 習	全 員
7	2)3)5)	実習関係書類の作成② 実習先の概要、グループワーク				演 習	全 員
8	1)2)5) 6)7)	実習計画書の作成① 計画書の意義と作成方法				演 習	全 員
9	1)2)5) 6)7)	実習計画書の作成② 実習計画の立案				演 習	全 員
10	2)4)5)	中間試験② ソーシャルワーク全般・分野理解 実習日誌の書き方① 日誌の意義と書き方				演 習	全 員
11	6)	実習生の心得② 実習マナー、電話のかけ方				演 習	全 員
12	2)4)5)	実習日誌の書き方② 書き方練習と添削指導				演 習	全 員
13	1)2)3) 4)6)7)	面談会の準備① 面談会の目的と実習先の理解				演 習	全 員

14	1)2)3) 4)5)6) 7)	面談会の準備② 面談内容の確認と面談練習	演習	全員
15	1)2)3) 4)5)6) 7)	実習指導者との面談会	演習	全員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		大学が配布する実習ファイル(授業時間内に配布)		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。		

科目名	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ			授業コード	121682A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科 3 年・臨床心理学科 3 年			ナンバリング	51C321P06	AL 科目	○
担当者	三宮基裕(福・ス)、川崎順子(福・ス)、清水径子(福・ス)、兒嶋友美(福・ス)、黒須依子(心・心)、藤原幸子(福・ス)、日田剛(福・ス)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	<p>【授業の概要】 SW 実習1での実習経験を振り返り理論と実践の統合化を図るとともに、SW 実習2の実習先を理解して具体的な実習課題を立てるためのものである。</p> <p>【一般目標】 SW 実習1の体験と理論を統合化するとともに、SW 実習2を円滑かつ効果的におこなうために、実習先の法的根拠、業務内容、対象者の理解、相談援助専門職として求められる資質、技術、価値等を修得し、実習における自己の課題を明確にすることを目標とする。</p> <p>【対応するポリシーNo.】 スポーツ健康福祉学科:DP(3)、CP1(2)、CP2(3) 臨床心理学科:DP(3)、CP1(4)、CP2(2)</p>						
学修目標	<p>1)実習で得た資料や記録を整理することができる</p> <p>2)理論と実践を統合化した結果を説明できる</p> <p>3)実習の事前準備に必要な心構えができる。</p> <p>4)実習先の概要や法的根拠・役割・機能が説明できる。</p> <p>5)実習先の業務内容や利用者の特性が説明できる。</p> <p>6)専門職に必要とされる知識・技術について説明できる。</p> <p>7)実習目標・課題を明確に設定することができる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員の半数は社会福祉士の有資格者で、福祉分野での実務経験が5年以上ある教員もあり、その経験に基づき社会福祉士として必要な知識、技術、価値の修得を目標とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	<p>学期中および学期末に実施する試験の成績、課題の提出状況、実習課題の内容などにより、総合的に評価する。</p> <p>各評価の配分は、実習ファイルに掲載している評価表に記しているので確認しておくこと。</p> <p>途中、中間試験を実施する。中間試験が不合格の場合はその段階で不可とする。</p> <p>一人ひとりに担当教員を割り当て、個別面談等により学修の進捗を踏まえてフィードバックする</p>						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>【準備学習】 第1回目の授業でスケジュールを配布するので、60分を目安に予習・復習を行うこと。 授業や実習先で得られた資料は適切に整理・管理し、実習ファイルとともに授業に必ず持参すること。 指示された課題、書類等は提出期日を厳守すること。</p> <p>【履修上の準備】 社会福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 SW 実習指導1および SW 実習1が修得済みであり、本学既定の申し合わせを満たしていること。(学生便覧を参照) SW 実習指導1・3および SW 実習1・2の修得を前提とした講義のため、資格取得を目指していない場合は履修できない。</p> <p>【授業計画の補足】 6月下旬の土曜日に SW 実習1の実習施設指導者への報告会と SW 実習2の実習施設指導者との面談会を実施する。 16週目に実習直前指導として感染症教育および総括をおこなう。 SW 演習と連動して進めるので、授業内容を変更することがある。</p>						
オフィスアワー	実習センター 9:00~17:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)7)	オリエンテーション 実習1の総括と実習指導2の進め方				演 習	全 員
2	1)2)	実習1事後指導 グループワーク:実習1の体験共有				演 習	担当教員
3	1)2)	実習1事後指導 グループワーク:学内実習報告会用模造紙の作成				演 習	担当教員
4	2)3)	実習1事後指導 学内実習1報告会				演 習	全 員
5	1)2)3)	実習1事後指導 実習1の報告書作成				演 習	担当教員
6	3)4)5)	実習2事前指導 実習先の理解、自己紹介書の作成				演 習	担当教員
7	3)4)5) 6)7)	実習2事前指導 実習2計画書の立案① 実習1の未達成課題の確認				演 習	担当教員
8	3)4)5) 6)7)	実習2事前指導 実習2計画書の立案① 実習2の計画書作成				演 習	担当教員
9	1)2)6) 7)	実習2事前指導 学内実習報告会の振り返りと修正				演 習	担当教員
10	1)2)6) 7)	実習2事前指導 指導者向け実習1報告会のリハーサル				演 習	担当教員
11	3)4)7)	実習2事前指導 実習2の面談会の準備				演 習	全 員
12	4)5)6)	実習2事前指導 中間試験(SW・5分野理解)				演 習	全 員
13	3)4)5)	実習2事前指導 利用者理解、実習先理解				演 習	担当教員

14	6)	実習2事前指導	記録の書き方指導	演習	担当教員
15	4)5)6)	実習2事前指導	実習先に関する確認テスト	演習	全員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		大学が配布する実習ファイル(授業時間内に配布)			
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜、紹介する			

科目名	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		授業コード	121683A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床福祉学科 3 年・スポーツ健康福祉学科 3 年・臨床心理学科 3 年		ナンバリング	51C322P05	AL 科目	○	
担当者	三宮基裕(福・ス)、川崎順子(福・ス)、清水径子(福・ス)、兒崎友美(福・ス)、黒須依子(心・心)、藤原幸子(福・ス)、日田剛(福・ス)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態 演 習	
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	<p>【授業の概要】 ソーシャルワーク実習の体験や成果を振り返り、ソーシャルワーカーとしての資質、価値、技術を評価し、今後の自己課題を明確にするためのものである。</p> <p>【一般目標】 ソーシャルワーク実習での具体的な援助活動や体験をグループワークや個別指導により振り返り、実習課題の達成状況の確認や評価をおこない、自己課題を見出ししていく。実習の最終段階として、報告会での発表や報告書の作成により、社会福祉士として求められるコミュニケーションや円滑な人間関係の形成、さらに利用者やその関係者への権利擁護や支援のあり方、多職種との連携、社会資源の活用など必要な専門知識・技術及び関連知識の理解を深め、総合的に対応できる能力を習得することを目指す。</p> <p>【対応するポリシーNo.】 臨床福祉学科:DP(3)、CP1(5)、CP2(3)、CP3(1) スポーツ健康福祉学科:DP(3)、CP1(2)、CP2(3) 臨床心理学科:DP(3)、CP1(4)、CP2(2)</p>						
学修目標	<p>1)実習課題の達成状況を整理することができる。 2)実習体験と専門的知識・技術を体系化して説明できる。 3)他者の考えを自身の学びとして共有できる 4)学びを言語化・視覚化し、他者に説明できる 5)実習全体を総括し報告書にまとめることができる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員の半数は社会福祉士の有資格者で、福祉分野での実務経験が5年以上ある教員もおり、その経験に基づき社会福祉士として必要な知識、技術、価値の修得を目標とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	学期中に実施する試験の成績、課題の提出状況、実習の報告内容などにより、総合的に評価する。各評価の配分は、実習ファイルに掲載している評価表に記しているのを確認しておくこと。個別面談指導を実施し、実習報告書の添削や実習評価のフィードバックをおこなう。						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>【準備学習】 授業時間外での作業(記録の整理やグループワーク資料の収集・作成など)を求める</p> <p>【履修上の注意等】 社会福祉士の資格取得を希望する場合は必修。 SW 実習指導1・2および SW 実習1・2を終えていなければ履修できない。 第1回目の授業でスケジュールを配布するので、60分を目安に予習・復習を行うこと。 授業や実習先で得られた資料は適切に整理・管理し、実習ファイルとともに授業に必ず持参すること。 指示された課題、書類等は提出期日を厳守すること。</p> <p>【授業計画の補足】 16週目に総括のための試験を実施する。</p>						
オフィスアワー	実習センター 9:00~17:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)3) 4)5)	オリエンテーション SW 実習2の総括と事後指導の目的確認				演 習	全 員
2	2)3)4)	実習報告① 実習で作成した支援計画の発表				演 習	全 員
3	1)2)3)	グループワーク① 実習体験の共有				演 習	担当教員
4	2)3)4)	グループワーク② 共有内容のまとめと発表用模造紙の作成				演 習	担当教員
5	4)	実習報告② 学内報告会				演 習	全 員
6	1)2)	個別面談指導				演 習	担当教員
7	1)2)4) 5)	実習報告書の作成① 報告書の全体構成の検討				演 習	担当教員
8	1)2)4) 5)	実習報告書の作成② 報告書の執筆、添削指導				演 習	担当教員
9	1)2)4) 5)	実習報告書の作成③ 報告書の修正、仕上げ				演 習	担当教員
10	1)2)4)	報告会プレゼンテーション資料の作成① プレゼンテーションの全体構成の検討				演 習	担当教員
11	1)2)4)	報告会プレゼンテーション資料の作成② プレゼンテーションスライドの作成				演 習	担当教員
12	4)	実習報告会の企画				演 習	担当教員
13	4)5)	プレゼンテーション練習① 資料の視認性、時間管理の確認				演 習	担当教員
14	4)5)	プレゼンテーション練習② リハーサル				演 習	担当教員

15	4)5)	実習報告③	指導者への実習報告と講評	演習	全員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		大学が配布する実習ファイル(授業時間内に配布)			
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。			

科目名	ソーシャルワーク実習 I			授業コード	121684B101	単位数 (時間数)	2 単位 (60)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科 2 年・臨床心理学科 2 年			ナンバリング	51C222P08	AL 科目	○
担当者	三宮基裕(福・ス)、川崎順子(福・ス)、清水径子(福・ス)、兒崎友美(福・ス)、黒須依子(心・心)、藤原幸子(福・ス)、日田剛(福・ス)	開講学期	2026 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	<p>【授業の概要】ソーシャルワークに係る知識と技術について、学外実習により具体的かつ实际的に理解し、実践的な技術などを体得する。</p> <p>【一般目標】実習課題・実習計画に基づいて、利用者や関係者の権利擁護や支援のあり方、多職種との連携、社会資源の活用など、必要な専門知識・技術および関連知識を実践的に理解し、社会福祉士として求められる資質、技術、倫理、自己に求められる課題を明確にしながら、総合的に対応できる能力を習得することを目標とする。実習期間を通じて以下の授業内容に示す 15 の項目について到達目標達成に向けて実習に取り組む。</p> <p>【対応するポリシーNo.】</p> <p>スポーツ健康福祉学科:DP(3)、CP1(2)、CP2(3)</p> <p>臨床心理学科:DP(3)、CP1(4)、CP2(2)</p>						
学修目標	<p>1)社会人としての基本的態度を習得する。</p> <p>2)実習課題を意識しながら、積極的・主体的に実習を行うことができる。</p> <p>3)実習記録等提出物を期限内に的確に提出できる。</p> <p>4)利用者や関係者と円滑な人間関係・援助関係を形成し、支援計画の作成・実施・評価ができる。</p> <p>5)多職種や地域の社会資源等と連携しチームアプローチや地域への働きかけができる。</p> <p>6)施設・機関・団体等の経営や運営管理の説明ができる</p> <p>7)専門職としての職業倫理と役割・責任が説明できる</p> <p>8)ソーシャルワークの技術が活用できる。</p>						
実務経験のある教員による教育	科目担当教員の半数は社会福祉士の有資格者で、福祉分野での実務経験が 5 年以上ある教員もおり、その経験に基づき社会福祉士として必要な知識、技術、価値の修得を目標とした授業を行う。						
評価及びフィードバックの方法	実習先の指導者の評価ならびに帰校・巡回指導での個別指導に基づいて総合的に評価する。 評価項目および評価の配分は実習ファイルに掲載している評価表に基づいて評価する。 個別面談指導により、実習指導者の評価をフィードバックする。						
準備学習・履修上の注意等	<p>【準備学習】</p> <p>SW 実習指導 1 で学んだことを整理し SW 実習 1 に臨むこと。</p> <p>【履修上の注意等】</p> <p>SW 実習指導 1～3 および SW 実習 1・2 の修得を前提とした講義のため、資格取得を目指していない場合は履修できない。 実習に関する申し合わせの条件を満たしておくこと。 本学が指定した実習先で 8 日間以上 60 時間以上実習する。実習期間は 2 月中旬から 3 月中旬を原則とする。 実習期間は実習に専念すること。 実習期間中、指導が困難と判断されたときは実習を中止することがある。</p>						
オフィスアワー	実習センター 9:00～17:00						
授業計画							
回数	学修目標 No.	授 業 内 容				授業方法	担当
1	1)	① 社会人としての態度・マナー				実 習	全 員
2	1)	② 出勤時間や注意事項等の業務遂行の規則の遵守				実 習	全 員
3	2)	③ 積極的・主体的な実習態度				実 習	全 員
4	2)	④ 実習に関わった職員や関係者との強調性				実 習	全 員
5	3)	⑤ 実習記録やその他の書類等の的確な作成および期限内の提出				実 習	全 員
6	4)	⑥ 利用者や関係者等との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成				実 習	全 員
7	4)	⑦ 利用者やその関係者等との援助関係の形成				実 習	全 員
8	4)	⑧ 利用者や地域の状況を理解し、生活上の課題の把握、支援計画の作成と実施及び評価				実 習	全 員
9	4)	⑨ 利用者やその関係者等への権利擁護活動とその評価				実 習	全 員
10	5)	⑩ 多職種連携及びチームアプローチの実践的理解				実 習	全 員
11	5)	⑪ 実習先が地域社会の中で果たす役割の理解及び具体的な地域社会への働きかけ				実 習	全 員
12	5)	⑫ 地域における分野横断的・業種横断的な関係形成と社会資源の活用・調整・開発に関する理解				実 習	全 員
13	6)	⑬ 施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際				実 習	全 員
14	7)	⑭ 社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任の理解				実 習	全 員
15	8)	⑮ ソーシャルワーク実践に求められる技術の実践的理解				実 習	全 員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		大学が配布する実習ファイル(授業時間内に配布)					

参考書(著者名)出版社名【ISBN】	使用しない。
--------------------	--------

科目名	ソーシャルワーク実習Ⅱ			授業コード	121685D101	単位数 (時間数)	4単位 (180)
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科3年・臨床心理学科3年			ナンバリング	51C321P07	AL科目	○
担当者	三宮基裕(福・ス)、川崎順子(福・ス)、清水径子(福・ス)、兒崎友美(福・ス)、黒須依子(心・心)、藤原幸子(福・ス)、日田剛(福・ス)	開講学期	2026年度前期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	<p>【授業の概要】ソーシャルワークに係る知識と技術について、学外実習により具体的かつ实际的に理解し、実践的な技術などを体得する。</p> <p>【一般目標】実習課題・実習計画に基づいて、利用者や関係者の権利擁護や支援のあり方、多職種との連携、社会資源の活用など、必要な専門知識・技術および関連知識を実践的に理解し、社会福祉士として求められる資質、技術、倫理、自己に求められる課題を明確にしながら、総合的に対応できる能力を習得することを目標とする。実習期間を通じて以下の授業内容に示す15の項目について到達目標達成に向けて実習に取り組む。</p> <p>【対応するポリシーNo.】</p> <p>スポーツ健康福祉学科:DP(3)、CP1(2)、CP2(3)</p> <p>臨床心理学科:DP(3)、CP1(4)、CP2(2)</p>						
学修目標	<p>1)社会人としての基本的態度を習得する。</p> <p>2)実習課題を意識しながら、積極的・主体的に実習を行うことができる。</p> <p>3)実習記録等提出物を期限内に的確に提出できる。</p> <p>4)利用者や関係者と円滑な人間関係・援助関係を形成し、支援計画の作成・実施・評価ができる。</p> <p>5)多職種や地域の社会資源等と連携しチームアプローチや地域への働きかけができる。</p> <p>6)施設・機関・団体等の経営や運営管理の説明ができる</p> <p>7)専門職としての職業倫理と役割・責任が説明できる</p> <p>8)ソーシャルワークの技術が活用できる。</p>						
実務経験のある教員による教育	科目担当教員の半数は社会福祉士の有資格者で、福祉分野での実務経験が5年以上ある教員もおり、その経験に基づき社会福祉士として必要な知識、技術、価値の修得を目標とした授業を行う。						
評価及びフィードバックの方法	実習先の指導者の評価ならびに帰校・巡回指導での個別指導に基づいて総合的に評価する。評価項目および評価の配分は実習ファイルに掲載している評価表に基づいて評価する。個別面談指導により、実習指導者の評価をフィードバックする。						
準備学習・履修上の注意等	<p>【準備学習】</p> <p>SW実習指導1およびSW実習指導2、SW実習1で学んだことを整理しSW実習2に臨むこと。</p> <p>【履修上の注意等】</p> <p>SW実習指導1～3およびSW実習1・2の修得を前提とした講義のため、資格取得を目指していない場合は履修できない。実習に関する申し合わせの条件を満たしておくこと。</p> <p>本学が指定した実習先で24日間以上180時間以上実習する。実習期間は8月中旬から9月中旬を原則とする。実習期間は実習に専念すること。</p> <p>実習期間中、指導が困難と判断されたときは実習を中止することがある。</p>						
オフィスアワー	実習センター 9:00～17:00						
授業計画							
回数	学修目標No.	授 業 内 容				授業方法	担当
1	1)	① 社会人としての態度・マナー				実 習	全 員
2	1)	② 出勤時間や注意事項等の業務遂行の規則の遵守				実 習	全 員
3	2)	③ 積極的・主体的な実習態度				実 習	全 員
4	2)	④ 実習に関わった職員や関係者との強調性				実 習	全 員
5	3)	⑤ 実習記録やその他の書類等の的確な作成および期限内の提出				実 習	全 員
6	4)	⑥ 利用者や関係者等との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成				実 習	全 員
7	4)	⑦ 利用者やその関係者等との援助関係の形成				実 習	全 員
8	4)	⑧ 利用者や地域の状況を理解し、生活上の課題の把握、支援計画の作成と実施及び評価				実 習	全 員
9	4)	⑨ 利用者やその関係者等への権利擁護活動とその評価				実 習	全 員
10	5)	⑩ 多職種連携及びチームアプローチの実践的理解				実 習	全 員
11	5)	⑪ 実習先が地域社会の中で果たす役割の理解及び具体的な地域社会への働きかけ				実 習	全 員
12	5)	⑫ 地域における分野横断的・業種横断的な関係形成と社会資源の活用・調整・開発に関する理解				実 習	全 員
13	6)	⑬ 施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際				実 習	全 員
14	7)	⑭ 社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任の理解				実 習	全 員
15	8)	⑮ ソーシャルワーク実践に求められる技術の実践的理解				実 習	全 員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		大学が配布する実習ファイル(授業時間内に配布)					

参考書(著者名)出版社名【ISBN】	使用しない。
--------------------	--------

科目名	社会福祉学		授業コード	120543B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(1 年)		ナンバリング	51S121P01	AL 科目		
担当者	横山裕(臨床心理)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選択(限認職職ノ一を修了済)	授業形態 講 義	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソ-No.	(1)現代社会における社会福祉の意義・理念を理解するために、日本や海外の社会福祉の歴史を学習する。(DP1,CP1) (2)医療従事者の基礎知識として、社会保障関連の法律・制度・機関・サービス等について理解を深める。(DP3,CP2) (3)日本が直面する少子高齢社会の要因と今後の課題、セーフティネットとしての社会保障施策を具体的に学習する。 (4)医療・保健・福祉に関わる専門職としての役割や援助者としての基本的姿勢について学ぶ。(DP3,CP7)						
学修目標	1)医療と社会福祉制度との関連について説明できる。 2)社会福祉の形成過程について理解し、説明できる。 3)社会福祉保障制度の課題、改革について説明できる。 4)生活保護に関する特徴的事項を説明できる。 5)高齢者福祉、介護保険に関する特徴的事項を説明できる。 6)児童福祉に関する特徴的事項を説明できる。 7)身体障がい、知的障がい、精神障がい、発達障がいに関する特徴的事項を説明できる。 8)所得保障制度(年金、雇用、労災、医療保険)に関する特徴的事項を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	非該当						
評価及びフィード バックの方法	学内の「教務内規」又は、「単位認定基準」等に基づいた「筆記試験」による評価。 オフィスアワーなどを活用して個別にフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	1.教科書を毎回必ず持参すること。2.講義ごとの資料で授業内容の要点を復習すること。3.次回講義内容について、配布資料、インターネット等で予習して受講すること。4.1回の授業にあたり4時間を目安に予習、復習を行うこと。						
オフィスアワー	月水金 12:30~13:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)4) ~8)	【社会福祉の概念とその範囲】 医療従事者として社会福祉制度を学ぶ基本的な取り組みの姿勢や、多面的な捉え方の重要性を認識する。ノーマライゼーションの理念を実社会で発揮できるよう、社会福祉学を知識のみならず、人間価値として理解できるよう学習する。				講 義	横 山
2	2)	【日本及び欧米の社会福祉の歴史】 我が国の社会福祉事業の基礎を築いた先人達の偉業を学ぶ。また、日本の社会福祉制度に影響を及ぼした欧米を中心とした諸国の社会福祉の歴史、思想の背景を理解する。				講 義	横 山
3	2)	【日本国憲法第25条及び福祉六法の成立と概要】 終戦と同時に法治国家の基本として成立した日本国憲法、中でも社会福祉の理念を司る第25条を詳細に分析する。関連する福祉三法や福祉六法について、成立時期、各法の目的の概要を学習し、日本の福祉施策の全体像を理解する。				講 義	横 山
4	2)	【社会保障制度変遷の概要と今後の取り組み】 戦後から現在に至るまで、医療・福祉・保険制度の変遷と具体的な取り組みを理解し、我が国の社会・経済活動との関連を理解する。社会保障制度の充実が国民にとって不可欠な制度であることを理解する。				講 義	横 山
5	2)3)	【社会福祉基礎構造改革の骨子とねらい】 戦後間もなく構築された福祉関連法は時代の推移に伴い改正せざるを得ない状況が生じた。時代に呼応し変化する国民社会生活と社会保障のニーズに応えるべく実施された社会福祉基礎構造改革の内容と目的を理解する。				講 義	横 山
6	2)3)	【日本の社会福祉の現況と今後の推移】 国勢調査を基にしたデータを分析し、過去との比較により人口動態や出生率の低下による少子社会の原因や平均寿命の延びに伴う高齢社会の進展等の現状を把握し、将来の推計により今後の福祉施策を推察する。				講 義	横 山
7	4)	【生活保護法の解説及び現況と課題】 日本国憲法第25条を具現化する生活保護法の成立経緯と変遷を学習する。制度内容、低所得者や生活困窮者に対する救済と自立に向けた事業の内容を理解し、医療従事者として制度を活用できるような見識を深める。				講 義	横 山
8	5)	【高齢者保健福祉と老人福祉法をはじめとする高齢者福祉施策の経緯】 高齢者の特質や老人福祉法成立の経緯、基本的理念及び目的について学習し、高齢社会の現況を理解する。また、介護保険制度導入までの取り組みを学習する。				講 義	横 山
9	5)	【介護保険法の成立経緯、詳細と現況及び課題】 2000年4月より導入された介護保険法成立の経緯や法の基本的理念・目的・制度の内容について理解し、高齢社会を支える法制度の導入に至った理由と現況を理解する。				講 義	横 山
10	5)	【高齢者福祉の現況及び課題】 ケアマネジメント、ケアプラン、認知症、福祉用具貸与など介護保険制度に関連する具体的な取組を理解し、医療従事者として高齢者福祉の課題の認識を深める。介護保険制度の取組について自らの身近な問題として意識できるように学習する。				講 義	横 山
11	6)	【児童福祉法・母子及び寡婦福祉法の現況と課題】 児童福祉法及び母子寡婦福祉法の成立の経緯、基本的理念及び目的について理解し、保育施策、障がい児施策、その他児童にかかわる諸課題について学習する。更に母子寡婦家庭の現況を理解すると共に、医療従事者としての問題意識を持つ。				講 義	横 山
12	7)	【障害保健福祉の法律、障害の概念、リハビリテーションについて】 障害に関連する身体障害者福祉法・知的障害者福祉法・障害者基本法の経緯や基本的理念及び目的を理解する。また、国際的及び日本における障害の概念について経緯を考察し、障害概念の変化を確認する。また、障害とリハビリテーションの関連についても理解を深める。				講 義	横 山
13	7)	【障害者総合支援法、障害者保健施策と課題】				講 義	横 山

		身体障害者、知的障害者、精神障害者などの障害者総合支援法の基本的理念及び目的を理解し、現実的な障がい者福祉制度の現況を把握する。障がい者福祉への取り組みを理解し、今後、医療従事者として障がい者医療に携わる当事者としての問題意識を持つ。		
14	8)	【社会保障制度としての年金、雇用、労働者災害補償、医療保険制度の解説と課題】 社会保障制度としての公的年金制度、雇用保険、労働者災害保険、医療保険制度の詳細を理解し、セーフティネット機能としての社会保障制度を理解する。	講義	横山
15	4)~8)	【社会保障の機能、体系と範囲、社会福祉の実施体制について】 社会保障機能の全般的視点から所得再配分、ナショナルミニマム・セーフティネット機能など再確認する。社会保障制度体系として、社会保険・公的扶助・社会福祉・公衆衛生及び医療・老人保健制度など医療従事者が把握しておくべき制度を再整理する。	講義	横山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		言語聴覚士テキスト 第4版		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。		

科目名	基礎医学			授業コード	121883B601	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科・言語聴覚コース(1年生)			ナンバリング	51S121P01	AL科目	
担当者	吉武 重徳(臨・臨)、川野 純一 (非常勤講師)	開講学期	2026年度前期	必修・選択	必 須	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	基礎医学では、医学総論、解剖学、生理学及び病理学の観点から、言語聴覚療法に関わる人体の構造と機能の知識を系統的に学ぶ。人体の正常な基本構造を知ることが医学の根本をなし、病理・病態を理解するために不可欠である。解剖学では、正常な人体の構造と機能を理解するために、人体を構成する細胞・組織・器官の顕微解剖および肉眼解剖レベルでの構造と機能に関する基本的知識を修得する。授業は、講義及び人体模型・パルチャルスライドを用いたスモールグループディスカッション(SGD)で進められ、解剖学総論、細胞、組織、骨格系、筋系、循環器系、消化器系などについて学習する。						
学修目標	1)課題について概念について説明できる。 2)課題について成因と分類について説明できる。 3)課題について概略について説明できる。 4)課題について診断と検査について説明できる。 5)課題について代表的な疾患の症状や経過、治療方法について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	本教員は医療の臨床経験を有する医師として、大学付属病院等で習得した知識とスキルを本講義に活かして受講生に適合する教育を提供する。						
評価及びフィード バックの方法	学習への取り組み姿勢(講義後のレポート提出、質問・発言など授業への参加)を10%及び、学期末の単位認定試験を90%として、単位認定を行う。 なお、講義後レポートの内容を勘案し、次回講義時に適宜、フォロー・フィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	準備学習として事前に課題が提示された場合は必ず事前学習として授業前に概略を把握することを目標とする。 授業終了後は、復習が容易になるように簡潔に要点をまとめることを目標とする。						
オフィスアワー	水曜日 10:45~13:00 金曜日 10:45~12:00						

授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授業 方法	担当
講義1	1-5	医学総論1 健康・疾患・障害と社会環境	講 義	吉 武
講義2	1-5	医学総論2 医療倫理と医療行為	講 義	吉 武
講義3	1-5	医学総論3 人口、保健統計、疫学の基礎	講 義	吉 武
講義4	1-5	医学総論4 健康管理、予防医学	講 義	吉 武
講義5	1-5	医学総論(5) 保健(母子、成人、老人、精神、環境)	講 義	吉 武
講義1	1-5	解剖学 1 人体の構成, 細胞, 組織, 運動器系	講 義	川 野
講義2	1-5	解剖学 2 神経系 1(中枢神経, 脳神経)	講 義	川 野
講義3	1-5	解剖学 3 神経系 2(脊髄神経, 自律神経), 循環器系	講 義	川 野
講義4	1-5	解剖学 4 呼吸器系, 消化器系	講 義	川 野
講義5	1-5	解剖学 5 泌尿生殖器系, 内分泌器系, 発生	講 義	川 野
講義1	1-5	生理・病理学(2) 生理学基礎	講 義	吉 武
講義2	1-5	生理・病理学2 運動機能	講 義	吉 武
講義3	1-5	生理・病理学3 感覚機能	講 義	吉 武
講義4		生理・病理学4 睡眠と脳波、記憶と学習	講 義	吉 武
講義5	1-5	生理・病理学5 自立機能、呼吸、循環、消化、吸収	講 義	吉 武

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	なし。」
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	なし。

科目名	臨床医学 I			授業コード	121884B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科・言語聴覚コース(1 年生)			ナンバリング	51S122P02	AL 科目	
担当者	吉武 重徳(臨・臨)、西田美香(臨床福祉)、山崎 俊輔(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 須	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	臨床医学 I では、言語聴覚療法に必要な臨床医学(内科、小児科、精神医学の基礎的知識を学び、言語聴覚領域の疾患との関連を系統的に理解する。内科学は、臨床医学の基礎をなす。日常診療のなかで頻度の高い疾患と、最近話題になることの多い疾患について、概要、頻度、症候と病態生理、診断、治療と予後の要点を理解する。また、小児の発達と成長や精神医学の知識について学習する。						
学修目標	1) 課題について概念について説明できる。 2) 課題について成因と分類について説明できる。 3) 課題について概略について説明できる。 4) 課題について診断と検査について説明できる。 5) 課題について代表的な疾患の症状や経過、治療方法について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	本教員は医療の臨床経験を有する医師として、大学付属病院等で習得した知識とスキルを本講義に活かして受講生に適合する教育を提供する。						
評価及びフィード バックの方法	学習への取り組み姿勢(講義後のレポート提出、質問・発言など授業への参加)を 10% 及び、学期末の単位認定試験を 90% とし、単位認定を行う。 なお、講義後レポートの内容を勘案し、次回講義時に適宜、フォロー・フィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	準備学習として事前に課題が提示された場合は必ず事前学習として授業前に概略を把握することを目標とする。授業終了後は、復習が容易になるように簡潔に要点をまとめることを目標とする。						
オフィスアワー	水曜日 10:45~13:00 金曜日 10:45~12:00						

#### 授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授業 方法	担当
内科学1	1)~5)	内科学1 臨床医学の基礎	講 義	吉 武
内科学2	1)~5)	内科学2 高頻度診療疾患の概要、頻度、症候	講 義	吉 武
内科学3	1)~5)	内科学3 高頻度診療疾患の病態生理	講 義	吉 武
内科学4	1)~5)	内科学4 高頻度診療疾患の診断	講 義	吉 武
内科学5	1)~5)	内科学5 高頻度診療疾患の治療と予防	講 義	吉 武
小児科学1	1)~5)	小児科学1 小児の発達と成長	講 義	山 崎
小児科学2	1)~5)	小児科学2 胎児医学と出生前医学	講 義	山 崎
小児科学3	1)~5)	小児科学3 言語聴覚領域の疾患	講 義	山 崎
小児科学4	1)~5)	小児科学4 言語聴覚領域の治療	講 義	山 崎
小児科学5	1)~5)	小児科学5 まとめ	講 義	山 崎
精神医学1	1)~5)	精神医学1【精神疾患の症状と診断】 異常を判定する基準、精神医学特有の方法(了解、追体験、解釈等)	講義・SGD	西 田
精神医学2	1)~5)	精神医学2【精神疾患の症状と診断】 精神症状の概略	講 義	西 田
精神医学3	1)~5)	精神医学3【精神疾患の症状と診断】 伝統的分類(器質性、内因性、心因性)、国際的診断分類(ICD、DSM)	講 義	西 田
精神医学4	1)~5)	精神医学4【精神疾患の症状と診断】 精神障害の評価と診断、薬物療法	講 義	西 田
精神医学5	1)~5)	精神医学5【精神障害の理解】 精神障害の概念、健康の定義、健康と精神障害の違い、ICF の考え方	講 義	西 田

教科書(著者名)出版社名【ISBN】 特に指定しません。

参考書(著者名)出版社名【ISBN】 なし。

科目名	臨床医学Ⅱ			授業コード	121885B601	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51S221P01	AL科目	○
担当者	吉武義徳(臨心・臨心)、稲富雄一郎(非常勤講師)、橋本洋一郎(非常勤講師)、島田亜紀(非常勤講師)	開講学期	2026年度後期	必修・選択	必修	授業形態	講義
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	脳・神経系の構造と機能、および病態(神経症候学)を知ることが、言語聴覚士になるために必須の知識である。本講義では、脳・神経系の構造と機能を、運動・感覚・内臓(自律神経)という側面より理解する(DP1)。さらに、神経症候学(脳血管障害、感染症、変性疾患等)、高次脳機能障害の概要を理解し、言語聴覚障害の正確な評価や訓練に必要なプロセスを遂行できるようにする(DP3&4)。						
学修目標	学修目標 1)運動と脳、神経の関係を説明できる。 2)感覚と脳、神経の関係を説明できる。 3)内臓(自律神経)と脳、神経の関係を説明できる。 4)神経症候学全般について概要を説明できる。 5)神経系の疾患と言語聴覚療法との関連性について説明できる。 6)脳血管障害について説明できる。 7)神経系の臨床検査について説明できる。 8)聴覚器の解剖学に精通し、聴覚機能のメカニズムおよび疾患を説明できる。 9)鼻・副鼻腔の解剖学に精通し、鼻機能のメカニズムおよび疾患を説明できる。 10)耳鼻咽喉科学に関する問題を解き、回答に至るプロセスを概説できる。						
実務経験のある教員による教育	科目担当者(全員)は、病院等臨床現場での5年以上の実務経験に基づき、耳鼻咽喉科学や脳と神経の解剖や生理学的特徴、疾患と障害に関する知識の修得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィードバックの方法	単位認定試験(100%)						
準備学習・履修上の注意等	授業時間後には、脳の解剖学的部位やその機能、脳神経疾患に関する復習を行ってください。						
オフィスアワー	吉武重徳:水・金曜日の昼休み 12:30-13:00 その他講師:講義前後の可能な時間						
授業計画							
回数	学修目標No.	授業内容				授業方法	担当
1	8)9)10)	【耳科学】耳の疾患と症候、診断、治療を理解する				講義	島田
2	8)9)10)	【鼻科学】鼻・副鼻腔の構造と機能を理解する				講義	島田
3	8)9)10)	【鼻科学】鼻・副鼻腔の疾患と症候、診断、治療を理解する				講義	島田
4	8)9)10)	【鼻科学】鼻・副鼻腔の疾患と症候、診断、治療を理解する				講義	島田
5	8)9)10)	【口腔・咽頭・喉頭科学】口腔・咽頭・喉頭の構造、機能、病態を理解する				講義	島田
6	1)-5)	言語聴覚士と関連の深い神経系の構造・機能・病態②				講義	稲富
7	6)	脳血管障害① 一過性脳虚血発作、脳梗塞の症候と発生機序				講義	橋本
8	6)	脳血管障害② 脳出血の症候と発生機序				講義	橋本
9	6)	脳血管障害③ くも膜下出血等出血性疾患の症候				講義	橋本
10	7)	神経系臨床検査の方法と結果の解釈				講義	橋本
11	8)	神経系の画像診断				講義・演習	吉武
12	8)	神経疾患概論②				講義・演習	稲富
13	9)	言語聴覚士と関連の深い神経系の構造・機能・病態①				講義	稲富
14	10)	言語聴覚士と関連の深い神経系の構造・機能・病態②				講義	稲富
15	10)	変性疾患の症候と発生機序				講義	稲富
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	病気がみえる〈vol.7〉脳・神経 第2版:医療情報科学研究所(編)メディックメディア【978-4896326864】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	リハに役立つ脳画像 改訂第2版(酒匂正春 監修)メディカルビュー社【ISBN 978-4-7583-2013-9】 言語脳アトラス(永井知代子)インテルナ出版【ISBN 978-4-900637-50-4】						

科目名	リハビリテーション医学		授業コード	120088B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科・言語聴覚コース(1年)		ナンバリング	51S122P02	AL 科目		
担当者	松山 光生(臨・臨)、荒川 英樹 (非常勤講師)、山口 洋一郎(非 常勤講師)、倉澤美智子(臨・臨)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	必 修	授業形態 講 義	
授業の概要・一般 目標・対応するホ ルンNo.	言語聴覚障害に関わる知識・技能を用い、評価に必要なプロセスが遂行でき(DP3)、適切な訓練目標を設定し、目標に基づいた訓練プログラムを実施できる言語聴覚士となるために(DP4)、リハビリテーション医学について、総論においてはリハビリテーションの理念、プロセス、診断評価の基礎的アプローチについて、各論においては主な疾患の評価法や治療等の、コメディカルに携わる者にとって必須の知識を修得する(CP1(4))。						
学修目標	<p>リハビリテーション医学では、リハビリテーション医学総論、検査と評価、治療総論、各種疾患・障害のリハビリテーションを通して、言語聴覚障害に関わる知識・技能を用い、評価に必要なプロセスが遂行でき、適切な訓練目標を設定し、目標に基づいた訓練プログラムを実施できる言語聴覚士となるために、リハビリテーションの理念、プロセス、診断評価の基礎的アプローチについて、各論においては主な疾患の評価法や治療等の、コメディカルに携わる者にとって必須の知識の修得を目指す。</p> <p>(オムニバス方式/全 15 回)</p> <p>(1:松山光生/6 回)</p> <p>各疾患について必要な知識の修得のもとに、それぞれの疾患に応じたリハビリテーションとして、言語聴覚療法に必要な評価や訓練、目標設定を踏まえたアプローチについて修得する。</p> <p>(2:荒川英樹/7 回)</p> <p>総論としてリハビリテーション医学・医療の概要について理解し、リハビリテーション診療として、必要な様々な疾患について包括的な知識を修得する。</p> <p>脳血管障害、脳損傷等末梢神経障害、閉塞性動脈硬化症、糖尿病性壊疽、外傷に伴う切断と補装具 筋・神経疾患、変性疾患、歩行障害等障害別の病態生理、疾患としての評価治療についての知識を修得する。</p> <p>(3:山口 洋一郎/2 回)</p> <p>骨・関節・筋肉疾患、脊髄損傷、排尿障害、褥瘡、脊椎疾患、自己免疫性疾患、膠原病、リウマチ性疾患等障害別の病態生理、疾患としての評価治療についての知識を修得する。</p>						
実務経験のある 教員による教育	臨床に携わった経験のある教員、医師が、経験に基づき教授する。						
評価及びフィード バックの方法	筆記試験による知識・理解度、考え方について評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	1コマ当たり4 時間を目安に予習・復習をおこなうこと。資料を中心に行うので、欠席した場合の補充は各自で行うこと。						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【総論:リハビリテーションの各分野と歴史】 リハビリテーションの各分野とその歴史、関連職種が説明できる				講 義	松 山
2	1)	【総論:リハビリテーションの理念】 リハビリテーションの今日に共通する理念とその実現方法を把握する				講 義	松 山
3	1)	【総論:疾病と障害】 ICF の枠組みと、それを活用して障害の階層を説明できる				講 義	松 山
4	1)	【総論:機能的状態の評価】 機能的状態の意味、対象領域、具体的な評価方法を説明できる				講 義	松 山
5	1)	【各論:機能的状態の評価】 ADL の階層性とその評価方法を理解する				講 義	松 山
6	1)	【総論:廃用性症候群の意味と症状】 廃用性症候群の意味と具体的な症状について説明できる				講 義	松 山
7	2)	【総論】リハビリテーション医学・医療の概要について理解する				講 義	荒 川
8	2)	【総論】リハビリテーション診療として、各種診察手順、検査、リハ評価等を理解し、概説できる				講 義	荒 川
9	2)	【総論】リハビリテーション診療として、運動学的アプローチや評価、ADL動作やその評価、およびQOLについて理解し、概説できる				講 義	荒 川
10	2)	【各論】障害別の病態生理、疾患としての評価治療 ①脳血管障害、脳損傷等 ③筋・神経疾患:ALS、ポリオ、筋ジス、変性疾患:パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多発性硬化症(固縮・痙縮)、歩行障害				講 義	荒 川
11	2)	【各論】⑩がんのリハビリテーション(悪性腫瘍、骨転移、がん性疼痛、チーム医療)、複合性局所疼痛症候群含む ⑪加齢による障害:サルコペニア、フレイル)、発達障害:脳性麻痺、自閉症、ADHDなど)				講 義	荒 川
12	2)	【各論】⑦内部障害:呼吸器疾患、嚥下障害関連⑧内部障害:循環器疾患、腎関連疾患、廃用症候群、熱傷				講 義	荒 川
13	2)	【各論】⑨-1 高次脳機能障害関連(記憶、失行、失認、失語、注意、遂行機能障害、認知)、精神疾患関連 2 高次脳機能障害関連(記憶、失行、失認、失語、注意、遂行機能障害、認知)、精神疾患関連				講 義	荒 川
14	3)	【各論】②末梢神経障害(顔面神経障害、糖尿病性神経障害等)閉塞性動脈硬化症、糖尿病性壊疽、外傷に伴う切断と補装具④骨・関節・筋肉疾患:骨折、骨粗しょう症、スポーツ外傷、運動器関連疼痛(頸部、上肢&下肢痛、腰痛)				講 義	山 口
15	3)	【各論】⑤脊髄損傷、排尿障害、褥瘡、脊椎疾患(二分脊椎)⑥自己免疫性疾患、膠原病、リウマチ性疾患(関節リウマチ、強皮症、多発性筋炎)				講 義	山 口
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		指定しない					

参考書(著者名)出版社名【ISBN】

リハビリテーション技術全書(服部一郎・細川忠義・和才嘉昭)医学書院【978-4-260-24290-5】

現代リハビリテーション医学 改訂 第3版(千野直一 編)金原出版【978-4-307-25142-6】

標準リハビリテーション医学 第3版(上田敏)医学書院【978-4-260-01394-9】

リハビリテーションビジュアルブック第2版(監修 落合慈之)学研メディカル秀潤社【978-4780911930】

科目名	リハビリテーション医学			授業コード	120088B602	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科・言語聴覚コース(3年)			ナンバリング	51S122P02	AL 科目		
担当者	松山 光生(臨・臨)、荒川 英樹 (非常勤講師)、山口 洋一郎(非 常勤講師)、倉澤美智子(臨・臨)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	講 義	
授業の概要・一般 目標・対応するホ ルンNo.	言語聴覚障害に関わる知識・技能を用い、評価に必要なプロセスが遂行でき(DP3)、適切な訓練目標を設定し、目標に基づいた訓練プログラムを実施できる言語聴覚士となるために(DP4)、リハビリテーション医学について、総論においてはリハビリテーションの理念、プロセス、診断評価の基礎的アプローチについて、各論においては主な疾患の評価法や治療等の、コメディカルに携わる者にとって必須の知識を修得する(CP1(4))。							
学修目標	<p>リハビリテーション医学では、リハビリテーション医学総論、検査と評価、治療総論、各種疾患・障害のリハビリテーションを通して、言語聴覚障害に関わる知識・技能を用い、評価に必要なプロセスが遂行でき、適切な訓練目標を設定し、目標に基づいた訓練プログラムを実施できる言語聴覚士となるために、リハビリテーションの理念、プロセス、診断評価の基礎的アプローチについて、各論においては主な疾患の評価法や治療等の、コメディカルに携わる者にとって必須の知識の修得を目指す。</p> <p>(オムニバス方式/全 15 回)</p> <p>(1:松山光生/6 回)</p> <p>各疾患について必要な知識の修得のもとに、それぞれの疾患に応じたリハビリテーションとして、言語聴覚療法に必要な評価や訓練、目標設定を踏まえたアプローチについて修得する。</p> <p>(2:荒川英樹/7 回)</p> <p>総論としてリハビリテーション医学・医療の概要について理解し、リハビリテーション診療として、必要な様々な疾患について包括的な知識を修得する。</p> <p>脳血管障害、脳損傷等末梢神経障害、閉塞性動脈硬化症、糖尿病性壊疽、外傷に伴う切断と補装具 筋・神経疾患、変性疾患、歩行障害等障害別の病態生理、疾患としての評価治療についての知識を修得する。</p> <p>(3:山口 洋一郎/2 回)</p> <p>骨・関節・筋肉疾患、脊髄損傷、排尿障害、褥瘡、脊椎疾患、自己免疫性疾患、膠原病、リウマチ性疾患等障害別の病態生理、疾患としての評価治療についての知識を修得する。</p>							
実務経験のある 教員による教育	臨床に携わった経験のある教員、医師が、経験に基づき教授する。							
評価及びフィード バックの方法	筆記試験による知識・理解度、考え方について評価を行う。							
準備学習・ 履修上の注意等	1コマ当たり4 時間を目安に予習・復習をおこなうこと。資料を中心に行うので、欠席した場合の補充は各自で行うこと。							
オフィスアワー	講義前後の可能な時間。							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	【総論:機能的状態の評価①】 機能的状態の意味、対象領域、具体的な評価方法を説明できる					講 義	松 山
2	1)	【総論:機能的状態の評価②】 機能的状態の評価の実践的な活用方法とその意義を考えることができる					講 義	松 山
3	1)	【総論:言語聴覚療法の目的と方法①】 障害者自立生活運動とリハビリテーションの関係について説明できる					講 義	松 山
4	1)	【総論:言語聴覚療法の目的と方法②】 障害者自立生活運動の理念と言語聴覚療法の考え方の対比ができる					講 義	松 山
5	1)	【各論:障害受容①】 障害者本人の障害受容を考えることができる					講 義	松 山
6	1)	【各論:障害受容②】 障害者家族の障害受容を考えることができる					講 義	松 山
7	2)	【総論】リハビリテーション医学・医療の概要について理解する					講 義	荒 川
8	2)	【総論】リハビリテーション診療として、各種診察手順、検査、リハ評価等を理解し、概説できる					講 義	荒 川
9	2)	【総論】リハビリテーション診療として、運動学的アプローチや評価、ADL動作やその評価、およびQOLについて理解し、概説できる					講 義	荒 川
10	2)	【各論】障害別の病態生理、疾患としての評価治療 ①脳血管障害、脳損傷等 ③筋・神経疾患:ALS、ポリオ、筋ジス、変性疾患:パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多発性硬化症(固縮・痙縮)、歩行障害					講 義	荒 川
11	2)	【各論】⑩がんのリハビリテーション(悪性腫瘍、骨転移、がん性疼痛、チーム医療)、複合性局所疼痛症候群含む ⑪加齢による障害:サルコペニア、フレイル)、発達障害:脳性麻痺、自閉症、ADHDなど)					講 義	荒 川
12	2)	【各論】⑦内部障害:呼吸器疾患、嚥下障害関連⑧内部障害:循環器疾患、腎関連疾患、廃用症候群、熱傷					講 義	荒 川
13	2)	【各論】⑨-1 高次脳機能障害関連(記憶、失行、失認、失語、注意、遂行機能障害、認知)、精神疾患関連 2 高次脳機能障害関連(記憶、失行、失認、失語、注意、遂行機能障害、認知)、精神疾患関連					講 義	荒 川
14	3)	【各論】②末梢神経障害(顔面神経障害、糖尿病性神経障害等)閉塞性動脈硬化症、糖尿病性壊疽、外傷に伴う切断と補装具④骨・関節・筋肉疾患:骨折、骨粗しょう症、スポーツ外傷、運動器関連疼痛(頸部、上肢&下肢痛、腰痛)					講 義	山 口
15	3)	【各論】⑤脊髄損傷、排尿障害、褥瘡、脊椎疾患(二分脊椎)⑥自己免疫性疾患、膠原病、リウマチ性疾患(関節リウマチ、強皮症、多発性筋炎)					講 義	山 口
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		指定なし						

参考書(著者名)出版社名【ISBN】

リハビリテーション技術全書(服部一郎・細川忠義・和才嘉昭)医学書院【978-4-260-24290-5】

現代リハビリテーション医学 改訂 第3版(千野直一 編)金原出版【978-4-307-25142-6】

標準リハビリテーション医学 第3版(上田敏)医学書院【978-4-260-01394-9】

リハビリテーションビジュアルブック第2版(監修 落合慈之)学研メディカル秀潤社【978-4780911930】

科目名	臨床歯科医学・口腔外科学			授業コード	121631B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科・言語聴覚コース(3年生)			ナンバリング	51S221P01	AL 科目	
担当者	中村 真理子(臨心・臨心)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い評価・訓練に必要なプロセスを遂行する(DP3)ために歯科医学および口腔外科学について学び、口腔内の形態的および機能的障害について修得する(CP1-2)。また言語聴覚士として臨床現場に臨む際に必要な基本的知識を習得し、歯科専門職との更なる連携を目指す(DP3)。						
学修目標	1)歯・歯周組織の発生、機能、疾患およびそれに対する治療法について説明できる。 2)口腔ケアの意義および内容について説明できる。 3)口腔器官の構造、機能、疾患およびそれに対する治療法について説明できる。 4)言語障害と関係のある疾患およびそれに対する治療法について説明できる。 5)口腔領域の障害に対する歯科医学的対応について説明できる。 6)口腔機能障害(後天的疾患、中枢性疾患、加齢による)およびその治療法について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(中村)は臨床現場(岡山大学附属病院矯正歯科外来)における5年以上の矯正歯科医師としての臨床経験に基づいた授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	単位認定試験 90%、課題の提出状況を 10%とし、単位認定を行う						
準備学習・ 履修上の注意等	口腔解剖学を修得済みであること。1回の授業につき60分を目安に予習・復習を行うこと。 講義時には教科書を使うため、必ず持ってくること。						
オフィスアワー	火、水、木 12:30~13:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	【歯科医学について①】 歯科医学の特徴、概要 歯・歯周組織の発生、機能				講 義	中 村
2	1)	【歯科医学について②】 歯・歯周組織の疾患、治療				講 義	中 村
3	2)	【口腔ケアについて】 口腔ケアの意義、内容				講 義、演 習	中 村
4	3)	【口腔外科学について①】 口腔・顎・顔面の発生、構造、機能				講 義	中 村
5	3)	【口腔外科学について②】 口腔・顎・顔面の疾患、治療				講 義	中 村
6	3)	【口腔外科学について③】 顎関節・唾液腺の発生、構造、疾患、治療				講 義	中 村
7	4)	【言語障害と関係のある疾患について①】 唇顎口蓋裂および関連類似疾患、治療				講 義	中 村
8	4)	【言語障害と関係のある疾患について②】 口腔軟組織異常・顎変形症・顎の先天および発育異常・顎関節疾患、治療				講 義	中 村
9	4)	【言語障害と関係のある疾患について③】 唾液腺疾患・末梢神経障害・口腔乾燥症、治療				講 義	中 村
10	5)	【言語障害と関係のある疾患について④】 口腔粘膜疾患、治療 口腔を構成する器官に影響を与える症候群				講 義	中 村
11	5)	【言語・咀嚼・摂食障害に対する歯科医学的対応について】 手術的療法、人工材料による機能回復、訓練、歯科画像検査				講 義	中 村
12	6)	【口腔機能障害について①・後天的疾患 その1】 歯・口腔・顎・顔面の炎症・腫瘍による口腔機能障害、治療				講 義	中 村
13	6)	【口腔機能障害について②・後天的疾患 その2】 歯・口腔・顎・顔面のう胞・外傷による口腔機能障害、治療、再建と機能回復				講 義	中 村
14	6)	【口腔機能障害について③】 中枢性疾患による口腔機能障害、治療、評価				講 義	中 村
15	6)	【口腔機能障害について④】 加齢による口腔機能障害および対応 筋機能療法				講 義、演 習	中 村
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新言語聴覚学講座 臨床歯科医学・口腔外科学(道健一)医歯薬出版【978-4-263-27073-8】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜指示します					

科目名	聴覚・神経系の構造、機能、病態			授業コード	121886B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51S222P03	AL 科目	
担当者	村田 公一(非常勤講師)、武居 光雄(非常勤講師)、吉武 重徳 (臨・臨)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選択(言語聴覚コースに必修)	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	本科目では、言語聴覚士として必要な知識・技能を身につけるために(DP3)、聴覚系の構造・機能・病態、呼吸発声発語に関する基礎知識を修得する(CPI(1))。						
学修目標	1) 聴覚系の構造概略について理解、説明できる 2) 伝音系の構造・機能について理解、説明できる 3) 感音系の機能について理解、説明できる 4) デシベルについて理解、説明できる 5) 純音聴力検査について理解、説明できる 6) 伝音系、感音系の障害について理解、説明できる 7) 各種 検査について理解、説明できる 8) 喉頭の発声機能や構造について理解、説明できる 10)呼吸機能と構造について理解、説明できる						
実務経験のある 教員による教育	聴覚系、発声発語系に関する豊富な教育経験をもとに、授業を展開する。						
評価及びフィード バックの方法	最終試験(100%)にて評価を行う。 最終講義前日までに学生から講義に関する質問を集め、最後の講義時間にそれらの質問に対する解説とテスト対策を行い、フィードバックとする。						
準備学習・ 履修上の注意等	事前配布した資料について講義の前に通読し、すぐに理解できる内容と理解できない内容に分けてから講義に臨んでください。 試験以外に課題は設けませんので、フィードバックもありません。						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間に行う。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	聴覚系の構造概略: 模型を用いて、聴覚系の構造について全体を把握する				講 義	村 田
2	2)	伝音系の構造・機能: 解剖学的構造についての説明、インピーダンス整合メカニズム、キャンセルエフェクト、耳小骨筋の役割、耳管の役割				講 義	村 田
3	3)	感音系の機能: 解剖学的構造についての説明、5 感音系の機能 2 1. 蝸牛構造と周波数同調、聴覚の生ずるメカニズム。2. 外有毛細胞の閾値、周波数同調、リクルートメント防御に対する役割				講 義	村 田
4	4)	デシベルについて: 音圧とデシベルの関係(デシベルの必要性)				講 義	村 田
5	5)	純音聴力検査 1.: 聴覚系の病態に入る前に、聴力低下をどのように測定するかは知識は必須である。ここでは純音聴力検査とプラトー法について学ぶ。 1. 純音聴力検査、2. 移行減衰量とマスクング、3. 骨導聴力検査に影響を及ぼす 3 つの要因				講 義	村 田
6	5)	純音聴力検査 2.(プラトー法): クロスヒアリングやオーバーマスクング及び正しく閾値を測定するとはどういうことかを図を用いて説明する				講 義	村 田
7	6)	伝音系の障害: 外耳系の障害、中耳系の障害				講 義	村 田
8	6)	感音系の障害: 迷路系障害、後迷路系障害、混合性難聴				講 義	村 田
9	7)	耳音響放射: 耳音響放射の種類、歪み成分耳音響放射と外有毛細胞の運動との関係及び感音性難聴検出への応用				講 義	村 田
10	7)	聴性電気反応: 聴性電気反応 ABR を通して耳性電気反応の概略について学ぶ				講 義	村 田
11	7)	AABR および ASSR: AABR と周波数特異性を備えた ASSR の特性を ABR との比較を通して学ぶ				講 義	村 田
12	8)	痙攣疾患病態生理①				講 義	武 居
13	8)	痙攣疾患病態生理②				講 義	武 居
14	9)	呼吸器系の基本構造、機能、病態①				講 義	吉 武
15	9)	呼吸器系の基本構造、機能、病態②				講 義	吉 武
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		資料配付致します。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		資料配付致します。					

科目名	発声発語系の構造、機能、病態			授業コード	121887B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学部 言語聴覚コース(2年生)			ナンバリング	51S221P03	AL 科目	○
担当者	中村真理子(臨心・臨心) 吉武重徳(臨心・臨心)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	発声発語系の構造、機能、病態では、呼吸器の基本構造、呼吸運動、呼吸器機能検査、呼吸器系の病態、喉頭の基本構造、喉頭の機能、喉頭の病態、喉頭の検査、構音器官の基本構造についての基本的な知識の修得を目指し、言語聴覚士として必要な知識・技能を身につけるために、正常な発声発語系の構造・機能に関する基礎知識を修得する。また、各系の構造・機能と関連づけて、その病態について理解し修得することを目指す(DP3, CPI-2)。						
学修目標	1) 発声発語にかかわる器官の構造について理解、説明できる 2) 発声発語のメカニズムについて理解、説明できる 3) 発声発語にかかわる器官の成長ならびに加齢性変化について理解、説明できる 4) 発声発語障害について理解できる						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(中村)は臨床現場(岡山大学附属病院矯正歯科外来)における5年以上の矯正歯科医師としての臨床経験に基づいた授業を行う。科目担当者(吉武)は麻酔科医師として5年以上の臨床経験に基づいた授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	単位認定試験 90%、課題の提出状況を 10%とし、単位認定を行う						
準備学習・ 履修上の注意等	1 回の授業につき 60 分を目安に予習・復習を行うこと。講義時には教科書を使うため、必ず持ってくること。						
オフィスアワー	火、水、木 12:30~13:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	発声発語にかかわる骨、筋群について理解する①				授業・演習	中 村
2	1)	発声発語にかかわる骨、筋群について理解する②				授業・演習	中 村
3	1)	発声発語にかかわる骨、筋群について理解する③				授業・演習	中 村
4	1)	細胞、組織、器官の構造と機能について理解する①				授 業	吉 武
5	1)	細胞、組織、器官の構造と機能について理解する②				授 業	吉 武
6	1)	口腔顔面領域の発生について理解する①				授 業	吉 武
7	1)	口腔顔面領域の発生について理解する②				授 業	吉 武
8	1)	口腔顔面領域の発生について理解する③				授 業	吉 武
9	2)	発声発語のメカニズムについて理解する: 喉頭の機能				授業・演習	中 村
10	2)	発声発語のメカニズムについて理解する: 鼻咽腔の機能				授業・演習	中 村
11	3)	構音器官と構音動作について理解する				授業・演習	中 村
12	3)	発声発語における呼吸運動を呼吸調節について理解する				授業・演習	中 村
13	3)	構音機能の発達過程について理解する				授業・演習	中 村
14	3)	発声発語機能の加齢変化について理解する				授 業	中 村
15	4)	発声発語障害について理解する				授 業	中 村
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		発声発語・摂食嚥下の解剖・生理学 益田 慎監修 メジカルビュー社【9784758320696】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		組織学・口腔組織学(第5版) 磯川桂太郎著 わかば出版【978489824094】					

科目名	言語学		授業コード	120338B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(1年)		ナンバリング	51S122P01	AL 科目		
担当者	太田 栄次(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	言語聴覚コースのみ必修	授業形態 オンライン	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リデーNo.	言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い、評価に必要なプロセス(情報収集・観察・正確な検査・検査の解釈・問題の抽出・全体像の把握)が遂行できる(DP3)ためには、ことばを客観的に記述及び分析する力が求められる。言語聴覚士としてことばを記述分析するためには、ことばが持っている基本的な特徴や、個別言語の構造について理解しておく必要がある。本講義では、人間の言語とはどのような性質を持っているのかを様々な角度から考え、同時に、日本語の特徴も紹介しながら言語学の基本的な知識を身につけるとことを目的とする。						
学修目標	1)ことばに対する好奇心を持つ。 2)言語学の概説(目標、諸分野、基本的問題について説明できる)。 3)言語学に関する基本的概念と用語を説明できる。 4)言語類型論的に見た日本語の特徴を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	担当者は、平成16年9月から平成17年8月まで台湾銘伝大学応用日本語学科にて、日本語教育担当教員としての勤務経験がある。その中で、日本語非母語話者に対して、日本語の統語的・形態的特徴、及び語用論的な側面について教示した。						
評価及びフィード バックの方法	平常点(授業態度+レポート等)30%と定期試験の点数70%で総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	特になし。						
オフィスアワー	毎週木曜日 10:00~17:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授業内容				授業 方法	担当
1	1)	【講義概要の説明、言語の一般的な性質】 本講義が目指すことや、言語学の研究対象について理解する。				講義・演習	太田
2	2)	【言語学の基本概念を知る(ソシュール)】 ことばに対するソシュールの考え方を理解する。				講義・演習	太田
3	2)	【日本語の「語」を分析する(1)形態論 1】 「語」の分析方法を理解し、分析できる。				講義・演習	太田
4	2)	【日本語の「語」を分析する(2)形態論 2】 「語」の分析方法を理解し、分析できる。				講義・演習	太田
5	2)	【日本語の文を分析する(1)文の構造 統語論 1】 「文」がどのような構造で成り立っているか理解する。				講義・演習	太田
6	2)	【日本語の文を分析する(2)文の構造 統語論 2】 「文」がどのような構造で成り立っているか理解する。				講義・演習	太田
7	2)	【日本語の文を分析する(3)文の構造 統語論 3】 「文」がどのような構造で成り立っているか理解する。				講義・演習	太田
8	2)	【言語の分析方法(1)生成文法 1】 言語の分析方法の一つである生成文法の基本的な考え方を理解する。				講義・演習	太田
9	2)	【言語の分析方法(2)生成文法 2】 言語の分析方法の一つである生成文法の基本的な考え方を理解する。				講義・演習	太田
10	2)	【言語の分析方法(3)語用論 1】 言語の分析方法の一つである語用論の基本的な考え方を理解する。				講義・演習	太田
11	2)	【言語の分析方法(4)語用論 2】 言語の分析方法の一つである語用論の基本的な考え方を理解する。				講義・演習	太田
12	3)	【日本語について考える(1)】 日本語の特徴について理解する。				講義・演習	太田
13	3)	【日本語について考える(2)】 日本語の特徴について理解する。				講義・演習	太田
14	3)	【日本語について考える(3)】 日本語の特徴について理解する。				講義・演習	太田
15	3)	【日本語について考える(4)】 日本語の特徴について理解する。				講義・演習	太田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	音声学		授業コード	120175B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科 (2年)		ナンバリング	51S221P02	AL 科目	○	
担当者	太田 栄次(非常勤講師)・中村 真理子(臨床心理学科)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	言語コースのみ必修	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リンNo.	言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い、評価に必要なプロセス(情報収集・観察・正確な検査・検査の解釈・問題の抽出・全体像の把握)が遂行できる(DP3)ためには、音声の違い、またその違いがどのように生成されるかについての知識が必要となる。例えば言葉の音が何かの理由でうまくいかない人(小児も含む)に言葉の指導をする場合、音声器官のどの部分をどの ように使う、どのような音が作り出されるのかを物理的、現実的な事実として捉えておく必要がある。本講では、音声を作り出すしくみや音声器官がどのように動く ことによってそれぞれの音声の違いが作り出されるのかについて説明できることと、それぞれの音声の違いを聞きとりIPA表記として記述できることを目指す。						
学修目標	1) 音声学の概説(目標、諸分野、基本的問題を説明できる)。 2) 音声生成の基本的な仕組みについて説明できる。 3) 日本語における母音や子音を国際音声字母(IPA)の方法に基づき記述できる。 4) 歯科疾患と発音の関係を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	主担当者の太田は、平成 16 年 9 月から平成 17 年 8 月まで台湾銘伝大学応用日本語学科にて日本語教育担当教員としての勤務経験がある。その中で、日本語非母語話者に対して日本語発音指導を含む日本語教育に携わった。また、副担当の中村は、歯科医師としての豊富な実務経験を持ち、日本語の構音と歯科の関係について深い専門知識と業務知識を有する。						
評価及びフィード バックの方法	平常点(授業態度+レポート等)30%と定期試験の点数 70%で総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	特になし。						
オフィスアワー	毎週木曜日 10:00~17:00(太田)						

授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当	
1	1)	【講義概要の説明】 本講義の目標について理解する。	講義・演習	太 田	
2	2)	【音声とは何か】 音声学の研究対象について理解する。	講義・演習	太 田	
3	2)	【音声生成の仕組み】 音声生成の基本的な仕組みについて理解し、音声生成にかかわる音声器官を列挙できる。	講義・演習	太 田	
4	3)	【音声学と音韻論】 音韻論と音声学の違いについて理解し、例を挙げて説明することができる。	講義・演習	太 田	
5	3)	【単音(1) 単音の分類と音声表記】 音素、単音の概念、国際音声字母(IPA)の分類基準について説明できる。	講義・演習	太 田	
6	3)	【単音(2) 日本語の母音 1】 日本語の母音の調音を国際音声字母の方法に基づき記述できる。	講義・演習	太 田	
7	3)	【中間試験】 音声器官の名称と日本語の母音の記述法についての知識を定着させる。	講義・演習	太 田	
8	3)	【単音(3) 日本語の子音 1】 日本語の子音の調音を国際音声字母の方法に基づき記述できる。	講義・演習	太 田	
9	3)	【単音(4) 日本語の子音 2】 日本語の子音の調音を国際音声字母の方法に基づき記述できる。	講義・演習	太 田	
10	2)	【単音(5) 日本語の子音 3】 日本語の子音の調音を国際音声字母の方法に基づき記述できる。	講義・演習	太 田	
11	3)	【単音(6) 日本語の子音 4】 日本語の子音の調音を国際音声字母の方法に基づき記述できる。	講義・演習	太 田	
12	3)	【単音(7) 日本語の子音 5】 日本語の子音の調音を国際音声字母の方法に基づき記述できる。	講義・演習	太 田	
13	4)	【歯科疾患と発音の関係】 (1): 不正咬合と発音の関係	講義・演習	中 村	
14	4)	【歯科疾患と発音の関係】 (2): 舌癖と発音の関係①	講義・演習	中 村	
15	4)	【歯科疾患と発音の関係】 (3): 舌癖と発音の関係②	講義・演習	中 村	
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。			
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。			

科目名	音響学・聴覚心理学			授業コード	121632B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年次)言語聴覚コースに必修			ナンバリング	51S322P01	AL 科目	○
担当者	村田公一(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リデーNo.	コミュニケーション機能および言語機能と聴覚機能とは密接に関連するので、聴覚を生起させる音響そのものについて理解を深めることは、言語聴覚士を目指す上で重要である。そこで、言語聴覚障害に関わる知識・技能を用いて、評価に必要なプロセス(情報収集・観察・正確な検査の解釈・問題の抽出・全体像の把握)を遂行できるようになるために(DP3)、本科目では、言語聴覚士にとって必要な音響に関する基礎知識、音響・聴覚機能・発声発語機能等に関する測定、あるいは臨床検査に際して必要となる音響学的知識を修得する(CP1(4))。						
学修目標	1) 音について理解、説明できる 2) デシベルについて理解、説明できる 3) 音の心理物理学について理解、説明できる 4) 閾値の概念について理解、説明できる 5) 聴覚理論について理解、説明できる 6) 音の高さについて理解、説明できる 7) 感覚閾値と弁別閾値について理解、説明できる 8) 等ラウドネス曲線について理解、説明できる 9) スペクトル、マスクングについて理解、説明できる 10) 両耳聴について理解、説明できる						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	最終試験(100%)にて評価を行う。 最終講義前日までに学生から講義に関する質問を集め、最後の講義時間にそれらの質問に対する解説とテスト対策を行い、フィードバックとする。						
準備学習・ 履修上の注意等	事前配布した資料について講義の前に通読し、すぐに理解できる内容と理解できない内容に分けてから講義に臨んでください。試験以外に課題は設けませんので、フィードバックもありません。試験については読みやすい字で、日本語として理解しやすい文章でお願いします。						
オフィスアワー	集中講義時の休憩時間						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	音について1:音とは何か。波としての特徴				講 義	村 田
2	1)	音について2:波の独立性(音の干渉、定常波、唸り、ノイズキャンセリング)				講 義	村 田
3	1)	音について3:ホイヘンスの原理、回折、反射、屈折				講 義	村 田
4	1)	音について4:ドップラー現象				講 義	村 田
5	1)	音について5:管共鳴(開管共鳴と閉管共鳴及び外耳道共鳴、声道共鳴)				講 義	村 田
6	2)	デシベルについて:音圧とデシベルの関係(デシベルの必要性)				講 義	村 田
7	3)	音の心理物理学:心理量と物理量、感覚とは、感覚の種類、心理量と物理量との関係(音と聴覚の三属性)				講 義	村 田
8	4)	閾値の概念:可聴範囲、閾値、most comfortable level、uncomfortable level				講 義	村 田
9	5)	聴覚理論:場所説、頻度説、斉射説、進行波説				講 義	村 田
10	6)	音の高さ:周波数と高さの関係(mel 尺度)、二つの高さ知覚の機能(時間ピッチと場所ピッチ)				講 義	村 田
11	7)	感覚閾値と弁別閾値:音の弁別閾、ウェーバーフェヒナーの法則				講 義	村 田
12	8)	等ラウドネス曲線:ラウドネスレベル(phon)、ラウドネス(sones)、短音の最小可聴値				講 義	村 田
13	9)	スペクトル:サウンドスペクトログラム				講 義	村 田
14	9)	マスクング:I.同耳マスクング(A.同時マスクング(1.純音同士のマスクング 2.雑音によるマスクング、臨海帯域幅)、 両耳間マスクング II.経時マスクング				講 義	村 田
15	10)	両耳聴:1.両耳聴現象 2.方向知覚				講 義	村 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		なし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なし					

科目名	言語発達学	授業コード	120362B601	単位数 (時間数)	2単位 (30)		
配当学科(学年)	臨床心理学科(1年)	ナンバリング	51S112P03	AL科目	○		
担当者	松山 光生(臨心)	開講学期	2026年度後期	必修・選択	必修	授業形態	講義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リジーNo.	言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用いて評価、支援を行う言語聴覚士及び心理士になるために、コミュニケーションと言語の機能を把握し、乳幼児期を中心に、各時期の言語発達とその原理、評価方法について必須の知識を習得する。						
学修目標	1)コミュニケーションと言語の役割や、各機能が理解できる。 2)言語発達の各時期とその特徴について説明できる。 3)言語発達に関連する研究と諸説について説明できる。 4)言語発達の把握方法を理解できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(松山)は、臨床発達心理士、公認心理師としての実務経験に基づき、実践を意識した授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	毎回の講義中に学生に質問し、解答を求める。また、学生からの積極的な質問を歓迎する。私語は厳禁する。居眠りも慎むこと。これらが授業態度と関係する。 毎回、授業終了時に、小テストを行う(資料閲覧可)。中間試験の範囲と実施日は2週間前に告知するが、出来る限り参加すること(中間試験の再試、追試は原則、行ないません)。						
準備学習・ 履修上の注意等	次のように、1回授業につき240分を目安に予習、復習を行うこと。 授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。 返却された小テストを再び、自分で解き完全に答えられるようにしておくこと。						
オフィスアワー	毎週火・水曜日 18:15~19:15						

授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方 法	担 当
1	1)3)	【コミュニケーションの意味と方法を学ぶ】 バーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーションの役割と種類を説明できる。	講義	松山
2	1)3)	【言語を捉える側面を学ぶ】 言語を捉える3側面と語用論について説明できる。	講義	松山
3	1)3)	【言語の機能について考える①】 言語の3大機能を理解し、行動調節機能として言語について考えることができる。	講義	松山
4	1)3)	【言語の機能について考える②】 思考の体制化として言語について考えることができる。	講義	松山
5	1)2)	【言語発達の区分について学ぶ】 乳児期から児童期までの言語発達の区分を列挙できる。	講義	松山
6	1)2)	【前言語期の発達について学ぶ①】 前言語の音声言語発達について説明できる。	講義	松山
7	1)2)	【前言語期の発達について学ぶ②】 前言語のコミュニケーション発達について説明できる。 ※この単元終了後、中間試験を実施する	講義	松山
8	1)2)	【幼児期の語彙と構文の発達について学ぶ①】 幼児期の語彙と構文の発達の概要について説明できる。	講義	松山
9	1)2)	【幼児期の語彙と構文の発達について学ぶ②】 幼児期の語彙と構文の発達の様相とその過程について理解できる。	講義	松山
10	4)	【言語発達の測定方法について学ぶ①】 幼児期の構文と語彙の発達評価方法が列挙できる	講義	松山
11	4)	【言語発達の測定方法について学ぶ②】 PVT-Rの目的と実施方法を説明でき、評価結果から言語発達水準を読み取れる。	講義	松山
12	2)3)	【幼児期及び児童期の読み書きの発達について学ぶ①】 幼児期及び児童期の読み書きの発達の概要について説明できる	講義	松山
13	2)3)	【幼児期及び児童期の読み書きの発達について学ぶ②】 幼児期及び児童期の読み書きの発達の促進要因と阻害要因を考えられる。	講義	松山
14	1)3)	【言語獲得理論について学ぶ①】 言語獲得理論の諸理論について列挙できる。	講義	松山
15	1)3)	【言語獲得理論について学ぶ②】 言語獲得理論の諸理論の原理について説明できる。	講義	松山

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	特に指定しない。
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	言語聴覚障害総論Ⅱ(山崎京子編)建帛社【7679-4502-X】 発達心理学辞典(岡本夏木・清水御代明・村井潤一監修)ミネルヴァ書房【4-623-02470-9】

科目名	言語コミュニケーション学		授業コード	121888B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科・言語聴覚コース(1 年生)		ナンバリング	51S122P04	AL 科目	○	
担当者	倉澤 美智子(臨・臨)、岩村 秀世 (外部講師)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	必 須	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	言語コミュニケーション論では、言語学、音声学、音響学、聴覚心理学、言語発達学の観点から言語聴覚士に必要な基礎的知識を習得する。言語学の基礎、日本語の音韻論、形態論、統語論、意味論、語用論についての基本的な理解を深め、発声発語器官と構音、音声の基礎知識、音の物理的側面、音響管の周波数特性、音声生成の音響理論、言語音の生成と知覚、音声の音響分析、音の心理物理学、聴覚の周波数分析とマスキング分析、両耳の聞こえ、言語の発達に関する知識といった総合的な言語聴覚士としての基本的な知識を踏まえ、言語聴覚障害の全体像の概要を理解するために、人間のコミュニケーションや言語に関する基本事項を修得を目指す。具体的には、1)言語とコミュニケーションの特徴について説明できる、2)「スピーチ・チェーン」について説明できる、3)成人の言語聴覚障害の概要について説明できる、4)小児の言語聴覚障害の概要について説明できることを目指す。(DP1,2,6)(CP1(1,2,5,6),2(1,2))						
学修目標	1) 言語学の基本的知識について説明できる。 2) コミュニケーションにおける言語の特徴を説明できる。 3) スピーチチェーンとコミュニケーションの関係について説明できる。 4) 対象者に応じた言語聴覚障害の概要について説明できる。 5) 効果的なコミュニケーション方略について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	言語聴覚士として臨床経験を持ち、かつ、日本語教員免許を持つ主担当倉澤は、これまで培ってきた言語学分野における知識の元に講義を行う。また、外部講師の岩村は臨床現場におけるコミュニケーション方略について講義を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業毎のレポート課題や小テストにより形成的評価を行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、レポート、小テスト等)の評価を 30%、学期末の単位認定試験(レポートを含む)を 70%として単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	日頃より行っているコミュニケーションに意識を向け、今後言語聴覚士を目指す上で必要なスキル UP のため、日々振り返りを行ってください。						
オフィスアワー	毎週水曜日の 12:30~13:00、講義の前後の時間						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	言語の基本的性質				講義・演習	倉 澤
2	1)2)	記号体系としての言語と生産性を支える性質				講義・演習	倉 澤
3	1)2)	言語記号の表象				講義・演習	倉 澤
4	1)2)	形態論と語構造の形成				講義・演習	倉 澤
5	1)2)	統語論と文法				講義・演習	倉 澤
6	1)2)	動詞形態素と関わる文法要素				講義・演習	倉 澤
7	1)2)	意味論と語用論				講義・演習	倉 澤
8	2)3)	スピーチチェーンとコミュニケーション				講義・演習	倉 澤
9	4)	成人の言語聴覚障害の概要①				講義・演習・SGD	倉 澤
10	4)	成人の言語聴覚障害の概要②				講義・演習・SGD	倉 澤
11	4)5)	コミュニケーション方略①				講義・演習・SGD	倉 澤
12	4)5)	コミュニケーション方略②				講義・演習・SGD	倉 澤
13	4)	小児の言語聴覚障害の概要①				講義・演習・SGD	岩村(外部講師)
14	4)	小児の言語聴覚障害の概要②				講義・演習・SGD	岩村(外部講師)
15	1)~5)	まとめ:学習の振り返り				講義・演習・SGD	倉 澤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	言語聴覚士テキスト 第4版 (大森 孝一 他編)医歯薬出版【978-4-263-26690-8】 その他スライド資料等を配布						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	必要に応じて配布します。						

科目名	言語聴覚障害学総論			授業コード	121889B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(1年)			ナンバリング	51S122P02	AL 科目	○
担当者	倉澤美智子(臨心・臨心)、伊藤さゆり(臨心・臨心)、戸高翼(臨心・臨心)、外部講師(PT 中田、OT 津輪元)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソンNo.	言語聴覚障害学総論では、言語聴覚障害の特性と種類、言語聴覚士の役割・専門性および言語聴覚療法の基本概念を修得する。言語聴覚障害研究の基本的知識・技能を修得を目指す。(DP1,2,3,4,5,6) (CP1(1,2,5))						
学修目標	1)言語とコミュニケーションの特徴について説明できる 2)言語聴覚障害の種類について説明できる 3)成人の言語聴覚障害の概要について説明できる 4)小児の言語聴覚障害の概要について説明できる 5)言語聴覚士の歴史の概要について説明できる 6)言語聴覚士の仕事と役割について説明できる 7)地域言語聴覚療法の概要について説明できる 8)言語聴覚士と多職種との連携について説明できる						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(倉澤、伊藤、戸高)は、医療機関での言語聴覚士としての豊富な臨床経験を活かして、より実践的な授業を展開する。						
評価及びフィード バックの方法	授業毎の小テストやレポートにより形式的に評価し単位認定を行う。小テストやレポートについては最終回のまとめの回でフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	毎回の講義ごとに予習・復習を行うこと。						
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準じる。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)2)5)	言語聴覚士の仕事				講義・SGD	倉 澤
2	6)	言語聴覚障害入門①				講義・SGD	倉 澤
3	3)4)	言語聴覚障害入門②				講義・SGD	倉 澤
4	3)4)8)	言語聴覚士の養成①				講義・SGD	戸 高
5	6)	言語聴覚士の養成②				講義・SGD	戸 高
6	6)	言語聴覚療法の評価①				講義・SGD	戸 高
7	6)	言語聴覚療法の評価②				講義・SGD	戸 高
8	6)	言語聴覚療法とチームアプローチ①				講義・SGD	伊 藤
9	8)	言語聴覚療法とチームアプローチ②				講義・SGD	伊 藤
10	7)	言語聴覚士の職業倫理				講義・SGD	伊 藤
11	7)	言語聴覚士のリスクマネジメント				講義・SGD	伊 藤
12	8)	言語聴覚士の研究活動				講義・演習・SGD	伊 藤
13	8)	言語聴覚士と他職種連携: 理学療法士の立場から				講義・演習・SGD	外部講師(岸本)
14	2)6)7) 8)	言語聴覚士と他職種連携: 作業療法士の立場から				講義・演習・SGD	外部講師(岸本)
15	2)6)7) 8)	言語聴覚士と他職種連携: 看護師の立場から				講義・演習・SGD	外部講師(岸本)
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	クリア言語聴覚療法1 言語聴覚障害学総論 (内山量史・鈴木真生編)【978-4-7679-4551-4】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	標準言語聴覚障害学 言語聴覚障害概論第2版(藤田郁代他編)医学書院【978-4-260-03816-4】 最新言語聴覚学講座 言語聴覚障害学概論(倉智雅子他編)医歯薬出版株式会社【978-4-263-27071-4】						

科目名	言語発達障害学Ⅱ			授業コード	120364B601	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51S222P06	AL科目	○
担当者	戸高 翼(臨・臨)、東江 浩美(非常勤講師)	開講学期	2026年度後期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ ルターNo.	言語聴覚士として言語発達障害のある子どもたちに適切に関わっていくためには、定型的な発達の理解、言語発達障害の概要、アセスメントや支援技法を身につける必要がある。 「言語発達障害学Ⅱ」では、多様な状態を示す言語障害、発達障害の子どもや発達が気になる子どもとその家族に対して、適切なアセスメントができる言語聴覚士になるために(DP3)、各種言語発達に対応した検査・評価方法の概要と評価診断のあり方を理解し、概説できる力を修得する(CP1(5))。						
学修目標	1)言語発達障害の評価の観点と方法を説明できる。 2)各種検査の概要を理解し、説明できる。 3)臨床現場におけるアセスメントの概略を理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	戸高:言語聴覚士としての医療・教育現場での5年以上の実務経験に基づき、臨床的視点の習得を含めた講義を行う。 東江:言語聴覚士としての豊富な実務経験、および国リハ式<S-S法>言語発達遅滞検査の監修者としての立場から、実践的な講義を行う。						
評価及びフィード バックの方法	各回の授業で学習内容の確認小テストを授業開始時、終了時に実施した授業内容に関する課題配布を行う。小テストについては、採点は授業担当が行い、返却時に学習成果をフィードバックする。課題は、次回授業開始時に提出し、授業担当が内容の確認をし、解説内容に過不足がある場合は、解説を行う。授業時間外の学習への取り組み姿勢(確認小テストや課題内容)を20%、自発的な質問・発言など授業への主体的な参加態度を10%、学期末の単位認定試験70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業内容の項目について、教科書の該当ページを読み、予習しておくこと。</li> <li>返却された確認テストや課題を用いて、学習内容の復習すること。</li> <li>確認テストや課題は返却するので、必ず各自でファイルすること。また、同じファイルに配布資料もまとめ、質問する際には、それらを持参すること。</li> <li>この資料はチューター面談等にも使用される。</li> <li>SGDでは、自ら能動的に考える場であること理解し、間違っても良いので、積極的に自分の考えを述べること。</li> </ul>						
オフィスアワー	戸高:日時-毎週(月)(木)12:20~13:00、場所-研究室 東江:講義前後の休み時間、場所-講義室						

#### 授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当			
1	1)	評価とは:①評価の目的を知り、流れを理解する、②情報収集の方法を理解する、③検査の対象領域、標準的な検査の流れを知る	講義・SGD	戸 高			
2	1)~3)	発達検査:各発達検査の名称と対象、概要を理解する	講義・SGD	戸 高			
3	1)~3)	知能検査:各発達検査の名称と対象、概要を理解する(1)	講義・SGD	戸 高			
4	1)~3)	知能検査:各発達検査の名称と対象、概要を理解する(2)	講義・SGD	戸 高			
5	1)~3)	言語検査:各言語検査の名称と対象、概要を理解する	講義・SGD	戸 高			
6	1)~3)	言語検査:国リハ式<S-S法>言語発達遅滞検査(理論的枠組みなど)を理解する	講義・SGD	東 江			
7	1)~3)	言語検査:国リハ式<S-S法>言語発達遅滞検査(症状分類など)を理解する	講義・SGD	東 江			
8	1)~3)	言語検査:国リハ式<S-S法>言語発達遅滞検査(検査の実施手続き・記録法)を理解する	講義・SGD	東 江			
9	1)~3)	言語検査:国リハ式<S-S法>言語発達遅滞検査(検査の実施手続き・記録法)を理解する	講義・SGD	東 江			
10	1)~3)	言語検査:LC-R(検査の実施手続き・記録法)を理解する	講義・SGD	戸 高			
11	1)~3)	学習・認知検査:各学習・認知検査の名称と対象、概要を理解する(1)	講義・SGD	戸 高			
12	1)~3)	学習・認知検査:各学習・認知検査の名称と対象、概要を理解する(2)	講義・SGD	戸 高			
13	1)~3)	視知覚認知検査、読み書き検査:各検査の名称と対象、概要を理解する	講義・SGD	戸 高			
14	1)~3)	コミュニケーション検査:各コミュニケーション検査の名称と対象、概要を理解する	講義・SGD	戸 高			
15	1)~3)	まとめ:言語聴覚士が実施する検査の名称と対象、概要をさらに深める	講義・SGD	戸 高			
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	最新 言語聴覚学講座 言語発達障害学(石坂育代他編著)医歯薬出版株式会社【978-4-263-27072-1】 国リハ式<S-S法>言語発達遅滞検査マニュアル(改訂第4版) エスコアール 【4-900851-24-8】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	必要に応じて紹介する。						

科目名	言語発達障害学演習 I		授業コード	121636A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)		ナンバリング	51S321P03	AL 科目	○	
担当者	戸高 翼(臨・臨)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態 講義・演習・SGD	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	言語発達障害をもつ子どもたちに適切な支援を行うためには、言語発達を支える基盤と前言語期から学童期までの定型的な言語発達を理解する必要がある。加えて、言語発達を評価し、結果を解釈する力が求められる。そこで、「言語発達障害学演習 I」では、「言語発達障害学 II」で学んだ各検査の特徴を理解した上で、対象児に必要な検査を選択し、実施できる言語聴覚士となるために(DP3)、言語発達障害の評価に用いられる知能検査、発達検査、言語検査の概要や記録、分析の方法を知り、多角的・総合的な評価方法を習得する(CP1(5))。						
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 言語発達障害の評価方法(基本的な検査方法の原理、施行方法など)について種類と目的を説明できる。</li> <li>2) 発達検査の概要や種類を理解し、各検査について検査内容や適応年齢を列挙することができる。</li> <li>3) 田中ビネー知能検査 V の施行方法、分析方法を理解し、実施することができる。</li> <li>4) WISC-V 知能診断検査の施行方法、分析方法を理解し、実施することができる。</li> <li>5) 日本版 K-ABC II の施行方法、分析方法を理解し、実施できる。</li> <li>6) DN-CAS の施行方法、分析方法を理解し、実施できる。</li> <li>7) LC-R の施行方法、分析方法を理解し、実施することができる。</li> <li>8) LCSA の施行方法、分析方法を理解し、実施することができる。</li> <li>9) PVT-R、質問応答関係検査の施行方法、分析方法を理解し、実施することができる。</li> <li>10) 視知覚認知検査の試行方法、分析方法を理解し、実施することができる。</li> <li>11) 読み書き検査の試行方法、分析方法を理解し、実施することができる。</li> <li>12) コミュニケーション評価の概要や種類を理解し、各検査について検査内容や適応年齢を列挙することができる。</li> </ol>						
実務経験のある 教員による教育	戸高: 言語聴覚士としての医療・教育現場での 5 年以上の実務経験に基づき、臨床的視点の習得を含めた講義を行う。						
評価及びフィード バックの方法	各回の授業で学習内容の確認小テストを授業開始時、終了時に実施した授業内容に関する課題配布を行う。小テストについては、採点は授業担当が行い、返却時に学習成果をフィードバックする。課題は、次回授業開始時に提出し、授業担当が内容の確認をし、解説内容に過不足がある場合は、解説を行う。授業時間外の学習への取り組み姿勢(確認小テストや課題内容)を 20%、自発的な質問・発言など授業への主体的な参加態度を 10%、学期末の単位認定試験 70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容の項目について、教科書の該当ページを読み、予習しておくこと。</li> <li>・返却された確認テストや課題を用いて、学習内容の復習すること。</li> <li>・確認テストや課題は返却するので、必ず各自でファイルすること。また、同じファイルに配布資料もまとめ、質問する際には、それらを持参すること。</li> <li>この資料はチューター面談等にも使用される。</li> <li>・SGD では、自ら能動的に考える場であること理解し、間違っても良いので、積極的に自分の考えを述べること。</li> </ul>						
オフィスアワー	(月)(木)12:20~13:00、場所-研究室						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	オリエンテーション/言語発達障害に関する評価の目的と方法の復習 演習:遠城寺式乳幼児分析的検査法、乳幼児精神発達診断法の実施・記録の仕方を知る				講義・演習	戸 高
2	2)	演習:新版 K 式発達検査の実施・記録の仕方を知る				講義・SGD	戸 高
3	3)	演習:田中ビネー知能検査 V の実施・記録の仕方を知る				講義・SGD	戸 高
4	4)	演習:WISC-V の実施・記録の仕方を知る(1)				講義・SGD	戸 高
5	4)	演習:WISC-V の実施・記録の仕方を知る(2)				講義・SGD	戸 高
6	5)	演習:KABC-II の実施・記録の仕方を知る(1)				講義・演習	戸 高
7	5)	演習:KABC-II の実施・記録の仕方を知る(2)				講義・演習	戸 高
8	6)	演習:DN-CAS の実施・記録の仕方を知る				講義・SGD	戸 高
9	7)	演習:LC-R の実施・記録の仕方を知る				講義・SGD	戸 高
10	8)	演習:LCSA の実施・記録の仕方を知る				講義・SGD	戸 高
11	9)	演習:PVT-R、質問-応答関係検査の実施・記録の仕方を知る				講義・SGD	戸 高
12	10)	演習:視知覚認知検査の実施・記録の仕方を知る				講義・SGD	戸 高
13	11)	演習:読み書き検査の実施・記録の仕方を知る				講義・SGD	戸 高
14	12)	演習:コミュニケーション検査の実施・記録の仕方を知る				講義・SGD	戸 高
15	1)~ 12)	まとめ				講義・SGD	戸 高
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 言語聴覚学講座 言語発達障害学(石坂育代他編著)医歯薬出版株式会社【978-4-263-27072-1】 国リハ式<S-S法>言語発達遅滞検査マニュアル(改訂第4版) エスコアール 【4-900851-24-8】 言語・コミュニケーション発達の理解と支援:LC スケールを活用したアプローチ(大伴潔著)学苑社【978-4761408107】					

参考書(著者名)出版社名【ISBN】

必要に応じて紹介する。

科目名	言語発達障害学演習Ⅱ			授業コード	121637A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51S322P05	AL 科目	○
担当者	戸高 翼(臨・臨)、東江 浩美(非常勤講師)、内勢 美絵子(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	言語聴覚士として言語発達障害のある子どもたちに適切に関わっていくためには、定型発達の理解、アセスメントや支援技法を身につける必要がある。 「言語発達障害学演習Ⅱ」では、多様な状態を示す言語障害、発達障害の子どもたちや発達が気になる子どもとその家族に対して、適切な指導・助言ができる言語聴覚士になるために(DP3)、各種言語発達に対応した支援技法とその具体的な指導・助言の在り方を理解し、概説できる力を習得する(CP1(5))。						
学修目標	1)言語発達障害児に対する助言・訓練の在り方について説明できる。 2)養育者に対しての助言・指導の在り方について説明できる。 3)具体的な支援・訓練方法について説明できる。 4)言語発達障害児に対する臨床的アプローチの方法を知り、訓練立案および実施のポイントと基本的方法を説明できる。						
実務経験のある教員による教育	戸高:言語聴覚士としての医療・教育現場での5年以上の実務経験に基づき、臨床的視点の習得を含めた講義を行う。 東江:言語聴覚士としての豊富な実務経験、および国リハ式<S-S法>言語発達遅滞検査の監修者としての立場から、実践的な講義を行う。 内勢:作業療法士としての豊富な実務経験に基づき、感覚統合療法の概念や具体的な支援方法についての講義を行う。						
評価及びフィードバックの方法	各回の授業で学習内容の確認小テストを授業開始時、終了時に実施した授業内容に関する課題配布を行う。小テストについては、採点は授業担当者が行い、返却時に学習成果をフィードバックする。課題は、次回授業開始時に提出し、授業担当者が内容の確認をし、解説内容に過不足がある場合は、解説を行う。授業時間外の学習への取り組み姿勢(確認小テストや課題内容)を20%、自発的な質問・発言など授業への主体的な参加態度を10%、学期末の単位認定試験70%として、単位認定を行う。						
準備学習・履修上の注意等	・授業内容の項目について、教科書の該当ページを読み、予習しておくこと。 ・返却された確認テストや課題を用いて、学習内容の復習すること。 ・確認テストや課題は返却するので、必ず各自でファイルすること。また、同じファイルに配布資料もまとめ、質問する際には、それらを持参すること。 この資料はチューター面談等にも使用される。 ・SGDでは、自ら能動的に考える場であること理解し、間違っても良いので、積極的に自分の考えを述べること。						
オフィスアワー	戸高:(月)(木)12:20~13:00、場所=研究室 東江:講義前後の休み時間、場所=講義室 内勢:講義前後の休み時間、場所=講義室						
授業計画							
回数	学修目標 No.	授 業 内 容				授業方法	担当
1	1)2)	支援の枠組みと目標設定、指導・支援の原則を理解する				講義・演習	戸 高
2	1)~4)	【支援方法】発達論的アプローチ、学習理論に基づく方法、認知・言語的アプローチ、包括的アプローチ、語用論的アプローチ、AACについて理解する				講義・SGD	戸 高
3	1)~4)	【発達段階に即した支援】前言語期の支援のポイントを知る				講義・SGD	戸 高
4	1)~4)	感覚統合療法の実際を知る①				講義・演習・SGD	内 勢
5	1)~4)	感覚統合療法の実際を知る②				講義・演習・SGD	内 勢
6	1)~4)	【発達段階に即した支援】幼児期、学童期の支援のポイントを理解する				講義・演習	戸 高
7	1)~4)	障害別の指導・支援のポイントを理解する①:知的能力障害、特異的言語発達障害				講義・演習	戸 高
8	1)~4)	<S-S法>に基づく包括的言語的働きかけのプログラムを理解する				講義・演習	東 江
9	1)~4)	<S-S法>に基づく言語的働きかけの原理、実践を理解する				講義・演習	東 江
10	1)~4)	<S-S法>による言語訓練の実際を知る				講義・演習	東 江
11	1)~4)	障害別の指導・支援のポイントを理解する②:自閉スペクトラム症、注意欠如多動症				講義・演習・SGD	戸 高
12	1)~4)	障害別の指導・支援のポイントを理解する③:限局性学習症				講義・演習・SGD	戸 高
13	1)~4)	障害別の指導・支援のポイントを理解する④:重複障害				講義・演習・SGD	戸 高
14	1)~4)	事例を通じた訓練プログラムの立案、教材検討				演習・SGD	戸 高
15	1)~4)	まとめ				講義・SGD	戸 高
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	最新 言語聴覚学講座 言語発達障害学(石坂育代他編著)医歯薬出版株式会社【978-4-263-27072-1】 国リハ式<S-S法>言語発達遅滞検査マニュアル(改訂第4版) エスコアール 【4-900851-24-8】 言語・コミュニケーション発達の理解と支援:LCスケールを活用したアプローチ(大伴潔著)学苑社【978-4761408107】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	必要に応じて紹介する。						

科目名	発声発語障害学 I			授業コード	121894B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学部臨床心理学科 言語聴覚コース(2 年生)			ナンバリング	51S221P01	AL 科目	○
担当者	中村真理子(臨心・臨心)、田中敦(非常勤講師)、松井 麻実子(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	発話機能は、呼吸・発声・共鳴・構音およびプロソディーから構成される、極めて複雑なプロセスを経る機能であり、言語聴覚士になるための高い知識や技術の習得が必要となる。本演習では、話し言葉の障害を中心とした、リハビリテーションに関する臨床能力を修得する。具体的には、小児の機能性構音障害、器質性構音障害の評価・訓練を中心に、検査や行動観察を用いての患者の適切な評価、及びそこから導き出された訓練の立案・実施の能力を、講義・グループワークを通じて身につける(DP3&4, CP1-5)。						
学修目標	1)機能性構音障害における音の誤りの特徴と、対応する訓練法が理解できる(CP1-5)。 2)口唇・口蓋裂の特徴、口唇・口蓋裂に伴う異常構音の音響学的特徴、系統的訓練法が理解できる(CP1-5)。						
実務経験のある教員による教育	言語聴覚士(田中・松井)および歯科医師(中村)が、病院、歯科医院にて得た、口唇口蓋裂等構音障害に関わる疾患やそのリハビリテーションに関する知識・技術を提供する。						
評価及びフィードバックの方法	形成的評価として、授業態度、小テスト等で評価する。総括的評価として、単位認定試験を実施する。						
準備学習・履修上の注意等	前期で学習した頭頸部の解剖と音声学(特に音声記号)について復習をしてください。また、講義時間と内容の関係上、臨床実習では不足する知識・技術がかなり生ずる可能性があります。毎日 1 時間以上の予習・復習と、講義終了後においても継続的な話し言葉の障害に関する知識・技術の向上を図る必要があります。						
オフィスアワー	毎週火、水、木曜日 12:30-13:00						
授業計画							
回数	学修目標 No.	授 業 内 容				授業方法	担当
1	1)	機能性構音障害(1) 機能性構音障害の特徴・評価				講義・SGD	田 中
2	1)	機能性構音障害(2) 構音検査の実施 1				講義・SGD	田 中
3	1)	機能性構音障害(3) 構音検査の実施 2・訓練プログラム立案				講 義	田 中
4	1)	機能性構音障害(4) 機能性構音障害に対する訓練プログラム 1 音の産生訓練				講義・SGD	田 中
5	1)	機能性構音障害(5) 機能性構音障害に対する訓練プログラム 2 音の産生訓練				講義・SGD	田 中
6	1)	機能性構音障害(6) 機能性構音障害に対する訓練プログラム 3 系統的訓練				講義・SGD	田 中
7	2)	器質性構音障害(1) 口唇口蓋裂の原因、タイプ分類、手術 1				講 義	中 村
8	2)	器質性構音障害(2) 口唇口蓋裂の原因、タイプ分類、手術 2				講 義	中 村
9	2)	器質性構音障害(3) 口唇口蓋裂の歯科学的評価 1				講 義	中 村
10	2)	器質性構音障害(4) 口唇口蓋裂の歯科学的評価 2				講 義	中 村
11	2)	器質性構音障害(5) 口唇口蓋裂の歯科学的評価 3				講 義	中 村
12	2)	器質性構音障害(6) 口唇口蓋裂の異常構音へのアプローチ 1				講 義	松 井
13	2)	器質性構音障害(7) 口唇口蓋裂の異常構音へのアプローチ 2				講 義	松 井
14	2)	器質性構音障害(8) 口唇口蓋裂児を持つ保護者への指導				講 義	松 井
15	2)	器質性構音障害(9) 口唇口蓋裂児の成長に伴う経時的アプローチ				講 義	松 井
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	標準言語聴覚障害学 発声発語障害学 第4版(藤田郁代 監修) 医学書院【978-4-2600-6251-0】 言語聴覚士ドリル機能性構音障害 診断と治療社【978-4-263-44405-4】 言語聴覚士ドリル器質性構音障害 診断と治療社【978-4-787-82523-0】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	講義中に紹介します。						

科目名	発声発語障害学Ⅱ			授業コード	121895B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51S222P07	AL 科目	○
担当者	倉澤 美智子(臨・臨)、土屋 美智子(非常勤講師)、兒玉 成博(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	発声発語障害学Ⅱでは、音声障害者への支援、構音障害の概念と理論、構音障害の検査・評価など一連の話し言葉の障害(神経疾患による運動障害性構音障害、呼吸・発声・共鳴・構音およびプロソディーから構成される、極めて複雑なプロセスを経る機能であり、言語聴覚士になるための高い知識や技術の修得が必要となる。運動障害性構音障害、音声障害、吃音など専門的な障害への理解の修得を目指す。(DP1,3,6)(CP1(1,2,5),2(1,2))						
学修目標	1)呼吸・発声・共鳴・構音およびプロソディーについての特徴や評価・訓練法が理解できる。 2)運動障害性構音障害に関する特徴や評価・訓練法が理解できる。 3)吃音に関する評価・訓練法が理解できる。 4)音声障害の評価・訓練法が理解できる						
実務経験のある 教員による教育	本講義の担当全員は臨床経験 10 年以上の言語聴覚士であり、実務経験に基づいた、発声発語およびその障害に関わる知識・技術を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業毎のレポート課題等により形成的評価を行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、レポート等)の評価を 30%、学期末の単位認定試験を 70%として単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	毎日の予習・復習を行ってください。必要に応じ、レポートや確認テスト等を行います。						
オフィスアワー	倉澤:毎週水曜日の 12:30-13:00、講義の前後の時間 非常勤講師:講義前後の可能な時間						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	運動障害性構音障害(1)発症メカニズムと特徴				講 義	倉 澤
2	1)2)	運動障害性構音障害(2)運動障害性構音障害の原因疾患				講 義	倉 澤
3	1)2)	運動障害性構音障害(3)運動障害性構音障害の評価				講 義	倉 澤
4	1)2)	運動障害性構音障害(4)運動障害性構音障害の訓練				講 義	倉 澤
5	1)2)	運動障害性構音障害(5)臨床への応用				講 義	倉 澤
6	1)2)	運動障害性構音障害(6)音声分析				講 義	倉 澤
7	1)2)	運動障害性構音障害(7)まとめ;振り返り				講 義	倉 澤
8	4)	吃音(1) 吃音の基本的知識、吃音者の体験談の分析、吃音症状の理解				講 義	土 屋
9	4)	吃音(2) 吃音の進展段階と軌道論、原因論				講 義	土 屋
10	4)	吃音(3) 吃音の評価:吃音検査法、総合評価				講義・演習	土 屋
11	4)	吃音(4) 吃音の指導・訓練法				講 義	土 屋
12	5)	音声障害(1)				講 義	兒 玉
13	5)	音声障害(2)				講 義	兒 玉
14	5)	音声障害(3)				講 義	兒 玉
15	5)	音声障害(4)				講 義	兒 玉
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	標準言語聴覚障害学 発声発語障害学 第3版(藤田郁代 編) 医学書院【978-4-2600-4289-5】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	口蓋裂の言語臨床 第3版(岡崎恵子他編) 医学書院【978-4-260-01239-3】 言語聴覚士テキスト 第3版 (大森孝一 編)医歯薬出版【978-4-2632-6560-4】 器質性構音障害(授業・実習・国試に役立つ言語聴覚士ドリルプラス)(大塚 裕一 編)診断と治療社【978-4787825230】 機能性構音障害(授業・実習・国試に役立つ言語聴覚士ドリルプラス)(大塚 裕一 編)診断と治療社【978-4787824943】 運動障害性構音障害(授業・実習・国試に役立つ言語聴覚士ドリルプラス)(						

科目名	摂食嚥下障害学 I			授業コード	121896B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科 言語聴覚コース(2年)			ナンバリング	51S221P06	AL 科目	○
担当者	中村真理子(臨心・臨心)、佐藤秀夫(非常勤講師)、横山茂幹(外部講師)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い評価・訓練に必要なプロセスを遂行する(CP1-5)するうえで摂食嚥下障害は言語聴覚士が対象とする頻度が高い障害である。摂食嚥下障害とは、飲み込みが困難な状態であり、乳児から高齢者まで、多様な状態によって起こる問題である。飲むことができない、食べることができないことで、生命の危機に直面することもあり、摂食嚥下障害を早期に発見、対処することは、臨床的に極めて重要である。嚥下の定義、嚥下の仕組み、摂食嚥下障害をきたす要因、摂食嚥下障害の観察方法に関する知識を修得する(DP-3, 4)。						
学修目標	1) 正常な嚥下とそれに関わる筋肉、神経について説明できる。 2) 嚥下の正常発達、加齢による変化について説明できる。 3) 嚥下障害に関する評価の概要を知り、正常か異常かの判別ができる。 4) 飲食材の変化による嚥下の違いについて説明できる。 5) 薬物による副作用が嚥下に及ぼす影響について説明できる。						
実務経験のある教員による教育	科目担当者(中村)は臨床現場(岡山大学附属病院矯正歯科外来)において歯科医師として5年以上の臨床経験を有する。同じく科目担当者(佐藤)は臨床現場(鹿児島大学小児歯科外来)において歯科医師として5年以上の臨床経験を有する。科目担当者横山は言語聴覚士として5年以上の臨床経験を有する。						
評価及びフィードバックの方法	単位認定試験(100%)により評価する。						
準備学習・履修上の注意等	摂食・嚥下障害は、言語聴覚士の臨床で、最重要領域となっているため、予習として教科書の該当箇所を一読しておくこと。特に、解剖・生理学で学んだ消化管の解剖と生理をもう一度見直し、摂食・嚥下のプロセスがイメージできるようにすること。そのためにも、復習には1時間以上、2時間程度かける必要がある。講義終了後も、実習や臨床で十分取り組むことが出来るように、知識・技術を向上させていく必要がある。						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間						
授業計画							
回数	学修目標 No.	授 業 内 容				授業方法	担当
1	1)	嚥下と摂食の定義およびその違いについて、簡潔に説明することができる。				講 義	中 村
2	1)	嚥下に関わる諸器官の図をもとに、その名称を答えることができる。				講 義	中 村
3	1)	嚥下の期と相について、他の学生に説明することができる。				講義・SGD	中 村
4	1)~3)	正常に嚥下がなされるための要件について、自ら図を描いて説明ができる。				講義・SGD	中 村
5	1)~3)	VF、VEを見て、正常な嚥下と異常な嚥下の違いを説明できる。				講義・SGD	中 村
6	1)~3)	歯と咀嚼・嚥下との関係について説明できる。				講 義	中 村
7	1)~3)	準備期における摂食・嚥下障害について説明できる。				講 義	中 村
8	1)~3)	正常な嚥下運動について知るために、学生同士で演習を行う。水を飲むときや唾を飲むときに、喉頭や口腔周辺にどのような変化があるかを観察し、結果をディスカッションできる。				講義・SGD	中 村
9	1)~3)	加齢による嚥下障害のメカニズムを説明できる。				講 義	中 村
10	3)4)	加齢に伴う姿勢の変化、脳卒中による身体の拘縮による姿勢の変化について知り、それがどのような影響を及ぼすかを説明できる。				講義・SGD	中 村
11	3)4)	嚥下障害者にとって、食形態の違いは飲み込みに多大な影響を及ぼす。それはどのような機序で起こるかを説明できる。				講義・SGD	中 村
12	1)~3)	口腔がん患者のリハビリテーションにおける摂食・嚥下障害の評価・訓練				講 義	横 山
13	1)~3)	口腔がん患者のリハビリテーションにおける摂食・嚥下障害の評価・訓練				講 義	横 山
14	3)4)	小児の嚥下障害				講 義	佐 藤
15	5)	小児の嚥下障害				講義、	佐 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新言語聴覚学講座 摂食嚥下障害学(倉智雅子) 医歯薬出版【978-4-263-27075-2】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		言語聴覚療法学テキスト発声発語・摂食嚥下の解剖・生理学 メディカルビュー社【978-4-7583-2069-6】					

科目名	摂食嚥下障害学Ⅱ			授業コード	121897B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51S222P05	AL 科目	○	
担当者	倉澤 美智子(臨・臨)、山口 大樹 (非常勤講師)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソノ	摂食嚥下障害学Ⅱでは、言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い評価・訓練に必要なプロセスを遂行するうえで摂食嚥下障害は言語聴覚士が対象とする頻度が高い障害である。摂食嚥下障害および合併症、関連障害の基本的概念と知識を修得するを目指す。摂食・嚥下障害の治療・訓練、利用者本位の言語聴覚士になるための最重要領域として、臨床現場においてリハビリテーションの一翼を担うことのできる臨床能力を修得するために、摂食嚥下障害に関わる一連の評価(スクリーニング、嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査、摂食評価)について演習を通じて学び、摂食嚥下機能の評価と問題点の抽出、訓練プログラムが作成できる、高い技能を修得する。(DP1,2,3,4,5,6)(CP1(1,2,5),2(1,2))							
学修目標	1) 摂食嚥下の解剖と生理について理解し、説明できる。 2) 摂食嚥下機能と発達・加齢変化との関係、栄養障害について理解し、説明できる。 3) 摂食嚥下障害の評価・検査・診断について理解し、説明できる。 4) 介入の概要や口腔衛生管理・訓練や対応について理解し、説明できる。 5) リスク管理・薬剤管理・薬物療法や支援について理解し、説明できる。 6) 間接訓練について理解し、説明できる。 7) 直接訓練について理解し、説明できる。 8) 成人期・老年期における原疾患と評価・対処について理解し説明できる。 9) 小児期における原疾患と評価・対処について理解し説明できる。 10) 評価に基づいて訓練を選択し訓練計画を作成できる。 11) 地域リハビリテーションなど、摂食・嚥下障害に関わる他職種との関連性について理解し、説明できる。 12) 正常嚥下と嚥下障害の VF・VE 所見を理解し、説明できる。							
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(全員)は、病院等臨床現場における言語聴覚士、歯科医師としての 10 年以上の実務経験に基づき、摂食・嚥下に関わる解剖や疾患、障害の特徴及び、リハビリテーションに関する知識・技術の修得を目的とした授業を行う。							
評価及びフィード バックの方法	授業毎のレポート課題等により形成的評価を行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、レポート等)の評価を 30%、学期末の単位認定試験を 70%として単位認定を行う。							
準備学習・ 履修上の注意等	毎回の予習・復習を行ってください。必要に応じ、レポートや確認テスト等を行います。							
オフィスアワー	倉澤:毎週水曜日の 12:30-13:00、講義の前後の時間 非常勤講師:講義前後の可能な時間 その他教員の指示に従うこと。							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	摂食嚥下器官の解剖					講 義	倉 澤
2	1)	摂食嚥下の生理(摂食嚥下モデル)					講 義	倉 澤
3	2)	摂食嚥下機能と発達、加齢					講 義	倉 澤
4	3)	摂食嚥下障害の評価・検査・診断					講義・演習	倉 澤
5	4)	摂食嚥下障害への介入(1)					講 義	倉 澤
6	5)	摂食嚥下障害への介入(2)					講 義	倉 澤
7	6)	摂食嚥下の訓練(間接訓練)					講義・演習	倉 澤
8	7)	摂食嚥下の訓練(直接訓練)					講義・演習	倉 澤
9	8)	成人期・老年期の疾患についての評価・対処法・対応例					講 義	倉 澤
10	9)	小児期の疾患についての評価・対処法					講 義	倉 澤
11	10)	評価結果の解釈と訓練計画の立案					講義・演習	倉 澤
12	11)	摂食嚥下障害へのチームアプローチ					講 義	倉 澤
13	11)	摂食・嚥下障害の地域リハビリテーションの実際・関連職種の役割					S G D	倉 澤
14	12)	VF、VE による評価					講 義	山 口
15	12)	VF、VE による評価演習					講 義	山 口
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	最新 言語聴覚学講座 摂食嚥下障害学(倉知 雅子 編)医歯薬出版【978-4-263-27075-2】 摂食嚥下リハビリテーション(才藤 栄一・植田耕一郎 監修) 第3版 医歯薬出版【978-4-263-4447-4】 よくわかる 摂食・嚥下のメカニズム 第2版(山田 好秋書)医歯薬出版【978-4-263-44405-4】							
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	目で見える嚥下障害(DVD 付)(藤島 一郎) 医歯薬出版【978-4-263-21856-3】 摂食嚥下障害(授業・実習・国試に役立つ言語聴覚士ドリルプラス(大塚 裕一 編) 診断と治療社【978-4787823960】 その他、講義内で周知連絡行う。							

科目名	聴覚障害学 I			授業コード	120768B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51S221P02	AL 科目	○
担当者	戸高 翼(臨・臨)、倉澤 美智子 (臨・臨)、島田亜紀(非常勤講 師)、佐藤健(外部講師)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リデーNo.	言語聴覚士が聴覚障害のある児・者に適切に関わるためには、障害の理解に加え、的確なアセスメントおよび支援技法を身につけることが不可欠である。 「聴覚障害学 I」では、多様な状態を示す聴覚障害児・者およびその家族に対して、適切な支援・助言ができる言語聴覚士(DP3)の育成を目的とする。そのために、聴覚障害の基礎知識や聴覚補償手段など、幅広い知識の習得を通して、聴覚障害について体系的に概説できる力の修得を目指す(CP1(5))。また、聴覚障害は新生児期から高齢期まで生涯にわたる支援が必要であり、多様なアプローチ(DP1・DP3)が求められる。本講義では、各ライフステージに応じたリハビリテーションに貢献できるよう、臨床における基礎的知識の修得を目標とする(CP1(5))。						
学修目標	1) 聴覚機能における生活機能について説明できる。 2) 音や音声の特徴や聞こえとの関係について説明できる。 3) 聴力評価(心理物理学的測定法)の基礎とオーディオグラムについて説明できる。 4) 聴覚系の構造や機能について説明できる。 5) 難聴の種類や原因について説明できる。 6) 耳疾患の症状について説明できる。 7) 成人聴覚障害やリハビリテーションの概要について説明できる。 8) 補聴器の構造・機能の概要について説明できる。 9) 小児聴覚障害やリハビリテーションの概要について説明できる。 10) これまで学んだ内容について理解、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(戸高、倉澤)は、医療機関での言語聴覚士としての豊富な臨床経験に基づき、聴覚障害の(リ)ハビリテーションについてより実践的な授業を行う。 島田: 医師(耳鼻咽喉科)としての豊富な臨床経験に基づき、臨床的視点を含めた講義を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業毎のレポート課題や小テストにより形成的評価を行い、学習成果をフィードバックする。小テストを実施した場合は、採点は授業担当者が行い、返却時に不フィードバックする。レポート課題等は、次回授業開始時に提出し、授業担当者が内容の確認をし、解説内容に過不足がある場合は、解説を行う。授業時間外の学習への取り組み姿勢(確認小テストや課題内容、提出状況)を20%、自発的な質問・発言など授業への主体的な参加態度を10%、学期末の単位認定試験70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容の項目について、教科書の該当ページを読み、予習しておくこと。</li> <li>・返却された確認テストや課題を用いて、学習内容の復習すること。</li> <li>・確認テストや課題は、返却するので、必ず各自でファイルすること。また、同じファイルに配布資料もまとめ、質問する際には、それらを持参すること。</li> </ul> <p>この資料はチューター面談等にも使用される。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SGD では、自ら能動的に考える場であること理解し、間違っても良いので、積極的に自分の考えを述べること。</li> </ul>						
オフィスアワー	毎週火曜日～木曜日 12:30～13:00、講義の前後						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	聴覚の生活機能と聴覚障害の社会的側面を理解する				講義・SGD	倉 澤
2	2)	音と音声の基礎を理解する				講義・演習	倉 澤
3	3)	聴覚評価の基礎を理解する				講義・演習・SGD	戸 高
4	4)	耳の構造と機能を理解する				講 義	島 田
5	5)	難聴の分類と原因を理解する①				講義・SGD	戸 高
6	5)	難聴の分類と原因を理解する②				講義・SGD	戸 高
7	6)	耳疾患(外耳、中耳)を理解する				講義・SGD	戸 高
8	6)	耳疾患(内耳、中枢、めまい)を理解する				講 義	島 田
9	7)	補聴器の構造・機能を知る				講義・演習	佐 藤
10	8)	成人聴覚障害①(特徴と評価)を理解する				講義・SGD	倉 澤
11	8)	成人聴覚障害②(リハビリテーション・支援)を理解する				講義・SGD	倉 澤
12	9)	小児聴覚障害①(発達と特徴)を理解する				講義・SGD	島 田
13	9)	小児聴覚障害②(評価と療育)を理解する				講義・SGD	戸 高
14	9)	小児聴覚障害③(ハビリテーション・支援)を理解する				講義・SGD	戸 高
15	10)	まとめ: 講義の振り返り				講義・SGD	戸 高
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新 言語聴覚学講座 聴覚障害学(中川尚志他編)医歯薬出版【978-4-263-27074-5】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて紹介する。					



科目名	聴覚障害学Ⅱ			授業コード	120769B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51S222P08	AL 科目	○
担当者	倉澤 美智子(臨・臨)、戸高翼 (臨・臨)、外部講師(森本邦子、池ノ上あゆみ)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	言語聴覚士として聴覚障害のある児・者に適切に関わっていくためには、聴覚障害についての理解した上で、アセスメントや支援技法を身に付ける必要がある。 「言語聴覚障害学Ⅱ」では、指導・支援と計画、養育・就学支援と社会連携、就学・就労支援と社会連携、、コミュニケーション障害としての聴覚障害を理解し(DP1,2,3)、その種類と特性に応じた評価、指導・訓練ができる言語聴覚士となるために、小児聴覚障害、成人聴覚障害、高齢者の聴覚障害、視覚聴覚二重障害の特徴を理解し、必要な指導・支援方法の修得を目指す(CP1(1,2,5))。						
学修目標	1) 成人難聴の評価の方法について説明できる。 2) 成人難聴の指導・支援のポイントについて説明できる。 3) 小児難聴の評価の方法について説明できる。 4) 小児難聴の指導・支援のポイントについて説明できる。 5) 特異的な聴覚障害の種類と特徴について説明できる。 6) 音響環境と補聴援助・情報保障機器について説明できる。 7) 聴覚障害に関わる社会・地域資源の活用方法について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(倉澤、外部講師)は、医療・教育現場での20年以上の言語聴覚士としての豊富な経験に基づき、小児から高齢者までの聴覚(リ)ハビリテーションについて、より臨床的な授業を展開する。						
評価及びフィード バックの方法	授業毎のレポート課題や小テストにより形成的評価を行い、学習成果をフィードバックする。小テストを実施した場合は、採点は授業担当者が行い、返却時に学習成果をフィードバックする。課題は、次回授業開始時に提出し、授業担当者が内容の確認をし、解説内容に過不足がある場合は、解説を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、レポート、小テスト等)の評価を30%、学期末の単位認定試験を70%として単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	・授業内容の項目について、教科書の該当ページを読み、予習しておくこと。 ・返却された確認テストや課題を用いて、学習内容の復習すること。 ・確認テストや課題は、返却するので、必ず各自でファイルすること。また、同じファイルに配布資料もまとめ、質問する際には、それらを持参すること。 この資料はチューター面談等にも使用される。 ・SGDでは、自ら能動的に考える場であること理解し、間違っても良いので、積極的に自分の考えを述べること。						
オフィスアワー	毎週火曜～木曜日 12:30～13:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	復習:成人聴覚障害リハビリテーション(評価)を理解する				講義・演習	倉澤
2	2)	復習:成人聴覚障害リハビリテーション(指導・支援)を理解する				講義・演習	倉澤
3	3)	小児:成人聴覚障害リハビリテーション(評価)を理解する				講義・演習	戸高
4	4)	復習:小児聴覚障害リハビリテーション(指導・支援)を理解する				講義・演習	戸高
5	1)2)	成人聴覚障害の事例検討を行う				講義・演習・SGD	外部講師
6	3)4)	小児聴覚障害の事例検討を行う				講義・演習・SGD	外部講師
7	6)	臨床現場における難聴児・者の支援体制や補聴器、人工内耳症例の実際を知る				講義・演習・SGD	外部講師
8	6)7)	小児聴覚障害の学校教育における支援体制を理解する				講義・演習・SGD	戸高
9	5)	特異的な聴覚障害(一側性難聴、中枢性難聴)を理解する				講義・演習	倉澤
10	5)	特異的な聴覚障害(聴覚情報処理障害)を理解する				講義・演習	戸高
11	5)	視覚聴覚二重障害を理解する(原因疾患と病態、コミュニケーション手段)				講義・演習	倉澤
12	1)~7)	まとめ:聴覚障害の診断から支援までの流れを理解する				講義・演習	外部講師
13	6)	音響環境と補聴援助・情報保障機器を理解する				講義・演習	戸高
14	7)	聴覚障害に関わる社会・地域資源の活用と参加を理解する				講義・演習	戸高
15	1)~7)	まとめ				講義・演習	倉澤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	標準言語聴覚障害学 聴覚障害学第3版(城間将江他編)医学書院【978-4-260-04350-2】 最新 言語聴覚障害学講座 聴覚障害学(中川尚志他編)医歯薬出版【978-4-263-2707-45】 言語聴覚士ドリルプラス 聴覚障害(大塚裕一編)診断と治療社【978-4-7878-2459-0】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	発達と障害を考える本(9)ふしぎだね! ?聴覚障害のおともたち(倉内紀子監)ミネルヴァ書房【978-4-6230-5108-3】						

科目名	補聴器・人工内耳			授業コード	121644B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51S321P03	AL 科目	○	
担当者	倉澤美智子(臨・心)、石川 一葉 (非常勤講師)、外部講師(ゆずき 補聴器)、外部講師(メドエルジャ パン:安永)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	補聴器・人工内耳では、補聴器、人工内耳・人工中耳、聴覚・情報保障支援システムについて基本的な知識の修得を目指す。聴 覚障害児・者に対して、補聴器および人工内耳の聴覚(リ)ハビリテーションに貢献できる言語聴覚士になるために、適合・調整、 プログラミングなどの基本事項を理解した上で、小児および成人の評価や装用指導・訓練について知識・技術を修得する。また、 発症時期やライフステージを考慮した本人および家族への支援に必要な臨床的な知識の修得を目指す。 (DP1,2,3,4,5,6)(CP1(1,2,5)2(1,2,4))							
学修目標	1) 補聴器・人工内耳についての仕組みや構造について説明できる。 2) 対象者に応じた補聴器・人工内耳の装用指導・支援についての概要が説明できる。 3) 最新の人工聴覚器と適応基準について説明できる 4) 人工内耳のプログラミングの具体的方法について説明できる 5) 人工内耳の装用効果の評価法について説明できる 6) 成人の補聴器・人工内耳の装用指導・訓練の原則と方法について説明できる 7) 小児の補聴器・人工内耳の装用指導・訓練の原則と方法について説明できる							
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(倉澤、石川)は、医療機関での言語聴覚士としての豊富な臨床経験に基づき、より実践的な授業を展開する。							
評価及びフィード バックの方法	授業毎のレポート課題等により形成的評価を行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、レ ポート等)の評価を30%、学期末の単位認定試験を70%として単位認定を行う。							
準備学習・ 履修上の注意等	次のように、1回の授業につき1時間を目安に予習・復習を行うこと。 授業毎に提示されるテーマについてレポートを作成する。教科書の次回授業部分(授業時に指示)を読んでおく。							
オフィスアワー	毎週水曜日 12:30~13:00、講義の前後の時間							
授業計画								
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授 業 方 法	担 当
1	1)2)	聴覚補償機器(補聴器の構造と機能)					講義・SGD	倉 澤
2	1)2)	聴覚補償機器(補聴器の適合の理論と実際)					講義・SGD	倉 澤
3	1)2)	聴覚補償機器(人工聴覚機器の種類)					講義・SGD	倉 澤
4	1)2)3)	聴覚補償機器(幼児期の人工内耳マッピング)①					講義・SGD	倉 澤
5	1)2)3)	聴覚補償機器(幼児期の人工内耳マッピング)②					講義・演習・SGD	倉 澤
6	1)2)3)	補聴援助システム					講義・演習・SGD	倉 澤
7	2)3)	補聴器の適合・調整の適切性の判断と装用効果の評価①					講義・演習・SGD	石川一葉 補聴器科講師
8	2)3)	補聴器の適合・調整の適切性の判断と装用効果の評価②					講義・演習・SGD	石川一葉 補聴器科講師
9	3)	人工聴覚機器の進歩					講義・演習・SGD	石川一葉 補聴器科講師
10	4)	人工内耳システムを用いたプログラミングの実際①					講義・演習	石 川
11	4)	人工内耳システムを用いたプログラミングの実際②					講義・演習	石 川
12	4)5)	人工内耳のプログラミングの適切性の判断と装用効果の評価					講義・演習	石 川
13	6)	成人人工内耳の装用指導・訓練の原則と方法					講義・演習	石 川
14	7)	小児人工内耳の装用指導・訓練の原則と方法					講義・演習	石 川
15	4)5)6) 7)	まとめ:学習の振り返り					講義・演習	倉 澤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		聞こえの障がいと補聴器・人工内耳入門:基礎からわかるQ&A (黒田生子他編)学苑者【978-4-761-40838-1】 標準言語聴覚障害学 聴覚障害学第3版(城間将江他編)医学書院【978-4-260-04350-2】 言語聴覚士ドリルプラス 聴覚障害(大塚裕一編)診断と治療社【978-4-7878-2459-0】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		言語聴覚士テキスト 第3版(大森孝一他編)医歯薬出版【978-4-263-26560-4】 補聴器のフィッティングと適応の考え方 (小寺一興著)診断と治療社【978-4-7878-2274-1】						

科目名	言語聴覚障害学演習			授業コード	121901A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51S222P07	AL 科目	○	
担当者	伊藤さゆり(臨・臨)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ ルシ-No.	本演習では、言語聴覚士を目指す者が、模擬的な臨床場面を通して、利用者中心の言語聴覚療法に必要な基礎的臨床能力を身につけることを目的とする。 具体的には、コミュニケーション障害を生活場面から捉え、対象者の困りごとを分析し、その背景を理解した上で、支援の在り方について検討する。あわせて、グループワークや討議を通して、多様な視点から考察する力を養う。 また、当事者の体験や事例を踏まえながら、支援の試行や振り返りを行うことで、自らの関わり方を見直し、今後の学習および臨床実践につなげることを目標とする。							
学修目標	1) コミュニケーション障害を生活場面から捉え、対象者の困りごとを説明できる。 2) 基本的な評価・支援の視点をを用いて、支援の在り方を検討できる。 3) グループワークを通して、自分の考えを述べるとともに他者の意見を理解できる。 4) 演習を通じて、自らのコミュニケーションや支援の在り方を振り返ることができる。							
実務経験のある 教員による教育	担当者は、言語聴覚士として医療機関において高次脳機能障害者の評価および支援に従事した実務経験を有しており、その経験を活かして、臨床場面に即した評価の実施および解釈、支援の検討について講義・演習を行う。							
評価及びフィード バックの方法	各回の授業開始時にドリルテストを実施し、その得点は成績評価に含まれる。 筆記試験(期末試験およびドリルテスト):50% 授業内課題・提出物:30% 最終レポート:20% ※筆記試験には、期末試験およびドリルテストの結果を総合的に評価する(ドリルテストは複数回実施し、その平均点を用いる)。 ※期末試験は、授業内容およびドリルテストの内容を踏まえて出題する。 ※授業内課題・提出物には、グループワークや討議への参加状況、および体験に基づく課題を含む。							
準備学習・ 履修上の注意等	講義および演習形式で実施する。 主にグループワーク、ロールプレイ、事例検討を取り入れ、学生同士の討議や振り返りを重視する。また、当事者の体験や事例を参考にしながら、実践的な理解を深める。							
オフィスアワー	毎週(月・水・木)12:30-13:00、講義時間以外の在室中(研究室)							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション:本演習の目的と進め方					講 義	伊 藤
2	1)	コミュニケーション障害を生活から捉える					講 義	伊 藤
3	1)	多様なコミュニケーション障害の理解①					講 義	伊 藤
4	1)3)	多様なコミュニケーション障害の理解②(共通点の検討)					講 義	伊 藤
5	1)	事例の理解①:対象者の困りごとの整理					演 習	伊 藤
6	2)	事例の理解②:困難の背景要因の分析					演 習	伊 藤
7	2)3)	聞き取りと関わりの基礎(ロールプレイ)					演 習	伊 藤
8	2)	支援の検討①:支援の方向性の検討					演 習	伊 藤
9	2)	支援の検討②:具体的な方法の検討					演 習	伊 藤
10	2)3)	支援の試行①(ロールプレイ)					演 習	伊 藤
11	4)	支援の見直し:課題と改善点の整理					演 習	伊 藤
12	2)4)	支援の試行②(再ロールプレイ)					演 習	伊 藤
13	3)4)	当事者の視点からのフィードバック(予定)					演 習	伊 藤
14	4)	振り返り:自らの関わりの変化の整理					演 習	伊 藤
15	4)	まとめ:学びの統合と今後の課題					講 義	伊 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	言語聴覚療法 評価・診断学 第2版(深浦 順一 / 植田 恵 編集)【9784260-062794】 授業・実習・国試に役立つ 言語聴覚士ドリルプラス 器質性構音障害 診断と治療社【9784787825230】 授業・実習・国試に役立つ 言語聴覚士ドリルプラス 聴覚障害 診断と治療社【9784787824950】 授業・実習・国試に役立つ 言語聴覚士ドリルプラス 機能性構音障害 診断と治療社【9784787824943】 授業・実習・国試に役立つ 言語聴覚士ドリルプラス 高次脳機能障害 診断と治療社【97							
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	適宜紹介する。							





教科書(著者名)出版社名【ISBN】	今までに受けた講義/演習/実習で用いた教科書を適宜使用してください。
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	図解 言語聴覚療法技術ガイド(深浦順一 編集主幹)文光堂【978-4-8306-4511-2】 言語聴覚士リスク管理ハンドブック(山本 徹他編)ヒューマン・プレス【978-4908933080】 高次脳機能障害ポケットマニュアル 第3版(原 寛美監修)医歯薬出版【978-4263214985】 嚥下障害ポケットマニュアル第4版(聖隷嚥下チーム 著)医歯薬出版【978-4263-26569-7】 その他、今までに受けた講義/演習/実習で用いた教科書・参考書を適宜使用・引用してください。

科目名	動物人間関係学		授業コード	120802B601	単位数 (時間数)	2単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(1年)		ナンバリング	51C111P03	AL科目	×	
担当者	加藤 謙介(心理)	開講学期	2026年度前期	必修・選択	必修	授業形態 講義	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	本講義では、「アニマル・セラピー」の実践に関与する心理・福祉専門職になるために、「人間と動物の関係」をめぐる様々な事柄・問題についての正しい理解を深め、幅広く専門知識を習得する。【DP(1)(3)(5)・CP(2)】 具体的には、「アニマル・セラピー」「ペットという関係」「動物観」「動物の権利・動物の福祉」「人と動物の共生」などの小テーマについて学習する。その上で、人間と動物の関係を心理・福祉分野で活用するための知識を習得する。						
学修目標	1)いわゆる「アニマル・セラピー」の特徴と意義について説明できる。 2)「人間と動物の関係」の特徴・多様性を説明できる。 3)「人間と動物の関係」の具体例を列挙できる。 4)「人間と動物の関係」を支える「動物観」の特徴について説明できる。 5)「人間と動物の関係」をめぐる諸問題について、特徴と課題を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価及びフィード バックの方法	【フィードバック】毎回の授業後のショートレポートに基づく質疑応答によってフィードバックを行う。 【評価】学期末の試験によって評価する(100%)。						
準備学習・ 履修上の注意等	【準備学習(予習・復習等)時間】毎授業後次回授業内容のポイントを示すので、事前準備を行うこと。また、毎授業後に、1コマあたり1時間を目安に、必ず講義ノートを読み返すこと。 【履修上の注意等】本講義に際しては、心理学・福祉・医療等、幅広い分野に関心を持ち、様々な講義を受講していることが望ましい。また、他の受講生の迷惑になるような行為(私語等)は厳に謹んで頂きたい。 【出席登録について】本科目では、学生証による出席登録をしなかった場合、出席を認めないので注意すること(「学生便覧」参照)						
オフィスアワー	時間割が確定した後に研究室前に掲示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	5)	【1】イントロダクション 「人間と動物の関係」に関する問題群の概要について説明する。				講 義	加 藤
2	1)	【2】『アニマル・セラピー』とは何か？(1) いわゆる「アニマル・セラピー」の定義・歴史等について説明する。				講 義	加 藤
3	1)	【3】『アニマル・セラピー』とは何か？(2) いわゆる「アニマル・セラピー」の定義・歴史等について説明する。				講 義	加 藤
4	1)	【4】『アニマル・セラピー』とは何か？(3) いわゆる「アニマル・セラピー」の対象者・効果等について説明する。				講 義	加 藤
5	1)	【5】『アニマル・セラピー』とは何か？(4) いわゆる「アニマル・セラピー」の対象者・効果等について説明する。				S G D	加 藤
6	1)	【6】『アニマル・セラピー』とは何か？(5) いわゆる「アニマル・セラピー」に関する理論的観点について説明する。				講 義	加 藤
7	1)	【7】『アニマル・セラピー』とは何か？(6) いわゆる「アニマル・セラピー」に関する理論的観点について説明する。				講 義	加 藤
8	2)3)4) 5)	【8】『人と動物の関係』をめぐる諸問題(1) 「人と動物の関係」のうち、特に「家庭動物」との関わりから見える人間の心理・福祉・医療・生活の課題について説明する。				講 義	加 藤
9	2)3)4) 5)	【9】『人と動物の関係』をめぐる諸問題(2) 「人と動物の関係」のうち、特に「産業動物」との関わりから見える人間の心理・福祉・医療・生活の課題について説明する。				講 義	加 藤
10	2)3)4) 5)	【10】『人と動物の関係』をめぐる諸問題(3) 「人と動物の関係」のうち、特に「展示動物」との関わりから見える人間の心理・福祉・医療・生活の課題について説明する。				講 義	加 藤
11	2)3)4) 5)	【11】『人と動物の関係』をめぐる諸問題(4) 「人と動物の関係」のうち、特に「実験動物」との関わりから見える人間の心理・福祉・医療・生活の課題について説明する。				講 義	加 藤
12	2)3)4) 5)	【12】『人と動物の関係』をめぐる諸問題(5) 「人と動物の関係」のうち、特に「野生動物」との関わりから見える人間の心理・福祉・医療・生活の課題について説明する。				講 義	加 藤
13	2)3)4) 5)	【13】人と動物の『共生』(1) 都市部での人間と動物の『共生』の課題と展望について、「地域猫」活動の事例をもとに説明する。				講 義	加 藤
14	2)3)4) 5)	【14】人と動物の『共生』(2) 動物との「死別」という関係について、その特徴と対応を説明する。				講 義	加 藤
15	2)3)4) 5)	【15】人と動物の『共生』(3) これまでの授業内容を踏まえて、「動物人間関係学」の論点を説明する。				講 義	加 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	動物介在教育学			授業コード	120798B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51C222P09	AL 科目	×
担当者	加藤 謙介(心理)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	<p>本講義では、心理・福祉専門職の育成にあたって、特に「子どもと動物の関係」「動物を介した教育」をめぐる様々な事柄、・問題について、幅広く専門知識を習得する。【DP(1)(3)(5)・CP(6)】</p> <p>具体的には、「動物介在教育」「アニマル・セラピー」「法制度における動物飼育」「動物虐待と児童虐待」「メディアにおける人間と動物の関係」などの小テーマについて学習する。その上で、人間と動物の関係を心理・福祉分野で活用するための知識を習得する。</p>						
学修目標	<p>1)「人間と動物の関係」の特徴・多様性を説明できる。</p> <p>2)いわゆる「アニマル・セラピー」の特徴と意義について説明できる。</p> <p>3)いわゆる「動物介在教育」の特徴と意義について説明できる。</p> <p>4)学校等での動物飼育に関する意義と注意点について説明できる。</p> <p>5)「動物虐待」の特徴と課題、及び、対応のあり方について説明できる。</p> <p>6)絵本・映画などに描かれた「人間と動物の関係」の特徴について説明できる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	特になし。						
評価及びフィード バックの方法	<p>【フィードバック】毎回の授業後のショートレポートに基づく質疑応答によってフィードバックを行う。</p> <p>【評価】学期末の試験によって評価する(100%)。</p>						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>【準備学習(予習・復習等)時間】毎授業後次回授業内容のポイントを示すので、事前準備を行うこと。また、毎授業後に、1コマあたり1時間を目安に、必ず講義ノートを読み返すこと。</p> <p>【履修上の注意】本講義に際しては、心理学・福祉・医療、ならびに、保育・教育など、幅広い分野に関心を持ち、様々な講義を受講していることが望ましい。また、他の受講生の迷惑になるような行為(私語等)は厳に謹んで頂きたい。</p> <p>【出席登録について】本科目では、学生証による出席登録をしなかった場合、出席を認めないので注意すること(「学生便覧」参照)</p>						
オフィスアワー	時間割が確定した後に研究室前に掲示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)3)	【1】イントロダクション:「子どもと動物の関係」に関する問題群の概要について説明する。				講 義	加 藤
2	1)	【2】『人間と動物の関係とは?』:「人間と動物の関係」の種類について、13の「動詞」から説明する。				講 義	加 藤
3	2)	【3】『アニマル・セラピー』とは何か?(1):動物を「介在」させたケア実践である「アニマル・セラピー」について、定義・歴史等について説明する。				講 義	加 藤
4	2)	【4】『アニマル・セラピー』とは何か?(2):動物を「介在」させたケア実践である「アニマル・セラピー」について、対象者・効果等について説明する。				講 義	加 藤
5	2)	【5】『アニマル・セラピー』とは何か?(3):動物を「介在」させたケア実践である「アニマル・セラピー」に関する理論的観点について説明する。				講 義	加 藤
6	3)	【6】動物介在教育の実践(1):動物を「介在」させた教育実践である「動物介在教育」について、目的と意義を説明する。				講 義	加 藤
7	3)	【7】動物介在教育の実践(2):動物を「介在」させた教育実践である「動物介在教育」について、注意点と課題を説明する。				講 義	加 藤
8	4)	【8】法制度における「動物飼育」(1):学校等での動物飼育に関する法律・制度について説明する。				講 義	加 藤
9	4)	【9】法制度における「動物飼育」(2):学校等での動物飼育に関する法律・制度に基づき、教育現場での動物活用の課題について説明する。				講 義	加 藤
10	5)	【10】「動物虐待と児童虐待」(1):「動物虐待」の特徴と対応の困難さについて説明する。				講 義	加 藤
11	5)	【11】「動物虐待と児童虐待」(2):「動物虐待」と「児童虐待」「DV」との関連を述べ、対応のあり方について説明する。				講 義	加 藤
12	5)	【12】「動物虐待と児童虐待」(3):「動物虐待」防止に関わる「共感性」の特徴について説明する。				講 義	加 藤
13	6)	【13】メディアにおける「人間と動物の関係」(1):「人間と動物の関係」をテーマとした絵本の特徴と活用方法について説明する。				講 義	加 藤
14	6)	【14】メディアにおける「人間と動物の関係」(2):「教育現場における動物の活用」をテーマとした映画を取り上げ、その特徴と問題点について説明する。				講 義	加 藤
15	1)2) 3)4) 5)6)	【15】総括:これまでの講義内容を踏まえ、「子どもと動物の関係」に関する意義・課題・展望について説明する。				講 義	加 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	アニマルセラピー概論			授業コード	120004B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51C221P12	AL 科目	×
担当者	加藤 謙介(心理)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リデーNo.	<p>アニマルセラピー概論 I では、心理・福祉専門職育成にあたって、動物を介在したケア実践であるアニマルセラピーについて、実践の特色、効果、コーディネートの実際等、幅広く専門知識を習得する。【DP(1)(3)(5)・CP(6)】</p> <p>具体的には、「アニマルセラピーの概要」、「高齢者を対象とするアニマルセラピー」、「障がい者を対象とするアニマルセラピー」、「アニマルセラピーコーディネートの実際」などの小テーマについて学習する。その上で、人間と動物の関係を援助専門職分野で活用するための知識を習得する。</p>						
学修目標	<p>1)アニマルセラピーの概要を整理・説明できる。</p> <p>2)高齢者を対象とするアニマルセラピーの特徴を説明できる。</p> <p>3)障がい者を対象とするアニマルセラピーの特徴を説明できる。</p> <p>4)福祉施設における動物活用の意義と課題について、主に国内での実践事例に基づき説明できる。</p> <p>5)ボランティア・NPO の特徴と社会的役割について説明できる。</p> <p>6)「アニマルセラピーコーディネート」の特徴・注意点について説明できる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	特になし						
評価及びフィード バックの方法	<p>【フィードバック】毎回の授業後のショートレポートに基づく質疑応答によってフィードバックを行う。</p> <p>【評価】学期末の試験によって評価する(100%)。</p>						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>【準備学習(予習・復習等)時間】毎授業後次回授業内容のポイントを示すので、事前準備を行うこと。また、毎授業後に、1コマあたり1時間を目安に、必ず講義ノートを読み返すこと。</p> <p>【履修上の注意】本講義に際しては、心理学・福祉・医療など、幅広い分野に関心をもち、様々な講義を受講していることが望ましい。また、他の受講生の迷惑になるような行為(私語等)は厳に謹んで頂きたい。</p> <p>【出席登録について】本科目では、学生証による出席登録をしなかった場合、出席を認めないので注意すること(「学生便覧」参照)</p>						
オフィスアワー	時間割が確定した後に研究室前に掲示する。						

#### 授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当
1	1)	【1】イントロダクション:アニマルセラピーと「人と動物の関係」を説明できる。	講 義	加 藤
2	1)	【2】アニマルセラピーの概要(1):アニマルセラピーの定義・対象者・効果等を説明できる。	講 義	加 藤
3	1)	【3】アニマルセラピーの概要(2):より良いアニマルセラピー実践のための「注意点」について、概要を説明できる。	講 義	加 藤
4	2)	【4】高齢者とアニマルセラピー(1):高齢者を対象とするアニマルセラピーの特徴と効果について説明できる。	講 義	加 藤
5	2)	【5】高齢者とアニマルセラピー(2):高齢者を対象とするアニマルセラピーの理論的観点について説明できる。	講 義	加 藤
6	2)4)	【6】高齢者施設における動物活用(1):高齢者の施設ケアにおける動物活用について、国内の実践事例をもとに説明できる。	講 義	加 藤
7	2)4)	【7】高齢者施設における動物活用(2):高齢者の施設ケアにおける動物活用について、国内の実践事例をもとに説明できる。	講 義	加 藤
8	3)	【8】障がい者とアニマルセラピー(1):障がい者を対象とするアニマルセラピーの特徴と効果について説明できる。	講 義	加 藤
9	3)	【9】障がい者とアニマルセラピー(2):障がい者を対象とするアニマルセラピーの理論的観点について説明できる。	講 義	加 藤
10	3)4)	【10】障がい者施設における動物活用:障がい者の施設ケアにおける動物活用について、国内の実践事例をもとに説明できる。	講 義	加 藤
11	5)	【11】ボランティア・NPO の社会的役割:アニマルセラピーの担い手の一翼であるボランティア・NPO の特徴と社会的役割について説明できる。	講 義	加 藤
12	6)	【12】アニマルセラピーコーディネート(1):アニマルセラピー実践に必要な視点について、「5つの現場の声」をもとに説明できる。	講 義	加 藤
13	6)	【13】アニマルセラピーコーディネート(2):アニマルセラピー実践に必要な視点について、「5つの現場の声」をもとに説明できる。	講 義	加 藤
14	6)	【14】アニマルセラピーコーディネート(3):アニマルセラピー実践に必要な視点について、「5つの現場の声」をもとに説明できる。	講 義	加 藤
15	1)2) 3)4) 5)6)	【15】総括:これまでの講義内容を踏まえ、高齢者・障がい者を対象とするアニマルセラピーの意義と課題を説明できる。	講 義	加 藤

教科書(著者名)出版社名【ISBN】 使用しない

参考書(著者名)出版社名【ISBN】 使用しない。

科目名	アニマルセラピー演習 I			授業コード	121110A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年生)			ナンバリング	51C321P08	AL 科目	○
担当者	加藤 謙介	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・見学
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	本科目では、「アニマルセラピー」をより深く理解するための応用問題として、「災害時の人とペットの関係」を学ぶことを目的とする。具体的には、(1)「人とペットの関係」の意義と課題、(2)過去の災害事例における「人とペットの被災」、(3)「人とペットの災害対策」、等をサブテーマとし、「人とペットの被災」「人とペットの減災」のあり方から、「アニマルセラピー」の意義に関する実践的知識等を習得する。【DP(1)(3)(5)・CP(6)】						
学修目標	1)「人とペットの関係」の意義と課題について説明できる。 2)過去の災害事例における「人とペットの被災」の状況を説明できる。 3)「人とペットの災害対策」の特徴を説明できる。 4)人生の危機的状況における「人とペットの関係」の意義を理解し、アニマルセラピーとの関連を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし。						
評価及びフィード バックの方法	【フィードバック】演習内でのディスカッションを通してフィードバックを行う。 【評価】演習への参加(50%)、及び学期末の試験(50%)によって評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	見学は土・日となることもありうる。毎回の授業にたいして2時間程度の復習と予習をすること。 なお、各種感染症の拡大状況や、見学予定地の事情などによって、見学・実習等の講義内容が大幅に変更になる可能性があることを付記する。						
オフィスアワー	担当教員の研究室に掲示						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)-4)	オリエンテーション 演習 I の授業内容を説明できる。				講 義	加 藤
2	1)	「人とペットの関係」の意義と課題(1) 「人とペットの関係」のポジティブな側面を説明できる。				講義・演習	加 藤
3	1)	「人とペットの関係」の意義と課題(2) 「人とペットの関係」のネガティブな側面を説明できる。				講義・演習	加 藤
4	2)	過去の災害事例における「人とペットの被災」(1) 1980 年代～2010 年までの「人とペットの被災」の状況を説明できる。				講義・演習	加 藤
5	2)	過去の災害事例における「人とペットの被災」(2) 東日本大震災における「人とペットの被災」の状況を説明できる。				講義・演習	加 藤
6	2)	過去の災害事例における「人とペットの被災」(3) 東日本大震災における「人とペットの被災」の状況を説明できる。				講義・演習	加 藤
7	2)	過去の災害事例における「人とペットの被災」(4) 熊本地震における「人とペットの被災」の状況を説明できる。				講義・演習	加 藤
8	2)	過去の災害事例における「人とペットの被災」(5) 2020 年代の「人とペットの被災」の状況を説明できる。				講義・演習	加 藤
9	3)	「人とペットの災害対策」 「人とペットの災害対策」の概要を説明できる。				講 義	加 藤
10	1)2)3)	被災地域見学(1) 過去の災害被災地での「人とペットの関係」見学				見 学	加 藤
11	1)2)3)	被災地域見学(2) 過去の災害被災地での「人とペットの関係」見学				見 学	加 藤
12	1)2)3)	被災地域見学(3) 過去の災害被災地での「人とペットの関係」見学				見 学	加 藤
13	1)2)3)	被災地域見学(4) 過去の災害被災地での「人とペットの関係」見学				見 学	加 藤
14	1)2)3)	被災地域見学フォローアップ 被災地域見学の体験を共有し、自分の考えをまとめ説明できる。				演 習	加 藤
15	1)-4)	「人とペットの被災」から「アニマルセラピー」を考える 授業内容を踏まえて、「アニマルセラピー」の意義について説明できる。				演 習	加 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名	アニマルセラピー演習Ⅱ			授業コード	121111A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年生)			ナンバリング	51C322P06	AL 科目	○
担当者	加藤 謙介	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・見学
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	本科目では、「アニマルセラピー演習Ⅰ」での学びを基に、「災害時の人とペットとの関係」をより深く学ぶことを目的とする。具体的には、(1)「人とペットの関係」の意義と課題、(2)過去の災害事例における「人とペットの被災」、(3)「人とペットの災害対策」、(4)「人とペットの防災」と「人とペットの3つの避難」等をサブテーマとし、災害時の人とペットの関係のあり方から、「アニマルセラピー」の意義に関する実践的知識等を習得する。【DP(1)(3)(5)・CP(6)】						
学修目標	1)「人とペットの関係」の意義と課題について説明できる。 2)過去の災害事例における「人とペットの被災」の状況を説明できる。 3)「人とペットの災害対策」の特徴を説明できる。 4)「人とペットの防災」のあり方と、「人とペットの3つの避難」の特徴と備えを説明できる。 5)より良い「人とペットの関係」のあり方を理解し、アニマルセラピーとの関連を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし。						
評価及びフィード バックの方法	【フィードバック】演習内でのディスカッションを通してフィードバックを行う。 【評価】演習への参加(50%)、及び学期末の試験(50%)によって評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	見学は土・日となることもありうる。毎回の授業にたいして2時間程度の復習と予習をすること。 なお、各種感染症の拡大状況や、見学予定地の事情などによって、見学・実習等の講義内容が大幅に変更になる可能性があることを付記する。						
オフィスアワー	担当教員の研究室に掲示						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1-5)	オリエンテーション 演習Ⅱでの学びの内容を説明できる。				講 義	加 藤
2	1)	「人とペットの関係」の意義と課題 「人とペットの関係」のポジティブ・ネガティブな側面を説明できる。				講義・演習	加 藤
3	2)	過去の災害事例における「人とペットの被災」(1) 1980年代～2010年までの「人とペットの被災」の状況を説明できる。				講義・演習	加 藤
4	2)	過去の災害事例における「人とペットの被災」(2) 東日本大震災における「人とペットの被災」の状況を説明できる。				講義・演習	加 藤
5	2)	過去の災害事例における「人とペットの被災」(3) 熊本地震における「人とペットの被災」の状況を説明できる。				講義・演習	加 藤
6	2)	過去の災害事例における「人とペットの被災」(4) 2020年代の「人とペットの被災」の状況を説明できる。				講義・演習	加 藤
7	3)	「人とペットの災害対策」 「人とペットの災害対策」の概要を説明できる。				講 義	加 藤
8	4)	「人とペットの防災」と「人とペットの3つの避難」(1) 「人とペットの防災」のあり方と、「人とペットの3つの避難」の特徴と備えを説明できる。				講義・演習	加 藤
9	4)	「人とペットの防災」と「人とペットの3つの避難」(2) 「人とペットの防災」のあり方と、「人とペットの3つの避難」の特徴と備えを説明できる。				講義・演習	加 藤
10	2)3)4)	地域防災活動見学(1) 地域での「人とペットの防災」活動見学				見 学	加 藤
11	2)3)4)	地域防災活動見学(2) 地域での「人とペットの防災」活動見学				見 学	加 藤
12	2)3)4)	地域防災活動見学(3) 地域での「人とペットの防災」活動見学				見 学	加 藤
13	2)3)4)	地域防災活動見学(4) 地域での「人とペットの防災」活動見学				見 学	加 藤
14	1-4)	地域防災活動見学フォローアップ 地域での「人とペットの防災」活動見学の体験を共有し、自分の考えをまとめ説明できる。				演 習	加 藤
15	1-5)	「災害時の人とペットの関係」から「アニマルセラピー」を考える 授業内容を踏まえて、「アニマルセラピー」の意義について説明できる。				演 習	加 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					

科目名	動物適正飼養・トレーニング学			授業コード	121299B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(2年)			ナンバリング	51C221P13	AL科目	○
担当者	綾部 ゆみ子(非常勤講師)	開講学期	2026年度前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・実技
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソンNo.	人間と犬が共に豊かな生涯を送れる様に、人間は犬のことを理解し知識を得るために犬学・飼い主学を学び、終生飼養ができるよう総合的に学習する。						
学修目標	1・犬全般について知識を深める。 2・犬の健康管理について知る。 3・犬の衛生管理について知る。 4・犬のしつけについて知る。						
実務経験のある 教員による教育	1999年より仔犬のしつけ教室から老犬のしつけ教室までを行い、犬のしつけをもとに動物介在教育・介在療法・介在活動を行っている。その経験をもとに現場での実習に必要なアニマルセラピーを指導する。						
評価及びフィード バックの方法	レポート: 50% レポート提出2回の内容を総合的に評価し、指導にてフィードバックする。 平常点評価: 50% 受講状況、実技習得状況						
準備学習・ 履修上の注意等	毎授業後に授業内容の確認としてレポートにまとめておく事 実技室の清掃を授業前にしておく事						
オフィスアワー	授業前後の可能な時間						

授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方 法	担 当
1	1	犬全般について知識を深める(2コマ) ・人間と犬の関わりについて ・犬種について ・作業犬、使役犬について ・愛玩犬について	講 義	綾 部
2	2	パピー期についての基礎知識(4コマ) ・子犬の教育方法	講 義	綾 部
3	3	ジュニア期・成犬期・老犬期について基礎知識(1コマ)	講 義	綾 部
4	4	しつけ(2コマ) ・トイレのしつけ実技	実 技	綾 部
10	1234	施設学外実習(1コマ)	実 習	綾 部
6	3	犬の健康管理(2コマ) 獣医師による健康チェック実技	実 技	綾 部
7	4	犬の衛生管理(3コマ) 美容実技	実 技	綾 部

教科書(著者名)出版社名【ISBN】 使用しない。

参考書(著者名)出版社名【ISBN】 使用しない。

科目名	動物トレーニング実習			授業コード	121577A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51C222P10	AL 科目	○	
担当者	綾部 ゆみ子(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・実習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	<p>家族の一員と言われる犬と快適な生活を過ごすために、必要な教育方法を総合的に学習する。          犬の本能や習性、コミュニケーションの取り方等を学び、個々の犬の性格に適した教育方法を学習理論に基づき習得する。          また、トレーニング方法については陽性強化法を用いる事とする。          しつけされた犬とアニマルセラピーについて理解を深める。</p>							
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 犬の行動学を理解する。</li> <li>2. オペラント条件付けトレーニング法を理解する。</li> <li>3. 犬のボディランゲージやカーミングシグナルを理解する。</li> <li>4. 犬の基本的なトレーニングを実践する。</li> <li>5. アニマルセラピーについて学び理解を深める。</li> </ol>							
実務経験のある 教員による教育	<p>1999 年より子犬の飼い方指導や子犬・成犬・老犬のしつけ教室を行う。また、子犬の保育園から成犬の保育園を運営する。          しつけ教育のできた犬と一緒に動物介在教育・介在療法・介在活動を行っている。          その経験をもとに現場での実習に必要なアニマルセラピーを指導する。</p>							
評価及びフィード バックの方法	<p>レポート : 20% 授業期間中の1~2回のレポート課題の内容で評価する。          実 技 : 20% 授業期間中の実技トレーニング課題の内容で評価する。          平常点評価: 60% 受講状況、発言や意欲、行動などを総合的に評価する。</p>							
準備学習・ 履修上の注意等	<p>基礎知識を自主的に学び深めること。          実技室事前・事後清掃</p>							
オフィスアワー	講義前後の可能な時間							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授 業 方 法	担 当
1	1,2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬の行動学を学び理解する。</li> <li>・オペラント条件付けについて理解し深める。</li> <li>・陽性強化法トレーニングについて理解し実施する。</li> <li>・カーミングシグナルやボディランゲージについて理解し深める。</li> </ul>					講 義	綾 部
2-4	2,3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陽性強化法に基づいたトレーニング法を学ぶ。</li> <li>・基本トレーニング実践する。 (名前、呼び戻し、オスワリ、フセ、マテ、アイコンタクト)</li> <li>・抱き方について確認する。</li> <li>・犬のボディランゲージについて確認する。</li> </ul>					実 技	綾 部
5	1,2,4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理について学び理解を深める。</li> </ul>					講 義	綾 部
6	2,3,4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉用具(車イス)歩行器などの名称を学び使用法を理解する。</li> </ul>					講 義	綾 部
7-8	2,3,4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に福祉用具(車イス)や歩行器等を使用し犬の抱き方や歩行の仕方等を学び実践する。</li> </ul>					実 技	綾 部
9-11	2,3,4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理とケアについて学ぶ。 シャンプーの仕方、ドライヤーのあて方、ブラッシングの仕方</li> </ul>					実 技	綾 部
12	4,5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アニマルセラピーの活動内容について学ぶ。 「小林市 野菊の里」や「国立 宮崎東病院」等の訪問先について理解を深める。</li> </ul>					講 義	綾 部
13-14	4,5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アニマルセラピー実習(小林市 野菊の里)</li> </ul>					実 習	綾 部
15	1,2,3,4, 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アニマルセラピーを実践し体験したことを各自まとめ発表する。</li> </ul>					講 義	綾 部
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						

科目名	教育心理学		授業コード	120305B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・臨床心理学科(3年)		ナンバリング	51C321P09	AL 科目	○	
担当者	宇土 昌志(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	<p>1)教育心理学は、教育をより効果的なものにするために心理学の分野で明らかにされた知見を教育の分野に応用したり、また教育に関するさまざまな問題や諸現象について心理的な視点から解明したりすることで、教育の心理学的側面からの理論的な体系化や教育実践の方法を開発する分野である。DP-3、DP-4、CP-1</p> <p>2)本講義では、児童・生徒の心理的発達・学習の諸理論を押さえ、教育現場において生じる問題とその背景を考察する力を養い、教育現場の課題に対応する基礎を身につけることを目的とする。DP-1、DP-4、AP-1</p> <p>3)授業は、講義を中心にし、学習内容に関する個人やグループによる体験的なワーク、あるいは各トピックについてグループディスカッション(GD)を行う。CP-2、DP-1</p>						
学修目標	<p>1)子どもの発達や教育に関する心理学を学ぶ意義を理解している。</p> <p>2)子どもの発達(運動・言語・認知・社会性)の具体的な内容について理解している。</p> <p>3)学習に関する心理学の基礎(学習理論や動機づけ理論等)を理解している。</p> <p>4)代表的な学習指導と学習評価について理解している。</p> <p>5)学級集団にかかる個人・集団の心理学の基礎(パーソナリティ形成、リーダーシップ等)について理解している。</p> <p>6)学校不適応等の「問題」について多面的に理解を図る基礎的思考・態度を身につけている。</p>						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、公認心理師を有し、これまで高等学校教員や中学校の心理相談員、並びに中高生を含むスポーツ選手の心理臨床の実務経験を重ねてきている。それぞれの現場において、子どもの心理的発達、あるいは成熟に向き合ってきた経験や専門的知見に基づき、教育現場に関わる者に必要な理論や基本的態度の習得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習への取り組み姿勢(課題の提出・内容、質問・発言など授業への参加) 20%</li> <li>・学期末の単位認定試験 80% 詳細な評価の基準は授業内で説明</li> <li>・授業内の活動成果や提出課題等のフィードバック(講評・解説)は、基本的に授業時に実施(ユニバを活用する場合もある)</li> </ul>						
準備学習・ 履修上の注意等	授業回 1.5 時間を目安に予習・復習を行うこと。その他、毎授業後に振り返りシート(課題)を提出すること。						
オフィスアワー	授業前後の可能な時間にオンライン上、教室または非常勤講師室にて対応する。適宜、ユニバや教務を通じた問い合わせに依る。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	教育心理学とは				講義・GD	宇 土
2	1)2)	人の心と体はどのように発達していくのか				講義・GD	宇 土
3	2)3)	認知機能や感情・社会性はどのように発達していくのか				講義・GD	宇 土
4	2)3)	自己、親子関係、仲間関係はどのように発達していくのか				講義・GD	宇 土
5	2)3)	学習とは① どのように行動形成されていくのか				講義・GD	宇 土
6	2)3)	学習とは② どのように知識が身についていくのか				講義・GD	宇 土
7	2)3)	学習意欲はどのように捉えられるか				講義・GD	宇 土
8	2)3)	学習意欲はどのように高められるか				講義・GD	宇 土
9	3)4)	学習評価と観察				講義・GD	柳 田
10	5)6)	教師・学習者のリーダーシップと集団心理				講義・GD	宇 土
11	5)6)	いじめや不登校といった「問題」の見方・考え方				講義・GD	宇 土
12	4)5)	児童・生徒の心理理解の方法				講義・GD	宇 土
13	4)5)	主体的な学習の場の創出へ向けて① パーソナリティ形成を考える				講義・GD	宇 土
14	4)5)	主体的な学習の場の創出へ向けて② こころとからだのつながりを考える				講義・GD	宇 土
15	4)5)	主体的な学習の場の創出へ向けて③ 関係性を考える				講義・GD	宇 土
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		櫻井茂男監修・黒田祐二編著【改訂版】実践につながる教育心理学 北樹出版 2021年【ISBN: 978-4-7793-0654-9】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		中島登代子編著 心理療法の第一歩:こころのファンダメンタル 2017年【ISBN-10 4422116231】 山中康裕編著 風景構成法その後の発展 岩崎学術出版 1996年【ISBN-10 4753396088】					

科目名	教育相談		授業コード	120306B102	単位数 (時間数)	2単位 (30)	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・臨床心理学科(3年)		ナンバリング	51C322P07	AL科目	○	
担当者	小田 史郎(非常勤講師)	開講学期	2026年度後期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	教育相談は、生徒が自己理解を深め、好ましい人間関係を築きながら、学校・学級集団に適応する力を育みながら、さらに個性を伸ばし、人格の成長を支援する教育活動である。本講義では、子どもたちの発達や心理学的な支援の技法を学び、学校で起こるさまざまな問題について、学校という場で生徒をどう支援していくか、具体的なアプローチや問題の捉え方を学ぶこと(DP-1,2,3,4)を目的とする。生徒の発達の状況や心理的特質を把握し、教育的課題を解決するよう支援するために必要な基礎的知識(カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識)等(CP1-3・6,2-1,3-1・2)を身に付ける。授業は、前半講義を中心にし、後半は、毎「探究的学習」のための問題解決型学習とスモールグループディスカッション(SGD)を行う。						
学修目標	1)学校における教育相談の意義と課題を理解している。 2)子どもの心身の発達など教育相談のための心理学の基礎的な理論、概念を理解している。 3)学校生活の中での子どもの問題を把握する方法と支援方法について理解している。 4)学校教育におけるカウンセリングマインドの必要性を理解している。 5)カウンセリングの基礎的な姿勢や技法を理解している。(SGDを通じた他者の傾聴、受容と共感を身に付ける。) 6)校内組織による役割を踏まえ、生徒や保護者への必要な対応を理解している。 7)学校での問題行動に対して、発達を踏まえた教育相談の進め方を理解している。 8)教育相談に必要な校内体制の整備など組織的な取り組みの必要性を理解している。 9)学校内外の相談体制と連携の意義や必要性を理解している。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、教育現場(高等学校)での実務経験に基づき、理論と実践的取り組みの理解・習得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業中のワーク(SGD)の取組み姿勢と課されたレポート等 30%及び学期末の単位認定試験 70%を総括的評価する。SGD後のプリントについては、毎時提出させ提出させ、個々に添削コメント等も入れフィードバックを行いながら評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	・教職課程を取ることをまじめに考えているか、あるいは児童福祉分野やスクールカウンセラー等に関心があるか。 ・新聞・ニュースなどを通して現代の教育課題や親子関係等々に常に関心を持つこと。						
オフィスアワー	講義前・講義後に時間を確保し、個々に対話を行う。(課題揭示:個々へのフィードバック等々)						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	教育相談とは何か				講義・SGD	小 田
2	2)3)	【子どもの発達の問題とその支援①】 子どもの発達の特徴:乳幼児期・児童期・青年期				講義・SGD	小 田
3	2)3)6)	【子どもの発達の問題とその支援②】 子どもの発達の特徴をとらえるためのアセスメント : 観察法・面接法・心理検査法				講義・SGD	小 田
4	2)3)4) 6)	【子どもの発達の問題とその支援③】 子どもの発達の問題 : 広汎性発達障害・注意欠陥/多動性障害・学習障害など				講義・SGD	小 田
5	1)2)3) 4)5)	【子どもの発達の問題とその支援④】 特別支援教育とは				講義・SGD	小 田
6	2)3)4) 5)6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応①】 不登校の問題とその支援				講義・SGD	小 田
7	2)3)4) 5)6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応②】 子どもの問題行動とその支援Ⅰ : 非行など				講義・SGD	小 田
8	2)4)5) 6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応③】 子どもの問題行動とその支援Ⅱ : いじめ				講義・SGD	小 田
9	2)3)4) 5)6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応④】 子どもの社会性の問題とその支援				講義・SGD	小 田
10	2)3)6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応⑤】 教育相談に関わる精神医学				講義・SGD	小 田
11	1)3)5)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応⑥】 学内外の相談体制・連携のあり方				講義・SGD	小 田
12	1)3)5) 6)	【学校生活に関わる子どもの諸問題とその対応⑦】 教育相談に関わる危機介入				講義・SGD	小 田
13	2)3)4) 5)	【家族への支援】 子育てと家族の問題とその支援				講義・SGD	小 田
14	3)4)6)	【発達相談・教育相談のための心理療法の基礎①】 遊戯療法・表現療法・行動療法・認知行動療法等				講義・SGD	小 田
15	3)4)6)	【発達相談・教育相談のための心理療法の基礎②】 ブリーフセラピー・構成的グループエンカウンター・来談者中心療法・TFT・EMDR				講義・SGD	小 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	子どもの成長を支える発達教育相談 第4版(鎌倉 利光・藤本 昌樹 編著)北樹出版【978-4-7793-0548-1 C3011】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	生徒理解・指導と教育相談(牟田 悦子編)学文社【978-4-7620-1688-2】						

科目名	心理尺度構成法実習	授業コード	121574A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	心理、福祉コース 4 年	ナンバリング	51C321P02	AL 科目	
担当者	松山光生(臨心)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	本実習の目的は①臨床データの特性を理解した上で、②研究の目的に応じて適切な統計的な手法を選択でき、③統計ソフトを使ってデータを適切に解析ができ、④その結果を文章で表現できるようにする(DP3、6)。				
学修目標	1) 臨床データの特性が説明できる 2) 尺度の水準から統計の手法を適用できる 3) 研究の目的から統計の手法を適用できる 4) 統計ソフトを活用してデータを分析できる。 5) データ分析の結果に基づいて、レポートを書くことができる。				
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、臨床発達心理士、公認心理師としての実務経験に基づき、臨床的データの処理に関する知識、技術の習得を目的とした授業を行う。				
評価及びフィード バックの方法	課題レポート 6 回 30%、定期試験 40%、平常点 30%で総合的に評価する。なお、定期試験は、資料持ち込み可。				
準備学習・ 履修上の注意等	・心理学研究法および心理統計学を履修済みであること。 ・心理学の論文執筆等に興味があること。				
オフィスアワー	木曜日 12:30-13:00				

#### 授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当
1 回	1)2)	【尺度構成法とデータの特性を説明できる】 直接法、間接法、4つの尺度水準について説明できる	講 義	松 山
2 回	1)~4)	【統計ソフトでデータを読み込み、2変数の関連性が分析できる】 SPSS を使ってローデータを読み込み、相関係数を算出できる	講義・実習	松 山
3 回	5)	【2変数の関連性が解釈できる】 SPSS の結果から、相関の強さと有意性が判断できる	実 習	松 山
4 回	1)~3)	【研究目的に応じた変数の設定ができる】 説明変数と目的変数の関係を説明できる	講 義	松 山
5 回	4)	【2変数の相違が分析できる】 SPSS を使って t 検定ができる	実 習	松 山
6 回	5)	【2変数の相違が解釈できる】 SPSS の結果から、2 変数間の有意差が判断でき、変数の平均の大小を記述できる	実 習	松 山
7 回	4)	【3変数以上の相違が分析できる】 SPSS を使って分散分析ができ、その後の多重比較を行うができる	実 習	松 山
8 回	5)	【3変数以上の相違が解釈できる】 SPSS の結果から、3変数以上の間の有意差を判断し、その後の多重比較の解釈ができる	実 習	松 山
9 回	3)	【多変量解析の意味と種類が説明できる】 多変量解析の意味と種類が説明でき、重回帰分析と因子分析を位置づけられる	講 義	松 山
10 回	3)	【重回帰分析を理解できる】 重回帰分析の目的や方法を説明できる	講 義	松 山
11 回	4)	【重回帰分析を実施できる】 SPSS を使って重回帰分析ができ、必要な統計値を算出できる	実 習	松 山
12 回	5)	【重回帰分析の結果が解釈できる】 SPSS の結果から必要な統計値を読み取り、解釈できる	実 習	松 山
13 回	3)	【因子分析を理解できる】 因子分析の目的や方法を説明できる	講 義	松 山
14 回	4)	【因子分析を実施できる】 SPSS を使って因子分析ができ、必要な統計値を算出できる	実 習	松 山
15 回	5)	【因子分析の結果が解釈できる】 SPSS の結果から必要な統計値を読み取り、解釈できる	実 習	松 山

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	小塩真司 SPSS と AMOS による心理・調査データ解析 第3版または第4版(どちらでもよい) 東京図書
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	使用しない

科目名	キャリアカウンセリング			授業コード	121113B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(4年)			ナンバリング	51C421P03	AL 科目	○
担当者	横山 裕(心・心)	開講学期	2026 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	近年の新卒者に顕著な就業のしにくさやストレスフルな職場環境の出現によって様々な問題が引き起こされている。労働省が2000年に策定した「事業場における労働者の心の健康づくりのための指針」や内閣府に設置された緊急雇用対策本部でのキャリア形成の諸政策からもわかるように、キャリアカウンセリングのニーズは高まっている。本講義では、産業・キャリアカウンセリングが現状にどう対応可能であるかについて理解する(DP3,CP2)ことを目的とする。						
学修目標	1)カウンセリングの基本的説明ができる。 2)キャリアカウンセリングについて説明できる。 3)就業に関する問題について説明できる。 4)職場環境に起因する就業者の問題について説明できる。 5)カウンセリングの手法が活用できる。 6)キャリアカウンセリングの手法ができる。 7)厚生労働省の心の健康づくりのための指針について説明できる。 8)内閣府の緊急雇用対策の諸政策について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	公益財団法人介護労働安定センター介護人材育成コンサルタント						
評価及びフィード バックの方法	提出物の評価を 30%及び講義内小試験 70%として総括的評価を行う。オフィスアワーなどを活用して個別にフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	カウンセリングの技法について復習しておくこと。						
オフィスアワー	月水金 12:30~13:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	キャリアカウンセリングの歴史について知る。				講 義	横 山
2	2)	類似領域の産業カウンセリングについて知る。				講 義	横 山
3	1)2)	産業カウンセリングとキャリアカウンセリングの共通点と相違点について理解する。				講 義	横 山
4	3)	近年の就職をとりまく現状について知り、そこから発生する様々な問題について理解する。				講 義	横 山
5	4)	近年の職場環境の現状について知り、そこから発生する様々な問題について理解する。				講 義	横 山
6	4)7)	「事業場における労働者の心の健康づくりのための指針」について理解する。				講 義	横 山
7	4)5)	「事業場における労働者の心の健康づくりのための指針」にもとづく産業カウンセリングのあり方について理解する。				講 義	横 山
8	5)	産業カウンセリングの技法について知り、ロールプレイを通じて実際に活用できるようになる。				講 義	横 山
9	5)6)	産業カウンセリングとキャリアカウンセリングの技法の共通点と相違点について理解する。				講 義	横 山
10	8)	内閣府の緊急雇用対策の背景と実際の諸政策について理解する。				講 義	横 山
11	6)8)	緊急雇用対策におけるキャリアカウンセリングの位置づけについて理解する。				講 義	横 山
12	7)	キャリアカウンセリングの技法について知り、ロールプレイを通じて実際に活用できるようになる。				講 義	横 山
13	5)	各自が職場における就業者の心の健康についての問題を設定し、産業カウンセリングの技法の練習を行う。				演 習	横 山
14	6)	各自が就職活動における求職者の問題を設定し、キャリアカウンセリングの技法の練習を行う。				演 習	横 山
15	1)~8)	総括				講 義	横 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて別途指示する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて別途指示する。					

科目名	福祉住環境論			授業コード	121522B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科 3 年			ナンバリング	51C322P14	AL 科目	○
担当者	三宮 基裕(福・臨)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	<p>【授業の概要】 福祉専門職として住環境整備の点から支援が展開できるようになるために、日本の住宅の問題、住宅改修のプロセスと具体的な改修方法、そして関係する法律や助成制度について学ぶ。</p> <p>【一般目標(GIO)】 身体に障害のある方や加齢等により心身機能が低下した方が住宅で生活する時の生活環境上の問題を認識し、将来、福祉職として必要となる生活環境整備の基本的知識を修得する。</p> <p>【対応するポリシーNo.】 DP3、CP1(10)、CP2(1)</p>						
学修目標	<p>1)住環境整備の意義を理解し、住環境整備における福祉職の役割を説明できる。 2)住環境整備に関わる基本的な用語を理解し、説明ができる。 3)住環境整備のプロセスとそれに関わる専門職を理解し、それぞれの役割が説明できる。 4)関連する法制度を理解し、制度活用のプロセスが説明できる。 5)建築図面を読み取り簡単な平面図が描ける。 6)高齢者や障がいのある方の生活において生じる日本住宅の問題が列挙できる。 7)住環境整備の方法が列挙できる。 8)住環境整備の方法を立案できる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	各回の授業で学習内容の確認テストを行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(確認テストや課題の提出、授業への参加)を 30%、学期末の単位認定試験を 70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	次回講義の内容をシラバスで確認し、参考書等の該当箇所を予め読んで予習しておくこと。復習として、毎時間の学習内容をノートにまとめておくこと。※試験は直筆のノートのみ持ち込みを認める。						
オフィスアワー	火・水 15:00~17:00 研究室						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	住環境整備の意義				講 義	三 宮
2	2)	ノーマライゼーションとリハビリテーション				講 義	三 宮
3	2)	バリアフリーとユニバーサルデザイン				講 義	三 宮
4	3)	住環境整備のプロセス				講 義	三 宮
5	4)	介護保険制度と住環境整備				講 義	三 宮
6	5)	住宅図面の読み取りと作図法				講義・演習	三 宮
7	6)	日本住宅の問題と住環境整備				講 義	三 宮
8	4)5)7)	移動空間の整備①(移動に関わる福祉用具)				講 義	三 宮
9	4)5)7)	移動空間の整備②(アプローチ、玄関、廊下、階段)				講 義	三 宮
10	4)5)7)	トイレ空間の整備①(排泄に関わる福祉用)				講 義	三 宮
11	4)5)7)	トイレ空間の整備②(手すり、段差解消、便座、スペース)				講 義	三 宮
12	4)5)7)	浴室空間の整備①(入浴に関わる福祉用具)				講 義	三 宮
13	4)5)7)	浴室空間の整備②(手すり、段差解消、浴槽)				講 義	三 宮
14	5)7)8)	住環境整備の提案①(サニタリー空間の環境整備)				講義・演習	三 宮
15	5)7)8)	住環境整備の提案②(戸建住宅の環境整備)				講義・演習	三 宮
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		改訂 4 版 福祉住環境コーディネーター3 級公式テキスト(東京商工会議所 編) 東京商工会議所 【978-4924547599】					

科目名	認知症の理解		授業コード	121773B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(3年)		ナンバリング	51C322P11	AL 科目	○	
担当者	稲田 弘子(スポ)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	我が国における認知症ケアは、パーソンセンタードケアつまりその人らしさを大切にケアの在り方が主になっている。認知症高齢者がその人らしく、地域や施設で生活できるよう支援することのできる福祉専門職となるために、認知症に関する基礎的知識や、認知症の特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護・福祉の視点を修得する。 スポーツ健康福祉学科(DP2)(CP2) 臨床心理学科(DP3.6)(CP4)						
学修目標	1) 認知症の基本的な知識(動向・医学的・心理的側面)について説明できる。 2) 認知症に伴うことの変化について説明できる。 3) 認知症に伴う生活への影響とケアのあり方(家族支援も含む)について説明できる。 4) 認知症の予防について説明できる						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、福祉・医療の実務経験【病院(在宅を含む)、施設(在宅を含む)】が5年以上ある。その経験に基づき、福祉専門職として必要な知識・技術の修得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	単位認定試験(中間テスト40点、16回目30点)学修への取り組み状況(授業態度、レポート課題提出・内容)30点で総合的に評価する。 ◆学修への取り組み状況 DVD視聴後、レポートの課題がある。期限内の提出と、レポートの内容で評価する。 SGD時は、積極的に発言し参加すること。 詳細な評価基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	スポーツ健康福祉学科で介護職員初任者研修の取得を希望する場合は必修です。 授業で配布したプリントはきちんとファイリングすること。欠席した場合は、プリントを研究室まで取りに来ること。 毎授業ごとに配布するプリント、テキストをよみかえし、復習し、まとめること。 レポート、課題は期限内に提出すること。 定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。						
オフィスアワー	時間割確定後、研究室前に提示。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容			授業 方法	担当	
1	1)	認知症の定義や取り巻く社会的状況について 脳の解剖生理			講 義	稲 田	
2	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】記憶について 認知症の原因となる主な病気について			講 義	稲 田	
3	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】アルツハイマー型認知症について(病態等)			講 義	稲 田	
4	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】アルツハイマー型認知症について(診断 検査)			講 義	稲 田	
5	1)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】アルツハイマー型認知症について(薬等)			講 義	稲 田	
6	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症について			講 義	稲 田	
7	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】BPSDについて			講義・演習	稲 田	
8	1)	中間試験 認知症の特性について			講 義	稲 田	
9	2)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】認知症本人の心理、認知症本人から見た世界 DVD視聴			講義・演習	稲 田	
10	3)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】認知症ケアの基本と実際(竹内理論) カンフォーダブルケア			講 義	稲 田	
11	3)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】認知症ケアの実際について(ユマニチュード) DVD視聴			講 義	稲 田	
12	3)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】介護する家族の心理について(心理ステップ)			講義・演習	稲 田	
13	4)	軽度認知障害 認知症予防			講義・演習	稲 田	
14	1)2)3)	DVD視聴「ぼけと向き合う日々」からケアのあり方、本人・家族の心理等を考える			講義・演習	稲 田	
15	1)2)3)	総括「いつだってここは生きている」他			講 義	稲 田	
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		なし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		介護職員初任者研修テキスト 第5版(授業中使用することはある)					

科目名	時事福祉学 I			授業コード	121686B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(4年)			ナンバリング	51C421P11	AL 科目	○	
担当者	西田 美香(スポ) 黒須依子(心理) 藤原幸子(スポ) 三宮基裕(スポ) 外部講師	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	本講義は、これまで学んできた社会福祉士および精神保健福祉士としての知識、技術、価値について、様々な試験問題を通して包括的な理解を深めるとともに、多様化する現代社会の諸課題と福祉について事例問題を通して考える力を涵養することを目的とする。また、社会福祉士・精神保健福祉士としての実践力を習得する。スポ:DP(1)(2)(3)(4)、CP1(2)2(8) 臨床:DP(1)(2)(3)(7)、CP1(6)2(14) 心理:DP(1)(3)(5)、CP1(4)2(1)							
学修目標	1)これまでの知識の習得状況を再確認し、最新の法制度を得て、社会福祉および精神保健福祉の現状を説明できる。 2)これまでの援助技術の習得状況を再確認し、具体的実践事例を通して援助方法を応用できる。 3)グループディスカッションや個別指導により、知識・技術の習得方法を学ぶ。 4)模擬演習の結果を振り返り、必要とされる知識・技術の強化すべき点を理解でき、実践力を高める。							
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、福祉および医療分野における5年以上の現場経験を有しており、また、社会福祉分野の研究活動を継続的に行っている。教員がこれまで培ってきた知識や技術、専門職としての価値を基に、社会における諸課題および最新の法制度等の理解を深めることを目的として授業を行う。							
評価及びフィード バックの方法	模擬演習結果 80%、授業での取り組み姿勢(積極性、集中力、探究心等)20%にて評価する。なお、模擬演習結果の内容で解説を要する箇所について、次回講義時にフォロー・フィードバックを行う。							
準備学習・ 履修上の注意等	1.社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験受験予定者を対象とする。 2.授業前後に、図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙等を用いて関連するトピックを予習する。 3.一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。 4.授業の範囲の部分についての法律条文、各自がもつ社会福祉士参考書の該当箇所を復習しておくこと。 5.国家試験有料模擬試験(7月中旬)受験のため、受験料(2025年度の場合:6,600円)を要する。							
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準ずる							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)~4)	【オリエンテーション】 時事福祉学の目的を理解するとともに、各自の目標を設定する。					講 義	全 員
2	1)~4)	【模擬演習①】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。					演 習	全 員
3	1)~4)	【全体授業】 国家試験受験体験者から法制度の理解に向けた体験談や勉強方法を聞くことにより、必要とされる法制度の枠組みの習得方法を理解する。					講義・SGD	外部講師・全員
4	1)~4)	【模擬演習②】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。					演 習	全 員
5	1)~4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (人体の構造と機能及び疾病・心理学概論・社会学)					講義・SGD	全 員
6	1)~4)	【模擬演習③】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。					演 習	全 員
7	1)~4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (社会福祉の原理と政策・社会福祉調査の基礎・ソーシャルワークの基盤と専門職)					講義・SGD	全 員
8	1)~4)	【模擬演習④】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。					演 習	全 員
9	1)~4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (ソーシャルワークの理論と方法・地域福祉と包括的支援体制・福祉サービスの組織と経営)					演習・SGD	全 員
10	1)~4)	【模擬演習⑤】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。					演 習	全 員
11	1)~4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (社会保障・高齢者福祉・障害者福祉・児童家庭福祉)					講義・SGD	全 員
12	1)~4)	【模擬演習⑥】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。					演 習	全 員
13	1)~4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (貧困に対する支援・保健医療と福祉・権利擁護を支える法制度・刑事司法と福祉)					演習・SGD	全 員
14	1)~4)	【模擬演習⑦】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。					講 義	全 員
15	1)~4)	【全体授業】 国家試験受験体験者から法制度の理解に向けた体験談や勉強方法を聞くことにより、必要とされる法制度の枠組みの習得方法を理解する。					講義・SGD	外部講師・全員
教科書(著者名)出版社名[ISBN]	中央法規出版:2027 社会福祉士国家試験過去問解説集 中央法規出版:2027 精神保健福祉士国家試験過去問解説集(精神保健福祉士国家試験受験予定者のみ) ※初回講義にて案内予定							
参考書(著者名)出版社名[ISBN]	適宜、紹介する。							



科目名	時事福祉学Ⅱ			授業コード	121687B101	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(4年)			ナンバリング	51C422P12	AL科目	○
担当者	西田 美香(スポ) 黒須依子(心理) 藤原幸子(スポ) 三宮基裕(スポ)	開講学期	2026年度後期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	本講義は、これまで学んできた社会福祉士および精神保健福祉士としての知識、技術、価値について、様々な試験問題を通して包括的な理解を深めるとともに、多様化する現代社会の諸課題と福祉について事例問題を通して考える力を涵養することを目的とする。また、社会福祉士・精神保健福祉士としての実践力を習得する。スポ:DP(1)(2)(3)(4)、CP1(2)2(8) 臨床:DP(1)(2)(3)(7)、CP1(6)2(14) 心理:DP(1)(3)(5)、CP1(4)2(1)						
学修目標	1)これまでの知識の習得状況を再確認し、最新の法制度を得て、社会福祉および精神保健福祉の現状を説明できる。 2)これまでの援助技術の習得状況を再確認し、具体的実践事例を通して援助方法を応用できる。 3)グループディスカッションや個別指導により、知識・技術の習得方法を学ぶ。 4)模擬演習の結果を振り返り、必要とされる知識・技術の強化すべき点を理解でき、実践力を高める。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、福祉および医療分野における5年以上の現場経験を有しており、また、社会福祉分野の研究活動を継続的に行っている。教員がこれまで培ってきた知識や技術、専門職としての価値を基に、社会における諸課題および最新の法制度等の理解を深めることを目的として授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	模擬演習結果80%、授業での取り組み姿勢(積極性、集中力、探究心等)20%にて評価する。なお、模擬演習結果の内容で解説を要する箇所について、次回講義時にフォロー・フィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	1.社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験受験予定者を対象とする。 2.授業前後に、図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙等を用いて関連するトピックを予習する。 3.一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。 4.授業の範囲の部分についての法律条文、各自がもつ社会福祉士参考書の該当箇所を復習しておくこと。 5.国家試験有料模擬試験(9月・10月・11月)受験のため受験料(2025年度の場合:社福のみ15,900円 社福精神22,500円)を要する。						
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準ずる						

授業計画				
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当
1	1)2)3) 4)	【オリエンテーション】 時事福祉学の目的を理解するとともに、各自の目標を設定する。	講 義	全 員
2	1)2)	【模擬演習①】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。	演 習	全 員
3	3)4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (人体の構造と機能及び疾病・心理学概論・社会学)	講義・SGD	全 員
4	1)2)	【模擬演習②】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。	演 習	全 員
5	3)4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (社会福祉の原理と政策・社会福祉調査の基礎・ソーシャルワークの基盤と専門職)	演習・SGD	全 員
6	1)2)	【模擬演習③】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。	講 義	全 員
7	1)2)3)	【全体授業】 相談支援専門員との事例検討会	講義・SGD	西 田
8	1)2)	【模擬演習④】 これまで習得した知識・援助技術の再確認を行う。	演 習	全 員
9	3)4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (ソーシャルワークの理論と方法・地域福祉と包括的支援体制・福祉サービスの組織と経営)	講義・SGD	全 員
10	1)2)	【模擬演習⑤】 これまで習得した知識・援助技術の総合的習得状況の再確認を行う。	演 習	全 員
11	3)4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (社会保障・高齢者福祉・児童家庭福祉)	講義・SGD	全 員
12	1)2)	【模擬演習⑥】 これまで習得した知識・援助技術の総合的に再確認を行う。	演 習	全 員
13	3)4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (貧困に対する支援・保健医療と福祉)	講義・SGD	全 員
14	1)2)	【模擬演習⑦】 これまで習得した知識・援助技術の総合的に再確認を行う。	演 習	全 員
15	3)4)	【全体授業・個別指導】 習得状況を再確認し、必要とされる知識・技術の習得方法を理解する。 (権利擁護を支える法制度・刑事司法と福祉)	講義・SGD	全 員
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	中央法規出版:2027 社会福祉士国家試験過去問解説集 中央法規出版:2027 精神保健福祉士国家試験過去問解説集(精神保健福祉士国家試験受験予定者のみ) ※前期時事福祉学で購入			
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	適宜、紹介する。			



科目名	キャリアデザイン演習 I			授業コード	121691A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科 2 年			ナンバリング	51C221P01	AL 科目	○
担当者	松田 智香子	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	現代社会は様々な課題がある。それらを踏まえ大学での学びのなかで、将来、職業人としてどのような職業に就くか考えていく必要がある。そこで本講義は地方行政職に目を向け、公務員就職に必要な基礎的知識と問題解決能力の習得を目指す。 DP(1)(2)(3)(4)、CP1(1)(6)2(2)3(1)						
学修目標	1) 地方行政の現状などに目を向け、様々な状況について説明できる。 2) 行政職に必要な知識について理解できる。 3) 基礎計算能力など基礎的な知識を身につけ、活用できる。 4) 非言語的および言語的問題への思考力を高める。						
実務経験のある 教員による教育	地方行政職に必要な知識の習得に関わる現場経験を 5 年以上有した外部講師を招聘し、必要な学びを深めていくことを目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	期末試験(100%)。 なお学習内容の確認テストを適宜行い学習成果をフィードバックすることから、それに基づいて各自の自己学習をおこなうこと。						
準備学習・ 履修上の注意等	公務員(消防、警察、市役所)等の受験を希望する学生。 授業後に復習を必ず行うこと。 緊張感と集中力をもって授業に取り組むことが求められる。						
オフィスアワー	授業時に説明する。						

#### 授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当
1	1)2) 3)4)	オリエンテーション 本授業の進め方(対面授業とオンライン授業)、本授業で行われる課題、評価方法について理解する。	講 義	松 田
2	1)2) 3)4)	基礎数学	講 義	池田睦
3	1)2) 3)4)	一般知能基礎/基礎数学	講 義	池田睦
4	1)2) 3)4)	一般知能基礎/基礎数学	講 義	池田睦
5	1)2) 3)4)	一般知能基礎/基礎数学	講 義	池田睦
6	1)2) 3)4)	一般知能基礎/基礎数学	講 義	池田睦
7	1)2) 3)4)	一般知能基礎	講 義	松 田
8	1)2) 3)4)	一般知能基礎/基礎数学	講 義	池田睦
9	1)2) 3)4)	一般知能基礎	講 義	松 田
10	1)2) 3)4)	一般知能基礎/基礎数学	講 義	池田睦
11	1)2) 3)4)	一般知能基礎/基礎数学	講 義	池田睦
12	1)2) 3)4)	一般知能基礎/基礎数学	講 義	池田睦
13	1)2) 3)4)	一般知能基礎	講 義	松 田
14	1)2) 3)4)	一般知能基礎/基礎数学	講 義	池田睦
15	1)2) 3)4)	一般知能基礎	講 義	松 田

教科書(著者名)出版社名【ISBN】 ・「基礎数学」(初回授業時に購入案内を行います)2,500 円

参考書(著者名)出版社名【ISBN】 なし

科目名	専門ゼミ I			授業コード	121275B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理(3年)			ナンバリング	51C311P01	AL 科目	○
担当者	横山裕(臨床心理)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソ-No.	4年次の卒業論文作成に必要なテーマ設定法、情報収集法、調査方法などを修得することができる。また、自分の関心事や、与えられた課題に関する文献調査を行い、その内容をほかの人に伝えるためのプレゼンテーション能力を磨くことができる。(DP 4,CP7)						
学修目標	1) 卒業論文のテーマ設定ができる。 2) 必要とする先行研究にアクセスできる。 3) 必要文献を精読できる。						
実務経験のある 教員による教育	非該当						
評価及びフィード バックの方法	学習態度、ゼミでの発表内容などから総合的に評価する。 ゼミ時間内及びオフィスアワーなどを活用して個別にフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	演習に関することについては教員の指導・指示に従うこと						
オフィスアワー	月水金 12:30~13:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	演習1の目的、年間スケジュールが理解できる。				演 習	横 山
2	1)2)	テーマ探しの手法が理解できる。				演 習	横 山
3	2)3)	テーマ探しの手法を実践することができる。				演 習	横 山
4	2)3)	テーマ探しの手法を実践することができる。				演 習	横 山
5	2)3)	テーマ探しの手法を実践することができる。				演 習	横 山
6	2)3)	テーマ探しの手法を実践することができる。				演 習	横 山
7	2)3)	テーマ探しの手法を実践することができる。				演 習	横 山
8	2)3)	テーマ探しの手法を実践することができる。				演 習	横 山
9	1)2)	調査方法を理解することができる。				演 習	横 山
10	1)2)	調査方法を理解することができる。				演 習	横 山
11	1)2)	調査方法を理解することができる。				演 習	横 山
12	1)2)	調査方法を理解することができる。				演 習	横 山
13	1)2)	調査方法を理解することができる。				演 習	横 山
14	1)2)	調査方法を理解することができる。				演 習	横 山
15	1)2)3)	調査方法を理解することができる。				演 習	横 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	専門ゼミ I			授業コード	121275B602	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51C311P01	AL 科目	
担当者	前田直樹(心・心)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソ-No.	日常生活における人間の行動や心理状態を行動論的観点から考察する。演習の進め方としては、不適応行動や行動変容に関するテーマについて各自分析・検討し、月数回のレポート提出と進行内容についてのプレゼンテーションを行う。加えて、卒業論文・心理学に関する研究法や論文の書き方を学習する。 (DP1) (DP5) (DP6) (CP2)						
学修目標	1)心理学の研究法、及びレポートの書き方を習得する。 2)心理学の論文を作成するための知識と技術を身に着ける。 3)英文論文が読めるようになる。						
実務経験のある 教員による教育	○						
評価及びフィード バックの方法	レポート レポートのフィードバック						
準備学習・ 履修上の注意等	自主的に調査研究する姿勢。行動理論、行動療法、英語に興味を持っている学生。						
オフィスアワー	(月)18:00-18:30						

#### 授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当
1回	1)	オリエンテーション	演 習	前 田
2	1)	心理学論文について理解する	演 習	前 田
3	1)2)	テーマ設定の話し合いを行う1	演 習	前 田
4	1)2)	テーマ設定の話し合いを行う2	演 習	前 田
5	1)2)3)	文献研究を行う1	演 習	前 田
6	3)	文献研究を行う2	演 習	前 田
7	3)	文献研究を行う3	演 習	前 田
8	3)	文献研究を行う4	演 習	前 田
9	1)2)3)	プレゼンテーションを行う	演 習	前 田
10	1)2)	心理学論文の書き方を学ぶ1	演 習	前 田
11	1)2)	心理学論文の書き方を学ぶ2	演 習	前 田
12	1)2)	心理学論文の書き方を学ぶ3	演 習	前 田
13	1)2)	心理学論文の書き方を学ぶ4	演 習	前 田
14	1)2)	心理学論文の書き方を学ぶ5	演 習	前 田
15	1)2)3)	総括	演 習	前 田

教科書(著者名)出版社名【ISBN】 使用しない

参考書(著者名)出版社名【ISBN】 English Grammar in Use 5th edition Book with answers and interactive ebook

科目名	専門ゼミ I			授業コード	121275B604	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51C311P01	AL 科目	○	
担当者	加藤 謙介(心理)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	<p>本演習では、学科・コースでの学びで得られた知識・関心を具体化し、「卒業研究」として総合する準備のために、文献講読・発表、及び、卒業論文計画立案・発表を通して、論文の読み方・発表の仕方、研究の組み立て方について習得することを目的とする。特に、グループ・ダイナミクス(社会心理学)からのアプローチの仕方を学び、「卒業研究論文」の準備を進める。 【DP(1)(3)(5)(6)・CP(7)】 専門ゼミ I では、様々な文献・学術論文を講読・発表し、「文献の読み方・発表の仕方」を習得する。その上で、先行研究を踏まえて、卒業研究のテーマ(案)を作成する。</p>							
学修目標	<p>1)「研究」「学術論文」の枠組みについて説明できる。 2)専門書を読み、「読書レポート」を作成できる。 3)学術論文を読み、内容をまとめて発表できる。 4)先行研究を踏まえ、卒業研究のテーマ(案)を作成できる。</p>							
実務経験のある 教員による教育	特になし。							
評価及びフィード バックの方法	<p>【フィードバック】専門ゼミ内でのディスカッションを通してフィードバックを行う。 【評価】(1)演習におけるディスカッションへの参加状況(50%)、及び(2)課題の提出状況・内容(50%)によって評価する。</p>							
準備学習・ 履修上の注意等	<p>【準備学習(予習・復習等)時間】発表担当者は期日までに資料を準備すること。発表担当以外の受講者も、資料・ノートなど読み直すなどして、予習・復習を行うこと。 【履修上の注意等】本科目は演習であるため、毎回授業に参加し、文献を読み進め、発表を行うことに意味がある。また、他の受講生の発表内容について積極的・主体的に議論し、自分の意見を述べることを望む。加えて、人間の心理・福祉、人と動物の関係に関する基礎的な知識については、既にこれまでの講義である程度習得されていることを前提にして授業を進める。 ◆卒論テーマの具体化に向け、学期内に複数回の課題を設けるが、提出遅れや未提出が重なる場合は、単位を認めない。 ◆理由なく遅刻・欠席が重なったり、教員と連絡が取れなくなるなどの状況が続いた場合は、「放棄」とみなす。</p>							
オフィスアワー	時間割が確定した後に研究室前に掲示する。							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	イントロダクション					演 習	加 藤
2	1)	「研究」の枠組みを学ぶ					演 習	加 藤
3	2)	専門書の講読(1)					演 習	加 藤
4	2)	専門書の講読(2)					演 習	加 藤
5	2)	専門書の講読(3)					演 習	加 藤
6	2)	読書レポートの発表(1)					演 習	加 藤
7	2)	読書レポートの発表(2)					演 習	加 藤
8	2)	読書レポートの発表(3)					演 習	加 藤
9	3)	学術論文の講読(1)					演 習	加 藤
10	3)	学術論文の講読(2)					演 習	加 藤
11	3)	学術論文の講読(3)					演 習	加 藤
12	3)	学術論文の内容発表(1)					演 習	加 藤
13	3)	学術論文の内容発表(2)					演 習	加 藤
14	3)	学術論文の内容発表(3)					演 習	加 藤
15	1)2)3) 4)	中間まとめ					演 習	加 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						

科目名	専門ゼミ I		授業コード	121275B605	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)		ナンバリング	51C311P01	AL 科目	○	
担当者	松山 光生(臨心)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	常に問題意識を持ち、問題意識を解決するための視点を持ち続ける実践家になるために、各自で、卒業研究に関連する資料・ 文献を収集し、熟読する。その上で、問題を解決するための視点を、卒業研究の研究計画を通じて学ぶ(DP1)。						
学修目標	1) 今後の活動を見越して計画的に準備ができる。 2) 文献から得た情報を体系的に整理できる。 3) 情報を基づいて自分の考えを表現できる。 4) 相手の立場に立ち発言ができる。 5) ゼミ運営において自主的な行動ができる。 進路希望に応じて、①大学院入試、②資格試験、③採用試験の準備を随時行う。必要に応じて、英文和訳を勉強する						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(松山)は、臨床発達心理士、公認心理師としての実務経験に基づき、実践を意識した授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	平常点70%、提出物30%で総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	今後をしっかり見据えて、真摯に取り組んでほしい。また、ゼミ運営にも積極的に参加してほしい。 次のように、1回授業につき120分を目安に予習、復習を行うこと。 授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。 返却された提出物を再び、独力で完成できるようにしておくこと。						
オフィスアワー	毎週火・水曜日 18:15~19:15						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)~5)	ゼミや卒業論文の把握し、過去の卒業研究について概観する				講 義	松 山
2	1)~5)	【ゼミのあり方について学ぶ①】 心理学や社会福祉学の研究動向や研究方法について概観する 学術論文の読み方、報告の仕方を学ぶ				講 義	松 山
3	1)~5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ①】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
4	1)~5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ②】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
5	1)~5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ③】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
6	1)~5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ④】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
7	1)~5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ⑤】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
8	1)~5)	【研究テーマについて検討する①】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
9	1)~5)	【研究テーマについて検討する②】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
10	1)~5)	【研究テーマについて検討する③】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
11	1)~5)	【研究テーマについて検討する④】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
12	1)~5)	【研究計画について検討する①】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
13	1)~5)	【研究計画について検討する②】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
14	1)~5)	【研究計画について検討する③】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
15	1)~5)	【研究計画について検討する④】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特に指定しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜紹介する。					

科目名	専門ゼミ I			授業コード	121275B606	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51C311P01	AL 科目	○	
担当者	内藤 健一(臨・臨)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	講義、SGD	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソンNo.	生涯にわたる自己研鑽力、問題発見・解決力を身につけた心理、福祉の専門職となるために(DP(6))、論文の集め方、読み方、まとめ方、発表の仕方の基礎を修得する(OP(7))。							
学修目標	1)論文の集め方を説明できる。 2)論文の読み方とまとめ方を説明できる。 3)先行研究で明らかになっていること、まだ明らかになっていないこと、研究の意義を説明できる。 4)卒業研究のテーマ案を具体的に説明できる。							
実務経験のある 教員による教育	該当なし。							
評価及びフィード バックの方法	レジュメと発表(70%)と、SGD への参加状況(30%)							
準備学習・ 履修上の注意等	1コマ当たり1時間を目安に予習(次に発表する論文を検索し読むこと)・復習(発表の際に説明できなかった点などを調べるこ と)をおこなうこと。							
オフィスアワー	毎週火～金曜日 12:15～13:00							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)	研究をおこなう上での基礎事項の確認:論文の集め方, 読み方, まとめ方					講 義	内 藤
2	3)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
3	3)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
4	3)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
5	3)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
6	3)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
7	3)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
8	3)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
9	3)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
10	3)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
11	3)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
12	3)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
13	3)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
14	4)	卒業研究のテーマ案について: 各自の卒業研究のテーマ案について発表し、議論する。					S G D	内 藤
15	4)	卒業研究のテーマ案について: 各自の卒業研究のテーマ案について発表し、議論する。					S G D	内 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。適宜、資料を配布する。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜、紹介する。						

科目名	専門ゼミ I			授業コード	121275B609	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科・言語聴覚コース(3年)			ナンバリング	51C311P01	AL 科目	○	
担当者	中村 真理子(臨心・臨心)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リデーNo.	言語聴覚療法をめぐる社会的動向を把握し、生涯にわたって自己研鑽を行うことができる自律性を養うため(DP7)本講義では、言語聴覚療法または各学生本人が興味のある医学的領域に関わる雑誌論文の文献抄読を中心に行い、研究手法や研究に必要な要素、プレゼンテーションの方法、質疑応答を通じた討議能力を養う。学外臨床実習に臨むための準備段階として、本講義を通じ、実習対象施設の特性に準じた障害領域の知識を深め、かつ、将来の臨床場面における知識・研究手法考案のための基礎的方法を習得する(CP7)。							
学修目標	1)必要な雑誌論文を図書館等より収集できる。 2)文献より、プレゼンテーションに必要な要素を抜粋し、レジメを作成することができる。 3)レジメ等の資料を基に、教員・他学生の前で文献のプレゼンテーションができる。 4)教員や他学生の質問に対し、答えるなどの討議ができる。 5)自己の興味のある、または学外臨床実習に向けた障害領域の知識を深めることができる。							
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(中村)は理化学研究所客員研究員として5年以上の実務経験に基づき確かな研究方法について教授する。							
評価及びフィード バックの方法	プレゼンテーションのレジメ、プレゼンテーション・質疑応答等の内容により、総括的に評価する。							
準備学習・ 履修上の注意等	医学領域に関する文献を十分に読み込むこと。レジメ等の準備も含め、プレゼンテーションには1時間以上の準備をかけること。質疑応答の内容を省みて、必要な知識を増やすこと。他学生が提供した情報・知識についても十分に復習すること。							
オフィスアワー	12時30分～13時(月曜、火曜、水曜)							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授 業 方 法	担 当
1	1)～5)	オリエンテーション・言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議					講義、SGD	中 村
2	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議					講義、SGD	中 村
3	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議					講義、SGD	中 村
4	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議					講義、SGD	中 村
5	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議					講義、SGD	中 村
6	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議					講義、SGD	中 村
7	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議					講義、SGD	中 村
8	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議					講義、SGD	中 村
9	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議					講義、SGD	中 村
10	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議					講義、SGD	中 村
11	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議					講義、SGD	中 村
12	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議					講義、SGD	中 村
13	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議					講義、SGD	中 村
14	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議					講義、SGD	中 村
15	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・まとめ					講義、SGD	中 村
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		雑誌論文を中心に、適宜指示します。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		なぜあなたの研究は進まないのか(佐藤雅昭) メディカルレビュー社【978-4-7792-1725-8】						

科目名	専門ゼミ I			授業コード	121275B610	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科・言語聴覚コース(3年)			ナンバリング	51C311P01	AL 科目	○
担当者	吉武 重徳(臨床心理学科)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リデーNo.	柔軟な思考力と問題解決能力を培い、臨床現場においてリハビリテーションの一翼を担うことのできる臨床能力を身につけるために、卒業論文の作成を通して、仮説・検証のプロセスに基づく科学的臨床および臨床研究の視点と方法論を修得する(DP7、CP1(6))。						
学修目標	学修目標 1)必要な雑誌論文を図書館等より収集できる。 2)文献より、プレゼンテーションに必要な要素を抜粋し、レジュメを作成することができる。 3)レジュメ等の資料を基に、教員・他学生の前で文献のプレゼンテーションができる。 4)教員や他学生の質問に対し、答えるなどの討議ができる。 5)自己の卒業研究について説明し、討議の中で指導等を受け、卒業論文を完成させることができる。						
実務経験のある 教員による教育	教員は医療の臨床経験を有する医師として、大学付属病院等で習得した知識とスキルを本講義に活かして受講生に適合する教育を提供する。						
評価及びフィード バックの方法	研究への取り組み姿勢(課題提出状況、課題発表、討論等)の評価 50%と、卒業論文 50%で評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	毎回 1 時間以上は、文献抄読・研究テーマのための学習時間を作ること。常に問題意識を持ち、討論には、積極的に参加すること。						
オフィスアワー	水曜日 10:45~13:00 金曜日 10:45~12:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)~4)	オリエンテーション・言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究に関する説明				講 義	吉 武
2	1)~4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議				S G D	吉 武
3	1)~4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議				S G D	吉 武
4	1)~4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議				S G D	吉 武
5	1)~4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議				S G D	吉 武
6	1)~4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議				S G D	吉 武
7	1)~4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議				S G D	吉 武
8	1)~4)	卒業研究の進捗状況説明と討議				S G D	吉 武
9	1)~4)	卒業研究の進捗状況説明と討議				S G D	吉 武
10	1)~4)	卒業研究の進捗状況説明と討議				S G D	吉 武
11	1)~4)	卒業研究の進捗状況説明と討議				S G D	吉 武
12	1)~4)	卒業研究の進捗状況説明と討議				S G D	吉 武
13	4)5)	卒業論文の完成と修正				S G D	吉 武
14	4)5)	卒業論文の完成と提出				S G D	吉 武
15	4)5)	卒業論文内容のプレゼンテーションと討議				S G D	吉 武
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	特にありませんが、研究に必要な雑誌論文等を適宜指示します。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	こちらより適宜提示します。						

科目名	専門ゼミ I			授業コード	121275B612	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51C311P01	AL 科目	○	
担当者	黒須 依子(心・心)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リデーNo.	研究活動や研究論文執筆に取り組む上で必要となる基礎的な技術を習得し、福祉領域に焦点をあて研究目的を仮設定することを本演習の目標とする(D5)。本目標を達成するため本授業では、障がい者や高齢者等の日常生活、社会生活に焦点をあて、障がい者といわれる方が抱える社会生活上の障壁、課題、およびその解消に向け行われている福祉活動、福祉サービスに関する文献を読み、演習形式で意見交換を行いながら福祉研究に必要な考え方を学ぶ(C1)。合わせて必要な情報の調べ方、文章作成方法を確認し、論文執筆における基礎的知識を身につける(C7)。							
学修目標	1)論文の特徴、ルールを理解し説明できる。 2)ゼミメンバー間の話合いに主体的に参加し、他者の意見を聴き自身の意見を述べるができる。 3)文献検索方法を理解し、研究に必要な情報を収集できる。 4)論文を批判的に読む意義を理解し説明できる。 5)参考文献を使用しレポートや小論文を作成することができる。 6)指定文字数で文章を要約することができる。 7)論文を読み、著者の主張と自身の疑問点を発表することができる。 8)研究目的設定に向け主体的に取り組むことができる。							
実務経験のある 教員による教育	該当なし							
評価及びフィード バックの方法	全講義出席を原則とし、課題の提出状況・課題レポート内容の評価 40%、発表内容・態度 30%、討論への参加状況 30%の割合 いで評価する。							
準備学習・ 履修上の注意等	ゼミ授業は全出席を原則として評価する。 レポート課題の期限厳守で提出すること。 教員の配布資料はファイルにとじ、毎時持参すること。 グループワークによる演習形式で授業を進める為、ゼミ生は授業準備を指定期限を厳守し提出すること。 ゼミには楽しみながら、主体的に参加すること。 また、ゼミ生は原則1コマあたり1時間の予習・復習を行い授業に参加すること。							
オフィスアワー	時間割確定後に研究室に提示する。							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	(オリエンテーション/論文の特性) 演習 I の目的、内容、評価方法、授業計画について理解する。 論文の特徴を理解する。					講義・演習	黒 須
2	1)	論文作成のルールを理解する。					講義・演習	黒 須
3	1)2)7)	論文を読み方、著者の主張を理解する。					演 習	黒 須
4	2)4)7)	批判的思考の必要性について理解する。 批判的に論文を読み、疑問点や意見をメンバーに発表し討論する。					演 習	黒 須
5	2)4)7)	批判的思考の必要性について理解する。 批判的に論文を読み、疑問点や意見をメンバーに発表し討論する。					演 習	黒 須
6	3)	文献検索の手法を理解し、関心ある研究テーマに関する資料を収集する。					演 習	黒 須
7	2)3)5)	論理的な表現の手法を理解する(1)					演 習	黒 須
8	2)3)5)	論理的な表現の手法を理解する(2)					演 習	黒 須
9	2)3)5)	論理的な表現の手法を理解する(3) テーマに関する小論文を作成、発表する。					演 習	黒 須
10	2)3)5)	論理的な表現の手法を理解する(4) テーマに関する小論文を作成、発表する。					演 習	黒 須
11	6)	文章要約力を身につける(1) ・要約の必要性について考える。 ・要約の手順と書き方を理解する。 ・提示文章を要約する。					演 習	黒 須
12	6)	文章要約力を身につける(2) ・要約のポイントを理解する。					演 習	黒 須
13	2)8)	研究テーマを設定する(1) 研究テーマ、テーマ設定理由、問題意識、社会背景を文章化、発表する。					演 習	黒 須
14	2)8)	研究テーマを設定する(2) ・メンバーから得た質問内容を参考に、研究の論点を再考する。 ・今後、研究を進める上での必要事項を考え、話合う。					演 習	黒 須
15	1)3)7) 8)	授業のまとめ					講義・演習	黒 須
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。 授業で紹介する「研究の進め方」に関する指定図書の話読、その他の資料や図書を主体的に講読し授業に臨 むこと。						



科目名	専門ゼミ I		授業コード	121275B613	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)		ナンバリング	51C311P01	AL 科目	○	
担当者	染矢 真実(心・心)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リデーNo.	本ゼミでは、卒業論文作成に向けた基礎的な研究力の習得を目的とする。心理臨床領域に関する文献の読解、発表およびディスカッション、論文検索演習などを通して、心理学研究の基本的な方法を段階的に学ぶ。特に、不登校や心理療法などの臨床的テーマを題材とし、支援の目標や成果がどのように捉えられているのかといった視点から文献を検討する。レポート作成や発表を通して、心理臨床の問題を研究的に捉える力を養い、自らの関心に基づいた研究テーマを検討する。【DP(1)(3)(5)(6)・CP(7)】						
学修目標	1)心理臨床領域に関する文献を読み、研究の目的や方法、結果の概要を理解することができる。 2)心理学研究の基本的な構成(研究背景、目的、方法、結果、考察)を理解し、レポートとしてまとめることができる。 3)文献検索や資料収集の基本的な方法を身につけ、必要な文献を自ら探すことができる。 4)文献内容や自分の考えを発表し、ディスカッションを通して研究課題について考察することができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、医療機関および教育現場における長期の臨床経験を有しており、その実務経験に基づき、心理学的支援の実践における視点や研究課題の設定方法等について指導を行う。						
評価及びフィード バックの方法	【評価】(1)演習における発表及びディスカッションへの参加状況(50%)、及び(2)課題の提出状況・内容(50%)によって評価する。 【フィードバック】原則、演習でのディスカッションを通してフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	【準備学習(予習・復習等)時間】 本ゼミでは、文献講読、研究発表、および卒業研究計画の立案を行う。そのため、指定された文献や資料を事前に読み、要点を整理し、期日までに提出することを求める。また、自主的に専門書や関連文献を講読し、卒業論文の研究テーマの検討を進める姿勢を持つことが望ましい。発表担当者は期日までに発表資料を作成し、発表担当者以外の学生も配布資料やノートを活用して理解を深めること。授業後は議論内容を振り返り、次の文献読解および研究計画の検討につながるよう復習を行うこと。 【履修上の注意等】 臨床心理学に対する強い興味・関心を有していること。本科目は演習形式で実施するため、毎回のゼミに出席し、文献講読、発表およびディスカッションに主体的に参加することが求められる。また、各回の課題やレポートについては、期日までに提出すること。						
オフィスアワー	研究室前に掲示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	ガイダンス				演 習	染 矢
2	1)2)4)	研究テーマの設定と問いの立て方				演 習	染 矢
3	1)~3)	論文作成の基礎				演 習	染 矢
4	1)2)4)	論文リーディングおよび発表準備・個別指導①				演 習	染 矢
5	1)2)4)	課題発表およびディスカッション①				演 習	染 矢
6	1)~4)	文献検索演習				演 習	染 矢
7	1)~4)	論文リーディングおよび発表準備・個別指導②				演 習	染 矢
8	1)~4)	論文リーディングおよび発表準備・個別指導③				演 習	染 矢
9	1)~4)	課題発表およびディスカッション②				演 習	染 矢
10	1)~4)	論文リーディングおよび発表準備・個別指導④				演 習	染 矢
11	1)~4)	課題発表およびディスカッション③				演 習	染 矢
12	1)~4)	テーマ関連文献課題・個別指導①				演 習	染 矢
13	1)~4)	テーマ関連文献課題・個別指導②				演 習	染 矢
14	1)~4)	テーマ関連文献課題・個別指導③				演 習	染 矢
15	1)~4)	中間まとめ				演 習	染 矢
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		講義内にて紹介					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		三訂版 心理学論文の書き方—卒業論文や修士論文を書くために(松井豊, 河出書房新社) ISBN9784309254494 心理学レポート・論文の書き方—演習課題から卒論まで(板口典弘・山本健太郎, 講談社)ISBN9784061548091					

科目名	専門ゼミⅡ			授業コード	121276B601	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理(3年)			ナンバリング	51C312P01	AL科目	○
担当者	横山 裕(臨床心理)	開講学期	2026年度後期	必修・選択	必修	授業形態	演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	4年次の卒業論文作成に必要なテーマ設定法、情報収集法、調査方法などを修得することができる。また、自分の関心事や、与えられた課題に関する文献調査を行い、その内容をほかの人に伝えるためのプレゼンテーション能力を磨くことができる。(DP4,CP7)						
学修目標	1)必要文献を精読できる。 2)伝えたい情報を口頭でわかりやすく説明できる。 3)伝えたい情報を文章で性格に記述できる。						
実務経験のある 教員による教育	非該当						
評価及びフィード バックの方法	学習態度、ゼミでの発表内容などから総合的に評価する。 ゼミ時間内及びオフィスアワーなどを活用して個別にフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	演習に関することについては教員の指導・指示に従うこと						
オフィスアワー	月水金 12:30~13:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	演習1の目的、年間スケジュールが理解できる。				演習	横山
2	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。				演習	横山
3	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。				演習	横山
4	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。				演習	横山
5	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。				演習	横山
6	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。				演習	横山
7	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。				演習	横山
8	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。				演習	横山
9	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。				演習	横山
10	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。				演習	横山
11	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。				演習	横山
12	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。				演習	横山
13	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。				演習	横山
14	1)2)3)	文献調査方法を実践することができる。				演習	横山
15	3)	これまでの成果を発表することができる。				演習	横山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	専門ゼミⅡ			授業コード	121276B602	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51C312P01	AL 科目		
担当者	前田直樹(心・心)	開講学期	2026年度後期	必修・選択	必修	授業形態	演習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	日常生活における人間の行動や心理状態を行動論的観点から考察する。演習の進め方としては、不適応行動や行動変容に関するテーマについて各自分析・検討し、月数回のレポート提出と進行内容についてのプレゼンテーションを行う。加えて、卒業論文・心理学に関する研究法や論文の書き方を学習する。 (DP1) (DP5) (DP6) (CP2)							
学修目標	1)心理学の研究法、及びレポートの書き方を習得する。 2)心理学の論文を作成するための知識と技術を身に着ける。 3)英文論文が読めるようになる。 4)研究計画を作成する。							
実務経験のある 教員による教育	○							
評価及びフィード バックの方法	レポート							
準備学習・ 履修上の注意等	主体的に調査研究する姿勢。行動理論、行動療法、英語に興味を持っている学生。							
オフィスアワー	(月)18:00-18:30							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)	卒業論文テーマを設定する1					演習	前田
2	1)2)	卒業論文テーマを設定する2					演習	前田
3	1)2)	心理学研究法について理解する1					演習	前田
4	1)2)	心理学研究法について理解する2					演習	前田
5	1)2)	心理学研究法について理解する3					演習	前田
6	1)2)3)	卒業論文を作成する1					演習	前田
7	1)2)3)	卒業論文を作成する2					演習	前田
8	1)2)3)	卒業論文を作成する3					演習	前田
9	1)2)3)	卒業論文を作成する4					演習	前田
10	1)2)3)	卒業論文を作成する5					演習	前田
11	4)	研究計画書を作成する					演習	前田
12	1)2)3) 4)	プレゼンテーションを行う					演習	前田
13	4)	卒業論文を作成する6					演習	前田
14	4)	卒業論文を作成する7					演習	前田
15	1)2)3) 4)	総括					演習	前田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない						

科目名	専門ゼミⅡ			授業コード	121276B604	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51C312P01	AL 科目	○
担当者	加藤 謙介(心理)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リデーNo.	<p>本演習では、本学科・専攻での学びで得られた知識・関心を具体化し、「卒業研究」として総合する準備のために、文献講読・発表、及び、卒業論文計画立案・発表を通して、論文の読み方・発表の仕方、研究の組み立て方について習得することを目的とする。特に、グループ・ダイナミクス(社会心理学)からのアプローチの仕方を学び、「卒業研究論文」の準備を進める。</p> <p>【DP(1)(3)(5)(6)・CP(7)】</p> <p>専門ゼミⅡでは、受講生自身のテーマに沿ってさらに文献を読み進め、卒業研究論文の「問題」部分にあたる「レビュー論文」を執筆する。</p>						
学修目標	<p>1)「研究」「学術論文」の枠組みについて説明できる。</p> <p>2)文献を引用しながら、研究テーマを作成できる。</p> <p>3)自分の研究テーマについて、文献引用に基づき「レビュー論文」を作成できる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	特になし。						
評価及びフィード バックの方法	<p>【フィードバック】専門ゼミ内でのディスカッションを通してフィードバックを行う。</p> <p>【評価】(1)演習におけるディスカッションへの参加状況(50%)、及び(2)課題の提出状況・内容(50%)によって評価する。</p>						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>【準備学習(予習・復習等)時間】発表担当者は期日までに資料を準備すること。発表担当以外の受講者も、資料・ノートなど読み直すなどして、予習・復習を行うこと。</p> <p>【履修上の注意等】本科目は演習であるため、毎回授業に参加し、文献を読み進め、発表を行うことに意味がある。また、他の受講生の発表内容について積極的・主体的に議論し、自分の意見を述べることを望む。加えて、人間の心理・福祉、人と動物の関係に関する基礎的な知識については、既にこれまでの講義である程度習得されていることを前提にして授業を進める。</p> <p>◆卒論テーマの具体化に向け、学期内に複数回の課題を設けるが、提出遅れや未提出が重なる場合は、単位を認めない。</p> <p>◆理由なく遅刻・欠席が重なったり、教員と連絡が取れなくなるなどの状況が続いた場合は、「放棄」とみなす。</p>						
オフィスアワー	時間割が確定した後に研究室前に掲示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)2)	関連文献の渉猟・整理と「研究計画」の作成(1)				演 習	加 藤
2	1)2)	関連文献の渉猟・整理と「研究計画」の作成(2)				演 習	加 藤
3	1)2)	関連文献の渉猟・整理と「研究計画」の作成(3)				演 習	加 藤
4	1)2)	関連文献に基づく「研究計画」の発表(1)				演 習	加 藤
5	1)2)	関連文献に基づく「研究計画」の発表(2)				演 習	加 藤
6	1)3)	「レビュー論文」の作成(1)				演 習	加 藤
7	1)3)	「レビュー論文」の作成(2)				演 習	加 藤
8	1)3)	「レビュー論文」の作成(3)				演 習	加 藤
9	1)3)	「レビュー論文」の作成(4)				演 習	加 藤
10	1)3)	「レビュー論文」の作成(5)				演 習	加 藤
11	1)3)	レビュー論文の発表(1)				演 習	加 藤
12	1)3)	レビュー論文の発表(2)				演 習	加 藤
13	1)3)	レビュー論文の発表(3)				演 習	加 藤
14	1)3)	レビュー論文の発表(4)				演 習	加 藤
15	1)2)3)	総括				演 習	加 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	専門ゼミⅡ			授業コード	121276B605	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51C312P01	AL 科目	○	
担当者	松山 光生(臨心)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	必 修	授業形態	講 義	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	常に問題意識を持ち、その解決するための視点を持ち続けられる実践家になるために、各自で、卒業研究に関連する資料・文献を収集し、熟読する。その上で、問題を解決するための視点を、卒業研究の研究計画を通じて学ぶ(DP6)							
学修目標	1) 今後の活動を見越して計画的に準備ができる。 2) 文献から得た情報を体系的に整理できる。 3) 情報を基づいて自分の考えを表現できる。 4) 相手の立場に立ち発言ができる。 5) ゼミ運営において自主的な行動ができる。							
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(松山)は、臨床発達心理士、公認心理師としての実務経験に基づき、実践を意識した授業を行う。							
評価及びフィード バックの方法	平常点70%、提出物30%で総合的に評価する。							
準備学習・ 履修上の注意等	今後をしっかり見据えて、真摯に取り組んでほしい。また、ゼミ運営にも積極的に参加してほしい。 次のように、1回授業につき120分を目安に予習、復習を行うこと。 授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。 返却された提出物を再び、独力で完成できるようにしておくこと。 進路希望に応じて、①大学院入試、②資格試験、③採用試験の準備を随時行う。必要に応じて、英文和訳を勉強する							
オフィスアワー	毎週火・水曜日 18:15~19:15							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)~5)	ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。					S G D	松 山
2	1)~5)	【ゼミのあり方について学ぶ①】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。					S G D	松 山
3	1)~5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ①】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。					S G D	松 山
4	1)~5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ②】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。					S G D	松 山
5	1)~5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ③】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。					S G D	松 山
6	1)~5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ④】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。					S G D	松 山
7	1)~5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ⑤】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。					S G D	松 山
8	1)~5)	【研究テーマについて検討する①】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。					S G D	松 山
9	1)~5)	【研究テーマについて検討する②】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。					S G D	松 山
10	1)~5)	【研究テーマについて検討する③】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。					S G D	松 山
11	1)~5)	【研究テーマについて検討する④】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。					S G D	松 山
12	1)~5)	【研究計画について検討する①】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。					S G D	松 山
13	1)~5)	【研究計画について検討する②】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。					S G D	松 山
14	1)~5)	【研究計画について検討する③】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。					S G D	松 山
15	1)~5)	【研究計画について検討する④】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。					S G D	松 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特に指定しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜紹介する。						

科目名	専門ゼミⅡ			授業コード	121276B606	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51C312P01	AL 科目	○	
担当者	内藤 健一(臨・臨)	開講学期	2026 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	S G D	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	生涯にわたる自己研鑽力、問題発見・解決力を身につけた心理、福祉の専門職となるために(DP(6))、研究の進め方を修得する(CP(7))。							
学修目標	1) 先行研究で明らかになっていること、まだ明らかになっていないこと、研究の意義を説明できる。 2) 卒業論文における序論と方法を作成できる。							
実務経験のある 教員による教育	該当なし。							
評価及びフィード バックの方法	レジュメと発表(70%)と、SGD への参加状況(30%)							
準備学習・ 履修上の注意等	1 コマ当たり 1 時間を目安に予習(論文発表などのための準備)・復習(論文発表などで指摘を受けた点の修正)をおこなうこと。							
オフィスアワー	毎週火～金曜日 12:15～13:00							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
2	1)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
3	1)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
4	1)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
5	1)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
6	1)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
7	1)	論文発表: 各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。					S G D	内 藤
8	2)	卒業論文の序論と方法の作成: 各自の卒業論文の序論と方法を発表し、議論する。					S G D	内 藤
9	2)	卒業論文の序論と方法の作成: 各自の卒業論文の序論と方法を発表し、議論する。					S G D	内 藤
10	2)	卒業論文の序論と方法の作成: 各自の卒業論文の序論と方法を発表し、議論する。					S G D	内 藤
11	2)	卒業論文の序論と方法の作成: 各自の卒業論文の序論と方法を発表し、議論する。					S G D	内 藤
12	2)	卒業論文の序論と方法の作成: 各自の卒業論文の序論と方法を発表し、議論する。					S G D	内 藤
13	2)	卒業論文の序論と方法の作成: 各自の卒業論文の序論と方法を発表し、議論する。					S G D	内 藤
14	2)	卒業論文の序論と方法の作成: 各自の卒業論文の序論と方法を発表し、議論する。					S G D	内 藤
15	2)	卒業論文の序論と方法の作成: 各自の卒業論文の序論と方法を発表し、議論する。					S G D	内 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。適宜、資料を配布する。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜、紹介する。						

科目名	専門ゼミⅡ			授業コード	121276B609	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科・言語聴覚コース(3年)			ナンバリング	51C312P01	AL 科目	
担当者	中村 真理子(臨心・臨心)	開講学期	2026 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	常に問題意識を持ち、問題を解決するための視点を研究を通じて養うため(DP5,6)本ゼミでは、学外臨床実習で経験し、かつ各学生が興味を持つ言語聴覚療法的知見について、雑誌論文の抄読を行う。その過程を通じて、文献の読み方やまとめ方の習得、ポスタープレゼンテーション能力、質疑応答を通じた討議能力を養う(CP1-7)。また本ゼミは、卒業論文完成の位置づけをもつ。						
学修目標	1)必要な雑誌論文をインターネット、図書館等より収集することができる。 2)文献より、論文作成に必要な要素を抜粋することができる。 3)教員や学生の質問内容に対し、十分な回答や説明をすることができる。 4) 収集したデータをポスターならびに論文にまとめ卒業論文を完成する。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(中村)は理化学研究所客員研究員として5年以上の実務経験に基づき確かな研究方法について教授する。						
評価及びフィード バックの方法	教員とのやり取りにおけるポスターの改善の様子、ポスターとプレゼンテーション用抄録の内容、プレゼンテーションと質疑応答等の内容により、総括的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	文献をできるだけ多く収集し、十分に読み込むこと。抄読会では他学生からの質疑応答の内容を振り返り、4年次の卒業研究に関して必要な知識を増やすこと。						
オフィスアワー	火、水、木 12:30～13:00						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)2)	研究に必要な文献収集と抄読・ポイントのまとめ(1)				S G D	中 村
2	1)2)	研究に必要な文献収集と抄読・ポイントのまとめ(2)				S G D	中 村
3	1)2)	研究に必要な文献収集と抄読・ポイントのまとめ(3)				S G D	中 村
4	1)～4)	研究計画の立案、教員・他学生との討議(1)				S G D	中 村
5	1)～4)	研究計画の立案、教員・他学生との討議(2)				S G D	中 村
6	1)～4)	研究計画の立案、教員・他学生との討議(3)				S G D	中 村
7	1)～4)	研究計画の立案、教員・他学生との討議(4)				S G D	中 村
8	1)～4)	研究計画の立案、教員・他学生との討議(5)				S G D	中 村
9	4)～6)	調査・研究の実施(1)				S G D	中 村
10	4)～6)	調査・研究の実施(2)				S G D	中 村
11	4)～6)	調査・研究の実施(3)				S G D	中 村
12	5)6)	ポスター発表会				S G D	中 村
13	7)	論文作成				S G D	中 村
14	7)	論文作成				S G D	中 村
15	7)	論文作成				S G D	中 村
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	学術論文を中心に、適宜指示します。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	なぜあなたの研究は進まないのか(佐藤雅昭) メディカルレビュー社【978-4-7792-1724-1】						

科目名	専門ゼミⅡ			授業コード	121276B610	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科・言語聴覚コース(3年)			ナンバリング	51C312P01	AL科目	○
担当者	吉武 重徳(臨床心理学科)	開講学期	2026年度後期	必修・選択	必修	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	柔軟な思考力と問題解決能力を培い、臨床現場においてリハビリテーションの一翼を担うことのできる臨床能力を身につけるために、卒業論文の作成を通して、仮説・検証のプロセスに基づく科学的臨床および臨床研究の視点と方法論を修得する(DP7、CP1(6))。						
学修目標	学修目標 1)必要な雑誌論文を図書館等より収集できる。 2)文献より、プレゼンテーションに必要な要素を抜粋し、レジュメを作成することができる。 3)レジュメ等の資料を基に、教員・他学生の前で文献のプレゼンテーションができる。 4)教員や他学生の質問に対し、答えるなどの討議ができる。 5)自己の卒業研究について説明し、討議の中で指導等を受け、卒業論文を完成させることができる。						
実務経験のある 教員による教育	教員は医療の臨床経験を有する医師として、大学付属病院等で習得した知識とスキルを本講義に活かして受講生に適合する教育を提供する。						
評価及びフィード バックの方法	研究への取り組み姿勢(課題提出状況、課題発表、討論等)の評価50%と、卒業論文50%で評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	毎回1時間以上は、文献抄読・研究テーマのための学習時間を作る。常に問題意識を持ち、討論には、積極的に参加すること。						
オフィスアワー	水曜日 10:45～13:00 金曜日 10:45～12:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)～4)	オリエンテーション・言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究に関する説明				講 義	吉 武
2	1)～4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議				S G D	吉 武
3	1)～4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議				S G D	吉 武
4	1)～4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議				S G D	吉 武
5	1)～4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議				S G D	吉 武
6	1)～4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議				S G D	吉 武
7	1)～4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議				S G D	吉 武
8	1)～4)	卒業研究の進捗状況説明と討議				S G D	吉 武
9	1)～4)	卒業研究の進捗状況説明と討議				S G D	吉 武
10	1)～4)	卒業研究の進捗状況説明と討議				S G D	吉 武
11	1)～4)	卒業研究の進捗状況説明と討議				S G D	吉 武
12	1)～4)	卒業研究の進捗状況説明と討議				S G D	吉 武
13	4)5)	卒業論文の完成と修正				S G D	吉 武
14	4)5)	卒業論文の完成と提出				S G D	吉 武
15	4)5)	卒業論文内容のプレゼンテーションと討議				S G D	吉 武
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特にありませんが、研究に必要な雑誌論文等を適宜指示します。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		こちらより適宜提示します。					

科目名	専門ゼミⅡ			授業コード	121276B612	単位数 (時間数)	2単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51C312P01	AL科目	○	
担当者	黒須 依子(心・心)	開講学期	2026年度後期	必修・選択	必修	授業形態	演習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リデーNo.	専門ゼミⅡの目的は卒業研究の目的、方法を決定し、研究計画を策定し各自の研究活動を進める。そのため、専門ゼミⅠで仮 設定した研究テーマに関する情報・文献を主体的に収集・購読し、レポート発表、ゼミメンバー間でのディスカッションを通じ研究 テーマに関する理解を深める。							
学修目標	1)研究目的を決定することができる。 2)研究方法を決定することができる。 3)ゼミメンバー間での討論に主体的に参加し、他者の意見を聴き、自身の意見を述べるすることができる。 4)研究に必要な情報・文献を主体的に検索・収集し購読することができる。 5)研究計画概要を文章化し報告することができる。 6)自身の研究進捗状況を文章化し、わかりやすく発表することができる。 7)研究計画を策定し、研究計画に基づき主体的に研究を進めることができる。							
実務経験のある 教員による教育	該当なし							
評価及びフィード バックの方法	課題レポート提出状況と内容 40%、演習参加状況 30%、研究活動への取組状況 30%で評価する。							
準備学習・ 履修上の注意等	授業出席を原則とする。やむを得ない事情で授業を欠席する際は、教員へ事前連絡すること。 毎時、教員が提示する課題は期限厳守で提出し、授業中の配布資料はファイルに綴じ、毎回持参すること。 授業は上記配布資料、授業内で伝えていく参考文献を資料としグループワーク形式で進める。 したがって学生は授業準備をしっかりと行い、授業に主体的に参加することが求められる。 なお、学生は1コマあたり1時間以上の予習・復習を行い、各自の研究を進めること。							
オフィスアワー	時間割確定後に研究室に提示する。							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	3)	(オリエンテーション/研究課題の発表(1)) 演習Ⅱの目的、内容、評価方法、授業計画について理解する。 研究課題を発表し、メンバーより質問を受け回答する。					講義・演習	黒 須
2	3)4)	課題の発表(2) 研究課題を発表し、メンバーより質問を受け回答する。					演 習	黒 須
3	2)4)	研究方法(1) 量的調査と質的調査					演 習	黒 須
4	2)4)	研究方法(2) 研究方法の設定方法 調査実施における研究倫理					演 習	黒 須
5	1)2)	研究方法(3) 研究目的、研究方法を設定する。					演 習	黒 須
6	1)2)5)	研究概要を作成し、発表する。					演 習	黒 須
7	1)2)3) 5)	研究概要に対し得た質問をもとに、研究目的と方法を再検討する。					演 習	黒 須
8	5)	研究計画を策定することができる(1)					演 習	黒 須
9	3)4)	研究計画に基づき研究を行う(1) 先行研究を検索し、研究目的について明らかになっていること、いないことを 調べ、整理する。					演 習	黒 須
10	2)3)	研究計画に基づき研究を行う(2) 研究目的を確認し、先行研究を踏まえ、研究目的を明らかにするために必要な情報内容、調査方法を整理する。					演 習	黒 須
11	3)7)	4年生の卒業研究発表会へ参加し、自身の卒業研究計画を具体化する。					演 習	黒 須
12	2)7)	研究計画に基づき研究を行う(3) 研究方法を具体的に決定・計画する。					演 習	黒 須
13	2)7)	研究計画に基づき研究を行う(4) 研究の進捗状況発表を通じこれまでの研究内容を振り返り、研究の進め方を決定する①					演 習	黒 須
14	2)6)7)	研究計画に基づき研究を行う(5) 研究の進捗状況発表を通じこれまでの研究内容を振り返り、研究の進め方を決定する②					演 習	黒 須
15	3)7)	研究の進捗状況を確認し、各自の春季休暇の課題を設定する。					演 習	黒 須
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。 研究方法に関する文献は、授業中に紹介する「研究の進め方」「研究方法」「論文の書き方」に関する図書(授業 で紹介)を各自取り寄せ、主体的に読んでください。 ゼミ生各自の研究目的に関連する文献は、各自で主体的に読んでください。						

科目名	専門ゼミⅡ			授業コード	121276B613	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51C312P01	AL 科目	○	
担当者	染矢 真実(心・心)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	本ゼミでは、専門ゼミⅠで培った文献読解および発表の経験を踏まえ、心理臨床領域に関する研究テーマの具体化と卒業論文研究計画の作成を目指す。文献検索および先行研究の整理、研究課題の検討、研究方法の検討などを行いながら、自らの研究テーマを明確化する。発表およびディスカッションを通して研究課題を多角的に検討し、心理臨床研究を進めるための基礎的な研究計画立案能力を養う。最終的に卒業論文研究計画書を作成し、卒業論文作成へとつなげる。【DP(1)(3)(5)(6)・CP(7)】							
学修目標	1)心理臨床領域に関する先行研究を整理し、自らの研究テーマを明確にすることができる。 2)研究目的および研究課題を設定し、心理学研究の基本的な方法を踏まえて研究計画を立てることができる。 3)文献レビューや発表を通して研究内容を論理的に説明し、討議を通して研究課題を深めることができる。 4)卒業論文作成に向けた研究計画書を作成することができる。							
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は、医療機関および教育現場における長期の臨床経験を有しており、その実務経験に基づき、心理学的支援の実践における視点や研究課題の設定方法等について指導を行う。							
評価及びフィード バックの方法	・演習におけるディスカッションへの参加状況(50%)、及び発表・レポート等の課題の提出状況・内容 50%として、単位認定を行う。 ・課題についての講評・解説については、原則、授業時に行う。また、復習を促すためにユニバを活用し講評(フィードバック)を行う場合もある。							
準備学習・ 履修上の注意等	本ゼミでは、卒業研究テーマの設定および研究の問題・目的の明確化を行うため、指定された文献や各自が収集した先行研究を事前に精読し、要点および研究の位置づけを整理したうえで授業に臨むこと。発表担当者は、研究背景・先行研究の整理・研究の問題および目的が論理的に示されるよう発表資料を準備すること。 授業後は、討議で指摘された点を踏まえて研究内容を再検討し、問題および目的の記述を修正・精緻化すること。 本科目は演習形式であるため、原則として毎回出席し、文献講読、発表および討議に主体的に参加すること。討議の際は、根拠に基づいて意見を述べるとともに、互いを尊重する態度を保持すること							
オフィスアワー	研究室前に掲示する。							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)~3)	オリエンテーション・専門ゼミⅠ課題発表					演 習	染 矢
2	1)~3)	研究テーマの検討①(関心領域の整理および研究課題の検討)					演 習	染 矢
3	1)~3)	研究テーマの検討②(研究目的の明確化)					演 習	染 矢
4	1)~3)	文献検索および先行研究の整理方法					演 習	染 矢
5	1)~3)	文献検索と整理					演 習	染 矢
6	1)~3)	先行研究の整理①(文献レビューの構成の検討)					演 習	染 矢
7	1)~3)	先行研究の整理②(文献レビュー発表およびディスカッション)					演 習	染 矢
8	1)~3)	先行研究の整理③(文献レビュー発表およびディスカッション)					演 習	染 矢
9	1)~3)	先行研究の整理④(文献レビュー発表およびディスカッション)					演 習	染 矢
10	1)~3)	先行研究の整理⑤(文献レビュー発表およびディスカッション)					演 習	染 矢
11	1)~3)	研究方法の検討①(研究デザインの検討)					演 習	染 矢
12	1)~3)	研究方法の検討②(研究方法の具体化)					演 習	染 矢
13	1)~4)	研究計画書の作成①(研究目的・研究背景の整理)					演 習	染 矢
14	1)~4)	研究計画書の作成②(研究方法・研究計画の整理)					演 習	染 矢
15	1)~4)	総括					演 習	染 矢
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		三訂版 心理学論文の書き方—卒業論文や修士論文を書くために(松井豊, 河出書房新社) ISBN9784309254494 心理学レポート・論文の書き方—演習課題から卒論まで(板口典弘・山本健太郎, 講談社)ISBN9784061548091						

科目名	専門ゼミⅢ			授業コード	121277B601	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(4年)			ナンバリング	51C411P01	AL科目	○
担当者	横山裕(臨床心理)	開講学期	2026年度前期	必修・選択	必修	授業形態	演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リデーNo.	本演習を通して、ゼミ生が卒業論文のテーマ設定、論文作成のスケジュールの立案、調査の実施、論文の著述、成果の報告などがスムーズにできるようになる。(DP6,CP7)						
学修目標	1)卒業論文のテーマ設定ができる。 2)必要とする先行研究にアクセスできる。 3)必要文献を精読できる。 4)伝えたい情報を口頭でわかりやすく説明できる。 5)伝えたい情報を文章で性格に記述できる。						
実務経験のある 教員による教育	非該当						
評価及びフィード バックの方法	学習態度、ゼミでの発表内容などから総合的に評価する。 ゼミ時間内及びオフィスアワーなどを活用して個別にフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	演習に関することについては教員の指導・指示に従うこと						
オフィスアワー	月水金 12:30~13:00						

#### 授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方 法	担 当		
1	1)	卒業論文作成のプロセス、心構えが理解できる。	演習	横山		
2	1)2)	論文作成のスケジュールが立案できる。	演習	横山		
3	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山		
4	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山		
5	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山		
6	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山		
7	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山		
8	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山		
9	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山		
10	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山		
11	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山		
12	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山		
13	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山		
14	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山		
15	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。	演習	横山		
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。				
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。				

科目名	専門ゼミⅢ			授業コード	121277B602	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	心理・福祉コース(4年)			ナンバリング	51C411P01	AL 科目		
担当者	前田直樹(心・心)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソールNo.	<p>専門ゼミⅠ、Ⅱで学習したことを踏まえて、各自の興味のある研究テーマをより具体的に絞り込む。テーマを絞り込んだらそれに関連する文献を集めて文献研究を行う。臨床心理学の研究法は様々なものがあり、自分のテーマに合う研究法を学習し、どのような手順で研究を進めていくのか具体的な計画を立てる。この演習はできるだけ多くの文献や研究法に触れて学習を進めていく。</p> <p>(DP1) (DP5) (DP6) (CP2)</p>							
学修目標	<p>1)文献研究ができるようになる。 2)臨床心理学の各種研究法を使用することができる。 3)研究論文の作成ができるようになる。</p>							
実務経験のある 教員による教育	○							
評価及びフィード バックの方法	レポート、卒業論文							
準備学習・ 履修上の注意等	自主的に調査研究する姿勢。行動理論、行動療法、英語に興味を持っている学生							
オフィスアワー	(月)18:00-18:30							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)2)3)	オリエンテーション					演 習	前 田
2	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
3	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
4	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
5	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
6	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
7	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
8	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
9	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
10	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
11	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
12	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
13	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
14	1)2)3)	卒業論文作成を行う					演 習	前 田
15	1)2)3)	卒業研究中間発表を行う					演 習	前 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない						

科目名	専門ゼミⅢ			授業コード	121277B604	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(4年)			ナンバリング	51C411P01	AL科目	○	
担当者	加藤 謙介	開講学期	2026年度前期	必修・選択	必修	授業形態	演習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	これまでの学科・コース・ゼミでの学びで得られた知識・関心を具体化し、「卒業研究」を完成させるために、受講生各自の卒業論文研究計画の遂行、及び途中経過の発表・ディスカッションを実施する。その上で、卒業研究論文の作成を進める。 【DP(1)(3)(5)(6)・CP(7)】							
学修目標	1)自分の研究テーマをもとに、「研究」「学術論文」の枠組みについて説明できる。 2)卒業研究の計画を遂行できる。 3)研究計画・結果をもとにディスカッションができる。 4)研究成果に基づき、卒業研究論文を執筆できる。							
実務経験のある 教員による教育	特になし。							
評価及びフィード バックの方法	【フィードバック】専門ゼミ・オフィスアワーでのディスカッションを通してフィードバックを行う。 【評価】(1)演習におけるディスカッションへの参加状況(50%)、及び(2)課題の提出状況・内容(50%)によって評価する。 ◆特に、卒業研究に取り組むことで、専門ゼミ以前と比べ、通常の学習以上の「発見」が得られたことを評価対象とする。							
準備学習・ 履修上の注意等	【準備学習(予習・復習等)時間】発表担当者は期日までに資料を準備すること。発表担当以外の受講者も、資料・ノートなど読み直すなどして、予習・復習を行うこと。 【履修上の注意等】本科目は演習であるため、毎回授業に参加し、文献を読み進め、発表を行うことに意味がある。また、他の受講生の発表内容について積極的・主体的に議論し、自分の意見を述べることを望む。加えて、人間の心理・福祉、人と動物の関係に関する基礎的な知識については、既にこれまでの講義である程度習得されていることを前提にして授業を進める。 ◆卒業研究論文の完成に向け、学期内に複数回の課題を設けるが、提出遅れや未提出が重なる場合は、単位を認めない。 ◆理由なく遅刻・欠席が重なったり、教員と連絡が取れなくなるなどの状況が続いた場合は、「放棄」とみなす。							
オフィスアワー	時間割が確定した後に研究室前に掲示する。							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	イントロダクション					演習	加藤
2	2)3)	卒業論文研究計画発表(1)					演習	加藤
3	2)3)	卒業論文研究計画発表(2)					演習	加藤
4	2)3)	卒業論文研究計画発表(3)					演習	加藤
5	2)3)	卒業論文研究計画発表(4)					演習	加藤
6	2)3)	卒業論文研究計画発表(5)					演習	加藤
7	2)3)	卒業論文研究計画発表(6)					演習	加藤
8	2)3)	卒業論文研究計画発表(7)					演習	加藤
9	2)3)	卒業論文研究計画発表(8)					演習	加藤
10	2)3)4)	卒業論文研究計画発表(9)					演習	加藤
11	2)3)4)	卒業論文研究計画発表(10)					演習	加藤
12	2)3)4)	卒業論文研究計画発表(11)					演習	加藤
13	2)3)4)	卒業論文研究計画発表(12)					演習	加藤
14	2)3)4)	卒業論文研究計画発表(13)					演習	加藤
15	1)2)3) 4)	中間総括					演習	加藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						

科目名	専門ゼミⅢ			授業コード	121277B605	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	言語聴覚療法学科(3年)			ナンバリング	51C411P01	AL科目	○
担当者	松山 光生(臨心)	開講学期	2026年度前期	必修・選択	必修	授業形態	講義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	常に問題意識を持ち、問題意識を解決するための視点を、研究を通じてもつことができる言語聴覚士になるために、各自で、卒業研究に関連する資料・文献を収集し、熟読する。その上で、問題を解決するための視点を、卒業研究の研究計画を通じて学ぶ(DP5、6)。						
学修目標	1) 今後の活動を見越して計画的に準備ができる。 2) 文献から得た情報を体系的に整理できる。 3) 情報を基づいて自分の考えを表現できる。 4) 相手の立場に立ち発言ができる。 5) ゼミ運営において自主的な行動ができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(松山)は、臨床発達心理士、公認心理師としての実務経験に基づき、実践を意識した授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	平常点70%、提出物30%で総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	今後をしっかりと見据えて、真摯に取り組んでほしい。また、ゼミ運営にも積極的に参加してほしい。 次のように、1回授業につき120分を目安に予習、復習を行うこと。 授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。 返却された提出物を再び、独力で完成できるようにしておくこと。						
オフィスアワー	毎週火・水曜日 18:15～19:15						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)～5)	ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
2	1)～5)	【ゼミのあり方について学ぶ①】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
3	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ①】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
4	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ②】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
5	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ③】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
6	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ④】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
7	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ⑤】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
8	1)～5)	【研究テーマについて検討する①】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
9	1)～5)	【研究テーマについて検討する②】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
10	1)～5)	【研究テーマについて検討する③】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
11	1)～5)	【研究テーマについて検討する④】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
12	1)～5)	【研究計画について検討する①】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
13	1)～5)	【研究計画について検討する②】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
14	1)～5)	【研究計画について検討する③】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
15	1)～5)	【研究計画について検討する④】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	特に指定しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	適宜紹介する。						

科目名	専門ゼミⅢ			授業コード	121277B606	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(4年)			ナンバリング	51C411P01	AL科目	○
担当者	内藤 健一(臨・臨)	開講学期	2026年度前期	必修・選択	必修	授業形態	演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	生涯にわたる自己研鑽力、問題発見・解決力を身につけた心理、福祉の専門職となるために(DP(6))、研究における結果の分析の仕方を修得する(OP(7))。						
学修目標	1)自分の研究計画に沿ってデータを収集できる。 2)結果を適切に分析できる。 3)得られた結果をもとに、卒業論文を執筆できる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし。						
評価及びフィード バックの方法	提出された、加筆・修正版の卒業論文をもとに評価する(100%)。						
準備学習・ 履修上の注意等	1コマ当たり1時間を目安に予習(論文作成)・復習(指摘を受けた点の修正)をおこなうこと。						
オフィスアワー	毎週火～金曜日 12:15～13:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)2)3)	卒業論文指導				演習・SGD	内藤
2	1)2)3)	卒業論文指導				演習・SGD	内藤
3	1)2)3)	卒業論文指導				演習・SGD	内藤
4	1)2)3)	卒業論文指導				演習・SGD	内藤
5	1)2)3)	卒業論文指導				演習・SGD	内藤
6	1)2)3)	卒業論文指導				演習・SGD	内藤
7	1)2)3)	卒業論文指導				演習・SGD	内藤
8	1)2)3)	卒業論文指導				演習・SGD	内藤
9	1)2)3)	卒業論文指導				演習・SGD	内藤
10	1)2)3)	卒業論文指導				演習・SGD	内藤
11	1)2)3)	卒業論文指導				演習・SGD	内藤
12	1)2)3)	卒業論文指導				演習・SGD	内藤
13	1)2)3)	卒業論文指導				演習・SGD	内藤
14	1)2)3)	卒業論文指導				演習・SGD	内藤
15	1)2)3)	卒業論文指導				演習・SGD	内藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜、紹介する。					

科目名	専門ゼミⅢ			授業コード	121277B607	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(4年)			ナンバリング	51C411P01	AL 科目	○
担当者	黒須 依子(心・心)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リデーNo.	<p>専門ゼミⅢでは、専門ゼミⅣでの卒論完成を目標に、担当教員の個別指導を受けながら専門ゼミⅠ・Ⅱで進めた研究活動を基盤に各自の研究を進める。研究目的に照らし調査結果を分析し、分析結果より得た考察を社会福祉の視座から研究結果としてまとめ(C7)、研究論文として文章化することを目的とする(D3)。</p> <p>また、ゼミで行う研究経過報告会、研究発表会へ参加し、他ゼミメンバーの研究内容聴講、自身の研究経過報告、質疑応答を通じ(D2)、自身の研究内容を見直し研究内容の質を高める(D6)。</p>						
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)卒業研究・卒業論文執筆の目的を理解し、説明できる。</li> <li>2)卒論提出期限、中間発表会に合わせて研究計画を立て、主体的に研究活動に取り組むことができる。</li> <li>3)研究に必要な必要な資料・情報を主体的に収集、講読し、研究論文に活用することができる。</li> <li>4)研究目的に沿った調査計画を立て、調査活動を進めることができる。</li> <li>5)自身の研究内容をメンバーに分かりやすく報告し、質疑応答に対応することができる。</li> <li>6)論文構成を決定し、主体的に論文作成に取り組むことができる。</li> <li>7)研究倫理に配慮し論文を執筆し、研究内容を報告することができる。</li> </ol>						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	専門ゼミⅢでは研究活動状況について以下基準(ゼミ課題の提出・達成状況:30%、研究活動への取組み状況:30%、研究論文執筆状況・内容:40%の基準)で、総合的評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	全授業出席を原則とする。専門ゼミⅢは個別指導を中心に研究指導、論文指導を受けると共に、研究経過報告会への参加、報告を通じ卒業研究の論点を焦点化、調査結果分析を進める。 ゼミ生は1コマあたり2時間以上の自宅学習を目安に各自の研究、論文執筆に取組み、提出期限を遵守し指定課題(研究論文や調査結果)を準備しゼミ指定時間に発表すること。						
オフィスアワー	時間割確定後に研究室前に提示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)2)4)	(オリエンテーション) 専門ゼミⅢの目的、内容、評価方法、授業計画、卒論提出までの流れについて理解する。 研究の進捗状況を発表し、今後の研究計画を立てる。				講義・演習	黒 須
2	2)3)4)	研究活動と論文執筆(1) ゼミ生間で論文の目的と方法を発表し、質疑応答を通じ各自の研究内容を見直す。				演 習	黒 須
3	2)3)6)	研究活動・論文執筆(2) 卒業論文の論文構成を決定する。				演 習	黒 須
4	2)3)4)	研究活動・論文執筆(3) 個別指導を受けながら、各自の研究計画にそって研究活動、論文執筆を進める。				演 習	黒 須
5	4)5)6)	研究経過報告1 ゼミ生間で研究の進捗状況を報告し合い、質疑を受け、研究内容、研究計画を見直す。				演 習	黒 須
6	4)5)6) 7)	研究活動・論文執筆(4) 個別指導を受けながら、各自の研究計画にそって研究活動、論文執筆を進める。				演 習	黒 須
7	1)2)3) 6)	研究活動・論文執筆(5) 個別指導を受けながら、各自の研究計画にそって研究活動、論文執筆を進める。				演 習	黒 須
8	1)2)3) 6)	研究活動・論文執筆(6) 個別指導を受けながら、各自の研究計画にそって研究活動、論文執筆を進める。				演 習	黒 須
9	1)2)3) 6)	研究活動・論文執筆(7) 個別指導を受けながら、各自の研究計画にそって研究活動、論文執筆を進める。				演 習	黒 須
10	4)5)7)	研究経過報告2 ゼミ生間で研究の進捗状況を報告し合い、質疑を受け、研究内容、研究計画を見直す。				演 習	黒 須
11	1)2)3) 6)	研究活動・論文執筆(8) 個別指導を受けながら、各自の研究計画にそって研究活動、論文執筆を進める。				演 習	黒 須
12	1)2)3) 6)	研究活動・論文執筆(9) 個別指導を受けながら、各自の研究計画にそって研究活動、論文執筆を進める。				演 習	黒 須
13	1)2)3) 6)	研究活動・論文執筆(10) 個別指導を受けながら、各自の研究計画にそって研究活動、論文執筆を進める。				演 習	黒 須
14	1)2)3) 6)	研究活動・論文執筆(11) 個別指導を受けながら、各自の研究計画にそって研究活動、論文執筆を進める。				演 習	黒 須
15	2)3)5) 7)	研究経過報告3 ゼミ生間で研究の進捗状況を報告し合い、質疑を受け、研究内容、研究計画を見直す。 研究の進捗状況を確認し、研究計画を見直し、卒論完成に向け夏季休暇の課題を設定する。				演 習	黒 須
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	専門ゼミⅢ			授業コード	121277B609	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科・言語聴覚コース(4 年)			ナンバリング	51C411P01	AL 科目	○
担当者	伊藤 さゆり(臨心・臨心)、倉澤 美智子(臨心・臨心)、戸高 翼(臨心・臨心)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	<p>本授業は、これまでの講義や実習で得た知識を整理・統合し、将来の言語聴覚士としてリハビリテーションの一翼を担うことのできる確かな能力を身につけることを目標とする(DP3、4)。専門科目(失語・高次脳機能障害学、言語発達障害学、発声発語・嚥下障害学、聴覚障害学)を中心に、各領域の重要事項を関連づけながら総合的に学ぶ(CP1(5))。</p> <p>本授業は、言語聴覚士国家試験の出題基準に基づき、専門科目の重要事項を整理し、問題演習を通して知識の定着と応用力の向上を図ることを目的とする。</p> <p>授業は講義および演習形式で実施し、各回の授業では国家試験形式の問題を用いた確認テストを実施する。</p> <p>特に専門科目の理解を深めるため、学生同士での討議や質問を積極的に取り入れる。</p> <p>解答提示および自己採点を通して理解の状況を把握し、誤答の原因を振り返ることで自身の弱点を明確にし、効率的な学習につなげることを目指す。</p>						
学修目標	<p>1) 言語聴覚士国家試験の出題基準に基づき、専門科目の各領域における重要事項を説明できる。</p> <p>2) 国家試験形式の問題に対して、根拠をもとに正答を選択できる。</p> <p>3) 各選択肢について、正誤の理由を説明できる。</p> <p>4) 自身の解答結果をもとに、理解が不十分な領域を特定できる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者の伊藤、倉澤、戸高の3名は、言語聴覚士としての豊富な臨床経験を活かして、言語聴覚療法に関連する国家試験科目の講義を行う。						
評価及びフィード バックの方法	<p>成績評価は、授業内で実施する確認テストにより行う(100%)。</p> <p>確認テストは各回の授業時間内に実施し、全15回、各回100点満点とする。</p> <p>最終成績は15回の確認テストの平均点により算出する。</p> <p>未提出の確認テストは0点として扱う。</p> <p>確認テスト実施後に解答提示および自己採点を行い、必要に応じて解説を行う。特に専門科目の理解を深めるため、討議や質問を通して理解の補足を行う。</p> <p>また、各自で誤答の原因を整理し、今後の学習に活用することを求める。</p> <p>なお、本授業はオムニバス形式で実施するが、最終成績の評価は主担当教員</p>						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>本講義は専門科目の総まとめとなる国家試験対策にも直結する講義である。授業前後だけでなく、毎日最低2時間以上の予習・復習が必要になる。</p> <p>各回の学習内容について自己の弱点を整理し、国家試験対策として今後の学習計画の立案に活用する。</p> <p>担当教員の都合により授業の順番が変更となる場合がある。</p>						
オフィスアワー	各教員の時間に準ずる。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)2)3) 4)	オリエンテーション、ST 専門科目の整理:失語症①				講義・演習	伊 藤
2	1)2)3) 4)	ST 専門科目の整理:失語症②				講義・演習	伊 藤
3	1)2)3) 4)	ST 専門科目の整理:高次脳機能障害				講義・演習	伊 藤
4	1)2)3) 4)	ST 専門科目の整理:言語発達障害①				講義・演習	戸 高
5	1)2)3) 4)	ST 専門科目の整理:運動障害性構音障害				講義・演習	伊 藤
6	1)2)3) 4)	ST 専門科目の整理:嚥下障害				講義・演習	伊 藤
7	1)2)3) 4)	ST 専門科目の整理:補聴器・人工内耳				講義・演習	倉 澤
8	1)2)3) 4)	ST 専門科目の整理:失語症③				講義・演習	伊 藤
9	1)2)3) 4)	ST 専門科目の整理:言語発達障害②				講義・演習	戸 高
10	1)2)3) 4)	ST 専門科目の整理:機能的構音障害、吃音				講義・演習	戸 高
11	1)2)3) 4)	ST 専門科目の整理:音声障害、器質性構音障害				講義・演習	伊 藤
12	1)2)3) 4)	ST 専門科目の整理:小児聴覚障害①				講義・演習	戸 高
13	1)2)3) 4)	ST 専門科目の整理:小児聴覚障害②				講義・演習	戸 高
14	1)2)3) 4)	ST 専門科目の整理:成人聴覚障害①				講義・演習	倉 澤
15	1)2)3) 4)	ST 専門科目の整理:成人聴覚障害②				講義・演習	倉 澤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		言語聴覚士テキスト 第4版(大森孝一他編)医歯薬出版株式会社【978-4-263-26690-8】 その他、専門科目の教科書を適宜、活用すること。					

参考書(著者名)出版社名【ISBN】

言語聴覚士国家試験必修ポイント 2026ST 基礎科目(医歯薬出版編)医歯薬出版株式会社【978-4-263-27156-8】

言語聴覚士国家試験必修ポイント 2026ST 専門科目(医歯薬出版編)医歯薬出版株式会社【978-4-263-27157-5】

科目名	専門ゼミⅢ		授業コード	121277B612	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(4年)		ナンバリング	51C411P01	AL 科目	○	
担当者	染矢 真実(心・心)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	<p>専門ゼミⅢでは、専門ゼミⅡにおいて明確化した研究の問題および目的に基づき、研究方法を具体化し、卒業研究を実施する。主に心理臨床領域の事例研究を対象として、臨床的介入の過程だけでなく、介入後の状態や支援の成果(アウトカム)がどのように記述・評価されているのかに着目しながら文献を検討する。データの収集および分析を行うとともに、研究成果を論文形式でまとめ、卒業研究論文の初稿を作成する。研究経過の発表および討議を通して、研究の妥当性、倫理的配慮および論理構成の適切性について検討する。なお、本ゼミでは行動論的アプローチの観点から研究を進める。【DP(1)(2)(6)、CP(1)】</p>						
学修目標	<p>1)心理臨床領域における事例研究を対象として、臨床的介入の過程および介入後の状態や支援成果について文献をもとに検討することができる。 2)研究問題および研究目的に基づき、適切な研究方法を設定し、データの収集および分析を行うことができる。 3)研究経過の発表および討議を通して、自らの研究の妥当性、倫理的配慮および論理構成について検討することができる。 4)他者の研究発表に対して建設的なコメントや討論を行うことができる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	<p>科目担当者は、医療機関および教育現場における長期の臨床経験を有しており、その実務経験に基づき、心理学的支援の実践における視点や研究課題の設定方法等について指導を行う。</p>						
評価及びフィード バックの方法	<p>演習におけるディスカッションへの参加状況(50%)、及び発表・レポート等の課題の提出状況・内容 50%として、単位認定を行う。 課題についての講評・解説については、原則、授業時に行う。また、復習を促すためにユニパを活用し講評(フィードバック)を行う場合もある。</p>						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>本ゼミでは、研究の実施および卒業研究論文の初稿作成を行うため、研究の進捗状況を整理したレポートを毎回ゼミ開始前に提出すること。あわせて、分析結果や考察の方向性について事前に検討し、討議に備えること。授業後は、討議での指摘や助言を踏まえて分析や記述内容を修正し、論文原稿の推敲を行うこと。 本科目は演習形式であるため、原則として毎回出席し、研究発表および討議に主体的に参加すること。討議においては、根拠に基づく意見交換を行い、互いを尊重する態度を保持すること。</p>						
オフィスアワー	研究室前に掲示						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)3)4)	ガイダンス(スケジュール・研究テーマの確認)				演 習	染 矢
2	1)3)4)	研究テーマ領域の基礎理解および文献の探し方				演 習	染 矢
3	1)3)4)	ミニレビュー課題				演 習	染 矢
4	1)3)4)	ミニレビュー発表				演 習	染 矢
5	1)3)4)	先行研究の検討				演 習	染 矢
6	1)~4)	研究方法の検討およびデータ収集				演 習	染 矢
7	1)~4)	事例研究の収集および整理				演 習	染 矢
8	1)~4)	データの整理・分析①				演 習	染 矢
9	1)~4)	データの整理・分析②				演 習	染 矢
10	1)~4)	データの整理・分析③				演 習	染 矢
11	1)~4)	分析結果の整理および考察の検討				演 習	染 矢
12	1)~4)	研究結果の記述方法(図表作成・結果の整理)				演 習	染 矢
13	1)~4)	論文執筆指導①(研究史・問題の整理)				演 習	染 矢
14	1)~4)	論文執筆指導②(研究目的・方法・結果の記述)				演 習	染 矢
15	1)~4)	研究進捗発表				演 習	染 矢
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特に指定なし					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		<p>三訂版 心理学論文の書き方—卒業論文や修士論文を書くために(松井豊)河出書房新社 ISBN9784309254494 心理学レポート・論文の書き方—演習課題から卒論まで(板口典弘・山本健太郎)講談社 ISBN9784061548091</p>					

科目名	専門ゼミⅣ			授業コード	121648B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(4年)			ナンバリング	51C412P01	AL 科目	○	
担当者	横山 裕(臨床心理)	開講学期	2026 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リデーNo.	本演習を通して、ゼミ生が卒業論文のテーマ設定、論文作成のスケジュールの立案、調査の実施、論文の著述、成果の報告などがスムーズにできるようになる。(DP6,CP7)							
学修目標	1) 卒業論文のテーマ設定ができる。 2) 必要とする先行研究にアクセスできる。 3) 必要文献を精読できる。 4) 伝えたい情報を口頭でわかりやすく説明できる。 5) 伝えたい情報を文章で性格に記述できる。							
実務経験のある 教員による教育	非該当							
評価及びフィード バックの方法	学習態度、ゼミでの発表内容などから総合的に評価する。 ゼミ時間内及びオフィスアワーなどを活用して個別にフィードバックを行う。							
準備学習・ 履修上の注意等	演習に関することについては教員の指導・指示に従うこと							
オフィスアワー	毎週月水金 12:00～13:00							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。					演 習	横 山
2	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。					演 習	横 山
3	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。					演 習	横 山
4	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。					演 習	横 山
5	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。					演 習	横 山
6	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。					演 習	横 山
7	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。					演 習	横 山
8	2)3)4)	個別指導を受けながら論文作成を行い、経過報告を発表できる。					演 習	横 山
9	4)5)	卒業論文の校正・指導をうけて論文形態にまとめることができる。					演 習	横 山
10	4)5)	卒業論文の校正・指導をうけて論文形態にまとめることができる。					演 習	横 山
11	4)5)	卒業論文の校正・指導をうけて論文形態にまとめることができる。					演 習	横 山
12	4)5)	卒業論文の校正・指導をうけて論文形態にまとめることができる。					演 習	横 山
13	4)5)	卒業論文の校正・指導をうけて論文形態にまとめることができる。					演 習	横 山
14	4)5)	卒業論文の校正・指導をうけて論文形態にまとめることができる。					演 習	横 山
15	4)	発表ができる。					演 習	横 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						

科目名	専門ゼミⅣ			授業コード	121648B602	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	心理・福祉コース(4年)			ナンバリング	51C412P01	AL 科目	○
担当者	前田 直樹(心・心)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	演習Ⅰで学習したことを踏まえて、各自の興味のある研究テーマをより具体的に絞り込む。テーマを絞り込んだらそれに関連する文献を集めて文献研究を行う。臨床心理学の研究法は様々なものがあり、自分のテーマに合う研究法を学習し、どのような手順で研究を進めていくのか具体的な計画を立てる。この演習はできるだけ多くの文献や研究法に触れて学習を進めていく。 (DP1) (DP5) (DP6) (CP2)						
学修目標	1)文献研究ができるようになる。 2)臨床心理学の各種研究法を使用することができる。 3)研究論文の作成ができるようになる。						
実務経験のある 教員による教育	○						
評価及びフィード バックの方法	レポート、卒業論文						
準備学習・ 履修上の注意等	自主的に調査研究する姿勢。行動理論、行動療法、英語に興味を持っている学生。						
オフィスアワー	(月)18:00-18:30						

授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方 法	担 当		
1	1)2)3)	オリエンテーション	演 習	前 田		
2	1)2)3)	卒業研究中間発表を行う	演 習	前 田		
3	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演 習	前 田		
4	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演 習	前 田		
5	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演 習	前 田		
6	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演 習	前 田		
7	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演 習	前 田		
8	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演 習	前 田		
9	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演 習	前 田		
10	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演 習	前 田		
11	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演 習	前 田		
12	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演 習	前 田		
13	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演 習	前 田		
14	1)2)3)	卒業論文作成を行う	演 習	前 田		
15	1)2)3)	卒業研究最終発表を行う	演 習	前 田		
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。				
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。				

科目名	専門ゼミⅣ			授業コード	121648B604	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(4年)			ナンバリング	51C412P01	AL科目	○
担当者	加藤 謙介	開講学期	2026年度後期	必修・選択	必修	授業形態	演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	これまでの学科・コース・ゼミでの学びで得られた知識・関心を具体化し、「卒業研究」を完成させるために、受講生各自の卒業論文研究計画の遂行、及び途中経過の発表・ディスカッションを実施する。その上で、卒業研究論文を完成させる。 【DP(1)(3)(5)(6)・CP(7)】						
学修目標	1)自分の研究テーマをもとに、「研究」「学術論文」の枠組みについて説明できる。 2)卒業研究の計画を遂行できる。 3)研究計画・結果をもとにディスカッションができる。 4)卒業研究論文を執筆できる。						
実務経験のある 教員による教育	特になし。						
評価及びフィード バックの方法	【フィードバック】専門ゼミ・オフィスアワーでのディスカッションを通してフィードバックを行う。 【評価】(1)演習におけるディスカッションへの参加状況(10%)、(2)課題の提出状況・内容(30%)、(3)卒業研究論文の内容(60%) によって評価する。 ◆特に、卒業研究に取り組むことで、専門ゼミ以前と比べ、通常の学習以上の「発見」が得られたことを評価対象とする。						
準備学習・ 履修上の注意等	【準備学習(予習・復習等)時間】発表担当者は期日までに資料を準備すること。発表担当以外の受講者も、資料・ノートなど読み直すなどして、予習・復習を行うこと。 【履修上の注意等】本科目は演習であるため、毎回授業に参加し、文献を読み進め、発表を行うことに意味がある。また、他の受講生の発表内容について積極的・主体的に議論し、自分の意見を述べることを望む。加えて、人間の心理・福祉、人と動物の関係に関する基礎的な知識については、既にこれまでの講義である程度習得されていることを前提にして授業を進める。 ◆卒業研究論文の完成に向け、学期内に複数回の課題を設けるが、提出遅れや未提出が重なる場合は、単位を認めない。 ◆理由なく遅刻・欠席が重なったり、教員と連絡が取れなくなるなどの状況が続いた場合は、「放棄」とみなす。						
オフィスアワー	時間割が確定した後に研究室前に掲示する。						

#### 授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方 法	担 当		
1	1)	イントロダクション	演習	加藤		
2	2)3)4)	卒業論文中間報告(1)	演習	加藤		
3	2)3)4)	卒業論文中間報告(2)	演習	加藤		
4	2)3)4)	卒業論文中間報告(3)	演習	加藤		
5	2)3)4)	卒業論文中間報告(4)	演習	加藤		
6	2)3)4)	卒業論文中間報告(5)	演習	加藤		
7	2)3)4)	卒業論文中間報告(6)	演習	加藤		
8	2)3)4)	卒業論文中間報告(7)	演習	加藤		
9	2)3)4)	卒業論文中間報告(8)	演習	加藤		
10	2)3)4)	卒業論文中間報告(9)	演習	加藤		
11	2)3)4)	卒業研究論文作成最終作業(1)	演習	加藤		
12	2)3)4)	卒業研究論文作成最終作業(2)	演習	加藤		
13	2)3)4)	卒業研究論文作成最終作業(3)	演習	加藤		
14	2)3)4)	卒業研究論文作成最終作業(4)	演習	加藤		
15	1)2)3) 4)	総括	演習	加藤		
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。				
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。				

科目名	専門ゼミⅣ			授業コード	121648B605	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(4年)			ナンバリング	51C412P01	AL 科目	○
担当者	松山 光生(臨心)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	必 修	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	常に問題意識を持ち、その解決するための視点を持ち続けられる実践家になるために、各自で、卒業研究に関連する資料・文献を収集し、熟読する。その上で、問題を解決するための視点を、卒業研究の研究計画を通じて学ぶ(DP5、6)。						
学修目標	1) 今後の活動を見越して計画的に準備ができる。 2) 文献から得た情報を体系的に整理できる。 3) 情報を基づいて自分の考えを表現できる。 4) 相手の立場に立ち発言ができる。 5) ゼミ運営において自主的な行動ができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(松山)は、臨床発達心理士、公認心理師としての実務経験に基づき、実践を意識した授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	平常点70%、提出物30%で総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	今後をしっかり見据えて、真摯に取り組んでほしい。また、ゼミ運営にも積極的に参加してほしい。 次のように、1回授業につき120分を目安に予習、復習を行うこと。 授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。 返却された提出物を再び、独力で完成できるようにしておくこと。 進路希望に応じて、①大学院入試、②資格試験、③採用試験の準備を随時行う。必要に応じて、英文和訳を勉強する						
オフィスアワー	毎週火・水曜日 18:15～19:15						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)～5)	ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
2	1)～5)	【ゼミのあり方について学ぶ①】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
3	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ①】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
4	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ②】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
5	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ③】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
6	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ④】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
7	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ⑤】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
8	1)～5)	【研究テーマについて検討する①】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
9	1)～5)	【研究テーマについて検討する②】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
10	1)～5)	【研究テーマについて検討する③】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
11	1)～5)	【研究テーマについて検討する④】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
12	1)～5)	【研究計画について検討する①】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
13	1)～5)	【研究計画について検討する②】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
14	1)～5)	【研究計画について検討する③】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
15	1)～5)	【研究計画について検討する④】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。				S G D	松 山
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		特に指定しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜紹介する。					

科目名	専門ゼミⅣ			授業コード	121648B606	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(4 年)			ナンバリング	51C412P01	AL 科目	○	
担当者	内藤 健一(臨・臨)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	必 修	授業形態	演習・SGD	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソ-No.	生涯にわたる自己研鑽力、問題発見・解決力を身につけた心理、福祉の専門職となるために(DP(6))、卒業論文を完成させる (CP(7))。							
学修目標	1)得られた結果をもとに、卒業論文を執筆できる。							
実務経験のある 教員による教育	該当なし。							
評価及びフィード バックの方法	卒業論文の最終版の内容をもとに評価する(100%)。							
準備学習・ 履修上の注意等	1コマ当たり1時間を目安に予習(論文作成)・復習(指摘を受けた点の修正)をおこなうこと。							
オフィスアワー	毎週火～金曜日 12:15～13:00							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
2	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
3	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
4	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
5	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
6	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
7	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
8	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
9	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
10	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
11	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
12	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
13	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
14	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
15	1)	卒業論文指導					演習・SGD	内 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		適宜、紹介する。						

科目名	専門ゼミⅣ			授業コード	121648B607	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(4年)			ナンバリング	51C412P01	AL 科目	○
担当者	黒須 依子(心・心)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	必 修	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	専門ゼミⅣの目標は卒業研究に主体的に取り組み(C7)、卒業研究論文執筆と卒業研究論文要旨執筆を指定期限までに完成すること(D5, D6)、ゼミでの卒業研究発表会で聴者にわかりやすく研究結果を発表し、質疑応答できることである(D2)。上記に加え、12月にゼミ生間で卒論研究発表会を開催し、研究報告、メンバー間の質疑応答等を通じ、各自の研究内容、論文内容を客観的な視点で振り返り、新たな研究課題を見出ししていく。						
学修目標	1)専門ゼミⅣの目的を理解し、説明できる。 2)研究計画に基づき、卒論執筆を進めることができる。 3)グループ討議において、自分の意見を明確に伝えることができる。 4)グループ討議において、メンバーの発表や意見を傾聴することができる。 5)パワーポイントを使用して報告資料を作成、研究内容を発表することができる。 6)研究内容を要約し、規定に従い抄録にまとめることができる。 7)卒業論文作成の意義と課題を理解する。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし						
評価及びフィード バックの方法	専門ゼミⅣでは、卒論本文・卒論要旨の提出期限までの提出状況を中心に、「研究活動への主体的な取り組み状況(20%)、個別課題の提出期限厳守・達成状況(30%)、論文執筆状況・内容(30%)、卒論発表会への準備、発表内容(20%)」の基準で総合評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	専門ゼミⅣでは個別指導を中心に、卒業研究・卒業論文執筆指導を行う。授業は全出席を原則とする。卒業論文発表会、ゼミメンバー間で行う中間報告会では発表用資料を作成を求めため、発表データ、資料作成にも主体的に取り組むこと。卒業論文、卒業論文抄録を提出期限までに完成するために、研究計画書を立て、計画的に論文執筆を進めていくこと。予習、復習の目安は1コマあたり2時間以上とする。						
オフィスアワー	時間割確定後に研究室前に提示する。						

授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当
1	1)2)3) 4)	(オリエンテーション) 専門ゼミⅣの目的、内容、評価方法、授業計画について理解する。 自身の研究進捗状況、研究計画・論文作成計画を報告する。 研究計画・論文作成計画を見直し、必要に応じて立て直す。	講義・演習	黒 須
2	1)2)	研究活動・論文作成(1) ・研究活動を進めながら論文を執筆にとりくみ、担当教員の指導を受け、研究内容、論文執筆内容を修正し研究活動を進める。 ・研究論文を執筆し担当教員の指導を受け、必要に応じて追記、修正する。	演 習	黒 須
3	1)2)	研究活動・論文作成(2) ・研究活動を進めながら論文を執筆にとりくみ、担当教員の指導を受け、必要に応じて研究内容を見直す。 ・研究論文を執筆し担当教員の指導を受け、必要に応じて追記、修正する。	演 習	黒 須
4	1)2)	研究活動・論文作成(3) ・研究活動を進めながら論文を執筆にとりくみ担当教員の指導を受け、必要に応じて研究内容を見直す。 ・研究論文を執筆し担当教員の指導を受け、必要に応じて追記、修正する。	演 習	黒 須
5	1)2)	研究活動・論文作成(4) ・研究活動を進めながら論文を執筆にとりくみ担当教員の指導を受け、必要に応じて研究内容を見直す。 ・研究論文を執筆し担当教員の指導を受け、必要に応じて追記、修正する。	演 習	黒 須
6	1)2)	研究活動・論文作成(5) ・研究活動を進めながら論文を執筆にとりくむ。担当教員の指導を受け、必要に応じて研究内容を見直す。 ・研究論文を執筆し担当教員の指導を受け、必要に応じて追記、修正する。	演 習	黒 須
7	1)2)5)	ゼミ中間報告会資料作成・準備 ゼミ卒論中間報告会参加に向け、研究概要、論文章立て、および研究進捗状況における報告資料を作成する。	演 習	黒 須
8	1)3)4) 5)	ゼミ卒論中間報告会の開催、参加、研究経過報告 ゼミ生主体で卒論中間報告会を開催する。 ゼミ生は卒論中間発表会(研究報告、質疑応答、他メンバーの研究内容聴講)は、自身の研究内容、論文内容を振り返り、さらに深めていくための重要な学びの機会である。	演 習	黒 須
9	1)2)	論文作成(6) ・研究活動を進めながら担当教員の指導を受け、必要に応じて研究内容を見直す。 ・研究論文を執筆し担当教員の助言・指導を受け、必要に応じて追記、修正する。	演 習	黒 須
10	1)2)	論文作成(7) ・研究活動を進めながら担当教員の指導を受け、必要に応じて研究内容を見直す。 ・研究論文を執筆し担当教員の助言・指導を受け、必要に応じて追記、修正する。	演 習	黒 須
11	1)2)	論文作成(8)・論文要旨作成(1) ・研究活動を進めながら研究論文を執筆にとりくむ。担当教員の指導を受け必要に応じて研究内容を見直す ・研究論文を執筆し担当教員の助言・指導を受け、必要に応じて追記、修正する。	演 習	黒 須
12	2)6)	論文作成(9)・論文要旨作成(2) ・研究活動を進めながら研究論文を執筆にとりくむ。担当教員の指導を受け必要に応じて研究内容を見直す ・研究論文を執筆し担当教員の助言・指導を受け、必要に応じて追記、修正する。 ・卒業論文完成後、卒業論文要旨を作成する。	演 習	黒 須
13	2)6)	論文完成(10)・論文要旨完成(3) ・研究活動を進めながら研究論文を執筆にとりくむ。担当教員の指導を受け必要に応じて研究内容を見直す ・研究論文を執筆し担当教員の助言・指導を受け、必要に応じて追記、修正する。	演 習	黒 須

		・卒業論文完成後、担当教員の指導を受け卒業論文要旨を作成、完成する。		
14	3)4)5)	ゼミ卒業研究発表会(1) 卒業研究発表資料提出・報告練習 ゼミ3年生、ゼミ4年生を対象とするゼミ卒業研究発表の発表データ、資料作成を行い、報告練習を行う。	演習	黒須
15	3)4)7)	ゼミ卒論発表会(2) ・ゼミ3年生・4年生を対象に、パワーポイントによる発表資料を使用した卒論研究発表を行う。 ・ゼミ生間のディスカッションを通じ各研究課題を見出し、卒業研究、論文執筆の意義を理解する。	演習	黒須
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。		

科目名	専門ゼミⅣ			授業コード	121648B608	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(4年)			ナンバリング	51C412P01	AL科目	○
担当者	染矢 真実(心・心)	開講学期	2026年度後期	必修・選択	必修	授業形態	演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	<p>専門ゼミⅣでは、専門ゼミⅢで進めた研究内容および結果の記述をもとに、分析結果の精緻化および考察の深化を行い、卒業研究論文の完成を目指す。学生は研究の進捗を定期的に報告し、討論や相互検討を通して研究内容を深める。さらに、研究成果の発表および議論を通して論文の質を高め、所定の期日までに卒業研究論文を完成・提出することを目指す。なお、研究の実施および資料の取り扱いにあたっては、研究倫理および個人情報の保護に十分配慮する。【DP(1)(2)(6), CP(1)】</p>						
学修目標	<p>1)研究目的に基づいてデータを整理し、適切な方法で分析することができる。 2)研究結果を論理的に整理し、心理学研究としてまとめることができる。 3)ゼミでの討論への参加状況および他の学生の研究に対する建設的なコメントや質問ができる。 4)研究成果を卒業論文としてまとめることができる。</p>						
実務経験のある 教員による教育	<p>科目担当者は、医療機関および教育現場における長期の臨床経験を有しており、その実務経験に基づき、心理学的支援の実践における視点や研究課題の設定方法等について指導を行う。</p>						
評価及びフィード バックの方法	<p>・演習におけるディスカッションへの参加状況(50%)、及び発表・卒業論文の内容を50%として、単位認定を行う。 ・課題についての講評・解説については、原則、授業時に行う。また、復習を促すためにユニバ等を活用し講評(フィードバック)を行う場合もある。</p>						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>本ゼミでは、卒業研究論文の完成および提出を目指すため、作成した原稿を毎回ゼミ開始前に提出すること。提出原稿には、指摘を踏まえた修正箇所を明示し、改善点が見えるよう整理すること。発表担当者は、研究全体の構成、分析結果の妥当性および考察の論理的な一貫性が明確に示されるよう発表資料を準備すること。授業後は、討議および指導内容を踏まえて原稿の推敲を行い、文章表現、引用・参考文献の記載方法、図表の適切性等について学術的形式に則って整えること。最終的には所定の期日までに卒業研究論文を提出すること。 本科目は演習形式であるため、原則として毎回出席し、研究発表および討議に主体的に参加すること。最終的には所定の期日までに卒業研究論文を提出すること。</p>						
オフィスアワー	研究室前に掲示する。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	3)	ガイダンス(研究進捗の確認および論文構成の確認)				演 習	染 矢
2	1)~3)	論文執筆指導①(研究史の整理)				演 習	染 矢
3	1)~3)	論文執筆指導②(研究方法の確認)				演 習	染 矢
4	1)~3)	論文執筆指導③(結果の整理)				演 習	染 矢
5	1)~3)	論文執筆指導④(考察の作成)				演 習	染 矢
6	1)~4)	卒業論文草稿の検討①				演 習	染 矢
7	1)~4)	卒業論文草稿の検討②				演 習	染 矢
8	1)~4)	卒業論文草稿の相互検討(ピアレビュー)				演 習	染 矢
9	1)~4)	卒業論文最終修正				演 習	染 矢
10	1)~4)	卒業研究論文提出				演 習	染 矢
11	1)~4)	卒業研究発表準備①				演 習	染 矢
12	1)~4)	卒業研究発表準備②				演 習	染 矢
13	1)~4)	卒業研究発表準備③				演 習	染 矢
14	1)~4)	卒業研究発表				演 習	染 矢
15	1)~4)	総括				演 習	染 矢
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		<p>三訂版 心理学論文の書き方—卒業論文や修士論文を書くために(松井豊, 河出書房新社) ISBN9784309254494 心理学レポート・論文の書き方—演習課題から卒論まで(板口典弘・山本健太郎, 講談社)ISBN9784061548091</p>					

科目名	専門ゼミⅣ			授業コード	121648B609	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(4年)			ナンバリング	51C412P01	AL 科目	○
担当者	伊藤 さゆり(臨心・臨心)、倉澤 美智子(臨心・臨心)、戸高 翼(臨心・臨心)、吉武 重徳(臨心・臨心)、中村 真理子(臨心・臨心)、松山 光生(臨心・臨心)、内藤 健一(臨心・臨心)、染矢 真実(臨心・臨心)、太田 栄次(外部講師)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	必 修	授業形態	講 義
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	<p>これまでの講義や実習で得た知識を整理・統合し、将来の言語聴覚士としてリハビリテーションの一翼を担うことのできる確かな能力を身につけることを目標とする(DP3、4)。基礎科目を中心に、互いに関連する領域を結びつけながら総合的に学ぶ(CP1(5))。</p> <p>本授業は、言語聴覚士国家試験の基礎科目の出題基準に基づき、各領域の重要事項を整理し、問題演習を通して知識の定着と応用力の向上を図ることを目的とする。</p> <p>授業は講義および演習形式で実施し、各回の授業では国家試験形式の問題を用いた確認テストを行う。解答提示および自己採点を通して理解の状況を把握し、誤答の原因を振り返ることで自身の弱点を明確にし、効率的な学習につなげることを目指す。</p>						
学修目標	<p>1) 言語聴覚士国家試験の出題基準に基づき、各領域の重要事項を説明できる。</p> <p>2) 国家試験形式の問題に対して、根拠をもとに正答を選択できる。</p> <p>3) 各選択肢について、正誤の理由を説明できる。</p> <p>4) 自身の解答結果をもとに、理解が不十分な領域を特定できる。</p>						
実務経験のある教員による教育	<p>本授業の一部では、臨床経験を有する教員による解説を行う。</p> <p>科目担当者のうち倉澤、伊藤、戸高の3名は、言語聴覚士としての豊富な臨床経験を活かして、言語聴覚療法に関連する国家試験科目の講義を行う。</p> <p>科目担当者のうち吉武は、医師としての豊富な臨床経験を活かして、基礎医学、臨床医学に関連する国家試験科目の講義を行う。</p> <p>科目担当者のうち中村は、歯科医師としての豊富な臨床経験を活かして、臨床歯科医学、口腔外科学、リハビリテーション医学に関連する国家試験科目の講義を行う。</p> <p>科目担当者のうち松山は、本学にて言語発達学と生涯発達心理学、医療統計学演習の担当教員としての勤務経験がある。この豊富な経験を活かして、言語発達学生涯発達心理学、心理測定法に関連する国家試験科目の講義を行う。</p> <p>科目担当者のうち内藤は、本学にて学習・認知心理学の担当教員としての勤務経験がある。この豊富な経験を活かして、認知・学習心理学に関連する国家試験科目の講義を行う。</p> <p>科目担当者のうち染矢は、公認心理師として病院や学校、児童相談所での勤務経験がある。この豊富な臨床経験を活かして、臨床心理学に関連する国家試験科目の講義を行う。</p> <p>科目担当者のうち太田は、平成16年9月から平成17年8月まで台湾銘伝大学応用日本語学科にて、日本語教育担当教員としての勤務経験がある。この豊富な経験を活かし、言語学・音声学に関連する国家試験科目の講義を行う。</p>						
評価及びフィードバックの方法	<p>成績評価は、授業内で実施する確認テストにより行う(100%)。</p> <p>確認テストは各回の授業時間内に実施し、全15回、各回100点満点とする。</p> <p>最終成績は15回の確認テストの平均点により算出する。</p> <p>未提出の確認テストは0点として扱う。</p> <p>確認テスト実施後、解答を提示し、各自で自己採点を行うことで理解の確認を行う。</p> <p>また、各自で誤答の原因を整理し、今後の学習に活用することを求める。</p> <p>成績評価は科目責任者が算出する。</p>						
準備学習・履修上の注意等	<p>本講義は専門科目の総まとめとなる国家試験対策にも直結する講義である。授業前後だけでなく、毎日最低2時間以上の予習・復習が必要になる。</p> <p>各回の学習内容について自己の弱点を整理し、国家試験対策として今後の学習計画の立案に活用する。</p> <p>担当教員の都合により授業の順番が変更となる場合がある。</p>						
オフィスアワー	各教員の時間に準ずる。						

授業計画				
回数	学修目標 No.	授 業 内 容	授 業 方 法	担 当
1	1)2)3)4)	ST 基礎科目の整理: 臨床神経学	講義・演習	伊 藤
2	1)2)3)4)	ST 基礎科目の整理: リハビリテーション医学・リハビリテーション概論	講義・演習	伊 藤
3	1)2)3)4)	ST 基礎科目の整理: 基礎医学・臨床医学	講義・演習	吉 武
4	1)2)3)4)	ST 基礎科目の整理: 医学総論、口腔外科学、臨床歯科医学、社会保障制度、医療福祉教育・関連法規	講義・演習	中 村
5	1)2)3)4)	ST 基礎科目の整理: 音声学・音響学・聴覚心理学・言語学①	講義・演習	太 田
6	1)2)3)4)	ST 基礎科目の整理: 小児科学	講義・演習	戸 高
7	1)2)3)4)	ST 基礎科目の整理: 聴覚系の構造・機能・病態	講義・演習	倉 澤
8	1)2)3)4)	ST 基礎科目の整理: 心理測定法	講義・演習	松 山
9	1)2)3)4)	ST 基礎科目の整理: 生涯発達心理学・言語発達学	講義・演習	松 山

10	1)2)3) 4)	ST 基礎科目の整理: 音声学・音響学・聴覚心理学・言語学②	講義・演習	太田
11	1)2)3) 4)	ST 基礎科目の整理: 呼吸発声発語系の構造・機能・病態	講義・演習	倉澤
12	1)2)3) 4)	ST 基礎科目の整理: 耳鼻咽喉科学	講義・演習	戸高
13	1)2)3) 4)	ST 基礎科目の整理: 認知・学習心理学	講義・演習	内藤
14	1)2)3) 4)	ST 基礎科目の整理: 臨床心理学	講義・演習	染矢
15	1)2)3) 4)	ST 基礎科目の整理: 精神医学	講義・演習	伊藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		言語聴覚士テキスト 第4版(大森孝一他編)医歯薬出版株式会社【978-4-263-26690-8】 その他、専門科目の教科書を適宜、活用すること。		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		言語聴覚士国家試験必修ポイント 2026ST 基礎科目(医歯薬出版編)医歯薬出版株式会社【978-4-263-27156-8】		

科目名	失語症学			授業コード	121891B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科、言語聴覚コース(2年)			ナンバリング	51S221P05	AL 科目	○
担当者	倉澤 美智子(臨・臨)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 須	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	失語症学 I では、失語症の基本的知識を修得する。言語聴覚士の臨床において、その技術が最も問われるコミュニケーション障害の一つである本講義では、失語症の定義と鑑別、原因疾患、病巣言語側性化、失語症の一般症状、発話面の症状、理解面の症状、復唱障害、読字障害、書字障害、古典型失語症群、その他の失語症、純粋型、原発性進行性失語、後天性小児失語、など基本的な知識について学ぶ。(DP1, 3)、(CP1(1,2,5)、2(1,2))						
学修目標	1)失語症の概要について理解し、説明ができる。 2)失語症の定義・言語と脳の関係について理解し、説明ができる。 3)失語症の原因疾患と言語症状について理解し、説明ができる。 4)失語症の近縁症状や随伴しやすい障害について理解し、説明ができる。 5)失語症症候群について理解し、説明できる。 6)失語症の言語聴覚療法の全体像について理解し、説明できる。 7)失語症の評価・診断について理解し、説明できる。 8)情報収集～評価・診断の一連の流れについて理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(倉澤)は、病院等臨床現場における言語聴覚士としての20年以上の実務経験に基づき、失語症に関わる脳神経の解剖や疾患、障害に関する知識の修得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	定期的なレポート課題等により形成的評価を行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、レポート等)の評価を30%、学期末の単位認定試験を70%として単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	定期的に講義内容について、レポート提出等を行うので準備をしておいてください。 講義ごとに予習・復習をしっかりと行い、失語症ドリルでの確認も行っていただくこと。						
オフィスアワー	毎週水曜日 12:30-13:00、講義時間以外の在室中(研究室)						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	失語症概論				講義・SGD	倉澤
2	2)	失語症の定義・言語と脳の関係性について				講義	倉澤
3	3)	失語症の原因疾患及び言語症状				講義	倉澤
4	4)	失語症の近縁症状と随伴しやすい障害				講義	倉澤
5	5)	失語症候群(1)				講義	倉澤
6	5)	失語症候群(2)				講義	倉澤
7	5)	失語症候群(3)				講義	倉澤
8	5)	失語症候群(4)				講義	倉澤
9	6)	失語症の言語聴覚療法の全体像				講義	倉澤
10	7)	失語症の評価と診断				講義・SGD	倉澤
11	8)	失語症の回復過程				講義	倉澤
12	6)7)8)	言語治療の基本原則				講義	倉澤
13	6)7)8)	言語治療の理論と技法				講義	倉澤
14	6)7)8)	失語症の言語治療の実際				講義・SGD	倉澤
15	1)~8)	まとめ:学習の振り返り				講義・SGD	倉澤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	標準言語聴覚障害学 失語症学第3版(藤田郁代・他編)医学書院【9784260043076】 なるほど!失語症の評価と治療 検査結果の解釈から訓練法立案まで(小嶋知幸 編)金原出版株式会社 【ISBN978-4-307-75023-3】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	失語症 臨床標準テキスト(種村純 監修)医歯薬出版株式会社 【ISBN978-4-263-26610-6】 病気が見える7 脳・神経 (医療情報科学研究所 編)メディックメディア 【ISBN978-4-89632-686-4】 リハに役立つ脳画像 改訂第2版(酒匂正春 監修)メディカルビュー社 【ISBN 978-4-7583-2013-9】 失語症(授業・実習・国試に役立つ 言語聴覚士ドリルプラス)(大塚 裕一 編)診断と治療社【978-4787823953】						

科目名	失語症学演習		授業コード	121892A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)		ナンバリング	51S222P02	AL 科目	○	
担当者	伊藤さゆり(臨・臨)	開講学期	2026年度後期	必修・選択	選 択	授業形態 講義・演習・SGD	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソンNo.	<p>本授業では、失語症に対する評価・診断およびリハビリテーションの基本的な考え方を、演習を通して学ぶ。標準的な言語機能検査の実施を通して、各モダリティ(聴覚的理解、発話、読解、書字)の評価方法を理解し、その結果をもとに障害像を解釈する力を養う(DP3)(CP1(5))。</p> <p>授業は検査の実施順序に沿って進め、各回において演習と理論を組み合わせたアクティブラーニングを取り入れる(CP2(1))。理論面では、認知神経心理学的モデルに基づき、単語レベルの言語情報処理過程を中心に整理し、検査結果の解釈に結びつける。</p> <p>さらに、複数の検査結果を統合し、障害像の把握と訓練方針の立案につなげることで、臨床に必要な問題発見・解決力を養う(DP6)。</p>						
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 失語症に対する各種言語機能検査の目的および方法を理解し、基本的な検査を適切に実施できる。</li> <li>2) 認知神経心理学的モデルに基づき、単語レベルの言語情報処理過程(音韻・語彙・意味など)を説明できる。</li> <li>3) 各モダリティにおける検査結果をもとに、障害像を分析・解釈することができる。</li> <li>4) 複数の検査結果を統合し、問題点を整理したうえで、適切な訓練方針を立案できる。</li> <li>5) 演習および症例検討を通して、臨床的な思考過程(評価・解釈・支援)を説明できる。</li> </ol>						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(伊藤)は、病院等臨床現場における言語聴覚士としての20年以上の実務経験に基づき、失語症に関わる脳神経の解剖や疾患、障害に関する知識の修得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	<p>学習への取り組み姿勢(確認テストや課題の提出、返却物の受け取り、質問・発言など授業への参加)を40%、および学期末の単位認定試験成績を60%として総合的に評価する。</p> <p>単位認定試験では、基礎的知識の理解に加え、検査結果の解釈および障害像の把握、訓練方針の立案に関する応用力を評価する。</p> <p>確認テストやレポートの提出・フィードバックは Google Classroom を通して行う。</p>						
準備学習・ 履修上の注意等	原則として、毎回、講義内容に関する確認テストやレポート課題を実施するため、前回の内容を復習し、配布資料や提示された課題について事前に確認しておくこと。また、演習では検査手順や評価の視点を扱うため、関連資料に目を通し、内容の理解を深めておくこと。						
オフィスアワー	毎週(月・水・木)12:30-13:00、講義時間以外の在室中(研究室)						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	失語症の評価				講 義	伊 藤
2	1)3)	SLTA 検査演習:聴覚的理解(単語、短文、仮名1文字、口頭命令)				演 習	伊 藤
3	1)3)	SLTA 検査演習:聴覚的理解(口頭命令)、発話(呼称)				演 習	伊 藤
4	1)3)	SLTA 検査演習:発話(呼称の続き、動作説明、まんがの説明)				演 習	伊 藤
5	2)3)	言語情報処理の認知神経心理学的モデル①:聴覚的理解、呼称				講 義	伊 藤
6	1)3)	SLTA 検査演習:復唱、読解				演 習	伊 藤
7	2)3)	言語情報処理の認知神経心理学的モデル②:復唱、読解				講 義	伊 藤
8	1)3)	SLTA 検査演習:音読、書字				演 習	伊 藤
9	2)3)	言語情報処理の認知神経心理学的モデル③:音読				講 義	伊 藤
10	1)3)	SLTA 検査演習:書字の続き、計算				演 習	伊 藤
11	2)3)	言語情報処理の認知神経心理学的モデル④:書称、書取				講 義	伊 藤
12	4)	検査所見の記載				演習・SGD	伊 藤
13	5)	失語症の掘り下げ検査				講義・演習・SGD	伊 藤
14	5)	失語症の訓練				講義・演習・SGD	伊 藤
15	1)2)3) 4)5)	まとめ				講 義	伊 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		<p>標準言語聴覚障害学 失語症学 第4版(藤田郁代 編)医学書院【9784260062237】</p> <p>標準失語症検査マニュアル(日本高次脳機能障害学会)新興医学出版社【4880026182】</p> <p>なるほど!失語症の評価と治療 検査結果の解釈から訓練法立案まで(小嶋知幸 編)金原出版株式会社【9784307750233】</p>					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		<p>失語症 臨床標準テキスト(種村純 監修)医歯薬出版株式会社【9784263266106】</p> <p>失語症言語治療の基礎(紺野 加奈恵)診断と治療社【4787811584】</p> <p>病気が見える7 脳・神経(医療情報科学研究所 編)メディックメディア【9784896326864】</p> <p>リハに役立つ脳画像 改訂第2版(酒匂正春 監修)メディカルビュー社【9784758320139】</p> <p>失語症(授業・実習・国試に役立つ 言語聴覚士ドリルプラス)(大塚 裕一 編)診断と治療社【9784787823953】</p>					



科目名	高次脳機能障害学			授業コード	120383B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51S221P06	AL 科目	○
担当者	伊藤さゆり(臨・臨)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	本授業では、言語聴覚士の臨床において重要な高次脳機能障害について、その階層性および脳機能との関連を軸として、各障害の特徴や発現メカニズムを理解することを目的とする(DP(3))。また、各障害に対する評価および支援の基本的な考え方についても概説し、臨床的視点から高次脳機能障害を捉える基礎を養う。 授業は主に講義形式で行い、学習内容の確認テストや症例を用いた課題を通して理解の定着を図る。必要に応じてスモールグループディスカッション(SGD)を取り入れ、考えを整理し言語化する機会を設ける。						
学修目標	本授業では、高次脳機能障害に関する基本的知識と臨床的理解を身につけ、以下の能力を習得することを目標とする。 1) 高次脳機能障害の主要な症状(注意障害、記憶障害、失認、視空間障害、動作・行為障害、前頭葉機能障害など)について、その特徴と発現メカニズムを説明できる。 2) 高次脳機能障害と脳機能との関連について理解し、各症状の背景にある神経心理学的視点から説明できる。 3) 提示された症例や事例に基づき、障害特性を推定し、その根拠を示して説明できる。 4) 各高次脳機能障害に対する評価および支援の基本的な考え方について理解し、その目的や位置づけを説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	担当者は、言語聴覚士として医療機関において高次脳機能障害者の評価および支援に従事した実務経験を有しており、その経験を活かして、臨床場面に即した評価および解釈の視点について講義を行う。						
評価及びフィード バックの方法	本授業では、学修目標の達成度を以下の方法で評価する。 1) 確認テスト(30%) 各回の授業内容に関する確認テストを実施し、基本的知識の理解度を評価する(原則として初回を除く各回)。テストは授業内またはオンラインで実施する。解答については授業内または次回授業で解説を行い、理解の定着を図る。 2) 期末試験(50%) 授業全体の内容について、知識の統合的理解および思考力を評価する。 3) 課題(20%) 提示された症例や事例について、障害特性の理解および評価・解釈の過程を記述する課題を課す(2~3回実施予定)。						
準備学習・ 履修上の注意等	各回の授業内容について教科書の該当箇所を事前に読み、専門用語の意味を確認しておくこと。授業後は確認テストの復習および配布資料の見直しを行い、理解を深めること(各回 60 分程度)。 また、授業で使用する Google Classroom を通じて確認テストや課題の提出・フィードバックを行うため、適宜内容を確認し、学習の振り返りに活用すること。						
オフィスアワー	毎週(月・水・木)12:30-13:00、講義時間以外の在室中(研究室)						

授業計画				
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当
1	1)	総論	講 義	伊 藤
2	1)2) 3)	注意機能の障害:定義・症候・病巣	講 義	伊 藤
3	4)	注意機能の障害:評価と支援の基本的考え方	講 義	伊 藤
4	2)3)	行為・動作の障害:定義・症候・病巣	講 義	伊 藤
5	4)	行為・動作の障害:評価と支援の基本的考え方	講 義	伊 藤
6	2)3)	視覚・聴覚・触覚認知の障害:定義・症候・病巣	講 義	伊 藤
7	4)	視覚・聴覚・触覚認知の障害:評価と支援の基本的考え方	講 義	伊 藤
8	2)3)	視空間認知の障害:定義・症候・病巣	講 義	伊 藤
9	4)	視空間認知の障害:評価と支援の基本的考え方	講 義	伊 藤
10	2)3)	記憶障害:定義・症候・病巣	講 義	伊 藤
11	4)	記憶障害:評価と支援の基本的考え方	講 義	伊 藤
12	1)2) 3)	前頭葉機能障害:定義・症候・病巣	講 義	伊 藤
13	4)	前頭葉機能障害:評価と支援の基本的考え方	講 義	伊 藤
14	1)2) 3)	頭部外傷・認知症:特徴と臨床的理解	講 義	伊 藤
15	1)2) 3)4)	まとめ	講 義	伊 藤

教科書(著者名)出版社名【ISBN】	高次脳機能障害学 第4版(藤田 郁代(著/文))医学書院【9784260061711】 高次脳機能障害学 第3版(編著 石合純夫)医歯薬出版【9784263266519】
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	CR BOOKS 高次脳機能障害のリハビリテーション Ver.3 (編 武田克彦、三村将、渡邊修)医歯薬出版【9784263218785】 高次脳機能障害のリハビリテーション [DVD 付] 第3版 実践的アプローチ(著 本田哲三) 医学書院【978-4-260-02477-8】

科目名	高次脳機能障害学			授業コード	120383B602	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51S221P06	AL 科目	○
担当者	伊藤さゆり(臨・臨)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リス-No.	<p>本授業では、言語聴覚士の臨床において重要な高次脳機能障害について、その階層性および脳機能との関連を軸として、各障害の特徴や発現メカニズムを理解することを目的とする(DP(3))。また、各障害に対する評価および支援の基本的な考え方についても概説し、臨床的視点から高次脳機能障害を捉える基礎を養う。</p> <p>授業は主に講義形式で行い、学習内容の確認テストや症例を用いた課題を通して理解の定着を図る。必要に応じてスモールグループディスカッション(SGD)を取り入れ、考えを整理し言語化する機会を設ける。</p>						
学修目標	<p>本授業では、高次脳機能障害に関する基本的知識と臨床的理解を身につけ、以下の能力を習得することを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 高次脳機能障害の主要な症状(注意障害、記憶障害、失認、視空間障害、動作・行為障害、前頭葉機能障害など)について、その特徴と発現メカニズムを説明できる。</li> <li>2) 高次脳機能障害と脳機能との関連について理解し、各症状の背景にある神経心理学的視点から説明できる。</li> <li>3) 提示された症例や事例に基づき、障害特性を推定し、その根拠を示して説明できる。</li> <li>4) 各高次脳機能障害に対する評価および支援の基本的な考え方について理解し、その目的や位置づけを説明できる。</li> </ol>						
実務経験のある 教員による教育	<p>担当者は、言語聴覚士として医療機関において高次脳機能障害者の評価および支援に従事した実務経験を有しており、その経験を活かして、臨床場面に即した評価および解釈の視点について講義を行う。</p>						
評価及びフィード バックの方法	<p>授業内で実施する確認テスト、レポート課題および期末試験により総合的に評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 期末試験(60%)は、授業全体の内容について、各障害の理解および評価・解釈に関する知識の定着を総合的に評価する。</li> <li>2) 確認テスト(20%)は、主に各障害の定義や特徴を扱う回において実施し、基本的知識および理解の定着を評価する。</li> <li>3) レポート課題(20%)は、評価および解釈の考え方を扱う回において課し、提示された事例に基づき、評価結果の整理および解釈を行う。障害像の整理、検査結果の読み取り、解釈の妥当性および論理的な</li> </ol>						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>各回の授業内容について教科書の該当箇所を事前に読み、専門用語の意味を確認しておくこと。授業後は確認テストの復習および配布資料の見直しを行い、理解を深めること(各回 60 分程度)。</p> <p>また、授業で使用する Google Classroom を通じて確認テストや課題の提出・フィードバックを行うため、適宜内容を確認し、学習の振り返りに活用すること。</p>						
オフィスアワー	毎週(月・水・木)12:30-13:00、講義時間以外の在室中(研究室)						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	総論				講 義	伊 藤
2	1)2)3)	注意機能の障害:定義・症候・病巣				講 義	伊 藤
3	4)	注意機能の障害:評価と支援の基本的考え方				講義・演習	伊 藤
4	2)3)	行為・動作の障害:定義・症候・病巣				講 義	伊 藤
5	4)	行為・動作の障害:評価と支援の基本的考え方				講義・演習	伊 藤
6	2)3)	視覚・聴覚・触覚認知の障害:定義・症候・病巣				講 義	伊 藤
7	4)	視覚・聴覚・触覚認知の障害:評価と支援の基本的考え方				講義・演習	伊 藤
8	2)3)	視空間認知の障害:定義・症候・病巣				講 義	伊 藤
9	4)	視空間認知の障害:評価と支援の基本的考え方				講義・演習	伊 藤
10	2)3)	記憶障害:定義・症候・病巣				講 義	伊 藤
11	4)	記憶障害:評価と支援の基本的考え方				講義・演習	伊 藤
12	1)2)3)	前頭葉機能障害:定義・症候・病巣				講 義	伊 藤
13	4)	前頭葉機能障害:評価と支援の基本的考え方				講義・演習	伊 藤
14	1)2)3)	頭部外傷・認知症:特徴と臨床的理解				講 義	伊 藤
15	1)2)3) 4)	まとめ				講 義	伊 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		高次脳機能障害学 第4版(藤田 郁代(著/文))医学書院【9784260061711】 高次脳機能障害学 第3版(編著 石合純夫)医歯薬出版【9784263266519】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		CR BOOKS 高次脳機能障害のリハビリテーション Ver.3 (編 武田克彦、三村将、渡邊修)医歯薬出版【9784263218785】 高次脳機能障害のリハビリテーション [DVD 付] 第3版 実践的アプローチ(著 本田哲三) 医学書院【978-4-260-02477-8】					

科目名	高次脳機能障害学演習			授業コード	121893A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51S222P03	AL 科目	○	
担当者	伊藤さゆり(臨・臨)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リデーNo.	本授業では、高次脳機能障害に対する評価および支援の実践的理解を目的とし、講義で学んだ知識をもとに、検査の実施体験、症例検討、スモールグループディスカッション(SGD)を通して、評価・解釈・支援の一連の過程を統合的に学び、臨床的思考力を養う。 各障害に対する神経心理学的検査の目的および実施方法を理解するとともに、得られた結果をもとに障害特性を解釈し、支援の方向性を検討する力を身につける。							
学修目標	本授業では、高次脳機能障害に対する評価および支援に関する実践的理解を深め、以下の能力を習得することを目標とする。 1) 各高次脳機能障害に対する代表的な神経心理学的検査について、その目的および方法を理解し、基本的な実施ができる。 2) 検査結果や行動観察の情報をもとに、障害特性を解釈し、その根拠を示して説明できる。 3) 提示された症例や事例に基づき、評価結果を踏まえて支援の方向性を検討し、説明できる。 4) スモールグループディスカッション(SGD)において、自らの考えを適切に表現し、他者の意見を踏まえて考えを深めることができる。							
実務経験のある 教員による教育	担当者は、言語聴覚士として医療機関において高次脳機能障害者の評価および支援に従事した実務経験を有しており、その経験を活かして、臨床場面に即した評価の実施および解釈、支援の検討について演習を行う。							
評価及びフィード バックの方法	本授業では、学修目標の達成度を以下の方法で評価する。 1) レポート課題(40%) 各回の「評価の解釈と支援」に関する授業内容に基づき、神経心理学的検査の実施体験を踏まえ、観察内容、評価結果の解釈および支援の方向性について記述するレポート課題を課す(複数回実施)。単なる知識の再生ではなく、実施体験に基づいた観察と、それに基づく論理的な説明を評価する。 2) 確認テスト(30%) 各回の「評価」に関する授業内容について、理解度を確認するための確認テストを実施する。主に検査手順や基本的な考え方の理解を評価する。							
準備学習・ 履修上の注意等	各回の授業内容について、教科書や配布資料の該当箇所を事前に確認し、基本的な用語や検査の目的を理解しておくこと。授業では神経心理学的検査の実施体験を行うため、積極的に参加すること。 授業後は、実施した検査の内容や観察された特徴を振り返り、評価結果の解釈および支援の方向性について整理すること。レポート課題は、授業内での検査実施およびその後の検討内容をもとに作成すること。 また、授業で使用する Google Classroom を通じて課題の提出やフィードバックを行うため、適宜内容を確認し、学習の振り返りに活用すること。各回の準備学習および復習には 60 分程度を目安とする。							
オフィスアワー	毎週(月・水・木)12:30-13:00、講義時間以外の在室中(研究室)							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)4)	総論					演 習	伊 藤
2	1)4)	評価の基礎:検査実施の基本と観察の視点					演 習	伊 藤
3	1)2)3) 4)	注意機能の障害:評価					演 習	伊 藤
4	1)2)3) 4)	注意機能の障害:評価・解釈・支援の基本的考え方					演 習	伊 藤
5	1)2)3) 4)	行為・動作の障害:評価					演 習	伊 藤
6	1)2)3) 4)	行為・動作の障害:評価・解釈・支援の基本的考え方					演 習	伊 藤
7	1)2)3) 4)	視覚・聴覚・触覚認知の障害:評価					演 習	伊 藤
8	1)2)3) 4)	視覚・聴覚・触覚認知の障害:評価・解釈・支援の基本的考え方					演 習	伊 藤
9	1)2)3) 4)	視空間認知の障害:評価					演 習	伊 藤
10	1)2)3) 4)	視空間認知の障害:評価・解釈・支援の基本的考え方					演 習	伊 藤
11	1)2)3) 4)	記憶障害:評価					演 習	伊 藤
12	1)2)3) 4)	記憶障害:評価・解釈・支援の基本的考え方					演 習	伊 藤
13	1)2)3) 4)	前頭葉機能障害:評価					演 習	伊 藤
14	1)2)3) 4)	前頭葉機能障害:評価・解釈・支援の基本的考え方					演 習	伊 藤
15	1)2)3) 4)	まとめ:症例統合演習(評価～解釈・支援)					演 習	伊 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		なし						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		神経心理検査ベーシック 改訂2版(編著 武田克彦 / 山下光)中外医学社【9784498229136】						

科目名	言語発達障害学Ⅰ			授業コード	120363B601	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51S221P07	AL科目	○
担当者	戸高 翼(臨・臨)	開講学期	2026年度前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	言語聴覚士として言語発達障害のある子どもたちに適切に関わっていくためには、定型的な発達の理解、アセスメントや支援技法を身につける必要がある。「言語発達障害学Ⅰ」では、多様な状態を示す言語障害、発達障害の子どもや発達が気になる子どもとその家族に対して、適切な支援・助言ができる言語聴覚士になるために(DP3)、定型発達の基礎知識と小児の各種言語・発達障害の特徴を理解し、概説できる力を修得する(CP1(5))。						
学修目標	1)定型的な言語発達のメカニズム、それを支える基盤について説明できる。 2)年代ごとの正常な言語発達について説明できる。 3)小児の各種言語発達障害の概要について説明できる。 4)小児の各種言語発達障害児に関わる際の配慮点を説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	戸高:言語聴覚士として医療・教育現場での5年以上の実務経験に基づき、臨床的視点の習得を含めた講義を行う。						
評価及びフィード バックの方法	各回の授業で学習内容の確認小テストを授業開始時、終了時に実施した授業内容に関する課題配布を行う。小テストについては、採点は授業担当者が行い、後日返却をする。返却時に正誤のフィードバックを行う。課題は、次回授業開始時に提出し、授業担当者が内容の確認をし、返却する(返却時に教員が作成した模擬解説を配布する)。授業時間外の学習への取り組み姿勢(確認小テストや課題内容、提出状況)を20%、自発的な質問・発言など授業への主体的な参加態度を10%、学期末の単位認定試験70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内容の項目について、教科書の該当ページを読み、予習しておくこと。</li> <li>・返却された確認テストや課題を用いて、学習内容の復習すること。</li> <li>・確認テストや課題は、返却するので、必ず各自でファイルすること。また、同じファイルに配布資料もまとめ、質問する際には、それらを持参すること。</li> <li>・SGDでは、自ら能動的に考える場であること理解し、間違っても良いので、積極的に自分の考えを述べること。</li> </ul>						
オフィスアワー	(月)(木)12:20~13:00、場所-研究室						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	言語発達の基盤を理解する				講義・SGD	戸 高
2	1)	発達の生理学と病理学を理解する				講義・SGD	戸 高
3	2)	前言語期の発達を理解する(1)				講義・SGD	戸 高
4	2)	前言語期の発達を理解する(2)				講義・SGD	戸 高
5	2)	幼児前期の発達を理解する				講義・SGD	戸 高
6	2)	幼児後期の発達を理解する				講義・SGD	戸 高
7	2)	学童期の発達を理解する				講義・SGD	戸 高
8	2)	言語発達障害とは:定義と分類を理解する				講義・SGD	戸 高
9	3)4)	特的言語発達障害を理解する				講義・SGD	戸 高
10	3)4)	知的発達症(知的能力障害)を理解する				講義・SGD	戸 高
11	3)4)	自閉スペクトラム症を理解する				講義・SGD	戸 高
12	3)4)	注意欠如多動症を理解する				講義・SGD	戸 高
13	3)4)	限局性学習症を理解する				講義・SGD	戸 高
14	3)4)	脳性麻痺、重複障害を理解する				講義・SGD	戸 高
15	3)4)	標準的言語発達と障害各論のまとめ				講義・SGD	戸 高
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	最新 言語聴覚学講座 言語発達障害学(石坂育代他編著)医歯薬出版株式会社【978-4-263-27072-1】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	必要に応じて紹介する。						

科目名	心理学英文講読 I			授業コード	121904B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科 2 年			ナンバリング	51C221P15	AL 科目	○
担当者	内藤 健一(臨・臨), 松山 光生 (臨・臨)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	英語で発信されることの多い最新の心理学に関する学術情報に早く接することができるようになるために(DP(5):自己研鑽力), 社会心理学, 発達心理学, 臨床心理学の領域の専門語彙, 及び英文資料の読解能力を修得する(CP(6):専門分野関連科目)。						
学修目標	1) 社会心理学の領域の専門語彙を正しく和訳できる。 2) 発達心理学の領域の専門語彙を正しく和訳できる。 3) 臨床心理学の領域の専門語彙を正しく和訳できる。 4) 英文資料からその概要を読み取り, 適切な和訳ができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者の一人である松山は, 臨床発達心理士, 公認心理師としての実務経験に基づき, 実践を意識した授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	単位認定試験 100%。						
準備学習・ 履修上の注意等	予習を必ずおこなうこと。 1 コマ当たり 4 時間を目安に予習(指示されたところを和訳)・復習(その日習った内容を復習すること)をおこなうこと。 公認心理師になるために, 大学院の受験を考えている者を対象とする。 1 年終了時の通算 GPA が 3.0 以上であることが望ましい。						
オフィスアワー	個人研究室の扉を参照。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	イントロダクション				講義・演習	内 藤
2	1), 4)	社会心理学の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
3	1), 4)	社会心理学の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
4	1), 4)	社会心理学の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
5	1), 4)	社会心理学の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
6	1), 4)	社会心理学の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
7	2), 4)	発達心理学の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	松 山
8	2), 4)	発達心理学の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	松 山
9	2), 4)	発達心理学の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	松 山
10	2), 4)	発達心理学の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	松 山
11	3), 4)	臨床心理学の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
12	3), 4)	臨床心理学の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
13	3), 4)	臨床心理学の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
14	3), 4)	臨床心理学の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
15	3), 4)	臨床心理学の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。講義・演習レジュメを配布する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		リーダーズ英和辞典 第3版(高橋 作太郎 編集代表)研究社【9784767414324】					

科目名	心理学英文講読Ⅱ			授業コード	121905B601	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科 2年			ナンバリング	51C222P12	AL科目	○
担当者	内藤 健一(臨・臨)	開講学期	2026年度後期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	英語で発信されることの多い最新の心理学に関する学術情報に早く接することができるようになるために(DP(5):自己研鑽力), 学習心理学, 認知心理学, 心理学統計法の領域の専門語彙, 及び英文資料の読解能力を修得する(CP(6):専門分野関連科目)。						
学修目標	1) 学習心理学の領域の専門語彙を正しく和訳できる。 2) 認知心理学の領域の専門語彙を正しく和訳できる。 3) 心理学統計法の領域の専門語彙を正しく和訳できる。 4) 英文資料からその概要を読み取り, 適切な和訳ができる。						
実務経験のある 教員による教育	該当なし。						
評価及びフィード バックの方法	単位認定試験 100%。						
準備学習・ 履修上の注意等	予習を必ずおこなうこと。 1コマ当たり4時間を目安に予習(指示されたところを和訳)・復習(その日習った内容を復習すること)をおこなうこと。 公認心理師になるために, 大学院の受験を考えている者を対象とする。 1年終了時の通算 GPA が 3.0 以上であることが望ましい。						
オフィスアワー	個人研究室の扉を参照。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1), 4)	学習心理学の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
2	1), 4)	学習心理学の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
3	1), 4)	学習心理学の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
4	1), 4)	学習心理学の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
5	1), 4)	学習心理学の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
6	2), 4)	認知心理学の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
7	2), 4)	認知心理学の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
8	2), 4)	認知心理学の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
9	2), 4)	認知心理学の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
10	2), 4)	認知心理学の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
11	3), 4)	心理学統計法の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
12	3), 4)	心理学統計法の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
13	3), 4)	心理学統計法の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
14	3), 4)	心理学統計法の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
15	3), 4)	心理学統計法の領域の専門語彙と英文資料の読解				講義・演習	内 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。講義・演習レジュメを配布する。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		リーダーズ英和辞典 第3版(高橋 作太郎 編集代表)研究社【9784767414324】					

科目名	キャリアデザイン演習Ⅱ		授業コード	121692A601	単位数 (時間数)	1単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科 2年		ナンバリング	51C222P13	AL科目	○
担当者	松田 智香子	開講学期	2026年度後期	必修・選択	選 択	授業形態 講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソンNo.	将来の就職活動に向けて、地方行政職に目を向け、公務員就職に必要な知識を習得する。前期のキャリアデザイン演習Ⅴの内容からの連続した内容で学習を行う。DP(1)(2)(3)(4)、CP(1)(6)2(1)3(1)					
学修目標	1) 地方行政の現状に目を向け、様々な状況について説明できる。 2) 行政職に必要なとされる知識について理解できる。 3) 基礎計算能力など基礎的な知識を身につけ、活用できる。 4) 非言語および言語問題への思考力を高める。					
実務経験のある 教員による教育	地方行政職に必要な知識の習得に関わる現場経験を5年以上有した外部講師を招聘し、必要な学びを深めていくことを目的として授業を行う。					
評価及びフィード バックの方法	期末試験(100%)。 なお学習内容の確認テストを適宜行い学習成果をフィードバックすることから、それに基づいて各自の自己学習をおこなうこと。					
準備学習・ 履修上の注意等	公務員(消防、警察、市役所)等の受験を希望する学生。 授業後、必ず復習を行うこと。 緊張感と集中力をもって授業に取り組むことが求められる。					
オフィスアワー	授業時に説明する。					

#### 授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当
1	1)2)3) 4)	オリエンテーション	講 義	松 田
2	1)2)3) 4)	基礎数学	講 義	池田睦
3	1)2)3) 4)	一般知能基礎/基礎数学	講 義	池田睦
4	1)2)3) 4)	一般知能基礎/基礎数学	講 義	池田睦
5	1)2)3) 4)	一般知能基礎/基礎数学	講 義	池田睦
6	1)2)3) 4)	一般知能基礎/基礎数学	講 義	池田睦
7	1)2)3) 4)	一般知能基礎	講 義	松 田
8	1)2)3) 4)	一般知能基礎/基礎数学	講 義	池田睦
9	1)2)3) 4)	一般知能基礎/基礎数学	講 義	池田睦
10	1)2)3) 4)	一般知能基礎/基礎数学	講 義	池田睦
11	1)2)3) 4)	一般知能基礎/基礎数学	講 義	池田睦
12	1)2)3) 4)	一般知能基礎	講 義	松 田
13	1)2)3) 4)	一般知能基礎/基礎数学	講 義	池田睦
14	1)2)3) 4)	一般知能基礎	講 義	松 田
15	1)2)3) 4)	一般知能基礎	講 義	松 田

教科書(著者名)出版社名【ISBN】 キャリアデザイン演習Ⅴで使用した物(以下)を使う。  
(・「基礎数学」(初回授業時に購入案内を行います)2,500円)

参考書(著者名)出版社名【ISBN】

なし

科目名	生理・病理学		授業コード	121254B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)		ナンバリング	51C222P01	AL 科目		
担当者	吉武重徳(臨床心理)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	必 修	授業形態 講 義	
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	臨床で遭遇する患者さんの病態を、生理学的機能を理解することで、その機能異常が病気や疾患につながるという観点を習得することを目標とする。						
学修目標	学修目標 ①身体の機能の生理を習得しする。 ②その機能不全を起こす原因や病態を学修する。 ③診断と治療がどのようにになっているのかを習得する。						
実務経験のある 教員による教育	本教員は医療の臨床経験を有する医師として、大学付属病院等で習得した知識とスキルを本講義に活かして受講生に適合する教育を提供する。						
評価及びフィード バックの方法	授業に取り組む姿勢と定期試験による評価						
準備学習・ 履修上の注意等	各課題(各臓器)についての基本的な働きを俯瞰しておくこと。						
オフィスアワー	金曜日 11:00~12:30 研究室 B-331						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
	①	【呼吸器:解剖と生理 1)】肺の解剖と機能生理について学習して理解する。				講 義	吉 武
	①②	【呼吸器:生理機能と機能障害】解剖と機能生理について理解して、原因と次の病態について何が起るのかを考える。				講 義	吉 武
	①② ③	【呼吸器:生機能障害と治療】解剖と機能生理さらに病態について理解して、治療、特に酸素療法について考える。				講 義	吉 武
	①②	【循環器:解剖と生理 1)】肺の解剖と機能生理について学習して、病態について何が起るのかを考える。				講 義	吉 武
	①② ③	【循環器:生理機能と機能障害】解剖と機能生理について理解して、高血圧の原因と次の病態について何が起るのかを考える。				講 義	吉 武
	①② ③	【循環器:生機能障害と治療】解剖と機能生理さらに病態について理解して、治療、特に心臓不整脈について考える。				講 義	吉 武
	①②	【腎臓:生機能障害と治療】解剖と機能生理さらに病態について理解して考える。				講 義	吉 武
	①② ③	【腎臓:生機能障害と治療】解剖と機能生理さらに病態について理解して、治療、特に血液透析について考える。				講 義	吉 武
	①②	【肝臓:生機能障害と治療】解剖と機能生理さらに病態について理解して、治療、肝炎について考える。				講 義	吉 武
	①② ③	【肝臓:生機能障害と治療】解剖と機能生理さらに病態について理解して、治療、特に肝硬変の症状と治療について考える。				講 義	吉 武
	①②	【内分泌:生理機能障害と治療】解剖と機能生理さらに病態について理解して、治療法について考える。				講 義	吉 武
	①② ③	【内分泌:機能障害と治療】解剖と機能生理さらに病態について理解して、治療、甲状腺・副腎の関連疾患について考える。				講 義	吉 武
	①② ③	【消化器:機能障害と治療】解剖と機能生理さらに病態について理解して、治療、特に胃潰瘍や炎症性大腸疾患について考える。				講 義	吉 武
	①② ③	【膠原病・血管炎:生機能障害と治療】解剖と機能生理さらに病態について理解して、治療、特にステロイドを中心に薬剤療法について考える。				講 義	吉 武
	①② ③	【中枢神経系神経:生機能障害と治療】解剖と機能生理さらに病態について理解して、治療、特に脳卒中について考える。				講 義	吉 武
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	カラー図解 症状の基礎からわかる病態生理 . ISBN-10 : 4895926885						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	なし。						

科目名	医療統計学演習			授業コード	110022B601	単位数 (時間数)	2単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51C221P05	AL科目	○
担当者	松山 光生(臨心)	開講学期	2026年度前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシーNo.	卒業研究やデータ処理に、必要な統計学の知識を習得することを目的として、データの意味とその収集方法について知識・技能の獲得を図る(DP3)。						
学修目標	1)エビデンスとしてのデータの役割を理解する。 2)図表からデータをよみとることができる。 3)データやデータ処理に関連する基本事項が説明できる。 4)データ収集の方法が説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(松山)は、臨床発達心理士、公認心理師としての実務経験に基づき、実践を意識した授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	平常点10%と期末試験90%の点数で総合的に評価する。 小テスト全ては模範解答を提示する。						
準備学習・ 履修上の注意等	次のように、1回授業につき240分を目安に予習、復習を行うこと。 授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。 返却された小テストを再び、自分で解き完全に答えられるようにしておくこと。						
オフィスアワー	毎週木曜日 18:15~19:15						

授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当			
1	1)	データとは何か説明できる	講 義	松 山			
2	1)	測定と尺度の関係が説明できる	講 義	松 山			
3	1)	尺度の4つの水準が解説できる	講 義	松 山			
4	1)2)	研究目的に応じた尺度の設定ができる	演 習	松 山			
5	1)2)	データをグラフにすることができる	演 習	松 山			
6	3)	代表値のいくつかを挙げることができる	講 義	松 山			
7	3)	データの標準化が理解できる	講 義	松 山			
8	3)	相関や相関係数の意味を解説できる	講 義	松 山			
9	3)	帰無仮説の棄却域と採択域の設定と判断ができる	講 義	松 山			
10	3)	検定を決めるポイントを解説できる	講 義	松 山			
11	3)4)	量的データによる2つの変数の差の検定ができる	講 義	松 山			
12	3)4)	カテゴリーによる差の検定ができる	講 義	松 山			
13	3)4)	量的データによる3つの変数の差の検定ができる	講 義	松 山			
14	3)4)	標本と母集団の関係を説明できる	講 義	松 山			
15	3)4)	推測統計が説明できる	講 義	松 山			
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		その都度、資料を配付する					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		データの処理と解析(岩淵 千明) 福村出版【4-571-20058-7】					

科目名	聴覚・発声発語系の構造、機能、病態			授業コード	121655B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51S221P01	AL 科目	
担当者	村田 公一(非常勤講師)、倉澤 美智子(臨・臨)、吉武 重徳(臨・ 臨)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選択(言語聴覚コースに必修)	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	本科目では、言語聴覚士として必要な知識・技能を身につけるために(DP3)、聴覚系の構造・機能・病態、呼吸発声発語に関する基礎知識を修得する(CPI(1))。						
学修目標	1) 聴覚系の構造概略について理解、説明できる 2) 伝音系の構造・機能について理解、説明できる 3) 感音系の機能について理解、説明できる 4) デシベルについて理解、説明できる 5) 純音聴力検査について理解、説明できる 6) 伝音系、感音系の障害について理解、説明できる 7) 各種 検査について理解、説明できる 8) 喉頭の発声機能や構造について理解、説明できる 10)呼吸機能と構造について理解、説明できる						
実務経験のある 教員による教育	聴覚系、発声発語系についての豊富な教育経験をもとに、授業を展開する。						
評価及びフィード バックの方法	最終試験(100%)にて評価を行う。 最終講義前日までに学生から講義に関する質問を集め、最後の講義時間にそれらの質問に対する解説とテスト対策を行い、フィードバックとする。						
準備学習・ 履修上の注意等	事前配布した資料について講義の前に通読し、すぐに理解できる内容と理解できない内容に分けてから講義に臨んでください。 試験以外に課題は設けませんので、フィードバックもありません。						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間に行う。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	聴覚系の構造概略: 模型を用いて、聴覚系の構造について全体を把握する				講 義	村 田
2	2)	伝音系の構造・機能: 解剖学的構造についての説明、インピーダンス整合メカニズム、キャンセルエフェクト、耳小骨筋の役割、耳管の役割				講 義	村 田
3	3)	感音系の機能: 解剖学的構造についての説明、5 感音系の機能 2 1. 蝸牛構造と周波数同調、聴覚の生ずるメカニズム。2. 外有毛細胞の閾値、周波数同調、リクルートメント防御に対する役割				講 義	村 田
4	4)	デシベルについて: 音圧とデシベルの関係(デシベルの必要性)				講 義	村 田
5	5)	純音聴力検査 1.: 聴覚系の病態に入る前に、聴力低下をどのように測定するかは知識は必須である。ここでは純音聴力検査とプラトー法について学ぶ。 1. 純音聴力検査、2. 移行減衰量とマスクング、3. 骨導聴力検査に影響を及ぼす 3 つの要因				講 義	村 田
6	5)	純音聴力検査 2.(プラトー法): クロスヒアリングやオーバーマスクング及び正しく閾値を測定するとはどういうことかを図を用いて説明する				講 義	村 田
7	6)	伝音系の障害: 外耳系の障害、中耳系の障害				講 義	村 田
8	6)	感音系の障害: 迷路系障害、後迷路系障害、混合性難聴				講 義	村 田
9	7)	耳音響放射: 耳音響放射の種類、歪み成分耳音響放射と外有毛細胞の運動との関係及び感音性難聴検出への応用				講 義	村 田
10	7)	聴性電気反応: 聴性電気反応 ABR を通して耳性電気反応の概略について学ぶ				講 義	村 田
11	7)	AABR および ASSR: AABR と周波数特異性を備えた ASSR の特性を ABR との比較を通して学ぶ				講 義	村 田
12	8)	喉頭の基本構造、機能、病態①				講 義	倉 澤
13	8)	喉頭の基本構造、機能、病態②				講 義	倉 澤
14	9)	呼吸器系の基本構造、機能、病態①				講 義	吉 武
15	9)	呼吸器系の基本構造、機能、病態②				講 義	吉 武
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		資料配付致します。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		資料配付致します。					

科目名	リハビリテーション概論		授業コード	120089A101	単位数 (時間数)	1 単位 (15)
配当学科(学年)	臨床心理学科(1年)		ナンバリング	51S122P02	AL 科目	
担当者	松山 光生(臨心)	開講学期	2026 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態 講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リラーNo.	言語聴覚士の基本的役割を認識し、専門職としての素養と自覚、責任感及び倫理観を持つことができる言語聴覚士になるために、リハビリテーションの理念、枠組みなどの総合的な理解を得て、リハビリテーションにおける言語聴覚士の位置付けと役割に関して、コメディカルに携わる者にとって必須の知識を習得する(DP3)。					
学修目標	1)リハビリテーションの成り立ちとその理念について説明できる 2)障がいの定義と構造について説明できる 3)リハビリテーションの評価方法と意義について理解する					
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(松山)は、自立生活センター・スタッフとしての実務経験に基づき、実践を意識した授業を行う。					
評価及びフィード バックの方法	定期試験とともに、小テストの取り組み状況も加味する 各回の小テストは返却とともに、模範解答を配布する					
準備学習・ 履修上の注意等	毎回、教科書を読む活動があるので、医学の専門用語や表現に慣れるように努めてほしい。 次のように、1回授業につき 120 分を目安に予習、復習を行うこと。 授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。 返却された小テストを再び、自分で解き完全に答えられるようにしておくこと。					
オフィスアワー	毎週火・水曜日 18:15~19:15					

授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当
1	1)	【リハビリテーションの歴史と定義を学ぶ】 リハビリテーションの起源と医学的リハビリテーションの誕生や意義を説明できる。	講 義	松 山
2	1)	【セルフヘルプグループの目的と役割を学ぶ】 リハビリテーションにおける自立生活運動の意義とセルフヘルプグループの役割が説明できる。	講 義	松 山
3	1)	【ノーマライゼーションの理念を学ぶ】 ノーマライゼーションの始まり、バリアフリーデザインとユニバーサルデザインの異同について説明できる。	講 義	松 山
4	2)	【疾病と障がい学ぶ】 疾病と障がい者の定義について説明できる。	講 義	松 山
5	2)	【ICF 国際生活機能分類を学ぶ】 障害の構造と、ICFの特徴について説明できる。	講 義	松 山
6	3)	【リハビリテーションの評価を学ぶ】 機能的状態の意味について説明でき、その評価方法を列挙できる。	講 義	松 山
7	3)	【ADLの構造について学ぶ】 ADLの分類と階層性について説明できる。	講 義	松 山
8	3)	【ADLの臨床的問題を考える】 「しているADL」と「できるADL」の隔たりと、廃用症候群の関係を説明できる。	講 義	松 山

教科書(著者名)出版社名【ISBN】 指定しない

参考書(著者名)出版社名【ISBN】 適宜紹介する。

科目名	公衆衛生学		授業コード	120370B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科・言語聴覚コース(4年生)		ナンバリング	51S421P01	AL 科目		
担当者	中村 真理子(臨心・臨心)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リシ-No.	人間集団における生活環境と健康、その集団を構成する人間の出生と死亡、疾病罹患の状況、健康障がいの発生原因等を学習する。すなわち、保健、医療、福祉、教育に参画・連携し地域に根差した障害にわたる支援を行うことができる言語聴覚士(DP5)として必要な予防医学、健康科学、環境問題の概念を習得する。(CP1)						
学修目標	1) 公衆衛生の概要、健康の概念を把握し、公衆衛生の歴史から現在の公衆衛生活動を理解できる。 2) 日本の人口統計から、人間集団の健康を評価するための健康指標についてグラフや表を読み取ることができる。 3) 疾病の自然史を予防という観点から把握するとともに、健康管理、医療制度などの予防対策を理解できる。 4) 日本における感染症の予防対策について法律と政策を理解し、主な感染症や病院内感染について知識を理解できる。 5) 日本における主な疾患と生活習慣病の動向を把握し、行政における予防政策の基本的な知識を理解できる。 6) 環境保健、母子保健、地域保健、学校保健、産業保健、老人保健、精神保健の各分野において、現在の動向、課題、行政の予防対策とそれに関わる法律について基本的な知識を理解できる。 7) 医療関連従事者の資格に関する法律を理解できる。 8) 疫学調査の方法や計算法を理解できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(中村)は臨床現場(岡山大学附属病院歯科矯正科)で5年以上矯正歯科医としての臨床経験を有する。歯科臨床において公衆衛生活動は非常に重要であり、臨床で得た経験に基づいた授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	定期試験、講義中の小試験およびレポートの成績で総合的に評価する。						
準備学習・ 履修上の注意等	教科書「シンプル衛生公衆衛生学 2024」の最新内容とデータを学習するので必ず持参すること。						
オフィスアワー	火、水、木 12:30~13:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【公衆衛生の歴史・公衆衛生の概要・健康の概念】 公衆衛生の概要、健康の概念と、公衆衛生の歴史から現在の公衆衛生活動について				講 義	中 村
2	2)	【保健統計・人口の動き】 日本の人口統計とさまざまな人間集団の健康を評価するための健康指標について				講 義	中 村
3	3)	【予防医学と健康増進】 予防医学による疾病の自然史と健康管理、医療制度などの予防対策について				講 義	中 村
4	2)3)4)	【感染症の概念と予防①】 日本における感染症の予防対策における重要な法律と行政の政策について				講 義	中 村
5	2)3)4)	【感染症の概念と予防②】 世界的に問題となっている主な感染症の基本的な知識や動向について				講 義	中 村
6	2)3)4)	【感染症の概念と予防③】 主な感染症と病院内感染について。正常細菌叢に関するミニデモンストレーション				講 義	中 村
7	2)3)5)	【疾病の概念と予防①】 生活習慣病に関わる主な疾患とその動向と、行政における予防政策について				講 義	中 村
8	2)3)5)	【疾病の概念と予防②】 主な疾患とその動向と、行政における予防対策について				講 義	中 村
9	2)3)6)	【環境保健】 人の健康に影響を与える生活環境と汚染問題および地球規模での環境問題について				講 義	中 村
10	2)3)6)	【母子保健】 母子保健活動と少子化問題について 【地域保健】 地域保健活動における保健所の役割について				講 義	中 村
11	2)3)6)	【学校保健】 子どもの心と身体の問題について 【産業保健】 健康で安全な職業生活を送るためのさまざまな法律について				講 義	中 村
12	2)3)6)	【老人保健と福祉】 高齢化の社会における医療制度、老人福祉対策、介護保険制度について				講 義	中 村
13	2)3)6)	【精神保健】 精神保健活動の現状を把握と、行政における予防対策活動について				講 義	中 村
14	7)	【国家資格と関係法規】 医療関連従事者(言語聴覚士)の資格に関する法律について				講 義	中 村
15	8)	【疫学研究法】 疫学調査の方法や計算法について				講 義	中 村
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	シンプル衛生公衆衛生学 2026(辻一郎) 南江堂【978-4524274246】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	よくわかる公衆衛生学の基本としくみ第2版秀和システム【ISBN978-4798062440】						

科目名	言語聴覚障害総論			授業コード	121633B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(1年)			ナンバリング	51S122P03	AL 科目	○
担当者	倉澤美智子(臨心・臨心)、伊藤さゆり(臨心・臨心)、戸高翼(臨心・臨心)、外部講師(PT 中田、OT 津輪元)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソンNo.	言語聴覚障害総論では、言語聴覚障害の特性と種類、言語聴覚士の役割・専門性および言語聴覚療法の基本概念を修得する。言語聴覚障害研究の基本的知識・技能を修得を目指す。(DP1,2,3,4,5,6) (CP1(1,2,5))						
学修目標	1)言語とコミュニケーションの特徴について説明できる 2)言語聴覚障害の種類について説明できる 3)成人の言語聴覚障害の概要について説明できる 4)小児の言語聴覚障害の概要について説明できる 5)言語聴覚士の歴史の概要について説明できる 6)言語聴覚士の仕事と役割について説明できる 7)地域言語聴覚療法の概要について説明できる 8)言語聴覚士と多職種との連携について説明できる						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(倉澤、伊藤、戸高)は、医療機関での言語聴覚士としての豊富な臨床経験を活かして、より実践的な授業を展開する。						
評価及びフィード バックの方法	授業毎の小テストやレポートにより形成的に評価し単位認定を行う。小テストやレポートについては最終回のまとめの回でフィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	毎回の講義ごとに予習・復習を行うこと。						
オフィスアワー	各教員のオフィスアワーに準じる。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)2)5)	言語聴覚士の仕事				講義・SGD	倉 澤
2	6)	言語聴覚障害入門①				講義・SGD	倉 澤
3	3)4)	言語聴覚障害入門②				講義・SGD	倉 澤
4	3)4)8)	言語聴覚士の養成①				講義・SGD	戸 高
5	6)	言語聴覚士の養成②				講義・SGD	戸 高
6	6)	言語聴覚療法の評価①				講義・SGD	戸 高
7	6)	言語聴覚療法の評価②				講義・SGD	戸 高
8	6)	言語聴覚療法とチームアプローチ①				講義・SGD	伊 藤
9	8)	言語聴覚療法とチームアプローチ②				講義・SGD	伊 藤
10	7)	言語聴覚士の職業倫理				講義・SGD	伊 藤
11	7)	言語聴覚士のリスクマネジメント				講義・SGD	伊 藤
12	8)	言語聴覚士の研究活動				講義・演習・SGD	伊 藤
13	8)	言語聴覚士と他職種連携: 理学療法士の立場から				講義・演習・SGD	外部講師(岸本)
14	2)6)7) 8)	言語聴覚士と他職種連携: 作業療法士の立場から				講義・演習・SGD	外部講師(岸本)
15	2)6)7) 8)	言語聴覚士と他職種連携: 看護師の立場から				講義・演習・SGD	外部講師(岸本)
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	クリア言語聴覚療法1 言語聴覚障害総論 (内山量史・鈴木真生編)【978-4-7679-4551-4】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	標準言語聴覚障害学 言語聴覚障害概論第2版(藤田郁代他編)医学書院【978-4-260-03816-4】 最新言語聴覚学講座 言語聴覚障害学概論(倉智雅子他編)医歯薬出版株式会社【978-4-263-27071-4】						

科目名	言語聴覚障害診断学			授業コード	121656B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3 年)			ナンバリング	51S221P04	AL 科目	○
担当者	伊藤 さゆり(臨・臨)、倉澤 美智子 (臨・臨)、戸高 翼(臨・臨)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・実習・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リナーNo.	言語聴覚士になるためには、言語聴覚療法に必要な知識に加えて、利用者中心の言語聴覚療法を行うために必要な臨床技 術、態度を身につける必要がある。 「言語聴覚障害診断学」では、言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い、評価に必要なプロセスが遂行できる言語聴覚士に なるために(DP3)、言語聴覚障害診断に関連する基礎的概念を習得し、言語聴覚障害の評価・支援にかかわる知識・技能の獲 得をはかる(CP1(5))。						
学修目標	1) 評価および診断の枠組みや実施に関連する基本概念を説明できる。 2) スクリーニング検査の役割および構成項目を説明できる。 3) 各領域におけるスクリーニング検査の目的および内容を理解し、症例に応じて適切なスクリーニング検査を選定・設計できる。 4) 観察所見の基本的な記載方法を理解し、適切に記述できる。 5) 評価報告書の基本的な形式を理解し、提示されたフォーマットに基づいて所見を記述できる。						
実務経験のある 教員による教育	言語聴覚士として臨床経験 5 年以上を有する教員(戸高、倉澤、伊藤)が担当し、それぞれの臨床経験を踏まえて、評価および 診断の実際について具体的事例を交えながら授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	各回の授業でドリル課題を授業開始時に行う。ドリル課題については、授業内で解説を行い、必要に応じて重要事項のフィード バックを行う。 成績評価は以下の項目に基づき行う。 ・ドリル課題(20%) 基礎知識の理解および用語の定着、誤答の修正状況を評価する。 ・授業への参加状況(10%) ディスカッションへの参加や授業内課題への取り組みを通して、主体的な学習態度を評価する。 ・期末レポート(70%) スクリーニングに基づく評価結果の解釈および臨床的思考力 15 回目の授業において、これまでの授業にお						
準備学習・ 履修上の注意等	・本授業は、「言語聴覚障害演習Ⅰ～Ⅲ」と関連が深く、かつ「学外評価臨床実習」および「学外総合臨床実習」に繋がる科目で ある。そのため、学外実習を見据え、自らの体調管理に努めるとともに、主体的に行動し、適切な言葉遣いを意識するなど、実 習の事前学修としての姿勢を持って参加すること。 ・演習内容については、復習を積極的に行い、知識および技術の定着を図ること。 ・各回で実施したドリル課題を用いて、学習内容の復習を行うこと。 ・SGD や演習活動においては、自ら考えを深める場であることを理解し、積極的に自分の考えを表現すること。						
オフィスアワー	オフィスアワーについては各担当教員に確認すること。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	リハビリテーションにおける評価・診断の概念を説明できる ドリルテスト:なし				講義・演習	伊 藤
2	2)	成人言語聴覚障害におけるスクリーニングの内容を説明できる ドリルテスト:失語症①				講義・演習・SGD	伊 藤
3	1)	臨床データの解釈に必要な用語を説明できる ドリルテスト:高次脳機能障害①				講義・演習・SGD	伊 藤
4	2)	小児言語聴覚障害におけるスクリーニングの内容を説明できる ドリルテスト:言語発達障害①				講義・演習・SGD	戸 高
5	3)	各領域の評価・診断の実際①:成人の聴覚障害 ドリルテスト:聴覚障害①				講義・演習・SGD	倉 澤
6	3)	各領域の評価・診断の実際②:成人・言語認知系 ドリルテスト:高次脳機能障害②				講義・演習・SGD	伊 藤
7	3)	各領域の評価・診断の実際③:成人・構音、摂食嚥下障害系 ドリルテスト:摂食・嚥下障害				講義・演習・SGD	倉 澤
8	3)	各領域の評価・診断の実際④:小児・言語発達障害 ドリルテスト:吃音・流暢性障害				講義・演習・SGD	戸 高
9	4)5)	観察所見・評価報告書の書き方(成人)① ドリルテスト:音声障害				講義・演習・SGD	伊 藤
10	4)5)	観察所見・評価報告書の書き方(成人)② ドリルテスト:器質性構音障害				講義・演習・SGD	伊 藤
11	4)5)	観察所見・評価報告書の書き方(成人)③ ドリルテスト:運動障害性構音障害				講義・演習・SGD	伊 藤
12	4)5)	観察所見・評価報告書の書き方(小児)① ドリルテスト:言語発達障害②				講義・演習・SGD	戸 高
13	4)5)	観察所見・評価報告書の書き方(小児)② ドリルテスト:聴覚障害②				講義・演習・SGD	戸 高
14	4)5)	観察所見・評価報告書の書き方(小児)③ ドリルテスト:機能性構音障害				講義・演習・SGD	戸 高
15	1)~5)	言語聴覚療法における評価・診断のまとめ ドリルテスト:失語症②				講義・演習・SGD	伊 藤
教科書(著者名)出版社名[ISBN]		標準言語聴覚障害学 言語聴覚療法 評価・診断学 第 2 版(藤田郁代 監修)医学書院【978-4-260-06279-4】 授業・実習・国試に役立つ 言語聴覚士ドリルプラス 器質性構音障害 診断と治療社【978-4787825230】					

	授業・実習・国試に役立つ 言語聴覚士ドリルプラス 聴覚障害 診断と治療社【978-4787824950】 授業・実習・国試に役立つ 言語聴覚士ドリルプラス 機能性構音障害 診断と治療社【978-4787824943】 授業・実習・国試に役立つ 言語聴覚士ドリルプラス 高次脳機
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	随時紹介する

科目名	失語症学 I			授業コード	121634B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科、言語聴覚コース(2年)			ナンバリング	51S221P05	AL 科目	○
担当者	倉澤 美智子(臨・臨)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 須	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	失語症学 I では、失語症の基本的知識を修得する。言語聴覚士の臨床において、その技術が最も問われるコミュニケーション障害の一つである本講義では、失語症の定義と鑑別、原因疾患、病巣言語側性化、失語症の一般症状、発話面の症状、理解面の症状、復唱障害、読字障害、書字障害、古典型失語症群、その他の失語症、純粋型、原発性進行性失語、後天性小児失語、など基本的な知識について学ぶ。(DP1, 3)、(CP1(1,2,5)、2(1,2))						
学修目標	1)失語症の概要について理解し、説明ができる。 2)失語症の定義・言語と脳の関係について理解し、説明ができる。 3)失語症の原因疾患と言語症状について理解し、説明ができる。 4)失語症の近縁症状や随伴しやすい障害について理解し、説明ができる。 5)失語症症候群について理解し、説明できる。 6)失語症の言語聴覚療法の全体像について理解し、説明できる。 7)失語症の評価・診断について理解し、説明できる。 8)情報収集～評価・診断の一連の流れについて理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(倉澤)は、病院等臨床現場における言語聴覚士としての 20 年以上の実務経験に基づき、失語症に関わる脳神経の解剖や疾患、障害に関する知識の修得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	定期的なレポート課題等により形成的評価を行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、レポート等)の評価を 30%、学期末の単位認定試験を 70%として単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	定期的に講義内容について、レポート提出等を行うので準備をしておいてください。 講義ごとに予習・復習をしっかり行い、失語症ドリルでの確認も行っておくこと。						
オフィスアワー	毎週水曜日 12:30-13:00、講義時間以外の在室中(研究室)						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	失語症概論				講義・SGD	倉澤
2	2)	失語症の定義・言語と脳の関係性について				講 義	倉澤
3	3)	失語症の原因疾患及び言語症状				講 義	倉澤
4	4)	失語症の近縁症状と随伴しやすい障害				講 義	倉澤
5	5)	失語症候群(1)				講 義	倉澤
6	5)	失語症候群(2)				講 義	倉澤
7	5)	失語症候群(3)				講 義	倉澤
8	5)	失語症候群(4)				講 義	倉澤
9	6)	失語症の言語聴覚療法の全体像				講 義	倉澤
10	7)	失語症の評価と診断				講義・SGD	倉澤
11	8)	失語症の回復過程				講 義	倉澤
12	6)7)8)	言語治療の基本原則				講 義	倉澤
13	6)7)8)	言語治療の理論と技法				講 義	倉澤
14	6)7)8)	失語症の言語治療の実際				講義・SGD	倉澤
15	1)~8)	まとめ:学習の振り返り				講義・SGD	倉澤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	標準言語聴覚障害学 失語症学第 3 版(藤田郁代・他編)医学書院【9784260043076】 なるほど!失語症の評価と治療 検査結果の解釈から訓練法立案まで(小嶋知幸 編)金原出版株式会社 【ISBN978-4-307-75023-3】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	失語症 臨床標準テキスト(種村純 監修)医歯薬出版株式会社 【ISBN978-4-263-26610-6】 病気が見える 7 脳・神経 (医療情報科学研究所 編)メディックメディア 【ISBN978-4-89632-686-4】 リハに役立つ脳画像 改訂第 2 版(酒匂正春 監修)メディカルビュー社 【ISBN 978-4-7583-2013-9】 失語症(授業・実習・国試に役立つ 言語聴覚士ドリルプラス)(大塚 裕一 編)診断と治療社【978-4787823953】						

科目名	失語症学Ⅱ			授業コード	121635B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2 年)			ナンバリング	51S222P02	AL 科目	○
担当者	倉澤美智子(臨・臨)、外部講師 (黒木優樹、塩月育代)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ ルンNo.	失語症学演習では、失語症の評価・診断過程、評価法、診断手続き、リハビリテーション過程、言語訓練の理論と技法、訓練計画、各期の訓練・援助、神経心理学の定義と方法な ICF に基づく失語症の問題点抽出・訓練立案・実施・再評価のプロセスを学び失語症訓練の背景となる治療理論を理解する。また、演習活動を通して、失語症訓練立案と実施を体験する。具体的には、以下の 4 点ができることを目指す。1)失語症の治療理論を理解・説明できる。2)失語症訓練の流れを理解・説明できる。3)失語症訓練の立案ができる。4)失語症訓練が実施できる。(						
学修目標	1) 失語症の評価方法の概要を理解し、説明できる。 2) 言語情報処理の認知神経心理学的モデルについて理解し、説明できる。 3) 失語症の総合的検査、掘り下げ検査について理解し、説明できる。 4) 失語症の訓練プランについて理解し、説明できる。 5) 標準失語症検査(以下 SLTA)の施行方法を理解し、実施できる。 6) SLTA のプロフィールの作成や内容の説明ができる。 7) SLTA の評価結果を分析し、失語症の鑑別診断ができる。 8) 失語症評価報告書の作成ができる。 9) 失語症の訓練プランの立案ができる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(伊藤)は、病院等臨床現場における言語聴覚士としての 20 年以上の実務経験に基づき、失語症に関わる脳神経の解剖や疾患、障害に関する知識の修得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業毎のレポート課題等により形成的評価を行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、レポート等)の評価を 30%、学期末の単位認定試験を 70%として単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	毎回の予習・復習を行ってください。必要に応じ、レポートや確認テスト等を行います。						
オフィスアワー	毎週(火~木)12:30-13:00、講義時間以外の在室中(研究室)						

授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担当
1	1)	失語症の基礎知識	講 義	倉 澤
2	1)2)	認知神経心理学的にみた下位検査の情報処理モデル①(聴覚的理解、呼称、復唱)	講 義	倉 澤
3	1)2)	認知神経心理学的にみた下位検査の情報処理モデル②(読解、音読)	講 義	倉 澤
4	1)2)	認知神経心理学的にみた下位検査の情報処理モデル③(書称、書取、文の処理)	講 義	倉 澤
5	3)	失語症検査演習①	講義・演習・SGD	倉澤、黒木、塩月
6	3)	失語症検査演習②	講義・演習・SGD	倉澤、黒木、塩月
7	3)	失語症検査演習③	講義・演習・SGD	倉澤、黒木、塩月
8	3)	失語症検査演習④	講義・演習・SGD	倉澤、黒木、塩月
9	4)5)	プロフィール作成と検査結果解釈①	講義・演習・SGD	倉 澤
10	4)5)	プロフィール作成と検査結果解釈②	講義・演習・SGD	倉 澤
11	6)	掘り下げ検査	講義・演習	倉 澤
12	7)8)	訓練プランの立て方:ICF に基づく報告書の作成①	講義・演習・SGD	倉 澤
13	7)8)	訓練プランの立て方:ICF に基づく報告書の作成②	講義・演習・SGD	倉 澤
14	7)8)9)	症例検討	講義・演習・SGD	倉 澤
15	7)8)9)	まとめ:振り返り	講義・演習・SGD	倉 澤

教科書(著者名)出版社名【ISBN】  
標準言語聴覚障害学 失語症学 第3版(藤田郁代 編)医学書院 【ISBN978-4-2600-4307-6】  
標準失語症検査マニュアル (日本高次脳機能障害学会) 新興医学出版社 【4-88002-618-2】  
なるほど!失語症の評価と治療 検査結果の解釈から訓練法立案まで(小嶋知幸 編)金原出版株式会社  
【ISBN978-4-307-75023-3】

参考書(著者名)出版社名【ISBN】  
失語症 臨床標準テキスト(種村純 監修)医歯薬出版株式会社 【ISBN978-4-263-26610-6】  
失語症言語治療の基礎 (紺野 加奈恵) 診断と治療社 【4-7878-1158-4】  
病気が見える7 脳・神経 (医療情報科学研究所 編)メディックメディア 【ISBN978-4-89632-686-4】  
リハに役立つ脳画像 改訂第2版(酒匂正春 監修)メディカルビュー社 【ISBN 978-4-7583-2013-9】  
失語症(授業・実習・国試に役立つ 言語聴覚士ドリルプラス)(大塚 裕一 編)

科目名	発声発語障害学			授業コード	121638B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51S221P07	AL 科目	○
担当者	倉澤 美智子(臨・臨)、土屋 美智子(非常勤講師)、兒玉 成博(非常勤講師)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	発声発語障害学Ⅱでは、音声障害者への支援、構音障害の概念と理論、構音障害の検査・評価など一連の話し言葉の障害(神経疾患による運動障害性構音障害、呼吸・発声・共鳴・構音およびプロソディーから構成される、極めて複雑なプロセスを経る機能であり、言語聴覚士になるための高い知識や技術の修得が必要となる。運動障害性構音障害、音声障害、吃音など専門的な障害への理解の修得を目指す。(DP1,3,6)(CP1(1,2,5),2(1,2))						
学修目標	1)呼吸・発声・共鳴・構音およびプロソディーについての特徴や評価・訓練法が理解できる。 2)運動障害性構音障害に関する特徴や評価・訓練法が理解できる。 3)吃音に関する評価・訓練法が理解できる。 4)音声障害の評価・訓練法が理解できる						
実務経験のある 教員による教育	本講義の担当全員は臨床経験 10 年以上の言語聴覚士であり、実務経験に基づいた、発声発語およびその障害に関わる知識・技術を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業毎のレポート課題等により形成的評価を行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、レポート等)の評価を 30%、学期末の単位認定試験を 70%として単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	毎日の予習・復習を行ってください。必要に応じ、レポートや確認テスト等を行います。						
オフィスアワー	倉澤:毎週水曜日の 12:30-13:00、講義の前後の時間 非常勤講師:講義前後の可能な時間						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	運動障害性構音障害(1)発症メカニズムと特徴				講 義	倉 澤
2	1)2)	運動障害性構音障害(2)運動障害性構音障害の原因疾患				講 義	倉 澤
3	1)2)	運動障害性構音障害(3)運動障害性構音障害の評価				講 義	倉 澤
4	1)2)	運動障害性構音障害(4)運動障害性構音障害の訓練				講 義	倉 澤
5	1)2)	運動障害性構音障害(5)臨床への応用				講 義	倉 澤
6	1)2)	運動障害性構音障害(6)音声分析				講 義	倉 澤
7	1)2)	運動障害性構音障害(7)まとめ;振り返り				講 義	倉 澤
8	4)	吃音(1) 吃音の基本的知識、吃音者の体験談の分析、吃音症状の理解				講 義	土 屋
9	4)	吃音(2) 吃音の進展段階と軌道論、原因論				講 義	土 屋
10	4)	吃音(3) 吃音の評価:吃音検査法、総合評価				講義・演習	土 屋
11	4)	吃音(4) 吃音の指導・訓練法				講 義	土 屋
12	5)	音声障害(1)				講 義	兒 玉
13	5)	音声障害(2)				講 義	兒 玉
14	5)	音声障害(3)				講 義	兒 玉
15	5)	音声障害(4)				講 義	兒 玉
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	標準言語聴覚障害学 発声発語障害学 第3版(藤田郁代 編) 医学書院【978-4-2600-4289-5】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	口蓋裂の言語臨床 第3版(岡崎恵子他編) 医学書院【978-4-260-01239-3】 言語聴覚士テキスト 第3版 (大森孝一 編)医歯薬出版【978-4-2632-6560-4】 器質性構音障害(授業・実習・国試に役立つ言語聴覚士ドリルプラス)(大塚 裕一 編)診断と治療社【978-4787825230】 機能性構音障害(授業・実習・国試に役立つ言語聴覚士ドリルプラス)(大塚 裕一 編)診断と治療社【978-4787824943】 運動障害性構音障害(授業・実習・国試に役立つ言語聴覚士ドリルプラス)(						

科目名	発声発語障害学演習 I			授業コード	121639A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学部臨床心理学科 言語聴覚コース (2 年生)			ナンバリング	51S222P04	AL 科目	○
担当者	中村真理子(臨心・臨心)、田中敦 (非常勤講師)、松井麻実子(非常 勤講師)	開講学期	2026 年度 後 期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リナーNo.	発話機能は、呼吸・発声・共鳴・構音およびプロソディーから構成される、極めて複雑なプロセスを経る機能であり、言語聴覚士になるための高い知識や技術の習得が必要となる。本演習では、話し言葉の障害を中心とした、リハビリテーションに関する臨床能力を修得する。具体的には、小児の機能性構音障害、器質性構音障害の評価・訓練を中心に、検査や行動観察を用いての患者の適切な評価、及びそこから導き出された訓練の立案・実施の能力を、講義・グループワークを通じて身につける(DP3&4, CP1-5)。						
学修目標	1)機能性構音障害における音の誤りの特徴と、対応する訓練法が理解できる(CP1-5)。 2)口唇・口蓋裂の特徴、口唇・口蓋裂に伴う異常構音の音響学的特徴、系統的訓練法が理解できる(CP1-5)。						
実務経験のある 教員による教育	言語聴覚士(田中・松井)および歯科医師(中村)が、病院、歯科医院にて得た、口唇口蓋裂等構音障害に関わる疾患やそのリハビリテーションに関する知識・技術を提供する。						
評価及びフィード バックの方法	形成的評価として、出席と授業態度、小テストで評価する。総括的評価として、単位認定試験を実施する。						
準備学習・ 履修上の注意等	前期で学習した頭頸部の解剖と音声学(特に音声記号)について復習をしてください。また、講義時間と内容の関係上、臨床実習では不足する知識・技術がかなり生ずる可能性があります。毎日 1 時間以上の予習・復習と、講義終了後においても継続的な話し言葉の障害に関する知識・技術の向上を図る必要があります。						
オフィスアワー	毎週火、水、木曜日 12:30-13:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	機能性構音障害(1) 機能性構音障害の特徴・評価				講義・SGD	田 中
2	1)	機能性構音障害(2) 構音検査の実施 1				講義・SGD	田 中
3	1)	機能性構音障害(3) 構音検査の実施 2・訓練プログラム立案				講 義	田 中
4	1)	機能性構音障害(4) 機能性構音障害に対する訓練プログラム 1 音の産生訓練				講義・SGD	田 中
5	1)	機能性構音障害(5) 機能性構音障害に対する訓練プログラム 2 音の産生訓練				講義・SGD	田 中
6	1)	機能性構音障害(6) 機能性構音障害に対する訓練プログラム 3 系統的訓練				講義・SGD	田 中
7	2)	器質性構音障害(1) 口唇口蓋裂の原因、タイプ分類、手術 1				講 義	中 村
8	2)	器質性構音障害(2) 口唇口蓋裂の原因、タイプ分類、手術 2				講 義	中 村
9	2)	器質性構音障害(3) 口唇口蓋裂の歯科学的評価 1				講 義	中 村
10	2)	器質性構音障害(4) 口唇口蓋裂の歯科学的評価 2				講 義	中 村
11	2)	器質性構音障害(5) 口唇口蓋裂の歯科学的評価 3				講 義	中 村
12	2)	器質性構音障害(6) 口唇口蓋裂の異常構音へのアプローチ 1				講 義	松 井
13	2)	器質性構音障害(7) 口唇口蓋裂の異常構音へのアプローチ 2				講 義	松 井
14	2)	器質性構音障害(8) 口唇口蓋裂児を持つ保護者への指導				講 義	松 井
15	2)	器質性構音障害(9) 口唇口蓋裂児の成長に伴う経時的アプローチ				講 義	松 井
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		標準言語聴覚障害学 発声発語障害学 第4版(藤田郁代 監修) 医学書院【978-4-2600-6251-0】 言語聴覚士ドリル機能性構音障害 診断と治療社【978-4-263-44405-4】 言語聴覚士ドリル器質性構音障害 診断と治療社【978-4-787-82523-0】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		講義中に紹介します。					

科目名	発声発語障害学演習Ⅱ			授業コード	121640A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51S321P06	AL 科目	○
担当者	倉澤 美智子(臨・臨)、伊藤さゆり (臨・臨)、中村 真理子(臨・臨)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・SGD・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ ルターNo.	発話機能は、呼吸・発声・共鳴・構音及びプロソディーから構成される。極めて複雑なプロセスを経る機能であり、言語聴覚士になるための高い知識や技術の習得が必要となる。本演習では、話し言葉の障害を中心とした、リハビリテーションに関わる臨床能力を習得する。具体的には、成人の運動障害性構音障害、器質性構音障害の評価・訓練を中心に、検査や行動観察を用いての患者の適切な評価、及びそこから導き出された訓練の立案・実施の能力を、講義・グループワーク・当事者と家族の体験発表などを通して身につける(DP1,3,5,6)(CP1(1,2,5),2(1,2))。						
学修目標	1)ディサースリアについての概要について説明できる。 2)ディサースリアの評価方法について説明できる。 3)ディサースリアの検査法について説明できる。 4)ディサースリアに対するアプローチ分類について説明できる。 5) ディサースリアの訓練法について説明できる。 6)器質性構音障害における頭頸部癌やその手術、資料について理解し、説明できる。 7)器質性構音障害における頭頸部癌に関わる歯科学的問題について理解し、説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	言語聴覚士(倉澤、伊藤)及び歯科医師(中村)が、病院、歯科医院で得た豊富な知識により、成人高齢者の構音障害に関わる疾患やそのリハビリテーションに関する知識・技術を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	授業毎のレポート課題等により形成的評価を行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、レポート等)の評価を30%、学期末の単位認定試験を70%として単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	前期で学習した頭頸部の解剖や音声学(特に音声記号)について復習をしておいてください。 毎日の予習・復習を行ってください。必要に応じ、レポートや確認テスト等を行います。						
オフィスアワー	倉澤:毎週水曜日の12:30-13:00、講義の前後の時間 その他教員の指示に従うこと。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	ディサースリアの概要について				講 義	倉 澤
2	1)2)	ディサースリアの評価①				講 義	倉 澤
3	1)2)	ディサースリアの評価②				講 義	倉 澤
4	3)	標準ディサースリア検査の実施①				講義・SGD	倉 澤
5	3)	標準ディサースリア検査の実施②				講義・SGD	倉 澤
6	3)	標準ディサースリア検査の実施③				講義・SGD	倉 澤
7	4)	ディサースリアの治療アプローチについて①				講義・SGD	伊 藤
8	4)	ディサースリアの治療アプローチについて②				講義・SGD	伊 藤
9	4)	タイプ別言語治療ガイドライン				講 義	伊 藤
10	5)	ディサースリアに対する訓練①				講義・SGD	伊 藤
11	5)	ディサースリアに対する訓練②				講義・SGD	伊 藤
12	6)7)	器質性構音障害(1)頭頸部癌とは、頭頸部癌の手術、治療				講 義	中 村
13	6)7)	器質性構音障害(2)頭頸部癌に関わる歯科学的問題 1				講 義	中 村
14	6)7)	器質性構音障害(3)頭頸部癌に関わる歯科学的問題 2				講 義	中 村
15	1)~7)	まとめ:学習の振り返り				講義・SGD	倉 澤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		ディサースリア 臨床標準テキスト 第2版(西尾正輝 著)【978-4-263-26665-6】 標準言語聴覚障害学 発声発語障害学 第3版(藤田郁代 編)医学書院【978-4-2600-4289-5】 言語聴覚療法シリーズ9 改訂 運動障害性構音障害(熊倉 勇美 編)建帛社【978-4-7679-4529-3】 言語聴覚療法シリーズ8 器質性構音障害(齊藤 裕恵 編)建帛社【978-4-7679-4508-8】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		喉頭がん舌がんの人たちの言語と摂食・嚥下ガイドブック(菊谷 武 監訳)医歯薬出版【978-4-263-44271-5】 器質性構音障害(授業・実習・国試に役立つ言語聴覚士ドリルプラス)(大塚 裕一 編)診断と治療社【978-4787825230】 運動障害性構音障害(授業・実習・国試に役立つ言語聴覚士ドリルプラス)(大塚 裕一 編)診断と治療社【978-4787824523】					

科目名	嚥下障害学 I			授業コード	121641B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科 言語聴覚コース(2 年生)			ナンバリング	51S222P05	AL 科目	○
担当者	中村真理子(臨心・臨心)、佐藤秀夫(非常勤講師)、横山茂幹(外部講師)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・SGD
授業の概要・一般目標・対応するポリシーNo.	言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い評価・訓練に必要なプロセスを遂行する(CPI-5)するうえで摂食嚥下障害は言語聴覚士が対象とする頻度が高い障害である。摂食嚥下障害とは、飲み込みが困難な状態であり、乳児から高齢者まで、多様な状態によって起こる問題である。飲むことができない、食べることができないことで、生命の危機に直面することもあり、摂食嚥下障害を早期に発見、対処することは、臨床的に極めて重要である。嚥下の定義、嚥下の仕組み、摂食嚥下障害をきたす要因、摂食嚥下障害の観察方法に関する知識を修得する(DP-3,4)。						
学修目標	1) 正常な嚥下とそれに関わる筋肉、神経について説明できる。 2) 嚥下の正常発達、加齢による変化について説明できる。 3) 嚥下障害に関する評価の概要を知り、正常か異常かの判別ができる。 4) 飲食材の変化による嚥下の違いについて説明できる。 5) 薬物による副作用が嚥下に及ぼす影響について説明できる。						
実務経験のある教員による教育	科目担当者(中村)は臨床現場(岡山大学附属病院矯正歯科外来)において歯科医師として5年以上の臨床経験を有する。同じく科目担当者(佐藤)は臨床現場(鹿児島大学小児歯科外来)において歯科医師として5年以上の臨床経験を有する。科目担当者横山は言語聴覚士として5年以上の臨床経験を有する。						
評価及びフィードバックの方法	単位認定試験(100%)により評価する。						
準備学習・履修上の注意等	摂食・嚥下障害は、言語聴覚士の臨床上、最重要領域となっているため、予習として教科書の該当箇所を一読しておくこと。特に、解剖・生理学で学んだ消化管の解剖と生理をもう一度見直し、摂食・嚥下のプロセスがイメージできるようにすること。そのためにも、復習には1時間以上、2時間程度かける必要がある。講義終了後も、実習や臨床で十分取り組むことが出来るように、知識・技術を向上させていく必要がある。						
オフィスアワー	講義前後の可能な時間						

授業計画				
回数	学修目標 No.	授 業 内 容	授 業 方 法	担 当
1	1)	嚥下と摂食の定義およびその違いについて、簡潔に説明することができる。	講 義	中 村
2	1)	嚥下に関わる諸器官の図をもとに、その名称を答えることができる。	講 義	中 村
3	1)	嚥下の期と相について、他の学生に説明することができる。	講義・SGD	中 村
4	1)~3)	正常に嚥下がなされるための要件について、自ら図を描いて説明ができる。	講義・SGD	中 村
5	1)~3)	VF、VE を見て、正常な嚥下と異常な嚥下の違いを説明できる。	講義・SGD	中 村
6	1)~3)	歯と咀嚼・嚥下との関係について説明できる。	講 義	中 村
7	1)~3)	準備期における摂食・嚥下障害について説明できる。	講 義	中 村
8	1)~3)	正常な嚥下運動について知るために、学生同士で演習を行う。水を飲むときや唾を飲むときに、喉頭や口腔周辺にどのような変化があるかを観察し、結果をディスカッションできる。	講義・SGD	中 村
9	1)~3)	加齢による嚥下障害のメカニズムを説明できる。	講 義	中 村
10	3)4)	加齢に伴う姿勢の変化、脳卒中による身体の拘縮による姿勢の変化について知り、それがどのような影響を及ぼすかを説明できる。	講義・SGD	中 村
11	3)4)	嚥下障害者にとって、食形態の違いは飲み込みに多大な影響を及ぼす。それはどのような機序で起こるかを説明できる。	講義・SGD	中 村
12	1)~3)	口腔がん患者のリハビリテーションにおける摂食・嚥下障害の評価・訓練	講 義	横 山
13	1)~3)	口腔がん患者のリハビリテーションにおける摂食・嚥下障害の評価・訓練	講 義	横 山
14	3)4)	小児の嚥下障害	講 義	佐 藤
15	5)	小児の嚥下障害	講 義	佐 藤
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		最新言語聴覚学講座 摂食嚥下障害学(倉智雅子) 医歯薬出版【978-4-263-27075-2】		
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		言語聴覚療法学テキスト発声発語・摂食嚥下の解剖・生理学 メディカルビュー社【978-4-7583-2069-6】		

科目名	嚥下障害学Ⅱ		授業コード	121642B601	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科・言語聴覚コース(3年)		ナンバリング	51S321P07	AL 科目	○	
担当者	中村 真理子(臨心・臨心)・倉澤 美智子(臨心・臨心)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	必 修	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リナーNo.	本講義は、利用者本位の言語聴覚士になるための最重要領域として、臨床現場においてリハビリテーションの一翼を担うことのできる臨床能力を修得するために、摂食嚥下障害に関わる一連の評価(スクリーニング、嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査、摂食評価)について演習を通じて学び、摂食嚥下機能の評価と問題点の抽出、訓練プログラムが作成できる、高い技能を習得する(DP3, CP1-5)。						
学修目標	1)摂食・嚥下障害のスクリーニング検査が実施できる。 2)嚥下造影検査および嚥下内視鏡検査の概要と方法が説明できる。 3)嚥下造影検査及び嚥下内視鏡検査の動画を見て、摂食・嚥下機能における問題点を抽出できる。 4)摂食評価において、姿勢やベッドアップ角度の調節など、患者の摂食環境を整えることができる。 5)摂食評価において、患者が経口摂取できる食物形態とその調節について理解ができる。 6)口腔ケアの方法、義歯の管理方法について理解が出来る。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(中村)は臨床現場(岡山大学附属病院矯正歯科外来)において歯科医師として5年以上の臨床経験を有する。また、科目担当者(倉澤)は言語聴覚士として5年以上の臨床経験を有する。						
評価及びフィード バックの方法	出席回数、講義態度、課題レポート提出等の形成的評価と、単位認定試験における論述試験の結果による統括的評価の2つを実施する。						
準備学習・ 履修上の注意等	言語聴覚士の最重要領域を学修として、頭頸部の解剖、神経学的知識に関する内容を含む、各回の予習・復習を1時間以上(2時間が望ましい)をしてください。また、学外臨床実習や臨床では、本講義で学んだことだけでは不十分です。日頃の摂食・嚥下障害に関する知識の向上が必要になります。						
オフィスアワー	毎週火・水・木曜日 12:30~13:00						

授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方 法	担 当
1	1)	オリエンテーション、摂食・嚥下機能のスクリーニング検査(1) 概要	講義・演習	中 村
2	1)	摂食・嚥下機能のスクリーニング検査(2) 水飲みテスト・改訂水飲みテスト	演 習	中 村
3	1)	摂食・嚥下機能のスクリーニング検査(3) 反復唾液嚥下テスト	演 習	中 村
4	1)	摂食・嚥下機能のスクリーニング検査(4) 歯科学的評価	演 習	中 村
5	1)	摂食・嚥下機能のスクリーニング検査(5) 問診・質問紙による評価	演 習	中 村
6	2)	嚥下造影検査の原理と方法・観察評価	講義・演習	中 村
7	2)	嚥下内視鏡検査の原理と方法・観察評価	講義・演習	中 村
8	2)3)	フードテストの方法と評価(1)	演 習	倉 澤
9	2)3)	フードテストの方法と評価(2)	演 習	倉 澤
10	4)5)	段階的摂食評価(1)	演 習	倉 澤
11	4)5)	段階的摂食評価(2)	演 習	倉 澤
12	6)	口腔ケア(1)	演 習	中 村
13	6)	口腔ケア(2)	演 習	中 村
14	6)	義歯の管理	演 習	中 村
15	1)~ 6)	事例検討	演 習	中 村

教科書(著者名)出版社名【ISBN】 治せる? 治せない? 摂食嚥下障害への視点と対応 医歯薬出版株式会社 【978-4-263-46222-5】

参考書(著者名)出版社名【ISBN】 特に指定しない

科目名	嚥下障害学演習			授業コード	121643A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(2年)			ナンバリング	51S322P02	AL 科目	○	
担当者	倉澤 美智子(臨・臨)、山口 大樹 (非常勤講師)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習	
授業の概要・一般 目標・対応するホ ルンNo.	<p>摂食嚥下障害学Ⅱでは、言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い評価・訓練に必要なプロセスを遂行するうえで摂食嚥下障害は言語聴覚士が対象とする頻度が高い障害である。摂食嚥下障害および合併症、関連障害の基本的概念と知識を修得するを目指す。摂食・嚥下障害の治療・訓練、利用者本位の言語聴覚士になるための最重要領域として、臨床現場においてリハビリテーションの一翼を担うことのできる臨床能力を修得するために、摂食嚥下障害に関わる一連の評価(スクリーニング、嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査、摂食評価)について演習を通じて学び、摂食嚥下機能の評価と問題点の抽出、訓練プログラムが作成できる、高い技能を修得する。(DP1,2,3,4,5,6)(CP1(1,2,5),2(1,2))</p>							
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 摂食嚥下の解剖と生理について理解し、説明できる。</li> <li>2) 摂食嚥下機能と発達・加齢変化との関係、栄養障害について理解し、説明できる。</li> <li>3) 摂食嚥下障害の評価・検査・診断について理解し、説明できる。</li> <li>4) 介入の概要や口腔衛生管理・訓練や対応について理解し、説明できる。</li> <li>5) リスク管理・薬剤管理・薬物療法や支援について理解し、説明できる。</li> <li>6) 間接訓練について理解し、説明できる。</li> <li>7) 直接訓練について理解し、説明できる。</li> <li>8) 成人期・老年期における原疾患と評価・対処について理解し説明できる。</li> <li>9) 小児期における原疾患と評価・対処について理解し説明できる。</li> <li>10) 評価に基づいて訓練を選択し訓練計画を作成できる。</li> <li>11) 地域リハビリテーションなど、摂食・嚥下障害に関わる他職種との関連性について理解し、説明できる。</li> <li>12) 正常嚥下と嚥下障害の VF・VE 所見を理解し、説明できる。</li> </ol>							
実務経験のある 教員による教育	科目担当者(全員)は、病院等臨床現場における言語聴覚士、歯科医師としての 10 年以上の実務経験に基づき、摂食・嚥下に関わる解剖や疾患、障害の特徴及び、リハビリテーションに関する知識・技術の修得を目的とした授業を行う。							
評価及びフィード バックの方法	授業毎のレポート課題等により形成的評価を行い、学習成果をフィードバックする。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、レポート等)の評価を 30%、学期末の単位認定試験を 70%として単位認定を行う。							
準備学習・ 履修上の注意等	毎回の予習・復習を行ってください。必要に応じ、レポートや確認テスト等を行います。							
オフィスアワー	倉澤:毎週水曜日の 12:30-13:00、講義の前後の時間 非常勤講師:講義前後の可能な時間 その他教員の指示に従うこと。							
授業計画								
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容					授業 方法	担当
1	1)	摂食嚥下器官の解剖					講 義	倉 澤
2	1)	摂食嚥下の生理(摂食嚥下モデル)					講 義	倉 澤
3	2)	摂食嚥下機能と発達、加齢					講 義	倉 澤
4	3)	摂食嚥下障害の評価・検査・診断					講義・演習	倉 澤
5	4)	摂食嚥下障害への介入(1)					講 義	倉 澤
6	5)	摂食嚥下障害への介入(2)					講 義	倉 澤
7	6)	摂食嚥下の訓練(間接訓練)					講義・演習	倉 澤
8	7)	摂食嚥下の訓練(直接訓練)					講義・演習	倉 澤
9	8)	成人期・老年期の疾患についての評価・対処法・対応例					講 義	倉 澤
10	9)	小児期の疾患についての評価・対処法					講 義	倉 澤
11	10)	評価結果の解釈と訓練計画の立案					講義・演習	倉 澤
12	11)	摂食嚥下障害へのチームアプローチ					講 義	倉 澤
13	11)	摂食・嚥下障害の地域リハビリテーションの実際・関連職種の役割					S G D	倉 澤
14	12)	VF、VE による評価					講 義	山 口
15	12)	VF、VE による評価演習					講 義	山 口
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	<p>最新 言語聴覚学講座 摂食嚥下障害学(倉知 雅子 編)医歯薬出版【978-4-263-27075-2】  摂食嚥下リハビリテーション(才藤 栄一・植田耕一郎 監修) 第3版 医歯薬出版【978-4-263-4447-4】  よくわかる 摂食・嚥下のメカニズム 第2版(山田 好秋書)医歯薬出版【978-4-263-44405-4】</p>							
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	<p>目で見える嚥下障害(DVD 付)(藤島 一郎) 医歯薬出版【978-4-263-21856-3】  摂食嚥下障害(授業・実習・国試に役立つ言語聴覚士ドリルプラス(大塚 裕一 編) 診断と治療社【978-4787823960】  その他、講義内で周知連絡行う。</p>							

科目名	聴覚検査演習		授業コード	121289A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)		ナンバリング	51S322P03	AL 科目	○	
担当者	戸高 翼(臨・臨)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソーNo.	<p>聴覚検査は、難聴、言語障害の診断および治療、支援を考える上では、欠くことのできないものである。そのため、検査を実施する際には、高度な知識や技術の習得が要求される。</p> <p>「聴覚検査演習」では、聴覚の構造・機能・病態を理解した上で、検査の実施および解釈ができる言語聴覚士になるために(DP3)、成人聴覚検査、乳幼児聴覚検査、他覚的聴覚検査、その他各種聴覚検査法の原理、実施手続き、結果の分析について習得する(CP1(5))。</p>						
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 聴覚検査に必要な予備知識について説明できる。</li> <li>2) 純音聴力検査の概要および検査前の準備、検査手順の説明ができ、実施ができる。</li> <li>3) 語音聴力検査の概要および検査前の準備、検査手順の説明ができ、実施ができる。</li> <li>4) 中耳機能検査の概要および検査手順の説明ができ、実施、解釈ができる。</li> <li>5) 内耳機能検査の概要および検査手順の説明ができ、実施、解釈ができる。</li> <li>6) 選別検査の概要および方法を説明し、実施することができる。</li> <li>7) 他覚的聴覚検査の概要および方法を知り、各検査の特徴を説明することができる。</li> <li>8) 乳幼児聴力検査の概要および検査手順の説明ができ、実施ができる。</li> <li>9) 検査結果から聴覚機能の状態を知ることができる。</li> </ol>						
実務経験のある 教員による教育	言語聴覚士としての医療現場(耳鼻咽喉科)での5年以上の実務経験に基づき、臨床的視点の習得を含めた講義を行う。						
評価及びフィード バックの方法	各回の授業で学習内容の確認小テストを授業開始時、終了時に実施した授業内容に関する課題配布を行う。小テストについては、採点は授業担当者が行い、返却時に学習成果をフィードバックする。課題は、次回授業開始時に提出し、授業担当者が内容の確認をし、解説内容に過不足がある場合は、解説を行う。授業時間外の学習への取り組み姿勢(確認小テストや課題内容)を20%、自発的な質問・発言など授業への主体的な参加態度を10%、学期末の単位認定試験70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで履修した「耳鼻咽喉科学」「聴覚・発声発語系の構造、機能、病態」「聴覚障害Ⅰ」「聴覚障害Ⅱ」を十分に復習しておくこと。</li> <li>・授業内容の項目について、教科書の該当ページを読み、予習しておくこと。</li> <li>・返却された確認テストや課題を用いて、学習内容の復習すること。</li> <li>・確認テストや課題は、返却するので、必ず各自でファイルすること。また、同じファイルに配布資料もまとめ、質問する際には、それらを持参すること。</li> <li>・SGDでは、自ら能動的に考える場であること理解し、間違っても良いので、積極的に自分の考えを述べること。</li> </ul>						
オフィスアワー	(月)、(木)の12:20~13:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	オリエンテーション／聴覚検査の予備知識				講義・SGD	戸 高
2	2)	純音聴力検査①: 気導聴力検査の概要を知り、実施方法を理解する				講義・演習	戸 高
3	2)	純音聴力検査②: 骨導聴力検査の概要を知り、実施方法を理解する				講義・演習	戸 高
4	2)	純音聴力検査③: マスキングについて理解する				講義・演習	戸 高
5	3)	語音聴力検査の概要を知り、実施方法を理解する				講義・演習	戸 高
6	4)	インピーダンス・オージオメトリー、耳管機能検査の概要を知り、実施方法を理解する				講義・演習	戸 高
7	5)	自記オージオメトリーの概要を知り、実施方法を知る				講義・演習	戸 高
8	5)	閾値上聴力検査、耳鳴検査の概要を知り、実施方法を理解する				講義・演習	戸 高
9	6)	選別聴力検査の概要を知り、実施方法を理解する				講義・SGD	戸 高
10	7)	聴性誘発反応の概要を知り、実施上の注意点を理解する				講義・SGD	戸 高
11	7)	耳音響放射の概要について知り、実施上の注意点を理解する				講義・演習	戸 高
12	8)	乳幼児聴力検査①: 概要を知り、実施方法を理解する				講義・演習	戸 高
13	8)	乳幼児聴力検査②: 概要を知り、実施方法を理解する				講義・SGD	戸 高
14	7)	後迷路障害および機能性難聴の検査の概要を知り、実施上の注意点を理解する				S G D	戸 高
15	9)	模擬症例に応じた各種聴力検査の選択、結果の解釈を行い、臨床に活かせる知識、技能の整理を行う				講義・演習	戸 高
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		聴覚検査の実際 改訂5版(日本聴覚医学会編) 南山堂【978-4-5253-7045-9】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		必要に応じて紹介する。					

科目名	言語聴覚障害演習Ⅱ			授業コード	121646A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51S321P08	AL 科目	○
担当者	戸高 翼(臨・臨)、倉澤美智子 (臨・臨)、伊藤さゆり(臨・臨)、外 部講師	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	言語聴覚士になるためには、言語聴覚療法に必要な知識に加えて、利用者中心の言語聴覚療法を行うために必要な臨床技 術、態度を身につける必要がある。 「言語聴覚障害演習Ⅱ」では、多様な状態を示す言語聴覚障害児・者に適切な評価および言語聴覚療法を行うことができる言 語聴覚士になるために(DP1,2,3,6)、学外評価臨床実習、学外総合臨床実習、そして将来の臨床現場で求められる技能や知識、 基本的態度、障害をトータルに見る視点を身につけ、かつ、チーム活動の中で主体性や協調性、分析力などを身につける (CP1(5))。						
学修目標	1) 言語聴覚士の業務を理解し、言語聴覚士に必要な基本的態度、知識・技術を理解する。 2) 言語聴覚障害を評価するために必要な評価方法を自分で選択することができる。 3) 障害の背景となる疾患について理解できる。 4) 言語聴覚障害を検出するためのスクリーニング検査を作成することができる。 5) スクリーニング検査の結果をまとめ、今後の方針を考えることができる。 6) 症例の状態を観察しながら、検査が実施できる。 7) 検査結果をまとめ、分析することができる。						
実務経験のある 教員による教育	言語聴覚士や医療専門職として臨床経験5年以上の者(戸高、倉澤、伊藤、外部講師)が担当する。						
評価及びフィード バックの方法	各回の授業でドリルテストを授業開始時に行う。ドリルテストについては、採点は授業担当者が行い、学習成果をフィードバック する。課題は、次回授業開始時に提出し、授業担当者が内容の確認をし、解説内容に過不足がある場合は、解説を行う。授業 時間外の学習への取り組み姿勢(確認小テストや課題内容)を20%、自発的な質問・発言など授業への主体的な参加態度を 10%、学期末の単位認定試験70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	・本授業は、「言語聴覚障害演習Ⅰ・Ⅲ」と関連が深く、加えて、「学外評価臨床実習」、「学外総合臨床実習」に繋がっていく科 目である。そのため、学外実習時を想定し、自らの体調管理に努める、積極的行動する、言葉遣いに気をつける等、実習の事前 学修として意識しながら参加をすること。 ・演習内容は、復習を積極的に行い、技術の定着を目指すこと。 ・返却された課題を用いて、学習内容を復習すること。 ・SGD や演習活動時には、自ら能動的に考える場であることを理解し、間違っても良いので、積極的に自分の考えを述べること。						
オフィスアワー	各教員に確認すること。						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)2)	オリエンテーション／言語聴覚障害の評価の流れを理解する				講義・演習	戸 高
2	1)～ 3)、5)	言語聴覚障害を評価する：小児(1) 基礎情報、問診、スクリーニング検査の結果から評価の流れを考える。				講義・演習・SGD	戸 高
3	1)～ 3)、6)	言語聴覚障害を評価する：小児(2) LC-Rの実施手続き、判定方法を理解する				講義・演習・SGD	戸 高
4	1)～ 3)、6)	言語聴覚障害を評価する：小児(3) LC-Rを模擬ケース(学生)に実施する				講義・演習・SGD	戸 高
5	7)	言語聴覚障害を評価する：小児(4) 検査結果を文章で書くことができる				講義・演習・SGD	戸 高
6	1)～ 3)、5)	言語聴覚障害を評価する：成人(1) 基礎情報、問診、スクリーニング検査の結果から評価の流れを考える。				講義・演習・SGD	伊 藤
7	1)～ 3)、6)	言語聴覚障害を評価する：成人(2) SLTAの実施手続き、判定方法を理解する				講義・演習・SGD	伊 藤
8	1)～ 3)、6)	言語聴覚障害を評価する：成人(3) SLTAを模擬ケース(学生)に実施する				講義・演習・SGD	伊 藤
9	7)	言語聴覚障害を評価する：成人(4) 検査結果を文章で書くことができる				講義・演習・SGD	伊 藤
10	1)～5)	言語聴覚障害を評価する：成人(5) 基礎情報、問診、スクリーニング検査の結果から評価の流れを考える。				講義・演習・SGD	倉 澤
11	1)～ 3)、5)	言語聴覚障害を評価する：成人(6) 嚙下スクリーニング検査の実施手続き、判定方法を理解する				演 習	倉 澤
12	1)～ 3)、6)	言語聴覚障害を評価する：成人(7) 嚙下スクリーニング検査を模擬ケース(学生)に実施する				演習・SGD	倉 澤
13	7)	言語聴覚障害を評価する：成人(8) 検査結果を文章で記載できる				講義・演習・SGD	倉 澤
14	1)	言語聴覚療法を安全に実施するために必要な車椅子の基本構造および操作方法を理解する(1)				講義・演習・SGD	外部講師
15	1)	言語聴覚療法を安全に実施するために必要な車椅子の基本構造および操作方法を理解する(2)				演習・SGD	外部講師
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	標準言語聴覚障害学 言語聴覚療法 評価・診断学(藤田郁代 監修)医学書院【ISBN 978-426004148】 言語聴覚士のための臨床実習テキスト 成人編(深浦順一 他編著)建帛社【ISBN 978-4767945392】 言語聴覚士のための臨床実習テキスト 小児編(深浦順一 他編著)建帛社【ISBN 978-4767945408】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	随時紹介する。						

科目名	言語聴覚障害演習Ⅲ			授業コード	121647A601	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)			ナンバリング	51S322P05	AL 科目	○
担当者	戸高 翼(臨・臨)、倉澤美智子 (臨・臨)、伊藤さゆり(臨・臨)、非 常勤講師	開講学期	2026 年度 後 期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習・SGD
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	言語聴覚士になるためには、言語聴覚療法に必要な知識に加えて、利用者中心の言語聴覚療法を行うために必要な臨床技 術、態度を身につける必要がある。 「言語聴覚障害演習Ⅲ」では、多様な状態を示す言語聴覚障害児・者に適切な評価および言語聴覚療法を行うことができる言 語聴覚士になるために(DP3.6)、学外評価臨床実習、学外総合臨床実習、そして将来の臨床現場で求められる技能や知識、基 本的態度、障害をトータルに見る視点を身につけ、かつ、チーム活動の中で主体性や協調性、分析力などを身につける (CP1(7))。						
学修目標	1) 言語聴覚士の業務を理解し、学外評価・総合臨床実習で求められる言語聴覚士に必要な基本的態度、知識、技術を理解、修 得する。 2) ICF と言語聴覚療法について理解し、評価・支援に活かす視点を知る。 3) 検査結果を元に訓練を立案し、適切な教材の作成、実施方法を身につける。 4) 摂食嚥下機能、障害像を脳画像の視点も含め、アセスメントすることができる。 5) ボランティア活動を通して、地域や対象者との関わりを理解し、授業で学んだ知識・技術を実践場面で適切に活用できる。						
実務経験のある 教員による教育	言語聴覚士として臨床経験5年以上の者(戸高、倉澤、伊藤)、脳神経外科医として臨床経験方法な医師(非常勤講師)が担当 する。						
評価及びフィード バックの方法	各回の授業でドリルテストを授業開始時に行う。ドリルテストについては、採点は授業担当者が行い、学習成果をフィードバック する。課題は、次回授業開始時に提出し、授業担当者が内容の確認をし、解説内容に過不足がある場合は、解説を行う。授業 時間外の学習への取り組み姿勢(確認小テストや課題内容)を20%、自発的な質問・発言など授業への主体的な参加態度を 10%、学期末の単位認定試験70%として、単位認定を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	・本授業は、「言語聴覚障害演習Ⅰ・Ⅱ」と関連があり、かつ「学外評価臨床実習」、「学外総合臨床実習」に繋がっていく科目で ある。そのため、学外実習時を想定し、自らの体調管理に努める、積極的行動する、言葉遣いに気をつける等、実習の事前学修 として意識しながら参加をすること。 ・演習内容は、復習を積極的に行い、技術の定着を目指すこと。 ・返却された確認テストや課題を用いて、学習内容を復習すること。 ・SGD や演習活動時には、自ら能動的に考える場であることを理解し、間違っても良いので、積極的に自分の考えを述べること。						
オフィスアワー	各教員に確認すること。						
授業計画							
回 数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	「学外総合臨床実習」の報告会を聴講し、学外実習を知る				講 義	戸高・伊藤
2	1)~3)	評価結果の整理(成人)失語・高次脳 ・成人症例の評価内容を共有し、実習での気づきや課題を整理する。 ・検査結果および観察所見を整理し、機能障害の特徴を理解する。				講義・演習・SGD	伊藤
3	1)2)	評価結果の整理、目標設定(成人)失語・高次脳 ・評価結果を基に主要問題を抽出し、ICF の視点から整理する。 ・問題点を基に長期目標および短期目標を設定し、訓練計画を立案する。				講義・演習・SGD	伊藤
4	1)~3)	訓練立案(成人)失語・高次脳 評価結果および目標を基に支援・訓練計画を立案する。				講義・演習・SGD	伊藤
5	1)~3)	評価結果の整理(成人)構音・嚥下・聴覚 ・成人症例の評価内容を共有し、実習での気づきや課題を整理する。 ・検査結果および観察所見を整理し、機能障害の特徴を理解する。				講義・演習・SGD	倉澤
6	1)~3)	評価結果の整理、目標設定(成人)構音・嚥下・聴覚 ・評価結果を基に主要問題を抽出し、ICF の視点から整理する。 ・問題点を基に長期目標および短期目標を設定し、訓練計画を立案する。				演習・SGD	倉澤
7	1)~3)	訓練立案(成人)構音・嚥下・聴覚 評価結果および目標を基に支援・訓練計画を立案する。				講義・演習・SGD	倉澤
8	4)	脳画像からみる嚥下評価を理解する(1)				講 義	非常勤講師
9	4)	脳画像からみる嚥下評価を理解する(2)				講 義	非常勤講師
10	1)~3)	評価実習振り返り(小児) 小児症例の評価内容を共有し、観察所見や発達段階の特徴を整理する。				演習・SGD	戸高
11	1)~3)	評価結果の整理(小児) 評価結果を整理し、発達の視点から問題点を理解する。				演習・SGD	戸高
12	1)~3)	問題点の抽出(小児) 言語・認知・社会性などの観点から主要問題を抽出する。				演習・SGD	戸高
13	1)~3)	評価結果から目標設定(小児) 発達段階および生活環境を踏まえた支援目標を設定する。				演習・SGD	戸高
14	1)~3)	訓練立案(小児) 評価結果および目標を基に支援・訓練計画を立案する。				演習・SGD	戸高
15	5)	ボランティア活動を通して地域や対象者との関わりを経験し、授業内容を実践的に活用することができる。				演 習	戸 高
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	標準言語聴覚障害学 言語聴覚療法 評価・診断学(藤田郁代 監修)医学書院【ISBN 978-426004148】 言語聴覚士のための臨床実習テキスト 成人編(深浦順一 他編著)建帛社【ISBN 978-4767945392】 言語聴覚士のための臨床実習テキスト 小児編(深浦順一 他編著)建帛社【ISBN 978-4767945408】						

参考書(著者名)出版社名【ISBN】

随時紹介する。

科目名	スクールソーシャルワーク論			授業コード	121118B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床福祉学科(3年)、臨床心理学科(3年)、スポーツ健康福祉学科(3年)			ナンバリング	51C321P10	AL 科目	
担当者	日田 剛	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講 義
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	ソーシャルワークの基本的理解を進めた上で、学校を実践現場とするスクールソーシャルワークを学ぶ(DP3)。教育現場である学校の組織論、指導論、運営論から学校文化について理解する。さらに学校現場でソーシャルワークが求められている背景を知り、スクールソーシャルワークの歴史(世界的な動向とわが国の取り組み)、役割について具体的に理解する(DP7)。						
学修目標	1)ソーシャルワークの方法、機能、価値について説明できる。 2)学校の組織構造を図示して表すことができる。 3)学校運営について説明できる。 4)学校でソーシャルワークが求められる要因についてあげることができる。 5)スクールソーシャルワークの歴史を整理することができる。 6)スクールソーシャルワークの理論、方法について理解できる。 7)具体的な実践について事例から理解できる。						
実務経験のある 教員による教育	外部講師として社会福祉士のスクールソーシャルワーカーを招く予定						
評価及びフィード バックの方法	客観試験 60%、課題提出(レポートなど)40%として総括的評価を行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	本科目は基本的に社会福祉士の取得を前提として展開されるものである。そのため社会福祉、ソーシャルワークについての基礎的知識を習得していることが必要である。						
オフィスアワー	研究室前に掲示						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	ソーシャルワークの基礎について復習する。				講 義	日 田
2	1)4)	スクールソーシャルワークが求められる背景と要因を理解する①				講 義	日 田
3	1)4)	スクールソーシャルワークが求められる背景と要因を理解する②				講 義	日 田
4	4)5)	スクールソーシャルワークの歴史を知る。				講 義	日 田
5	4)5)	スクールソーシャルワークの動向と現状を理解する。				講 義	日 田
6	1)6)	スクールソーシャルワークの価値と目的を理解する。				講 義	日 田
7	1)6)	スクールソーシャルワークとカウンセリングの違いを理解する。				講 義	日 田
8	2)3)4)	学校教育の特徴を知る①				講 義	日 田
9	2)3)4)	学校教育の特徴を知る②				講 義	日 田
10	2)3)4)	連携機関を理解する。				講 義	日 田
11	1)6)	スクールソーシャルワークの基礎理論を理解する。				講 義	日 田
12	1)6) 7)	事例検討1				講 義	外部講師
13	1)6) 7)	事例検討2				講 義	外部講師
14	1)3)4) 6)7)	スクールソーシャルワーク実践見学(もしくは事例検討3)				講 義	外部講師
15	1)2) 3)4) 6)7)	事例まとめ				講 義	日 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	よくわかるスクールソーシャルワーク 第2版(山野則子・野田正人・半羽利美佳) ミネルヴァ書房【978-4-623-07834-9】						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	スクールソーシャルワーカー活動実践事例集 <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1246334.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1246334.htm</a>						

科目名	スクールソーシャルワーク演習			授業コード	121513A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学科(3年)、スポーツ健康福祉学科スポーツ科学コース・ソーシャルワークコース(3年)			ナンバリング	51C322P08	AL 科目	○
担当者	日田 剛	開講学期	2026年度後期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リゾンNo.	実践場面を想定した事例を用いて、スクールソーシャルワークの一連の流れを検討して目標達成を具体的にイメージする。その際個人作業、グループでのディスカッションを取り入れる。この演習で理論と実践を結びつけることを目標とする(DP7)。						
学修目標	1)スクールソーシャルワークの意義を確認する。 2)学校現場で把握される児童、生徒のニーズについて理解できる。 3)ニーズ発見から介入までの流れを組み立てることができる。 4)児童、生徒についての目標を設定できる。 5)連携協働する社会資源について理解し、連携する力を身につける。 6)演習を通してソーシャルワークの理論と方法を結びつけることができる。						
実務経験のある 教員による教育	社会福祉士のスクールソーシャルワーカーを外部講師として招く予定である。						
評価及びフィード バックの方法	演習内での指導を含めた演習への取り組み60%、ボランティア等の学外活動への参加40%						
準備学習・ 履修上の注意等	この演習はスクールソーシャルワーク論の既習者を対象とする。また授業内での演習に加え、学外でのボランティア活動への参加を原則とする。						
オフィスアワー	月水金 12:30~13:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授 業 方 法	担 当
1	1)	スクールソーシャルワークの意義を確認する。				講 義	日 田
2	2)	学校現場で把握される児童、生徒のニーズについて理解する①				演 習	日 田
3	2)	学校現場で把握される児童、生徒のニーズについて理解する②				演 習	日 田
4	2)3)	スクールソーシャルワークの展開過程を理解する①				演 習	外部講師
5	2)3)4)	スクールソーシャルワークの展開過程について理解する②				演 習	外部講師
6	2)3)4)	学内連携とスーパービジョンの機能と実際				演 習	外部講師
7	2)3)4)	教師による生徒指導や学習指導におけるスクールソーシャルワーカーの関わり				演 習	外部講師
8	2)3)4) 5)6)	演習1(児童虐待事案)				演 習	日 田
9	2)3)4) 5)6)	演習2(貧困家庭事案)				演 習	日 田
10	2)3)4) 5)6)	演習3(いじめ問題事案)				演 習	日 田
11	2)3)4) 5)6)	演習4(不登校事案)				演 習	日 田
12	2)3)4) 5)6)	演習5(性的マイノリティ事案)				演 習	日 田
13	2)3)4) 5)6)	演習6(保護者対応トラブル事案)				演 習	日 田
14	2)3)4) 5)6)	演習7(自殺問題事案)				演 習	日 田
15	2)3)4) 5)6)	事例発表				演 習	日 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		よくわかる スクールソーシャルワーク 第2版(山野則子・野田正人・半羽利美佳)ミネルヴァ書房【978-4-623-07834-9】					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		スクールソーシャルワーカー活動実践事例集 <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1246334.htm">http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1246334.htm</a>					

科目名	医療ソーシャルワーク論		授業コード	120135B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)
配当学科(学年)	臨床心理学部 臨床心理学科 (3年)		ナンバリング	51C322P09	AL 科目	○
担当者	川崎 順子(福・福)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態 講 義 演 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	超高齢社会を迎えた日本の医療現場は、治療重視の医療モデルから病気と共に生きる生活モデルへと変化している。そのような状況のなか、医療現場で患者を支える医療ソーシャルワーカーへの役割が求められている。そのため医療ソーシャルワーク論では医療ソーシャルワーカーの価値や倫理を学び医療ソーシャルワーカーの役割を明確にし実践の場で患者やその家族に寄り添った支援ができることを目標とする。 (心理 DP(3)(5)(6))					
学修目標	1.「病む」ことによって経験する多様な課題を理解する。 2.多様な援助者の一人として医療ソーシャルワーカーに焦点付け、医療ソーシャルワーカーの援助活動の概要を説明できる。 3.「病む」人に対する支援について、システムや制度、政策による支援について理解し考察する。 4.病院機能別について、具体的な支援の在り方を理解し医療ソーシャルワーカーの立ち位置を考察する。					
実務経験のある 教員による教育	科目担当者は社会福祉士の有資格者として、5年以上の実務経験に基づきその経験を通し医療ソーシャルワーカーとして必要な知識、技術、価値の修得を目的とした授業を行う。					
評価及びフィード バックの方法	授業での取り組み姿勢、課題の提出状況 50%、定期試験 50%により評価する。毎時間のレポートを踏まえ理解度を確認し、フィードバックを行う。					
準備学習・ 履修上の注意等	社会福祉士の資格取得を希望し、ソーシャルワーク実習を履修済みのもの。 4 年次の医療ソーシャルワーク実習を履修・希望する者は必修する。 1 回の授業につき、4 時間を目安に予習・復習を行うこと。					
オフィスアワー	16 時 30 分～17 時 30 分。ただし木、実習期間中は除く。					

#### 授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方 法	担 当
1	2)	医療における社会保障政策の動向と医療ソーシャルワーカーの役割を理解する。	講 義	川 崎
2	2)	医療ソーシャルワークの成立の経過と今後の課題を理解する。	講 義	川 崎
3	2)	医療ソーシャルワークの業務指針と価値と倫理について理解する。	講 義	川 崎
4	1)	医療ソーシャルワーカーに必要な医学的知識を理解する。	講 義	川崎・外部講師
5	1)2)	病院の機能と医療ソーシャルワーカーの業務内容を理解する。	講 義	川崎・外部講師
6	3)	診療報酬について学び、そのプロセスを理解する。	講 義	川崎・外部講師
7	1)2)3)	生活機能障がい者の苦しみを理解し、事例をとおして支援の在り方を探る。	講 義	川 崎
8	1)2)3)	医療における「家族」を理解するための視点や支援の方法を事例で理解する	講 義	川 崎
9	2)3)4)	医療ソーシャルワーカーの支援展開を事例で理解する。①	S G D	川 崎
10	2)3)4)	医療ソーシャルワーカーの支援展開を事例で理解する。②	S G D	川 崎
11	2)3)4)	医療ソーシャルワーカーの支援展開を事例で理解する。③	S G D	川 崎
12	4)	医療の場で活躍する実践者を招聘し、倫理的ジレンマ等の実際を知る。	講 義	川 崎
13	4)	医療ソーシャルワーカーの活躍する実践の場を見学し役割を理解する。①	施設見学	川 崎
14	4)	医療ソーシャルワーカーの活躍する実践の場を見学し役割を理解する。②	施設見学	川 崎
15	2)	総括 医療ソーシャルワーカーの役割を説明することができる。	講 義	川 崎

教科書(著者名)出版社名【ISBN】 使用しない

参考書(著者名)出版社名【ISBN】  
 よくわかる医療福祉 ミネルヴァ書房  
 保健医療ソーシャルワークの基礎 -実践力の構築- 公益財団法人 日本医療社会福祉協議会編

科目名	医療ソーシャルワーク実習指導			授業コード	121515A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)
配当学科(学年)	社会福祉学部 臨床福祉学科(4年)・スポーツ健康福祉学科(4年) 臨床心理学部 臨床心理学科(4年)			ナンバリング	51C421P05	AL 科目	○
担当者	川崎 順子(福・福)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	演 習
授業の概要・一般 目標・対応するポ リシーNo.	<p>実習前指導と実習後指導として、前期から後期に分けて授業を行う。</p> <p>実習前指導では、医療ソーシャルワークの実習先を十分に理解し、具体的な実習課題を立て実習準備ができることが求められる。そこで、実習を効果的におこなうために、実習先となる医療機関の法的根拠、業務内容、対象者の理解をはじめ、医療ソーシャルワーカーとして求められる資質、知識、技術等を修得し、実習における自己の課題を明確にすることを目標とする。臨床 DP(3)(7)、スポ DP(2)(3)、心理 DP(3)(5)</p> <p>実習事後指導では、実習内容を振り返ることにより、目標達成状況を評価し、医療ソーシャルワーカーとしての課題を明確にする。臨床 DP(5)(6)(7)、スポ DP(2)(4)、心理 DP(5)(6)</p>						
学修目標	<p>実習前指導</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)実習の事前準備に必要な心構えができる。</li> <li>2)医療機関の概要や法的根拠・役割・機能が説明できる。</li> <li>3)医療ソーシャルワークの業務内容や利用者の特性が説明できる。</li> <li>4)医療ソーシャルワーカーに必要とされる知識・技術について説明できる。</li> <li>5)実習目標・課題を明確に設定することができる。</li> </ol> <p>実習後指導</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>6)実習内容を振り返り、医療ソーシャルワークの業務内容の実際について説明できる。</li> <li>7)医療ソーシャルワークに必要とされる知識・技術の実際について説明できる。</li> <li>8)実習目標や実習課題の達成状況を評価し、報告できる。</li> </ol>						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、社会福祉士の有資格者であり5年以上の実務経験に基づき、医療ソーシャルワークに必要な知識、技術、価値の修得を目標とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	実習事前課題の取り組み状況、実習計画の内容 50%、実習事後の振り返り状況、実習報告まとめ成果を 50%とし、総合的に評価する。実習前後に、理解状況を把握し、フィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>3 年次に社会福祉士のソーシャルワーク実習Ⅱを修得していること。</p> <p>3 年次の医療ソーシャルワーク論・チーム医療概論を修得していること。</p> <p>医療機関における実習のため、特に健康管理に留意すること。</p> <p>指示された課題、書類等は提出期日を厳守すること。</p>						
オフィスアワー	実習センター 9:00～17:00						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 授業スケジュールに基づく実習の事前準備の必要性の理解と実習に向けての心構えが理解できる。				演 習	川 崎
2	1)2)3)	医療ソーシャルワーカーの業務内容を理解し、実習課題設定の準備ができる。。				演 習	川 崎
3	1)2)3)	実習先を選定するために、実践現場を見学し、具体的な実習のイメージをつくる。				見学・講義	川 崎
4	1)2)3)	実習先を確定し、実習先の概要を理解するとともに、医療ソーシャルワークの実習課題を設定し、実習計画を作成する準備を進めることができる。				演 習	川 崎
5	4)5)	医療ソーシャルワークの実習課題を設定し、実習計画を作成することができる。				演 習	川 崎
6	3)4)	医療機関における実習に伴うリスクマネジメントを再確認し、具体的方法を理解できる。				演 習	川 崎
7	1)2)3) 4)5)	実習先指導者と面談を行うことにより、具体的な実習内容・プログラムの確認を行い、実習に向けた準備ができる。				演 習 面 談	川崎・外製講師
8	1)5)	実習に向けての記録の取り扱いや実習中の姿勢・態度について説明できる。 実習直前オリエンテーションを行い、本実習に向けての最終確認ができる。				演 習	川 崎
9	6)	実習内容を振り返り、医療ソーシャルワーカーの実際から学んだことを理論的枠組みを用いて整理することができる。				演 習	川 崎
10	6)7)	実習体験から、医療ソーシャルワークに必要とされる知識や技術を整理し、その必要性を認識したケースをもとに分析を試みる。				演 習	川 崎
11	6)7)	実習体験から、医療ソーシャルワークに必要とされる知識や技術を整理し、その必要性を認識したケースをもとに分析を試みる。				演 習	川 崎
12	7)8)	実習日誌をもとに実習課題の達成状況を振り返り、報告書作成に取り組む。				演 習	川 崎
13	8)	実習先からの評価を踏まえ、ソーシャルワーカーに求められる資質について、自己課題を明確にする。				演 習	川 崎
14	8)	実習報告書をもとに、実習報告会にて実習状況について発表する。				演 習 学生発表	川 崎
15	6)7)8)	最終総括として、医療領域におけるソーシャルワーカーの役割を再確認するとともに、ソーシャルワークに共通する価値、知識、技術について説明できる。				演 習	川 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					
参考書(著者名)出版社名【ISBN】		使用しない。					

科目名	医療ソーシャルワーク実習		授業コード	121516A101	単位数 (時間数)	1 単位 (45)	
配当学科(学年)	社会福祉学部 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(4年) 臨床心理学部 臨床心理学科(4年)		ナンバリング	51C421P06	AL 科目	○	
担当者	川崎 順子(福・福)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	実 習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	医療ソーシャルワーク実践場面である医療機関での学外実習を行い、具体的かつ実際に理解し、実践的な技術などを修得することを目標とする。臨床 DP(2)(3)、スポ DP(1)(3)、心理 DP(1)(3) また、実習課題・実習計画に基づいた実習を振り返り、医療ソーシャルワーカーに求められる資質、知識、技術等を体系的にまとめ、自己課題を明確にすることを目標とする。臨床 DP(5)(6)(7)、スポ(2)(4)、心理(5)(6)						
学修目標	1)医療ソーシャルワーカーとしての基本的態度を習得する。 2)実習課題を意識しながら、積極的・主体的に実習を行うことができる。 3)実習先の概要、多様な専門職種の仕事内容が説明できる。 4)医療ソーシャルワーカーとして、実習課題が達成できるように実践することができる。 5)実習記録等提出物は、期限内に的確に提出できる。 6)実習を振り返り、課題達成状況が説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、社会福祉士の有資格者であり、5年以上の実務経験に基づき、医療ソーシャルワークに必要な知識、技術、価値の修得を目標とする。実習期間中は適宜巡回指導を行う。						
評価及びフィード バックの方法	実習先の指導者の評価ならびに巡回指導での個別指導に基づき、実習課題の達成状況により総合的に評価する。巡回指導時に実習課題の習得状況を確認し、フィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	3 年次に社会福祉士のソーシャルワーク実習Ⅱを修得していること。 3 年次に医療ソーシャルワーク論・チーム医療概論を修得していること。 4 年次に医療ソーシャルワーク実習指導を履修しておくこと。 医療機関における実習のため、特に健康管理に留意すること。 指示された課題、書類等は提出期日を厳守すること。 実習期間は実習に専念すること。						
オフィスアワー	実習センター 9:00～18:30						

授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当
1	1)2)3) 4)5)	実習の実施概要 指定した医療機関において、1日8時間を基本とし、5日～10日間の実習を行う。 実習期間は、実習先と調整し、指定した期間をとる。 実習期間には、毎日実習記録を行い、実習先に提出する。	実 習	川 崎
2	1)2)3) 4)5)	実習指導の方法 具体的な実習プログラムは、自己の実習課題を踏まえ、実習先指導者との調整により決定する。 日常的には実習指導者からの指導に従う。 担当教員は実習先訪問による巡回指導を行い、実習状況を確認する。	実 習	川 崎
3	1)2)3) 4)5)	実習の内容 実習では、実習課題の達成に向け、実習プログラムに沿って実習を行う。 次に掲げる事項が実施できるように実習に取り組む。 実習態度・取組姿勢 1. 医療ソーシャルワーカーとしての態度・姿勢が身についている。 2. 出勤時間や注意事項等の業務遂行の規則を守ることができる。 3. 実習指導者の指導・助言を積極的に求め、主体的に学習を進めることができる。 4. 実習に関わった職員や関係者と協調することができる。 5. 実習記録やその他の書類等を的確に作成し、期限までに提出することができる。	実 習	川 崎
4	1)2)3) 4)5)	医療ソーシャルワーク実習内容 1. 医療機関のある地域の特性を理解している。 2. 医療機関が地域に果たしている機能や役割を理解している。 3. 医療機関の法的根拠や運営理念、業務内容を理解している。 4. 医療機関における他職種の役割と業務内容を理解している。 5. 医療ソーシャルワーカーの役割と業務内容を理解している。 6. 専門職としての価値・倫理を理解している。 7. チームアプローチのあり方、関係機関との連携のあり方を理解している。 8. 利用者や家族、関係者と関わることができる。 9. 利用者の実態、二	実 習	川 崎
5	3)4)6)	実習振り返り 1. 実習課題の達成状況を評価し、説明できる。 2. 実習内容を踏まえ医療ソーシャルワーカーに必要なとされる知識・技術についてまとめることができる。	演 習	川 崎



科目名	連携実践演習		授業コード	121512A101	単位数 (時間数)	1 単位 (30)	
配当学科(学年)	社会福祉学部 臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科(4年) 臨床心理学部 臨床心理学科(4年)		ナンバリング	51C421P08	AL 科目	○	
担当者	川崎 順子(福・福)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	<p>相談援助専門職は、様々な相談ケースに対応できる総合的かつ包括的な実践力を発揮していくことが求められている。そのためには、多様な専門職・関係者とチームを形成し、適切な支援に向けた連携が欠かせない状況にある。また、近年の政策動向では、地域包括ケアシステムの構築、地域共生社会の実現を目指した施策が具体的に実施されている状況にある。</p> <p>本授業では、政策動向を踏まえた連携の必要性を確認し、福祉・医療を中心とした多職種連携のあり方を学び、演習を通して実践力を習得することを目標とする臨床 DP(2)(3)(7)、スポ DP(1)(2)(3)、心理 DP(1)(3)(5)。</p>						
学修目標	<p>1) 地域包括ケアシステム・地域共生社会における連携の必要性が説明できる。 2) 連携の定義を理解し、類型と段階が説明できる。 3) 連携に係る専門職の役割を理解し、説明できる。 4) 連携実践場面の事例を活用し、連携に際して必要とされる構成要素が説明できる。 5) 連携実践場面の見学を行い、連携実践力の現状を理解する。 6) 事例演習(ロールプレイ)により、実践力を習得する。</p>						
実務経験のある 教員による教育	科目担当は、社会福祉士の資格を有し実践現場 5 年以上の経験に基づき、連携実践場面の実際を参考に授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	演習授業の取組姿勢・実践力の習得状況を 50%、レポート課題・試験を 50%として総合的に評価する。毎時間に提出するレポートや小テストにおいて理解度を確認し、フィードバックを行う。						
準備学習・ 履修上の注意等	<p>社会福祉士・精神保健福祉士等相談援助専門職の資格取得を希望していること 演習授業に主体的、積極的に取り組み、与えられた役割を担うこと レポート課題などの提出期限を厳守すること 1 コマにつき予習・復習を 4 時間以上行うこと</p>						
オフィスアワー	時間割確定後研究室に掲示する						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	オリエンテーション 授業の目的を理解し、授業スケジュールを確認できる。 地域包括ケアシステム、地域共生社会に関する政策動向を理解する。				講義・演習	川 崎
2	2)	連携の定義を理解し、連携の類型、段階が説明できる。				演 習	川 崎
3	3)	連携に係る専門職の役割を理解する。(医療系)				演 習	川 崎
4	3)	連携に係る専門職の役割が理解できる。(福祉系)				演 習	川 崎
5	3)	連携に係る専門職の実際を理解する(医療系①)				演 習	川崎・学内教員
6	3)	連携に係る専門職の実際を理解する(医療系②)				演 習	川崎・学内教員
7	3)	連携に係る専門職の実際を理解する(医療系③)				演 習	川崎・学内教員
8	3)4)	連携実践場面の事例を活用し、連携の具体的展開方法を理解する。				演 習	川 崎
9	3)4)	連携実践場面の事例を活用し、連携の具体的展開方法を理解する。				演 習	川 崎
10	3)4)	連携実践場面の事例を活用し、連携の具体的展開方法を理解する。				演 習	川 崎 外部講師
11	5)	連携実践場面の見学を行い、連携実践力の現状を理解する。				演 習	川 崎 外部講師
12	5)	連携実践場面の見学を行い、連携実践力の現状を理解する。				演 習	川 崎
13	6)	事例演習(ロールプレイ)により、実践力を習得する。				演 習	川 崎
14	6)	事例演習(ロールプレイ)により、実践力を習得する。				演 習	川 崎
15	1)2)3) 4)5)6)	まとめ 福祉・医療を中心とした多職種連携のあり方が説明できる。				演 習	川 崎
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	講義時に配布するプリントなどを使用する。						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	必要に応じて講義時に関連教材を紹介する。						

科目名	認知症の理解 I		授業コード	120838B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(3年)		ナンバリング	51C321P11	AL 科目	○	
担当者	稲田 弘子(スポ)	開講学期	2026 年度 前期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リソNo.	我が国における認知症ケアは、パーソンセンタードケアつまりその人らしさを大切にされたケアの在り方が主になっている。認知症高齢者がその人らしく、地域や施設で生活できるよう支援することのできる福祉専門職となるために、認知症に関する基礎的知識や、認知症の特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護・福祉の視点を修得する。 臨床福祉学科(DP3.6)(CP9) スポーツ健康福祉学科(DP2)(CP2) 臨床心理学科(DP3.6)(CP4)						
学修目標	1) 認知症の基本的な知識(動向・医学的・心理的側面)について説明できる。 2) 認知症に伴うところの変化について説明できる。 3) 認知症に伴う生活への影響とケアのあり方(家族支援も含む)について説明できる。 4) 認知症の予防について説明できる						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、福祉・医療の実務経験【病院(在宅を含む)、施設(在宅を含む)】が5年以上ある。その経験に基づき、福祉専門職として必要な知識・技術の修得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	単位認定試験(中間テスト 40 点、16 回目 30 点)学修への取り組み状況(授業態度、レポート課題提出・内容)30 点で総合的に評価する。 ◆学修への取り組み状況 DVD 視聴後、レポートの課題がある。期限内の提出と、レポートの内容で評価する。 SGD 時は、積極的に発言し参加すること。 詳細な評価基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	授業で配布したプリントはきちんとファイリングすること。欠席した場合は、プリントを研究室まで取りに来ること。 毎授業ごとに配布するプリント、テキストをよみかえし、復習し、まとめること。 レポート、課題は期限内に提出すること。 定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。						
オフィスアワー	時間割確定後、研究室前に提示。						

#### 授業計画

回数	学修 目標 No.	授 業 内 容	授 業 方法	担 当
1	1)	認知症の定義や取り巻く社会的状況について 脳の解剖生理	講 義	稲 田
2	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】記憶について 認知症の原因となる主な病気について	講 義	稲 田
3	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】アルツハイマー型認知症について(病態等)	講 義	稲 田
4	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】アルツハイマー型認知症について(診断 検査)	講 義	稲 田
5	1)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】アルツハイマー型認知症について(薬等)	講 義	稲 田
6	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症について	講 義	稲 田
7	1)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】BPSD について	講義・演習	稲 田
8	1)	中間試験 認知症の特性について	講 義	稲 田
9	2)	【認知症の医学的・心理的側面の基本的理解】認知症本人の心理、認知症本人から見た世界 DVD 視聴	講義・演習	稲 田
10	3)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】認知症ケアの基本と実際(竹内理論) カンフォーダブルケア	講 義	稲 田
11	3)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】認知症ケアの実際について(ユマニチュード) DVD 視聴	講 義	稲 田
12	3)	【認知症に伴う生活への影響と認知症ケア】介護する家族の心理について(心理ステップ)	講義・演習	稲 田
13	4)	軽度認知障害 認知症予防	講義・演習	稲 田
14	1)2)3)	DVD 視聴「ぼけと向き合う日々」からケアのあり方、本人・家族の心理等を考える	講義・演習	稲 田
15	1)2)3)	総括「いつだってここは生きている」他	講 義	稲 田

教科書(著者名)出版社名【ISBN】

なし

参考書(著者名)出版社名【ISBN】

介護職員初任者研修テキスト 第5版(授業中使用することはある)

科目名	認知症の理解Ⅱ		授業コード	120839B101	単位数 (時間数)	2 単位 (30)	
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(3年)		ナンバリング	51C321P12	AL 科目	○	
担当者	稲田 弘子(スポ)	開講学期	2026 年度 後期	必修・選択	選 択	授業形態	講義・演習
授業の概要・一般 目標・対応するホ リデーNo.	我が国における認知症ケアは、パーソンセンタードケアつまりその人らしさを大切にケアの在り方が主になっている。認知症高齢者がその人らしく、地域や施設で生活できるよう支援することのできるように、認知症に関する基礎的知識やケアの在り方をさらに深め、認知症ケアの課題を理解し、地域全体でささえることができる介護・福祉の視点を修得する。「認知症の理解Ⅱ」では、「認知症の理解Ⅰ」の内容をさらに深める。臨床福祉学科(DP3.6)(CP9) スポーツ健康福祉学科(DP1.2)(CP2) 臨床心理学科(DP5)(CP4)						
学修目標	1) 認知症についての基礎知識(動向・医学的・心理的側面)について説明できる。 2) 認知症の人のケアのあり方について説明できる。 3) 若年性認知症の理解と支援について説明できる。 4) 認知症予防について説明できる。 5) 認知症ケアの連携と協働のあり方について説明できる。						
実務経験のある 教員による教育	科目担当教員は、福祉・医療の実務経験【病院(在宅を含む)、施設(在宅を含む)】が5年以上ある。その経験に基づき、福祉専門職として必要な知識・技術の修得を目的とした授業を行う。						
評価及びフィード バックの方法	単位認定試験(中間試験 40 点、16 回目に 30 点の筆記試験、学修への取り組み状況(授業態度、レポート課題提出・内容)30 点で総括的評価する。 ◆学修への取り組み状況 DVD 視聴後、レポートの課題がある。期限内の提出と、レポートの内容で評価する。 演習時は、積極的に発言し参加すること。 詳細な評価基準は授業開始日に説明する。						
準備学習・ 履修上の注意等	「認知症の理解Ⅰ」を履修していること。 授業で配布したプリントはきちんとファイリングすること。欠席した場合は、プリントを研究室まで取りに来ること。 毎授業ごとに配布するプリント、テキストをよみかえし、復習し、まとめること。 レポート、課題は期限内に提出すること。 定期試験前には、それまでの授業内容を再度復習すること。						
オフィスアワー	時間割確定後、研究室前に提示						
授業計画							
回数	学修 目標 No.	授 業 内 容				授業 方法	担当
1	1)	「認知症の理解Ⅰ」の復習				講 義	稲 田
2	1)	認知症の基本的理解①				講 義	稲 田
3	1)	認知症の基本的理解②				講 義	稲 田
4	1)	認知症の症状、診断、治療①				講 義	稲 田
5	1)	認知症の症状、診断、治療②				講 義	稲 田
6	1)2)3)	若年性認知症について①				講義・演習	稲 田
7	1)2)3)	若年性認知症について②				講義・演習	稲 田
8	5)	認知症の社会的支援				講義・演習	稲 田
9	1)2)	中間試験 認知症の歴史①				講 義	稲 田
10	2)3)	認知症の歴史② DVD 視聴より考える				講 義	稲 田
11	2)3)	認知症ケアの実際①パーソンセンタードケア、ひもときシート				講義・演習	稲 田
12	2)3)	認知症ケアの実際②バリデーション、環境を変えない				講義・SGD	稲 田
13	4)	認知症のリスク 14 項目(ランセットより)				講義・演習	稲 田
14	2)	身体拘束について①				講 義	稲 田
15	2)	身体拘束について②				講 義	稲 田
教科書(著者名)出版社名【ISBN】	なし(プリントを配布する)						
参考書(著者名)出版社名【ISBN】	介護職員初任者研修テキスト 第5版						